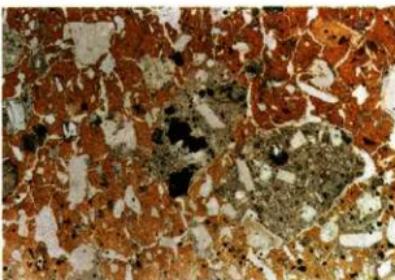


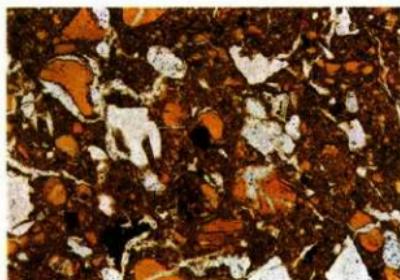
## カラー写真図版 2



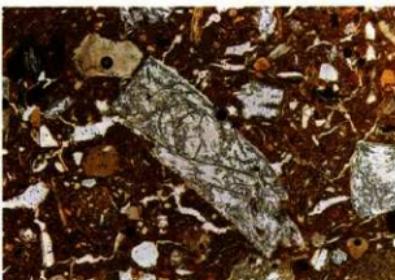
7. 1類 No.9 (西日本系土器)  
両雲母花崗岩 十ニコル



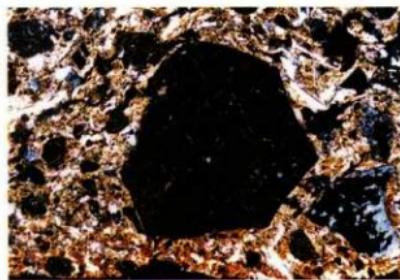
8. 2類 No.8 (角押文・指頭圧痕の猪沢式)  
輝石安山岩 一二ニコル



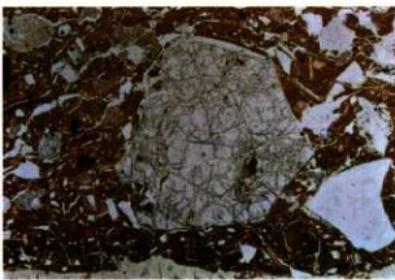
9. 3類 No.5 (北陸系土器)  
変質したガラスを多数含む胎土 一二ニコル



10. 4類 No.7 (指頭圧痕を残す猪沢式)  
流紋岩質ピッチストーン 十ニコル



11. 4類 No.7 (指頭圧痕を残す猪沢式)  
流紋岩質ピッチストーン 十ニコル



12. 同左 一二ニコル

\*カラー写真図版1・2のスケール：1・2・4・6・8・11・12  
3・5・7・9・10 ×23  
×62.5

## 第3節 第Ⅲ群1・2類土器の型式学的検討

## —熊久保式土器の構成と変遷—

小口 英一郎

はじめに

たい。

熊久保遺跡から出土した中期後葉土器群は、事実記載によって指摘したように地文の違いにより大きく4群に分類された諸型式から構成されている。その構成は、1類：棒状工具による沈線描出、2・3類：櫛齒状工具による描出、4類：縄文施文、として分け2類については大きく1類の中の変異として捉えている。1・2類がいわゆる「唐草文土器」、3類が曾利式、4類が加曾利E式に比定される。

当該型式に関する研究動向は、型式の生成過程と系統の再検討を行う研究（田中1984、三上1986、水沢1996、小口1998）や、型式の構成と変遷を提示する論考（百瀬1986、三上2002）、さらに型式名称に関するもの（小口1998、神村1999、三上2002）などがそれぞれ展開されている。また、近年における北信・東信地域における大規模発掘の成果により当該期土器群の地域色や新型式の設定など提唱がなされている（綿田1983・1988、川崎2001）。

かつて筆者は、いわゆる「唐草文系土器」と呼称される土器群の系統について再吟味を行い、在地型式の型式構成要素の継承と断絶、水沢教子氏が検討を行った越後地域における型式構成要素の伝播・変容の存在を追認し、中信地域から南信北半地域における土器群について森嶋稔氏の提唱を受けて仮称「熊久保式」の提唱を行った（小口1998）。本論では、その検討をもとに、今回最もまとまりを有して出土した第Ⅲ群1・2類土器についての段階設定を行い、その上で中期後葉における本遺跡の編年案を提示したい。また、一括資料が得られなかつた後半段階については、松本平の他遺跡の資料を援用しながら若干の検討を行うことにし

## 1 第Ⅲ群1・2類土器の器種構成

1・2類土器の器種は大きく、(1) 深鉢、(2) 浅鉢、(3) 吊手土器、(4) 鉢形土器、に分かれ、さらに深鉢は3つの器形に細分される。

**深鉢a** 頸部が括れ、口縁部が直立するか、やや内済し、さらに胴部が張るいわゆるキャリバー形を呈する。口縁部には2対（4単位）の把手を有するものがある。文様帯は口縁部のI文様帯、頸部のIIa文様帯、体部のII文様帯に分かれる。IIa文様帯は無文と有文の二者が存在する。

**深鉢b** 頸部がやや括れ、口縁部が外反し、さらに胴部が張る器形。口縁部から頸部にかけて1対（2単位）の把手を有するものが認められる。文様帯は口縁部が無文帯を形成し、頸部のIIa文様帯、体部のII文様帯から構成される。

**深鉢c** 無頸タル形の器形を呈する。胴上半が大きく張り、口縁部が内済するものと、時期が下るにつれ口縁が直立的となり胴部も直線的になる。口縁部には1対（2単位）の把手を有するものが認められる。文様帯は口縁部のI文様帯と頸部のIIa文様帯、体部のII文様帯とIIa文様帯が省略されるものに分かれる。

**浅鉢** 口縁部が内折し、文様帯を形成するものと口縁部が肥厚するものが存在する。平縁と波状縁がみられる。

**吊手土器** 鉢部から一対の把手が立ち上がる把手式と、アーチ状の橋を渡した二窓式に分かれる（綿田1999）。

その他、今回の調査では検出されなかったが、鉢形土器、両耳鉢、台付深鉢などが1類土器の器

種として確認できる。そのなかで頸部に一对の把手が付く両耳鉢は、口縁部が無文で頸部に文様帯を有するものと、体部と頸部が一体となって文様帯を形成するものに分かれる。松本市一ツ家遺跡64・87号住、屋外埋甕5などを挙げることができよう。台付深鉢は巻頭図版にあるように、深鉢b類に口縁部から胴上半にかけて把手が1対付く腕骨文土器であり、脚部には円形の透し孔が施されている。

## 2 第Ⅲ群土器の構成と変遷

### (1) 先行型式の再検討

会田進・宮坂光昭氏による梨久保3・4号住の良好な一括資料によって「梨久保B式」の設定が

なされ（会田・宮坂1972）、その後資料の増加に伴い器種構成に関する型式学的検討が行われている（三上1994・戸田1995・神村1996）。この標識資料の中には2点の櫛形文土器と、1点の口縁部に沈線褶曲文を有し、腕骨文モチーフの萌芽的様相がみられる土器が提示されている。前者の櫛形文土器の位置付けについては、古相を帯びるとして従来の井戸尻Ⅲ式と標識資料の間に一段階設定する必要性を指摘する見解（戸田1995）と花上寺遺跡25号住でみられるように隆線褶曲文と櫛形文が融合したものが梨久保B式の組成のなかに加わるという指摘（三上1994・2002）がある<sup>(1)</sup>。

一方、後者については梨久保B式と次段階のいわゆる唐草文土器との間隙を埋める資料として重

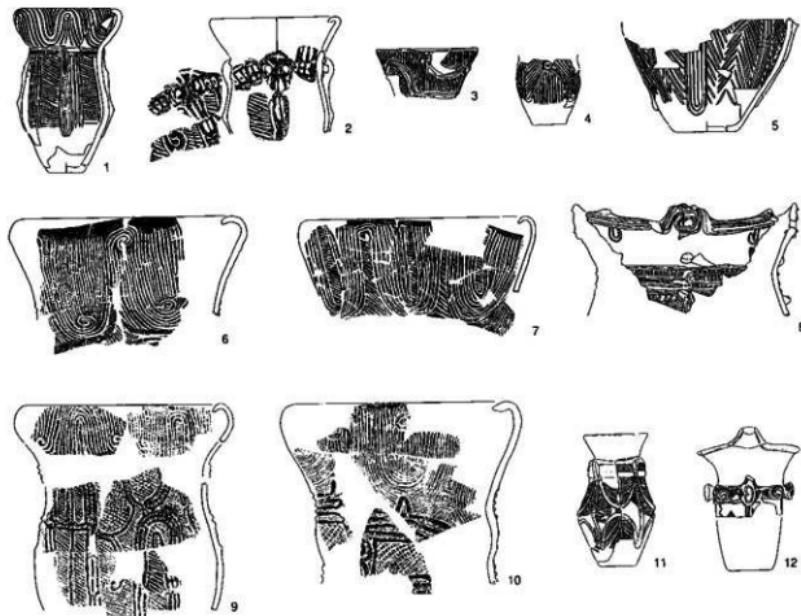


図1 第6・10号住出土土器 (1~8: 6号住、9~12: 10号住 S=1/8)

要である。今回の調査によって建替え前の6号住と10号住から両者を繋ぐと考えられる資料が出土している(図1)。その特色は口縁部が大きく内湾し、頸部で括れ胴が張るキャリバー形を呈し、口縁部装飾に沈線褶曲文を描く一群が主要器種となることである。そのほか、条線地文の異方向化、半截竹管工具から棒状工具への比重増加、さらに構成器種の不安定化などの大きな変化がみられる。この沈線褶曲文土器については、松本市塙辛遺跡22・24号住、弥生前遺跡20号住、山影遺跡73ピット、南中島遺跡17号住、前田木下遺跡14号住、塙尻市上木戸遺跡110号住などで確認できる。いわゆる腕骨文土器と呼ばれる越後系土器をほとんど共存していないことが熊久保6・10号住資料の特色であり、本資料群を指標として梨久保3・4号住の後続段階として新たに設定したい。これらの資料を梨久保B式の範疇で捉えるべきか、熊久保式の最初頭に位置付けるべきか問題が残るが、口縁部文様の特色と頸部文様の変化をどのように評価するかによって見解が別れよう<sup>(2)</sup>。

## (2) 第Ⅲ群土器の構成と変遷(図2~4)

先述したように地文の違いから、第Ⅲ群土器を1~4類に分けている。ここでは、他型式である3・4類土器を含めた変遷案を提示したい。

**第I段階：3・11・16・19・31号住が該当する。**器種構成がバラエティーに富み、また沈線文系と櫛歯条線文系(15~19・21・23・43~45)の系統に分かれる。本段階は、深鉢a・b類がc類よりも比重を占める特徴を有している。その背景は、深鉢b類に代表される前型式の器種の継承と新たに13・14の越後系土器(腕骨文土器)が加わり、さらに17にみられるようなⅠ文様帯とⅡ文様帯に別れ、口縁部に渦巻文区画を有する加曾利E式の影響による器種が生成することにあると考えられる。さらに、口縁部が内折して沈線渦巻文が描かれる46と無文で平縁の47、さらに口縁部を肥厚させる48の3種の浅鉢が存在している。この48の肥厚口縁部の特徴は条線文系の43と類縁的である。

文様要素は、胴部文様には腕骨文モチーフ(13・14・22・23・38)や蛇行懸垂文(15~18)、剣先文(24)が多用される。また、タル形器形を特徴とする深鉢c類(28・29・31・42・45)は本段階で生成するが、文様帯構成はⅠ・Ⅱ文様帯であり、Ⅱa文様帯はみられない。

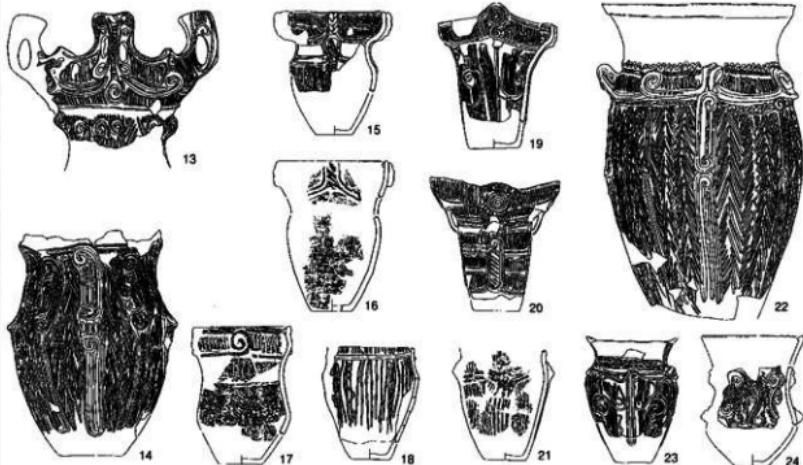
**第II段階：7・8・13・15・17・19・20・21・22号住が該当する。**

深鉢a類(25・26)が減少し、深鉢b類は本遺跡ではみられない。深鉢b類の口縁部無文帯が縮小し、c類のタル形器形に收敛されていくものと思われる。その類例として第I段階に相当する松本市一ツ家遺跡87号住、102号住埋甕などを挙げることができよう。

本段階の指標として、いずれも器種も大柄渦巻文が胴部に展開し、また深鉢c類においてⅡa文様帯が形成されることであろう。35~37、50~52は梢円もしくは方形区画文を有し、内部に交互刺突による波状文が充填されている。本文様帯の発生は明確ではないが、第II段階に帰属する22の頸部にみられる渦巻つなぎ弧文による区画化と関連があるかもしれない。この渦巻文と15・16の口縁部区画の燃り縄状文が置換して、形成されたところで考えたい。胴部の渦巻文は左右が対になる35や腕骨文を基点として渦巻文が派生する36の大きく二者に分かれる。

その他の器種として、波状口縁を呈し、口縁部が緩やかに外反する器形が新たに登場する(27~29・31・32)。波頂下に渦巻文を配し、その間に渦巻文や蛇行沈線が描出される。煮炊きの用土器ではないが、ランプとしての吊手土器も本段階で確認される(55・56)。一方で、浅鉢がみられず、代わって曾利Ⅲ式の両耳鉢(62)や鉢形土器(61)が流入しているようである。この61は59とともに肥厚帯口縁部(山形1989)を有し、太沈線によるS字状文や円形文などが描かれることを特色としている。また、曾利式と加曾利E式の折衷タイプとしての57や60も認められ、曾利式が多く組成と

第一段階



第二段階

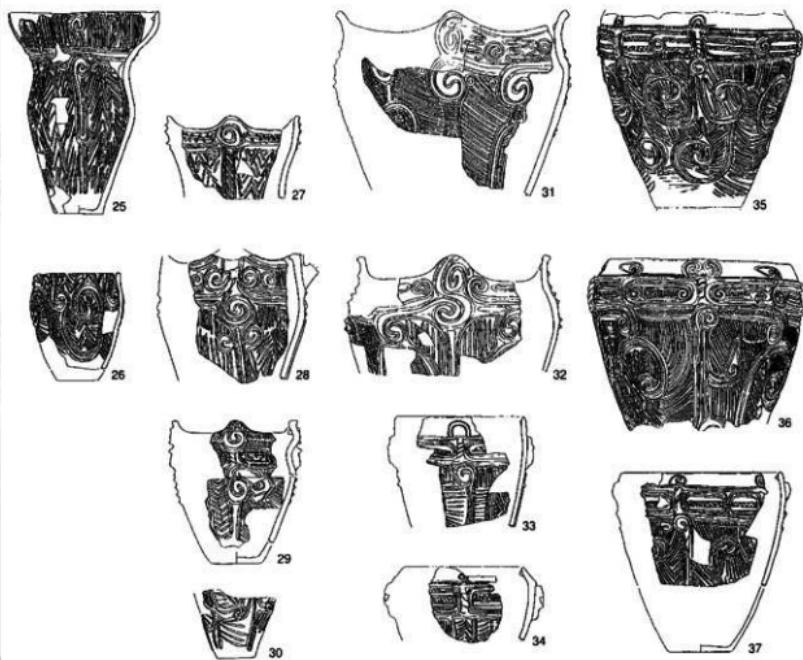
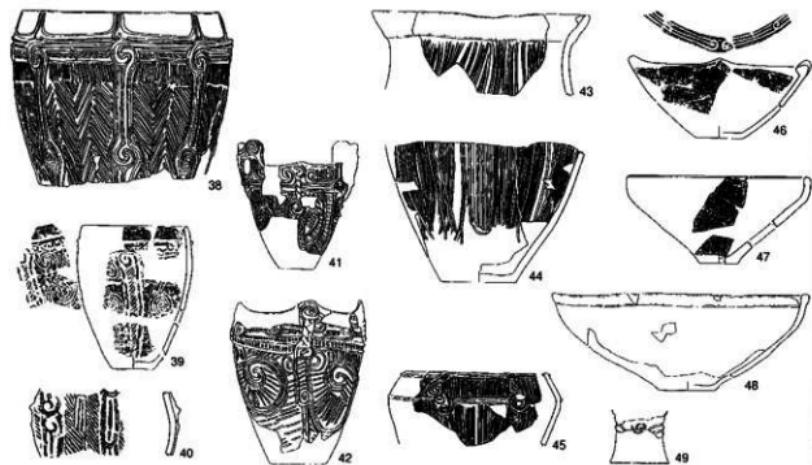


図2 第III群土器の構成と変遷〈その1〉(S=1/8)

第一段階



第二段階

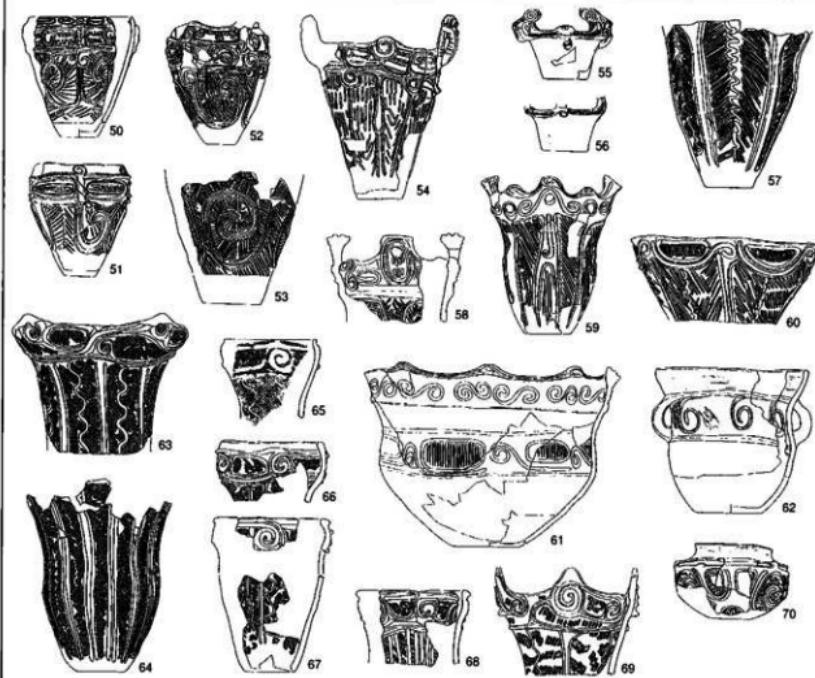


図3 第Ⅲ群土器の構成と変遷〈その2〉(S-1/8)

第Ⅲ段階

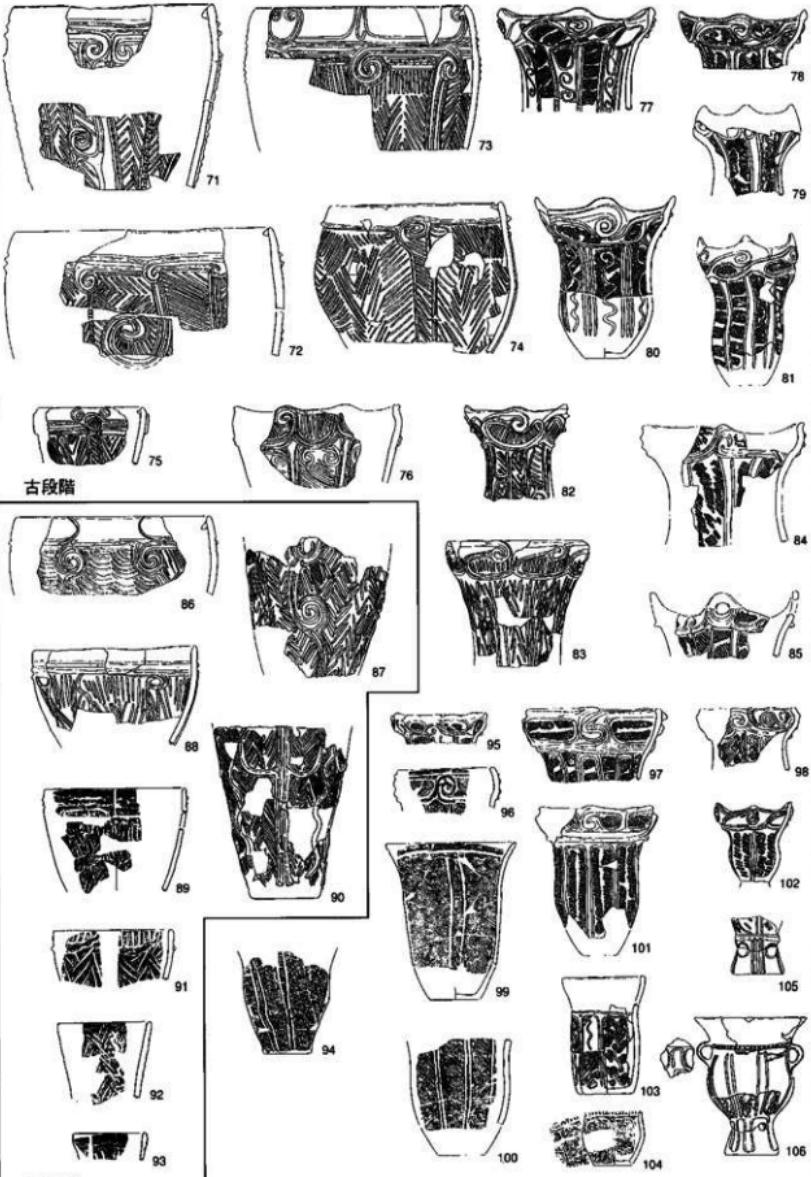
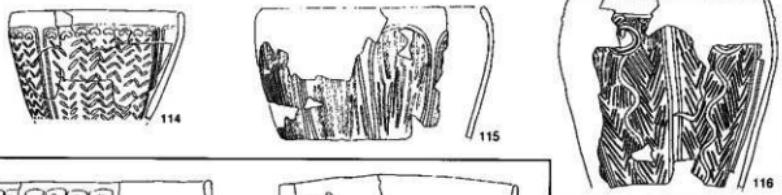
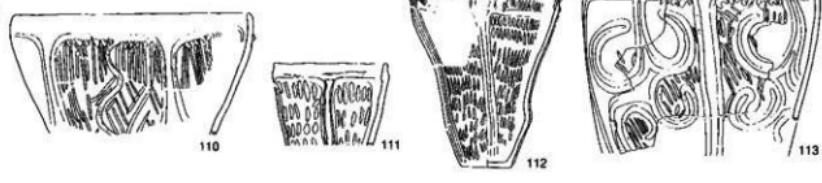
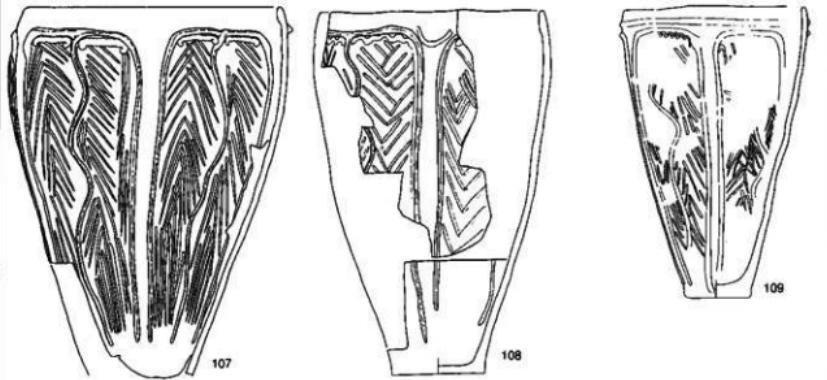


図4 第III群土器の構成と変遷〈その3〉(S=1/8)

第  
IV  
段  
階



第  
V  
段  
階

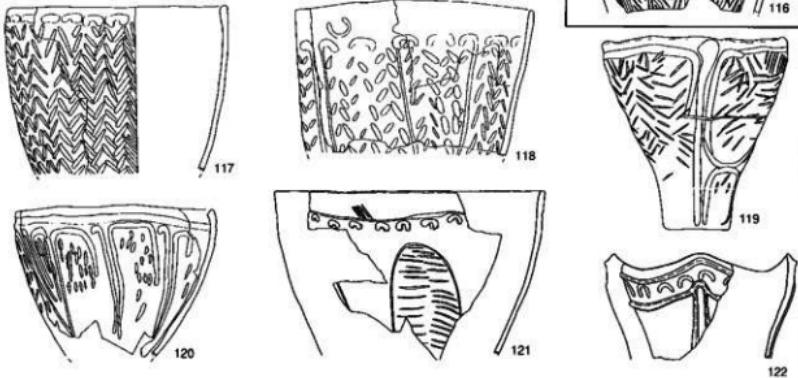


図5 松本盆地における第IV・V段階の土器 (S=1/8)

して加わる点が注目される。

### 第三段階：1・5・12号住が該当する。

本段階は深鉢c類と加曾利E3式との折衷型土器(82・83)、さらに深鉢a・b類を補うようにキャリバー形の加曾利E3式も組成として大きな位置を占めるようになる。71・75はIIa文様帯が消失し、小渦巻文が口縁部無文帶を画する隆線と接続して垂下している。とくに71・72は刻みの入った隆線が垂下していることが特色であり、伊那谷では本類型はあまり認められない。

86～93は渦巻文が一段と退化し、蛇行懸垂文がモチーフの主流となってくる。このなかで、86は地文が鱗状に描かれることから佐久地方の一群と関連があるかもしれない。地文の沈線はラフになっていくが、依然「ハ」の字状を意識して描かれている。第三段階でも新相を帯びる。

77～81、84・85、95～106は地文に繩文を有して

いる加曾利E3式である。口縁部文様帯には平縁と波状口縁の二者が存在し、また口縁部が無文帯を形成する99・103・106などもみられる。また、105・106により台付土器も器種として加わる。

胴部は2～3本の沈線が垂下し、沈線間が幅広く、ナデ・ミガキ調整がなされるものと、99のようにそうでないものが存在する。97や101のように、この垂下沈線が区画化され、逆U字状として変化していく過程は、沈線文系の一群と連動している。また、77のような沈線間のS字文などは、当該地域の地域色であろう。

さらに在地の沈線文系と繩文系の加曾利E式の折衷タイプとして82・83があり、地文が置換していることが特徴である。

### 第四段階（図5、107～116）

今回の調査では、本段階の一括資料に恵まれなかった。本段階の器種構成は深鉢c類が残存する

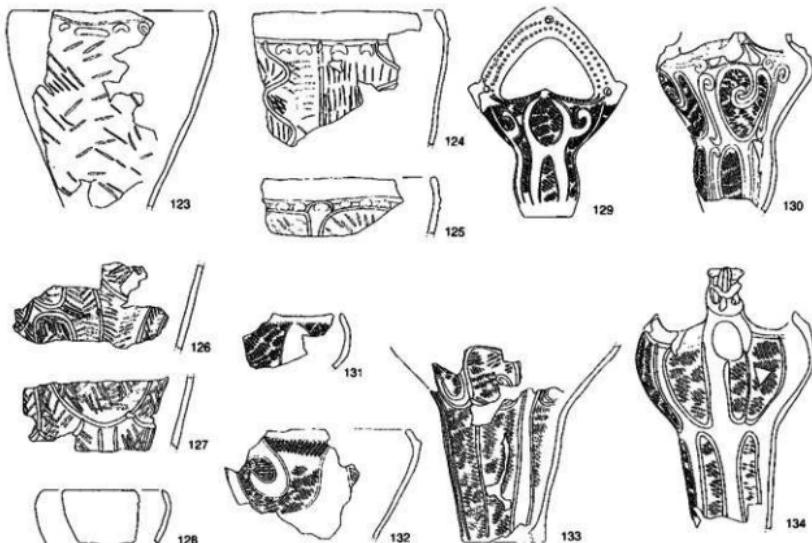


図6 山形村三夜塚遺跡 SK099出土土器 (S=1/8)

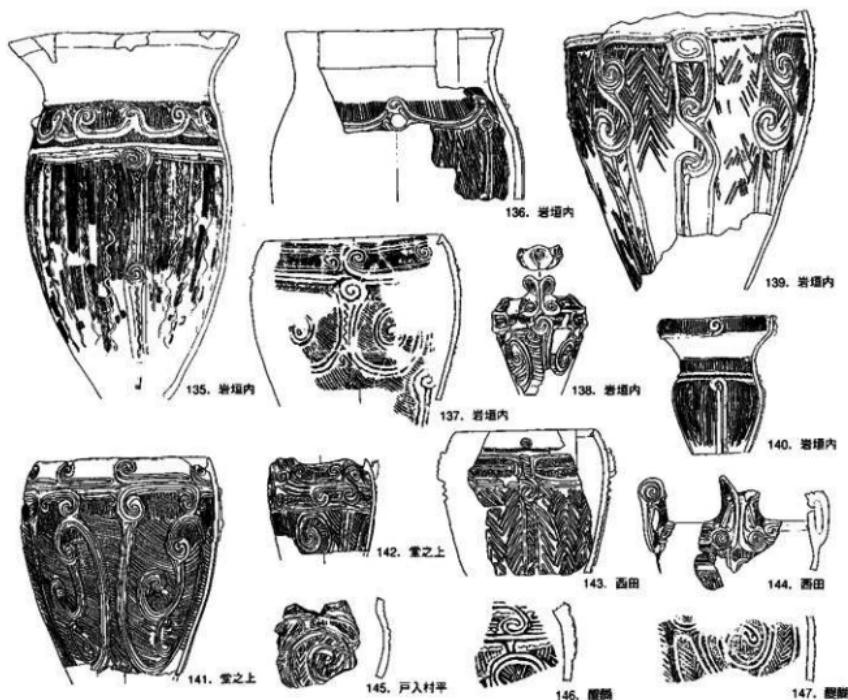


図7 県外出土第Ⅲ群1・2類土器 (135~144: S = 1/8 145~147: S = 1/6)

が、胴部の張りがなくなり直線的になることを特徴とする。また深鉢a・b類はみられず、その器種を補うかのように加曾利E4式古段階が組成として加わる。文様帶構成としてⅡa文様帶が消失し、逆U字状区画文が隆線によって描かれ、区画内に蛇行隆線、崩れた渦巻文などのモチーフとラフな斜沈線・直線状沈線が地文として充填される。本段階を松本盆地の他遺跡の資料によって補うならば、松本市坪ノ内遺跡18号住(107・108)、塩尻市上木戸遺跡17号住(109~112)、明科町北村遺跡SQ503(113)、SH686(114)、三夜塚遺跡E区遺構外(115)・SK126(116)などが基準資料となろう。

## 第V段階(図5・6、117~134)

本段階は沈線文系が僅かながら残るもの、型式構成はむしろ加曾利E4式新段階が主体となる。

深鉢c類では口縁部と体部を分ける区画線が消失したものや(117)、逆U字状区画文がほぼ消失し、加曾利E4式の区画文様内に地文沈線が充填されたり(121・122)、勾玉状列点文とラフな斜沈線や直線状短沈線、ワラビ手文などが描かれる。この勾玉状列点文は、交互刺突による波状文が簡略化された文様である。熊久保遺跡と同じ西山山麓に位置する山形村三夜塚遺跡SK099から一括資料が得られている(図6)。124~127は前段階の混入と考えられるが、繩文系の加曾利E4式のセッ

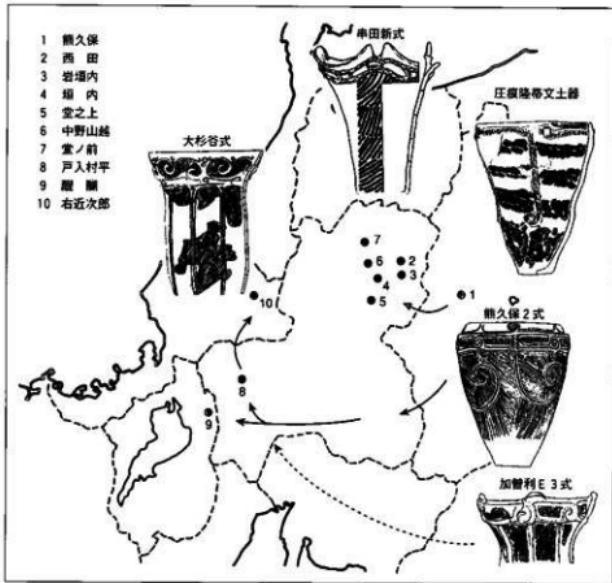


図8 熊久保式の西方伝播と併行型式群の分布概念図

ト関係をここでは重視したい。そのほか、北村遺跡SB560 (117・119)・SB580 (120)、SQ501 (118)、一ツ家遺跡土坑1425 (121・122)などを列挙しておきたい (図5、117~122)。

以上、熊久保遺跡出土資料によって第Ⅰ~Ⅲ段階、第Ⅳ・V段階を松本盆地の他遺跡資料により補足して中期後葉期における編年案を試みた。これらの中なかで、沈線・樹齒条線地文の1・2類土器を「熊久保式」と認定し、次に各段階の分布とその拡がりを概観したい。

### 3 熊久保式土器の分布と動態 (図8)

**第Ⅰ段階**：熊久保式の成立段階では、松本盆地・諏訪盆地、さらに上伊那を中心として拡がりをみせる。また、下伊那では、いわゆる下伊那タイプと呼ばれる東海地方の咲烟式と融合して生成される独自の器種が生成されていく。また、飛騨地方においても丹生川村岩垣内遺跡SB 6・10・17 (135-

住 (145)、さらに滋賀県浅井町醍醐遺跡 (146・147) にまで及んでいる。とくに興味深いのは醍醐遺跡出土資料であり、胎土の色調や文様構成から146は中信地方、147は南信地方に分布する1類土器であり、それぞれの地域から搬出された可能性がある。一方で、関東地方や山梨県の甲府盆地といった東方には間接的な影響を認め得るが、型式そのものは散見されるのみである (櫛原1986)。

**第Ⅲ~V段階**：分布範囲が縮小し、松本盆地、諏訪盆地、上伊那地方が中心となり、下伊那地方に部分的に散見される。当該期は、加曾利E 3~4式の分布範囲が拡大する時期であり、その折衷タイプも多く生成される。また、曾利Ⅲ~IV式も本地域で確認される。飛騨地方では岩垣内遺跡SB39 (139) が第Ⅲ段階として該当しよう。

### おわりに

熊久保式の構成と変遷について、今回の出土資

136・140)など本段階の資料は散見される。

**第Ⅱ段階**：最も分布範囲を拡大する時期である(図8)。第Ⅰ段階の分布範囲に加え、佐久地方や長野盆地の南部、さらに下伊那地方、美濃地方にも拡がりを有する。飛騨地方では岩垣内遺跡・牛垣内遺跡7・8号住、西田遺跡SX17 (143・144)、久々野町堂之上遺跡14号住 (141・142)、美濃地方西端の戸入村平遺跡4号

料および周辺遺跡の資料をもとに若干の検討を行った。変遷案については、これまでの先史的研究と大きく異なる点はないが、近年資料が増加している飛騨・美濃地方の様相について分布域の動態と関連させて概観した。また6・10号住を

独立した段階として設定し、私見を述べさせていただいた。とくに伊那谷などを含めた全体の詳細な検討が行えず、片手落ちの感を否めないが、後日機会を改め検討を行いと思っている。

## 註

- いわゆる橢形文土器の位置付けについては、後日改めて見解を述べたいと考えている。
- 沈線彫曲文土器は、器形と口縁部文様は梨久保B式の要素を色濃く残している。一方、胴部のモチーフについては、2~3本の隆線によってU字状文や十字文などが展開し、地文はそのモチーフ間を充填するように斜沈線が施される。また、6・10号住にみられるように刺突文を地文として施すものもみられ、文様要素の漸移的様相を読み解くことができる。

## 引用・参考文献

- 会田進・宮坂光昭 1972 「梨久保遺跡－長野県岡谷市梨久保遺跡第三・四次発掘調査報告－」岡谷市教育委員会
- 青沼博之・百瀬忠幸 1987 「殿村遺跡」山形県教育委員会
- 上嶋善治ほか 1997 「丹生川ダム水没地区（五味原遺跡群）埋蔵文化財発掘調査報告書第1集 西田遺跡」鈴木 岐阜県文化財保護センター
- 上嶋善治ほか 1998 「丹生川ダム水没地区（五味原遺跡群）埋蔵文化財発掘調査報告書第1集 牛垣内遺跡」鈴木 岐阜県文化財保護センター
- 上原真昭ほか 2000 「岩垣内遺跡」鈴木 岐阜県文化財保護センター
- 小口英一郎 1998 「唐草文土器」の再検討－「熊久保式」の提唱と成立段階の検討を中心に－』『信濃』50-7 信濃史学会
- 小口達志 1995 「床尾中央遺跡」塩尻市教育委員会
- 神村透 1996 「波状口縁橢形文土器を追う」『長野県の考古学』鈴木 長野県埋蔵文化財センター研究論集I』鈴木 長野県埋蔵文化財センター
- 1999 「私の姓は唐草文、名は無し」『長野県考古学会誌』90 長野県考古学会
- 2000 「平出遺跡口号住居址出土土器から一条線文沈線唐草文土器－」『平出博物館紀要』17 塩尻市立平出博物館
- 狩野睦 1988 「串田新・大杉谷式土器様式」『繩文土器大観』3 小学館
- 川崎保 2001 「県単農道整備事業（ふるさと）大野田地区埋蔵文化財発掘調査報告書－浅科村－駒込遺跡」鈴木 長野県埋蔵文化財センター
- 柳原功一 1986 「大東村蛇神遺跡出土の唐草文土器について」『丘陵』12 甲斐丘陵考古学研究会
- 工藤俊樹 1985 「右近次郎遺跡II」大野市教育委員会
- 瀬口眞司・小島孝修・可児直典 1998 「醍醐遺跡」滋賀県東浅井郡浅井町
- 田中彰 1992 「垣内遺跡にみる飛騨の縄文集落」『特別展 飛騨のあけぼの』岐阜県博物館友の会
- 十日町市教育委員会 1998 「笠山遺跡発掘調査報告書」
- 戸田哲也 1993 「中野山越遺跡発掘調査報告書」岐阜県吉城郡古川町教育委員会
- 1995 「中野山越A2類土器論」「先史考古学研究」5 阿佐ヶ谷先史学研究会
- 1998 「堂之上遺跡－縄文時代集落跡の調査記録－」岐阜県大野郡久々野町教育委員会
- 林直樹 1996 「堂ノ前遺跡発掘調査報告書」岐阜県宮川村教育委員会
- 平林彰 1993 「中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書11-明科町-北村遺跡」鈴木 長野県埋蔵文化財センター・長野県教育委員会

- 平出遺跡調査会編 1955 「平出－長野県宗賀村古代集落遺跡の総合研究－」朝日新聞社
- 松本市教育委員会 1990 「松本市弥生前遺跡」
- 1991 「松本市南中島遺跡」
  - 1993 「松本市塙辛遺跡Ⅱ・Ⅲ・矢作遺跡・松陰寺遺跡」「松本市山影遺跡」
  - 1998 「松本市小池・一ツ家遺跡」
- 三上徹也 1986 「中部・西関東地方における縄文時代中期中葉土器の変遷と後葉土器への移行」「長野県考古学会誌」51 長野県考古学会
- 1987 「梨久保式土器再考」「長野県埋蔵文化財センター紀要」1
  - 1996 「花上寺遺跡における縄文時代中期後半の土器様相－特に梨久保B式土器の組成に関する考察を中心として－」「花上寺遺跡－中部山岳地の縄文・平安時代集落址－」岡谷市教育委員会
  - 2002 「所謂「唐草文土器」の構造・変遷と型式名に関する考察」「長野県考古学会誌」98 長野県考古学会
- 水沢教子 1996 「大木8b式の変容（上）」「長野県の考古学 勅長野県埋蔵文化財センター研究論集Ⅰ」  
『勅長野県埋蔵文化財センター』
- 2000 「上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書24-更埴市内その3-更埴条里遺跡・屋代遺跡群－縄文時代編－」 勅長野県埋蔵文化財センター
- 武藤貞昭ほか 1994 「徳山ダム水没地区埋蔵文化財発掘調査報告書第4集 戸入村平遺跡」 勅岐阜県文化財保護センター
- 山形真理子 1989 「曾利式土器の研究（下）」「東京大学考古学研究室紀要」15
- 米田明訓 1980 「南信天竜川沿岸における縄文時代中期後半の土器編年－所謂「唐草文土器」を中心として－」「甲斐考古」17-1 山梨県考古学会
- 綿田弘実 1983 「北信地方における縄文中期後葉より後期初頭の土着土器」「須高」17 須高郷土史研究会  
1988 「北信濃における縄文中期後葉土器群の概観」「長野県埋蔵文化財センター紀要」2  
1999 「Ⅲ 長野県の釣手土器」「縄文土器のふしぎな世界 第二章－中部高地の釣手土器展－展示図録」諏訪市博物館
- 和田和哉 1997 「淀の内遺跡」長野県山形村教育委員会  
2001 「淀の内遺跡Ⅳ」長野県山形村教育委員会  
2002 「三夜塚遺跡Ⅲ」長野県山形村教育委員会

## 第4節 出土石器群の研究

## 上條 信彦

## 1 石器群の個別的検討

## (1) 概要

本遺跡では、計1810点、80130.84 gの石器が出土した(表1)。石核・剥片などを除いた道具としての石器は、個数全体の34%の617点、61047.86 gにのぼる。割合は、小形刃器397点(21.9%)、打製石斧82点(4.5%)、敲石25点(1.4%)、石鎌16点(0.9%)の順で高い。遺跡の立地や属性から、河川からの自然流入による砾などは少なく、また、ローム層が厚いため地山から砾層までかなり深いことから、多くの石器は、人為的に運搬されたもの

と考えられる。時期は出土土器や石器群の特徴から、縄文時代中期のものがほとんどであると考えられる。石器の個数・重量組成を表1に、遺構別組成を表2に示した。住居址内出土の資料は1524点(84.1%)、70523.5 g(88.0%)であり、全体にしめる割合が圧倒的に高い。住居址毎では、大型かつ遺構の残存率が高かった7号住の数量が最も多く、6・9号住も比較的多い。また、土坑内出土の資料は16点(0.8%)、106.1 g(0.1%)、遺構外出土の資料は163点(9.0%)、3006.38 g(3.7%)であった。

ただし、耕作土層から遺物包含層まで浅いこと

表1 個数・重量組成表

	住居址			土坑			遺構外			その他		全						
	個数	%	重さ	%	個数	%	重さ	%	個数	%	重さ	個数	%	重さ	%			
草石	7	0.5%	499.72	0.71%	0	0%	0	0%	0	0%	0	2	1.9%	9	0.5%	522.4	0.65%	
石核	22	1.4%	269.96	0.38%	0	0%	0	0%	4	2.5%	56.76	1.9%	0	0%	26	1.4%	305.74	0.41%
くび形石器	15	1.0%	31.9	0.00%	0	0%	0	0%	0	0%	0	2	1.9%	17	0.9%	41.14	0.05%	
石鏡	14	0.9%	12.98	0.02%	0	0%	0	0%	1	0.6%	1.2	0.0%	1	0.9%	16	0.9%	15.1	0.02%
石礫未製品	5	0.3%	7.18	0.01%	0	0%	0	0%	1	0.6%	1.74	0.1%	0	0%	6	0.3%	8.92	0.01%
石錐	9	0.6%	32.98	0.08%	0	0%	0	0%	0	0%	0	1	0.9%	10	0.6%	33.6	0.04%	
小形刃器Ⅰ	112	7.3%	501	0.71%	4	25.0%	14.52	13.7%	9	5.5%	25.7	0.9%	7	6.5%	132	7.3%	575.54	0.72%
小形刃器Ⅱ	80	5.2%	239.5	0.34%	1	6.3%	5.54	6.2%	2	1.2%	7.48	0.2%	3	2.8%	86	4.8%	279.08	0.35%
小形刃器Ⅲ	158	10.4%	452.38	0.64%	1	6.3%	4.05	3.8%	12	7.4%	32.1	1.1%	8	7.5%	179	9.9%	508.16	0.63%
小形石器	3	0.2%	26.4	0.04%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0%	3	0.2%	26.4	0.05%
大形石器	4	0.3%	153.38	0.22%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0%	4	0.2%	153.38	0.19%
大形刃器	15	1.0%	873.04	1.24%	1	6.3%	15.02	14.2%	3	1.8%	130.9	4.4%	0	0%	19	1.0%	1078.78	1.34%
打製石斧	63	4.1%	5565.9	7.89%	0	0%	0	0%	9	5.5%	706.22	23.5%	10	9.3%	82	4.5%	7177.12	8.95%
磨石	6	0.4%	1774	2.52%	0	0%	0	0%	1	0.6%	500	16.6%	0	0%	7	0.4%	2274	2.84%
敲石	23	1.5%	9187	13.03%	0	0%	0	0%	1	0.6%	348	11.8%	1	0.9%	25	1.4%	10061	12.56%
研石	7	0.5%	1432	2.03%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	7	0.4%	1432	1.79%
台石	5	0.4%	11260	15.97%	0	0%	0	0%	0	0%	0	1	0.9%	7	0.4%	13360	16.67%	
石斧	4	0.3%	14620	20.73%	0	0%	0	0%	0	0%	0	1	0.9%	5	0.3%	15160	18.92%	
多孔石	1	0.1%	4000	5.67%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0%	1	0.1%	4000	4.9%
石錐	4	0.3%	223.74	0.32%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0%	4	0.2%	223.74	0.26%
磨製石斧	5	0.3%	519.56	0.74%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0%	5	0.3%	519.56	0.65%
敲石	1	0.1%	1773	2.51%	0	0%	0	0%	0	0%	0	1	0.9%	2	0.1%	3273	4.08%	
剥片	882	57.9%	5620	7.97%	7	43.5%	42.4	40.0%	110	67.5%	833.42	27.7%	85	60.7%	1064	58.8%	7155.06	8.93%
磨石片	56	3.7%	1421.58	2.02%	2	12.5%	23.56	22.2%	5	3.1%	113.95	3.8%	3	2.8%	66	3.6%	1632.44	2.04%
敲石片	4	0.3%	177.04	0.25%	0	0%	0	0%	2	1.2%	50.68	1.7%	0	0%	6	0.3%	227.92	0.28%
台石片	12	0.8%	623.76	0.88%	0	0%	0	0%	3	1.8%	197	6.5%	1	0.9%	18	0.9%	842.02	1.05%
その他	6	0.4%	9225.54	13.08%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0%	6	0.3%	9225.54	11.51%
計	1524	100%	70523.5	100%	16	100%	105.1	100%	163	100%	3005.4	100%	107	100%	1810	100%	80130.8	100%

から、抜き取りや削平が行われている事が予想され、また、住居内外・集石内の礫や炉石、配石の使用材については検討を行えなかった点は加味しなければならない。また、過去の調査における出土石器について本報告では分析対象とはしていない。

図示については遺構内出土のうち完形あるいは残存率が高い器種を中心に行った。但し、刃器類については代表的な形態を抽出し、剥片・破片については図示しなかった。

記述は、材質・製作法・分類(形状・機能)・法量(長さ・幅・厚さ・重量)・欠損状況・出土状況について行った。また刃器・磨石・台石などの機能的分類にはルーベ(12倍)を使用した。重量の表記は、小形石器については1/100g単位、大形石器(50g以上)については1g単位で示して

いる。

## (2) 原石・石核・くさび形石器

原石は一度も剥離作業が行われていない資料で9点(522.4g)あり、うち7点が住居址内出土である。石材は黒曜石3点(79.44g)、チャート3点(62.42g)、頁岩2点(333.16g)、粘板岩1点(47.38g)ある。平均重量は黒曜石14.79g、チャート20.8g、頁岩166.58g、粘板岩43.38gであった。

石核は、1度以上剥離作業が行われた資料で26点(326.74g)ある。ただし、両極剥離痕を有するものについてはくさび形石器として一括りに検討することにした。全て黒曜石で平均重量は12.5gであり、5~10gが13点と最も多いが、20gを超えるものも6点みられる。打面は2面あるいは3面のものが多い。これらの石器が集中して見られた遺構はみられなかった。

表2 遺構・器種別石器個数組成表

	2住	3住	4住	5住	5-6住	6住	7住	8住	9住	10住	11住	12住	13住	13-14住	14住	15住	16住	17住	18住	19住	20住
原石						3	1		1											1	
石核						1	5	3	2	2				1	1	2	1		1	1	1
くさび形石器	1			2	1	1	1		2				3	1						1	1
石礫	2		2	1		1	2		2	2										1	
石礫半製品					1		1	2													1
石錐	2				1		1			2					1						1
小形刃器I	10			2		7	15	2	16	8	2	1	14		1		1	2	1	2	7
小形刃器II	5	3		3	4	5	13		15	4		2	9		1		1	2	5	2	
小形刃器III	11	2		7	5	18	24	2	20	10	3		24	2	1			2	4	10	
小形石耙					1					1											1
人形石耙										2											1
大形刃器			1				2	3		3										3	
打製石斧	2				2	1	8	1		5	2	2		13	3			2		5	7
磨石	1						2														1
砾石				1	2	1	4		2			2			1						1
叩石	1					1		1	1			1	1								1
舟石								1		3											1
石頭							2														1
手孔石				1																	
石浦						1	1														
磨製石斧								1				1								1	1
砥石						1															
剥片	64	30	9	34	31	83	136	13	121	67	14	18	99	11	26	2	4	3	14	20	29
磨石片	4	3	1	3		4	4		9	1	2	1	4	5	1			1	3	3	1
籠石片									1	1			1								1
台石片	1						2	1							1			1	1	3	1
その他						1			2							2					
計	104	39	12	59	48	147	213	20	210	95	24	27	172	23	32	3	7	10	31	50	68

註1) 割合2は原石・石核・剥片・磨石片・籠石片・台石片・その他を除いた数値。

くさび形石器は17点 (41.14g) で、住居址内出土は15点、石材はすべて黒曜石であった。

### (3) 剥片

剥片は1064点 (7155.1g)、うち住居址内882点、土坑内7点が出土した。全体の遺物の量が多い7号・9号住から出るが多い。石材は、黒曜石が801点と最も多く、他には硬砂岩124点、頁岩73点、チャート18点、砂岩18点、赤チャート15点、粘板岩14点、安山岩1点がある。頁岩は打製石斧や大型刃器・大形石匙の石材として多く用いられる。また安山岩・砂岩・硬砂岩については、磨石・蔽石・台石・炉石などの使用時・廃棄時における衝撃による剥落・破損あるいは被熱による破損と考えられる。

### (4) 石鐵

小形剥片石器のうち両面の押圧剥離によって尖

部を形成し刺突を可能にした資料。未製品はいずれも基部の調整剥離がなく、先端部の作り出しが不明瞭なものを一括した。製品16点(15.1g)、未製品6点(8.9g)、が出土した。うち14点の製品と5点の未製品が住居址内出土である。外形は全て凹基式であり、抉りの形態によって3分類した。

I類…抉りの深さが0.3mm以下の半月形あるいはわずかに内湾しているもの。5点。

II類…抉りの深さが0.3mmを超えてU字状を呈するもの。9点。

III類…抉りが直線状で三角形を呈するもの。2点。

完形品11点で欠損状況は上半欠2点、片脚欠1点、片脚+先端部欠1点、先端部欠1点であった。完形品11点の平均重量は0.95gであり、長さ2cm前後、幅1.5cm前後が最も多い。珪質粘板岩製の

21件	22件	23件	24件	25件	26件	27件	28件	29件	30件	31件	計	住居%	土坑	遺構%	その他	合計	割合1	割合2
1											7	0.5%			2	9	0.5%	—
	1										22	1.4%		4		26	1.4%	—
1											15	1.0%			2	17	0.9%	2.8%
	1										14	0.9%		1	1	16	0.9%	2.6%
											5	0.3%		1		6	0.3%	1.0%
1											9	0.6%			1	10	0.6%	1.6%
10	6	4	1								112	7.3%	4	9	7	132	7.3%	21.4%
2	1	3									80	5.2%	1	2	3	86	4.8%	13.9%
10	1		1				1				158	10.4%	1	12	8	179	9.9%	29.0%
											3	0.2%				3	0.2%	0.5%
											4	0.3%				4	0.2%	0.5%
			1	2							15	1.0%	1	3		19	1.0%	3.1%
5	4		1								63	4.1%		9	10	82	4.5%	13.3%
1		1									6	0.4%		1		7	0.4%	1.1%
1		1									23	1.5%		1	1	25	1.4%	4.1%
											7	0.5%				7	0.4%	1.1%
1											6	0.4%			1	7	0.4%	1.1%
			1								4	0.3%			1	5	0.3%	0.8%
1		1									1	0.1%				1	0.1%	0.2%
		1									4	0.3%				4	0.2%	0.6%
											5	0.3%				5	0.3%	0.6%
											1	0.1%			1	2	0.1%	0.3%
25	12	7	1	1		6	1			1	882	57.9%	7	110	65	1064	58.6%	—
2	1	1				1		1			56	3.7%	2	5	3	66	3.6%	—
											4	0.3%		2		6	0.3%	—
1											12	0.8%		3	1	16	0.9%	—
											1	0.4%				6	0.3%	—
62	27	20	5	4	0	6	3	0	0	3	1524	100.0%	16	163	107	1810	100%	—

272(表1の通し番号。以下同じ)(6住-3)(図版番号。以下同じ)は3cmを超える大形品である。石材は、1点のみではあるがこの付近では産出しない珪質粘板岩とみられる石材があることは当時の交流・流通を知る上で注目される。他は黒曜石である。

#### (5) 石錐

長い尖部をもち、穿孔作業が想定される資料で10点(33.8g)出土した。全て機能部である先端部のみに調整剥離している。石材は全て黒曜石で完形3点、基部欠1点、先端部欠6点で先端部を欠くものが多い。

#### (6) 小形刃器

小形剥片石器のうち刃部を有する石器を一括し、397点出土した。ただし、つまみ部をもつ石匙は別に扱った。分類は刃部の加工の有無と加工状態によって3分類した。実測図上では加工・剥落痕がみられた刃部の部分を実線で示した。

小形刃器I類…剥離加工によって刃部を1辺以上あるいは、外周の1/2以上形成するもの。132点(575.5g)。

石材は黒曜石124点、チャート6点、赤チャート2点である。

小形刃器II類…剥離加工によって刃部を1辺の一部に形成するもの。86点(279.08g)。石材は黒曜石85点、チャート1点である。

小形刃器III類…剥離加工がなく、刃ぶれ・刃こぼれとみられる微細な剥離痕が認められるもの。179点(508.16g)。石材は黒曜石178点、赤チャート1点である。

うち住居址内出土は、I類112点、II類80点、III類158点である。

#### (7) 小形石匙

小形剥片石器のうち刃部を形成するものの中で、つまみ部を有する資料。住居址内より3点(26.4g)出土した。全て刃長線とつまみ部の延長

線の交差角が45度以上の横形である。石材は黒曜石2点、チャート1点であった。つまみ部と刃部各1点づつ欠損している。

#### (8) 大形石匙

頁岩など大形の原石の剥片によって刃部を形成するものの中でもつまみ部を有する資料。住居址内から4点(153.38g)出土した。形態は刃長線とつまみ部の延長線の交差角が45度以下の縦形が2点、45度以上の横形が2点ある。石材は頁岩3点、ホルンフェルス1点である。欠損状況は縦形が2点とも刃部を含む下半部、横形が刃部を欠損している。

#### (9) 大形刃器

刃部を有するもので、頁岩など大形の原石の剥片によって作られた資料。19点(1076.78g)出土した。刃部の位置によって2分類した。

I類…素材の一辺に刃部を有し、横刃のもの。17点。このうち刃部の形態は円刃(a)8点、直刃(b)9点があった。1572は刃部、472は全面に磨耗痕がみられた。

II類…素材全体の側縁を円形に加工し、円盤状になったもの。2点。

石材は頁岩17点、砂岩1点と頁岩が多く、形態上の差はない。

#### (10) 打製石斧

大形の剥片に刃部形成した後、掘削などの作業が想定される資料。82点(7177.1g)出土した。うち住居址内は63点であった。中には磨耗・線状痕などの使用痕跡が明瞭にみられるものがあり、実測図上では実線でその範囲を示した。形態分類は平面形と刃部について実施した。

I類…偶辺が直線あるいはやや外湾するもの。短冊形。30点。

刃部は直刃(a)3点、円刃(b)12点、偏刃(c)5点、破損による不明10点であった。磨耗は刃部に7点、全体に1点、風化による不明1点がある。完形16点で欠損状況は基部欠4点、刃部欠8点、下

半部欠 1 点、基部・刃部欠 1 点で、刃部が欠損している例も多い。

II類…側刃がハの字に広がるもの。撥形。8点。  
刃部は直刃 3 点、円刃 1 点、偏刃 2 点、  
不明 2 点で A類に比べ直刃の比率がやや  
高い。磨耗は刃部のみに 3 点みられた。  
完形 4 点で、基部欠 2 点、刃部欠 1 点、  
本部・刃部欠 1 点であった。

III類…基部が直線、刃部が外湾するもの。柄鏡  
形。1 点。

完形品で刃部は円刃、磨耗が刃部にある。

IV類…基部にわずかな抉りがあるもの。5点。  
刃部は円刃 4 点、不明 1 点がある。完形  
は 4 点で欠損状況は縦半・刃部欠 1 点で  
あった。

V類…側刃が弧状に内湾するもの。17点。

刃部は円刃 9 点、偏刃 1 点、不明 7 点で、  
円刃の比率が高い。磨耗は刃部 5 点、基  
部 2 点、全体 2 点みられ、風化による不  
明 1 点があった。完形は 10 点で欠損状況  
は刃部欠 6 点、下半部欠 1 点で、刃部の  
欠損が多い。

VI類…側面の抉りが顕著で、分銅形を呈するも  
の。3 点。

刃部は偏刃 1 点、不明 2 点である。磨耗  
痕がみられるものはなく、完形 1 点で欠  
損状況は刃部欠 2 点であった。

VII類…側刃の片側のみが外湾するもの。2 点。  
2 点とも完形で、刃部は直刃・円刃各 1  
点で、磨耗は刃部 1 点にあった。

VIII類…側刃が外湾し、細身で刃部がやや尖りを  
みせるもの。鰐節形。3 点。

完形は 1 点のみで、基部欠が 2 点ある。  
磨耗は全体 1 点、刃部のみ 2 点あった。  
314には平面に細かい刻み目状の敲打集  
合があることから、石器製作用の敲石に  
転用されたものとみられる。

なお破損による分類不能が 13 点あった。石材は

頁岩 78 点、砂岩 2 点、硬砂岩 1 点、粘板岩 1 点で、  
頁岩が多い点は大形石匙・大形刀器とほぼ同様  
の傾向をもつ。形態上の差異はみられなかった。

#### (11) 磨石・敲石・叩石

使用痕跡で判断される石器のうち、片手での持  
ち上げが可能な資料。このうち特徴的な使用痕跡  
から磨石・敲石・叩石の 3 種類に分類した。磨石  
は器面の上下面あるいは側面の広い範囲に使用痕  
跡が認められる資料、敲石は器面の上下面あるいは  
側面に敲打による凹みをもつ資料、叩石は敲石  
と異なり、凹みをもたず、素材となった礫の端部  
や側面に敲打によって生じたつぶれや傷をもつ資  
料とした。実測図上では、磨耗部分を実線で、敲  
打によると考えられる凹み部分や凸凹が括る範  
囲を破線で示した。また、被熱によって炭化物が  
付着した範囲を点線で示した。

磨石は 7 点 (2274g) 確認し、うち住居址内出  
土は 6 点であった。石材は、砂岩 3 点、安山岩・  
凝灰岩・頁岩・硬砂岩各 1 点である。形態分類は  
使用痕のつきかたと素材の平面形によって 4 分類  
した。

I類…表裏面が磨耗しているもの。径 5 cm 以  
上の橙円形。2 点。うち 315 (6 住-24)  
は上下面に敲打の連続によると考えられ  
る凹凸が広がる。

II類…長橙円形の使用面が 2 面以上にみられる  
もの。棒状。2 点。

III類…側刃の一部に幅 3 cm 以下の細長い磨耗面  
が発達しているもの。扁平。1 点。

IV類…全体的に使用痕が未発達もの。径 5 cm 以  
下、重さ 100 g 前後の球形。2 点。

以上の形態は石材の採集段階から形態の選択性  
が高く、使用痕跡のつき方もそれぞれ異なること  
から、各形態の使用方法が異なると考えられる。

敲石は 25 点 (10061g) 確認し、うち住居址内出  
土が 23 点であった。石材は砂岩 14 点、安山岩 9 点、  
凝灰岩・硬砂岩各 1 点で、砂岩、安山岩の割合が  
高い。素材の平面形とその使用面のつきかたに

よって2分類した。さらに、使用痕跡は凹みのみと凹み・磨耗痕双方の2分類し、凹みについてはその凹みの形態によって更に2分類した。

I類…楕円形のもの。19点。使用痕跡はA類…

凹みのみ2点、B類…凹み・磨耗痕17点であった。凹みの形態はa類…敲打の連続7点、b類…すり鉢状の凹み12点、がみられた。

II類…棒状のもの。2点。使用痕跡はB類のみがみられ、2点とも上・下・側面4面を使用している。a類1点、b類1点があった。

III類…球形のもの。4点。使用痕跡は磨耗痕・敲打痕双方がみられた。使用痕跡はA類1点(228・5・6住-31)のみで小形である。B類は3点であった。凹みはa類3点、b類1点であった。

このうち、側面に連続敲打による凸凹の広がりをもつ使用痕が見られるものが8点あり、敲石には少なくとも3種類の使用法を持ち合わせていたことを想定させる。欠損状況は割れ面が凹み部を通過する2点と、凹み部以外を通過する5点がある。また端部を欠く2点があり、これは端部への強い敲打による剥落と考えられる。

叩石は、住居址内から7点(1432g)確認した。端部の使用痕の状態で2分類した。

I類…細かい敲打痕の集合がみられるもの。2点。いずれも端部の中央よりもその周りに敲打痕の集中がみられる。

II類…剥落あるいは破損しているもの。3点。

III類…I・II双方みられるもの。1点。

なお不明が1点あった。35(2住-22)・479(7住-16)の側面の一部には集中使用による痕跡がある。629(8住-3)の側面にも全体的に均一的な磨耗痕がみられるが、石質の影響からかそれほど発達していない。

石材は粘板岩3点、砂岩・硬砂岩・頁岩・ホルンフェルス各1点と、安山岩・砂岩などの比較的

軟質な石材を使用する磨石・敲石と石材の選択に違いがみられ、石材選択の面からもこれらの石器とは使用法が異なることが考えられる。

#### (12) 台石・石皿・多孔石

砥石を除く使用痕跡で判断される石器のうち、大形かつ片手で持ち上げが困難な資料が13点あった。磨耗痕のみが見られる台石、広い凹部を敲打によって形成する石皿、敲石と同様の凹みが無数に配された多孔石に分類した。実測図では使用範囲を破線で、特に使用している範囲(磨耗が発達している範囲)を一点破線で、また、被熱によつて炭化物が付着した範囲を点線で示した。

台石は7点(13360g)で、うち住居址内からは6点出土した。石材は砂岩6点、頁岩1点である。広い面に均一的な使用痕跡が広がるもののみであるが、その中に敲打痕が見られたものが2点ある。718(9住-30)は小さな凹みが大量に残り、帯状の単位と擦痕が観察可能であり、砥石としても使用されていたと考えられる。また、他の台石と異なり、叩石と同様の硬質な石材が選択されている。以上から718は石器製作用の道具としての用途が推定される。

石皿は5点(15160g)ある。うち住居址内からは4点出土した。石材は安山岩2点、硬砂岩2点である。全て、掃出し口部分に敲打整形痕が残り、凹部の奥の方に使用の中心がみられる。法量によって推定重量5000g以上の大形品2点と、1000g前後の小形品2点に分けられる。1299(19住-14)には縁部あるいは裏面に凹みを形成し、また砥石としても利用したと考えられ、裏面に線状痕が残る。319(6住-26)は小形品ではあるが凹み部分には使用痕跡があり、裏面には敲打による凹みがみられる。出土状態では、6号住で大形と小形の双方の石皿が出土しており注目される。

多孔石は5号住より1点(4000g)のみ出土であり、これらが多くみられる北・東信地域と様相を異とする。石材は硬砂岩で、裏面は帯状の磨耗面の単位と線状痕が観察可能であり、砥石として

も使用されていたと考えられる。

### (13) 磨石片・敲石片・台石片

礫面の外周が1/8以下で、器種の断定が不可能なほど破損が著しい資料のうち、使用痕跡が礫面に認められる破片を一括した。このうち、磨耗面のみがみられる磨石片、敲打作業による凹みがある敲石片、磨耗面がありかつ推定径が10cm以上の大型で、原礫面が角ばり、持ち上げに困難が予想される台石片に分類した。これらの破片は全体像の復元が困難なため、少なくとも磨石片と認定したものの中には、敲石・叩石・台石の破片も多く含んでいる可能性が高い。磨石片は66点(1632.4g)、敲石片は6点(227.9g)、台石片は16点(842.0g)確認した。

石材は、磨石片が、硬砂岩57点、頁岩5点、砂岩3点、凝灰岩1点であった。敲石片は全て硬砂岩であり、台石片は硬砂岩が15点、頁岩が1点であり、石材の比率は磨石や敲石、台石の石材比率とほぼ同一である。また頁岩の磨石片はその石材と破片の形態から叩石のものと考えられる。

### (14) 石錘

紐掛けの部位があり、錘としての機能が想定される資料。磨耗が著しい1点を除く3点が礫石錘である。その法量から小形が2点、中形・大形各1点ある。小・中形2点は長軸端部を打ち欠き、1点は磨耗が著しく不明である。大形は一方の打ち欠き部を欠損しているため、詳細は不明であり、未製品の可能性もある。重量は小形が平均15.65gであり、中形は55.44g、大形は推定270g前後と考えられる。打ち欠き部分の幅は、320(6住-14)が0.9・1.0cm、481(7住-22)が1.2・1.4cm、1428(21住-14)が0.6・0.6cm、1493(23住-5)が1.5cm、打ち欠き間の最短距離は320が4.3cm、481が3.7cm、1428が6.5cm、1493が不明である。石材は粘板岩2点、砂岩・頁岩各1点と細粒・硬質で板状の石材が好まれていたようである。

### (15) 磨製石斧

全面研磨加工によって刃部が形成された資料。

住居址内から5点出土し、石材は蛇紋岩3点、硬砂岩・頁岩各1点であった。I類…短冊形の定角式、3点。II類…乳棒状、1点。刃部小片1点であった。小形品、完形品ではなく、欠損状況はI類が刃部や欠損2点、上半欠1点あり、II類は下半を欠いている。II類1495(23住-4)は敲打整形痕が全面にみられる。1362(20住-14)は被熱による表面の風化が激しい。

### (16) 砥石

線状・帯状の磨耗面を有し、使用面に明瞭な線状痕がみられる資料。2点(3273g)出土し、うち1点は住居址内出土である。重量は全て1500g以上で、幅5cm前後の帯状の磨耗面の単位が認められることから、据え置きで使用されたものだろう。石材は砂岩・硬砂岩各1点である。しかし、台石・石皿・多孔石とした176・718・1299にも砥石と同じ使用痕跡がみられ、砥石と同じ使用痕跡がみられ、砥石としての機能をもった石器は総計で5点となる。

### (17) その他

14号住より棒状礫1点(650g)、住居址内で被熱礫4点(575.5g)、31号住で埋甕の蓋石として利用されていた礫(8000g)がある。棒状礫は硬砂岩の角柱で、被熱し黒く変色している。被熱礫は焼失住居址内からの出土である。蓋石は板状の硬砂岩で使用痕はみられない。棒状礫、蓋石とも角礫なので露頭で採集したかあるいは河川敷などで打ち割った礫を運んできたものと考えられる。

## 2 石器群の総合的検討

### (1) 石材の検討

器種別の石材の個数・重量について表3・4に示した。黒曜石は個数では最も出土数が多く、剥片の75.2%、小形剥片石器である石鎚・小形刃器・小形石匙・石錐の97.2%をしめる。黒曜石の原産地である、星ヶ塔方面へ約30kmと徒歩1日で往復可能な範囲にある。しかし、諏訪湖盆や塙尻南部をはじめとするルート沿いには多くの遺跡が存在

表 3 石材・器種別個数組成表

四、石墨点金块

表4 石材・器種別重量組成表（単位はg）

卷之三

しており、これらの遺跡を介して運搬されたものと考えられる。また、熊久保遺跡もここから他の遺跡への中継地点的な役割をもっていたらしく、原石をはじめ、過去の調査ではこぶし大の黒曜石の集石も見つかっている。これらの原石は、原石自体の重量が平均15g前後と小ぶりのものが多いこと、剥片や小形刃器に原礫面を残すものが多いことから、転運あるいは産出地から分配可能な小形品を採集してきたものであろう。

チャートは黒～灰色・赤色の二種があり、前者をチャート、後者を赤チャートとして記載した。

採集地及び石質には差がない。しかし、その色によって石材を選択していたかどうかはこれから課題だろう。これらの石材は付近の鎮川を含む奈良井川水系にて採集可能であり、実際に石器として利用されているものは、不純物の混入が少なく良質である。また、利用器種には、小形石匙・小形刃器に一定量みられ、石鎌・石錐への利用はみられない。チャートは黒曜石と同様に割れ口が鋭いが、黒曜石に比べて、硬質で加工しにくい性質を持っている<sup>(1)</sup>。おそらく、機能的に石鎌・石錐などの鋭利さが重要であり、かつ一時に大量消費が求められる道具に対しては、黒曜石が求められ、刃の耐久性が必要とされる刃器に対しては、多少、製作に手間がかかってもチャートが好まれていたと考えられる。

砂岩・硬砂岩は重量比率が最も高い。さらに炉石や埋甕の蓋石・配石の石材にも利用されていることから、これらの重量に占める比重はかなり高いものになろう。砂岩・硬砂岩のはほとんどは、円盤であり、付近の鎮川水系で採集可能かつその量も最も豊富である。磨石・敲石・石皿・台石・砥石といった、作業の際、石材そのものが持つ重量がその機能に必要な条件となる石器に多く利用されている。

安山岩・凝灰岩は、奈良井川水系での採集が困難な石材であり、高ポットチ山塊の東山山麓の水系での採集が可能な石材である。利用器種も石皿・

磨石・敲石と限られており、機能あるいは用途を考慮した選択性の強い石材と考えられる。

頁岩・粘板岩は大形刃器や打製石斧の多くに利用されているものの、剥片として採集されたものは剥片個数全体の8%、重量全体の33%と低く、打製石斧・大形刃器・大形石匙といった完成品の重量8096.86gと比べても、原石・剥片の重量は2778.46gと少ない。しかし、この岩石も付近の鎮川水系での採集が可能であり、河川敷や台地下の低地部分といった別の場での製作・搬入が考えられる。

粘板岩は頁岩よりも緻密かつ硬質である。石鍤・叩石の個数全体の45%に利用されており、石材の選択性が強い。

ホルンフェルスは石英岩類の貫入が付近の山塊の所々に存在するため、数量は少ないが付近での採集が可能な石材である。大形石匙・叩石各1点がある。

珪質粘板岩は石鎌1点のみである。木曾地方や飛騨方面にみられ、いわゆる下呂石の可能性もあり、これらの地域との関わりを考える上で注目すべき資料であろう。

蛇紋岩は磨製石斧の3点(288.36g)であるが、良質な蛇紋岩はヒスイに代表される糸魚川水系での採集が可能だけである。付近の山形村淀の内遺跡では土坑内でもヒスイ製品の一括出土例もあり、これらの地域との交流の中で製品としてもたらされてきたものだろう。しかし、砥石もある程度あることから刃部の研ぎ直し等の作業は行われていたものと考えられる。

## (2) 石器組成の検討

### —松本平西南山麓の縄文中期石器組成—

#### a はじめに

唐草文系土器<sup>(2)</sup>の地域的な特徴が明らかになりつつある中、ここでは松本平西南山麓における石器組成の様相を述べることによって本遺跡の石器群を位置づけたい。石器の組成研究の意義と成果そして問題点については、小林康男氏・小池聰

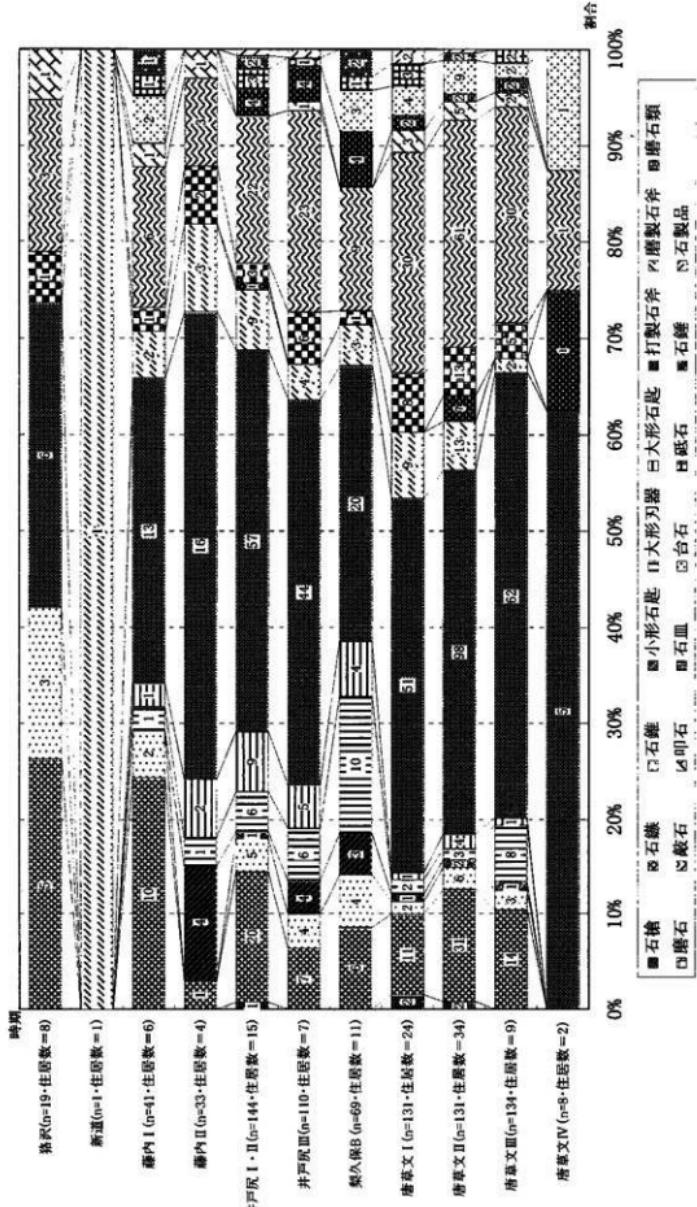


図1 器種別・縦年別石器個数組成図

氏の論考に詳しい（小林1974・1975、小池1999）。曾利・唐草文系土器分布圏の巨視的な組成とその分析の視点と課題については三上徹也氏の論考があり（三上2002）、本稿での分析の視点もこれらをふまえつつ、さらに地域・遺跡の立地・素材石材の特徴・資料の豊富さなどの条件を加えることによって本地域の石器組成を明確にしていきたい。

第一に地域的な条件である。松本平西南山麓地域の範囲は、具体的には大河川である奈良井川と梓川にはさまれ、梓川・鎮川・唐沢川といった中小河川の扇状地が広がる地域であり、行政区域では、朝日村・山形村・波田町と松本市・塙尻市の一部が該当する。この地域を対象とした理由は以下のとおりである。①各河川の流域には少なくとも20軒以上の堅穴住居址が発掘された縄文時代遺跡が存在していること、②近年の発掘作業などによって当該地域の遺跡のまとまった資料を得ることができたこと、③複雑な岩石帯ではなく古生山地のみの岩石帯を通じて河川を形成していることから採集可能な河川転疊の石材が同じであり、かつ転疊の種類の割合や形態・大きさ・石質も似通つ

ている。さらに石材の特徴がはっきりしているため、選択性が比較的明瞭であり、遺跡間の採集石材の違いなどによる石器組成への影響を考慮しなくても良いこと、④当該地域は礫層の上にローム層が厚く覆い、地山などへの礫の混入の可能性が少ないと、の4点が挙げられる。

第二に遺跡の立地の条件として、山形村三夜塚遺跡・同殿村遺跡・同淀ノ内遺跡・塙尻市小段遺跡の4遺跡を抽出した。これらの4遺跡と本遺跡との共通点は以下のとおりである。①集落の中心となる存続期間が中期であり、出土遺構・遺物数のピークはいずれも唐草文期であること、②各遺跡間は一定距離離れており、遺跡の規模から拠点的な集落と考えられること、③遺跡の立地が小河川の近辺の小台地上に築かれていることなど同一であること、④①～③よりこれらの集落同士の関係が深く、1つの領域として捉えられること、⑤耕作や後世の搅乱は多少考えられるものの、河川の氾濫などによる削平や破壊、礫の混入はみられないこと、⑥採集資料や小規模調査のみの資料ではなく、近年の大規模調査によるまとまった資料

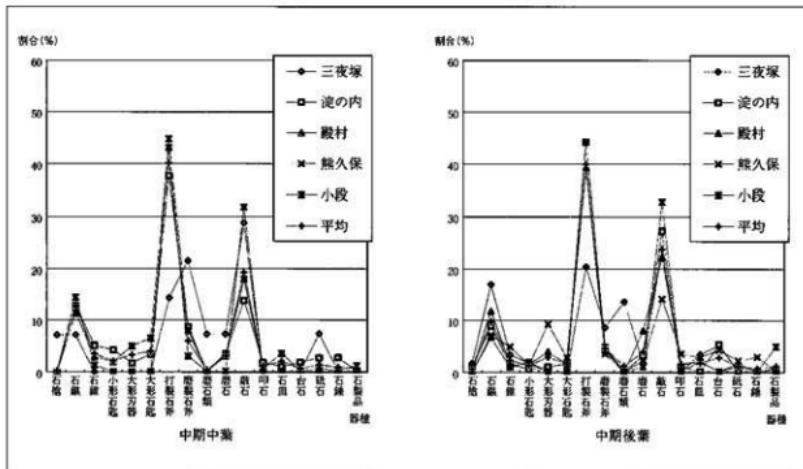


図2 松本平西南山麓縄文中期主要5遺跡における器種別・遺跡別石器個数組成図

の報告が出ていること、が挙げられる。

時期記載については本報告の土器の土器型式をとり、石器の帰属時期は、住居址内出土土器に拠った。ただし、中期初頭（梨久保期）については、遺物の出土はみられるものの、良好な遺構の報告例はなかったため、猪沢～唐草文IV期までの時期について分析を行った。このうち、調査者による器種認定基準がある程度明瞭かつ生業内容が道具に表れやすい代表的な石器を仮に抽出した。具体的な器種では石槍・石鎌・打製石斧・大形刃器・小形石匙・大形石匙・石錐・磨製石斧・磨石・磨石類<sup>(3)</sup>・敲石・叩石・石皿・台石・砥石・石錐である。このうち、大形刃器・大形石匙・小形石匙・磨石・敲石・叩石・石皿・台石については、極力本報告の認定基準に拠った。

#### b 松本平西山南麓の中期石器組成概観

本来ならば、熊久保遺跡をはじめとする遺跡内における遺構ごとの関係などについても触れるべきであろうが、当該地域では、個々の遺跡範囲が広大であり、部分的な調査が主で全体像がいまだに把握できないため、発掘調査範囲内での比較は、困難であると考えられる。そのため、遺跡群内の時期的空間的な比較、他の周辺遺跡群との空間的な比較の3点についての概観を行った。遺跡群全体の器種別・編年別個数組成図を図1に、遺跡群

内の器種別・遺跡別個数組成図・表を図2・表5に示した。

#### 1) 遺跡群内の時間的比較

中期中葉では45軒424点、中期後葉では85軒698点の石器を分析の対象とした。石槍は中期中葉では三夜塚遺跡の1点のみだが、中期後葉になると4点に増加する。しかし、組成としての割合はかなり少ない。石鎌・打製石斧の割合は中・後葉を通して前者が10%余、後者が約40%と大きな変化がない。磨製石斧・磨石・台石はほぼ5%前後、叩石・砥石も3%前後と割合は低いものの各時期一定量存在している。唐草文期に敲石は微増する一方で、大形刃器と大形石匙・小形石匙は梨久保B期を境に減少に転ずる。サンプル数が少ないため、判断はできないが今後注意を要しよう。また台石・砥石は認定基準が調査者によって差が大きいため、割合が高くなる可能性を含んでいる。

#### 2) 遺跡群内の空間的比較

石錐は淀の内・熊久保遺跡の西南山麓南北にみられる。分析対象とはなっていないが、淀の内遺跡に接近する洞遺跡からも数点出土例があり、加工状態・形態・重量も類似しており、注意が必要であろう。また、石製品では、淀の内遺跡でのヒスイ製品とヒスイ剥片の出土例がある。一方で熊久保遺跡ではヒスイ剥片の出土例ではなく、石製装

表5 松本平西山南麓文中期主要5遺跡における器種別・遺跡別石器個数組成表

遺跡名	中期中葉						中期後葉							
	三夜塚	淀の内	般村	熊久保	小段	小計	三夜塚	淀の内	般村	熊久保	小段	小計	所有数	
住居址	2	20	13	6	4	45	13	26	13	21	10	85		
石槍	1	0	0	0	0	1	0.02	1	2	1	0	0	0.06	
石鎌	1	15	23	4	11	54	1.20	10	17	24	10	7	0.80	
石鎌	0	6	6	2	1	15	0.33	2	3	3	7	1	0.19	
小形石匙	0	5	4	0	0	9	0.20	1	1	3	2	2	0.11	
大形刃器	0	2	10	2	0	14	0.31	0	2	8	13	0	0.27	
大形石匙	0	4	13	0	0	17	0.38	0	3	3	4	0	0.12	
打製石斧	2	44	87	3	34	170	3.78	12	85	80	56	46	279	3.28
磨製石斧	3	10	6	0	6	25	0.56	5	8	9	5	5	32	0.38
唐草文	1	0	0	0	0	1	0.02	0	0	0	0	0	0	0.09
磨石	1	4	6	2	0	13	0.29	1	6	15	3	1	27	0.32
磨石	4	16	36	1	24	81	1.80	14	52	45	20	34	185	1.94
叩石	0	2	1	1	0	4	0.09	0	2	3	5	0	10	0.12
石錐	0	1	7	0	0	8	0.18	2	0	4	4	2	12	0.14
台石	0	2	0	0	0	2	0.04	0	10	0	6	0	18	0.22
砥石	1	3	1	0	0	5	0.11	0	0	3	3	1	7	0.08
石錐	0	3	0	0	0	3	0.07	0	0	0	4	0	4	0.05
石製品	0	0	2	0	0	2	0.04	0	1	1	0	5	7	0.08
小計	14	117	202	15	76	424	9.42	59	192	200	142	104	696	8.21

註1) 所有数は各器種を住居址で割った数値であり、住居1軒当たりの平均所有数を表す。

飾品の出土例も少ない。また、本遺跡では土製品や土偶の出土例も少ないとから、遺跡間の機能の違いも考慮する必要があろう。しかし、個々の遺跡については、まだ全体が把握されたわけではないので、今後の調査によっては、大きく変化する可能性を含んでいる。

### 3) 周辺の遺跡群との空間的比較

石鎚については、その割合が高い諫訪湖盆や木曾地域とやや様相が異なる。打製石斧については比率が極端に高い伊那地方とも異なる。石錐は松本平東部では少ないが、形態や大きさ・重さが同じものが木曾地方や飛騨地方に一定量みられる。磨石・叩石・石皿・台石については各5%前後の低い割合を示すものの、常に一定量みられる点はどの遺跡でも共通しているようである。

### 3まとめ

まず、本遺跡を含め、立地条件に共通性のある遺跡群の生業にかかわりのある石器組成のかなりの類似性が指摘できよう。その石器群の様相を概観すると、戴石・打製石斧の多さは、その使用存続期間の問題をふまえても、比率が高く、これらの石器を利用した生業活動、特に植物採集活動が活発に行われていたものと考えられる。特に、石鎚の比率の少なさは、この地域の特徴ともいえよう。また、石錐・石錐・刃器の安定的な存在は、遺跡内での植物質・動物質素材の加工が活発に行

われていたのであろう。しかし、唐草文期に入ると大形刃器・石匙が減少に転じる点は何らかの画期がありそうである。熊久保遺跡もこのような地域内の特徴をかなり反映している遺跡であり、本地域内でかなり重要な役割を担っていたものと考えられる。

また、黒曜石製品や安山岩・凝灰岩の石器の移動は、東山山麓との交流によってもたらされたものであり、さらにその中でも重量のある石皿・磨石・戴石を運搬してくることには、東山山麓との交流のほかに、これらの石器に何らかの機能的な意味がふくまれていたものと考えられる。蛇紋岩の磨製石斧は、淀の内遺跡のヒスイ製品を含め、日本海地域との関係が注目される。一方、珪質粘板岩の石鎚は、木曾地域や飛騨地域との関係が伺える資料として注目される。これらの石材・石器は近隣の集落との交渉の中で広域の流通ネットワークによってもたらされたのだろう。

今後の課題としては、本遺跡をふくめ、西南山麓の遺跡群の調査範囲はまだ、遺跡のごく一部に過ぎず、対象となった資料の分析もまだ緒についたばかりであり、より一層の正確な調査と分析による研究が求められよう。また、本遺跡を含め松本平西南地域の遺跡は遺跡周辺の地形や遺跡自体も改变をさほど受けでておらず、純文人の活動領域全体を含めた当該地域の生業のあり方の研究が期待されよう<sup>(4)</sup>。

### 註

- (1) 石材鑑定は鳥羽嘉彦氏にご依頼した。また石材の性質や分布について御教示を賜った。改めて謝意を表します。
- (2) 小稿では「熊保式」を使わず、今まで一般的に呼称されてきた「唐草文系」で統一した。
- (3) 磨石類は三夜塙遺跡での分類基準で、本分類基準の戴石・磨石双方を含んでいる。
- (4) 本地域内に所在する松本市川西開田遺跡では松本市教育委員会による1998・99年の発掘の結果、純文時代中期初頭～中葉の良好な資料が出土している(2003年度報告書刊行予定)。また立地条件が異なるため、今回分析の対象とはしなかった低地部の松本市くまのかわ遺跡、同牛の川遺跡でも中期後半の集落址がみつかっている。これら、同一地域内に所在する時間的・空間的に異なる遺跡の出土資料の比較検討することによって、さらに本地域の様相が明らかになっていくだろう。

## 引用・参考文献

- 青沼博之・百瀬忠幸 1987 「殿村遺跡」、山形村教育委員会
- 小口達志 1993 「小段遺跡発掘調査概報」、塙尻市教育委員会
- 神澤昌二郎ほか 1980 「松本市笹賀牛の川遺跡」、松本市教育委員会
- 小池 啓 1999 「遺物研究 石器組成論」、「縄文時代」10、縄文時代文化研究会、pp44-53
- 小林康男 1974・1975 「縄文時代生産活動の在り方（1）（2）（3）（4）」『信濃』26-12、27-2・4・5、信濃史学会
- 1979 「小段遺跡」、塙尻市教育委員会
- 1983 「組成論」「縄文文化の研究」7、雄山閣、pp16-27
- 高桑俊雄 1982 「くまのかわ遺跡」、松本市教育委員会
- 竹原 学ほか 1997 「小池遺跡Ⅱ・ツ家遺跡緊急発掘報告書」松本市文化財調査報告 126、松本市教育委員会
- 樋口昇一・長崎治・和田和哉 1997 「淀の内遺跡」、山形村教育委員会
- 平林 彰ほか 1993 「中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書 11」、長野県埋蔵文化財センター
- 広田和穂 2001 「吉野遺跡群」上松町教育委員会
- 藤沢宗平ほか 1971 「長野県東筑摩郡山形村洞遺跡緊急発掘報告書」、長野県東筑摩郡山形村教育委員会
- 町田勝則ほか 1998 「上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 4」、長野県埋蔵文化財センター
- 三上徹也 2002 「曾利・唐草文土器の分布図と石器組成分布図の整合」『信濃』54-12、信濃史学会、pp63-76
- 水沢教子 2000 「上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 24」、長野県埋蔵文化財センター
- 百瀬忠幸ほか 2001 「中山間総合整備事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書」大桑村教育委員会
- 和田和哉 2001 「淀の内遺跡Ⅳ」、山形村教育委員会
- 2002 「三夜坂遺跡Ⅲ」、山形村教育委員会

表6 熊保久遠跡第10次発掘調査出土石器観察一覧表

番号	出土地点	地質分類	層	種	形	計	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石	打	大きさ状況		出土地	
													( ) 内は現存値			
1	2往	壤土	くき砂岩形	14	1.7	0.5	1.26	1.5	0.5	3.96	塊状石	尖形				
2	2往	壤土	石頭	19	1.3	0.5	0.96	1.5	0.5	4.06	塊状石	尖形	1			
3	2往	壤土	石頭	1	(1.4)	1.7	0.5	(0.86)	1.5	0.5	1.16	塊状石	上半尖	2		
4	2往	壤土帶(1層)	石頭	32	1.8	1.5	5.76	1.5	1.5	5.76	塊状石	先端尖	16			
5	2往	壤土	石頭	47	2.4	1.1	10.58	1.5	1.1	10.58	塊状石	先端尖	17			
6	2往	壤土帶(1層)	小形刃部	19	1.6	0.5	(1.72)	1.5	1.6	1.72	塊状石	半尖	3			
7	2往	壤土帶(1層)	小形刃部	21	1.5	0.4	1.04	1.5	1.5	1.04	塊状石	尖形				
8	8	2往	壤土帶(1層)	小形刃部	30	1.5	0.8	3.96	1.5	1.5	3.96	塊状石	尖形			
9	9	2往	壤土	小形刃部	26	2.3	0.7	3.60	1.5	2.3	3.60	塊状石	尖形	4		
10	15	2往	壤土	小形刃部	42	2.3	1.5	6.94	1.5	2.3	6.94	塊状石	尖形	5		
11	11	2往	壤土	小形刃部	27	2.5	0.8	3.00	1.5	2.5	3.00	塊状石	尖形	6		
12	12	2往	壤土	小形刃部	35	2.2	0.5	3.30	1.5	2.2	3.30	塊状石	尖形	7		
13	13	2往	壤土	小形刃部	20	1.8	0.5	1.64	1.5	1.8	1.64	塊状石	半尖	8		
14	14	2往	壤土	小形刃部	26	2.4	0.4	6.00	1.5	2.4	6.00	塊状石	尖形			
15	15	2往	壤土	小形刃部	25	2.4	0.5	5.60	1.5	2.4	5.60	塊状石	尖形			
16	16	2往	壤土帶(1層)	小形刃部	23	1.9	0.5	3.88	1.5	1.9	3.88	塊状石	尖形			
17	17	2往	壤土	小形刃部	16	1.6	0.5	0.64	1.5	1.6	0.64	塊状石	尖形	9		
18	18	2往	壤土	小形刃部	22	2.3	0.7	3.29	1.5	2.3	3.29	塊状石	尖形	10		
19	19	2往	壤土	小形刃部	22	1.6	0.5	1.16	1.5	1.6	1.16	塊状石	尖形	11		
20	20	2往	壤土	小形刃部	26	2.3	0.5	2.44	1.5	2.3	2.44	塊状石	尖形			
21	21	2往	壤土帶(1層)	小形刃部	20	1.4	0.4	0.96	1.5	1.4	0.96	塊状石	尖形	12		
22	22	2往	壤土帶(1層)	小形刃部	27	1.4	0.7	1.96	1.5	1.4	1.96	塊状石	尖形	13		
23	23	2往	壤土帶(1層)	小形刃部	21	1.7	0.7	2.04	1.5	1.7	2.04	塊状石	尖形			
24	24	2往	壤土帶(1層)	小形刃部	26	2.2	1.1	4.68	1.5	2.2	4.68	塊状石	尖形			
25	25	2往	壤土帶(1層)	小形刃部	29	1.6	0.7	2.76	1.5	1.6	2.76	塊状石	尖形			
26	26	2往	壤土	小形刃部	33	1.4	0.5	1.94	1.5	1.4	1.94	塊状石	尖形	14		
27	27	2往	壤土	小形刃部	15	1.2	1.0	1.42	1.5	1.2	1.42	塊状石	尖形	15		
28	28	2往	壤土	小形刃部	30	2.3	1.0	5.28	1.5	2.3	5.28	塊状石	尖形			
29	29	2往	壤土	小形刃部	25	1.4	0.4	1.56	1.5	1.4	1.56	塊状石	尖形			
30	30	2往	壤土	小形刃部	32	1.2	0.4	0.80	1.5	1.2	0.80	塊状石	尖形	16		
31	31	2往	北西1層	小形刃部	22	1.2	0.4	0.80	1.5	1.2	0.80	塊状石	尖形			
32	32	2往	壤土	打制石斧	12	4.5	4.7	2.1	1.5	4.5	2.1	直立斧	方頭やや尖	16		
33	33	2往	壤土	打制石斧	19	4.9	2.4	1.48	1.5	4.9	1.48	直立斧	尖形	20		
34	34	2往	壤土	磨石	9	(6.8)	6.1	5.1	(2.0)	(6.8)	6.1	5.1	研磨石	半尖	21	
35	35	2往	壤土	磨石	13	3.5	1.8	1.06	1.5	3.5	1.06	研磨石	尖形	22		
36	36	2往	石	剥片	22	2.5	0.4	2.32	1.5	2.5	2.32	直立斧				
37	37	2往	湖底土(1層)	剥片	17	2.5	0.7	2.22	1.5	2.5	2.22	直立斧				
38	38	2往	湖底土(1層)	剥片	25	1.8	0.4	1.36	1.5	1.8	1.36	直立斧				
39	39	2往	湖底土(1層)	剥片	17	1.0	0.4	0.68	1.5	1.0	0.68	直立斧				
40	40	2往	湖底土(1層)	剥片	19	1.6	0.4	0.96	1.5	1.6	0.96	直立斧				
41	41	2往	湖底土(1層)	剥片	20	1.9	0.5	1.94	1.5	1.9	1.94	直立斧				
42	42	2往	湖底土(1層)	剥片	27	1.5	0.5	1.50	1.5	1.5	1.50	直立斧				
43	43	2往	湖底土(1層)	剥片	13	1.0	0.2	0.28	1.5	1.0	0.28	直立斧				
44	44	2往	湖底土(1層)	剥片	15	1.0	0.2	0.28	1.5	1.0	0.28	直立斧				
45	45	2往	湖底土(1層)	剥片	18	1.2	0.5	0.60	1.5	1.2	0.60	直立斧				
46	46	2往	湖底土(1層)	剥片	20	0.8	0.5	0.36	1.5	0.8	0.36	直立斧				
47	47	2往	湖底土(1層)	剥片	24	1.8	0.7	2.88	1.5	2.4	2.88	直立斧				
48	48	2往	湖底土(1層)	剥片	24	1.8	0.9	3.76	1.5	2.4	3.76	直立斧				
49	49	2往	湖底土(1層)	剥片	29	2.1	1.5	5.52	1.5	2.1	5.52	直立斧				
50	50	2往	湖底土(1層)	剥片	33	1.3	0.7	2.22	1.5	3.3	1.3	直立斧				
51	51	2往	湖底土(1層)	剥片	18	0.9	0.2	0.26	1.5	1.8	0.9	直立斧				
52	52	2往	湖底土(1層)	剥片	21	0.9	0.6	1.24	1.5	21	0.9	直立斧				
53	53	2往	湖底土(1層)	剥片	37	2.4	0.7	3.84	1.5	37	2.4	直立斧				
54	54	2往	湖底土(1層)	剥片	41	2.3	0.3	3.50	1.5	41	2.3	直立斧				
55	55	2往	湖底土(1層)	剥片	28	1.3	0.5	1.76	1.5	28	1.3	直立斧				
56	56	2往	湖西1層	剥片	29	1.2	0.6	2.52	1.5	29	1.2	直立斧				
57	57	2往	湖西1層	剥片	37	2.3	1.3	10.62	1.5	37	2.3	直立斧				
58	58	2往	湖西1層	剥片	30	2.4	0.7	4.80	1.5	30	2.4	直立斧				
59	59	2往	湖西1層	剥片	29	2.9	0.7	4.96	1.5	29	2.9	直立斧				
60	60	2往	湖西1層	剥片	30	2.7	0.5	3.84	1.5	30	2.7	直立斧				
61	61	2往	湖底土(1層)	剥片	20	2.7	0.4	1.80	1.5	20	2.7	直立斧				
62	62	2往	湖底土(1層)	剥片	34	3.3	0.3	9.39	1.5	34	3.3	直立斧				
63	63	2往	湖底土(1層)	剥片	41	1.9	1.3	14.06	1.5	41	1.9	直立斧				
64	64	2往	湖底土(1層)	剥片	37	2.3	1.3	10.62	1.5	37	2.3	直立斧				
65	65	2往	湖底土(1層)	剥片	48	1.7	0.9	5.96	1.5	48	1.7	直立斧				
66	66	2往	湖底土(1層)	剥片	25	2.4	0.5	2.54	1.5	25	2.4	直立斧				
67	67	2往	壤土	剥片	16	0.6	0.4	0.54	1.5	16	0.6	直立斧				
68	68	2往	壤土	剥片	20	1.5	0.5	0.96	1.5	20	1.5	直立斧				
69	69	2往	壤土	剥片	20	1.2	0.7	1.34	1.5	20	1.2	直立斧				
70	70	2往	壤土	剥片	23	1.8	1.0	2.96	1.5	23	1.8	直立斧				
71	71	2往	壤土	剥片	24	2.8	0.7	5.24	1.5	24	2.8	直立斧				
72	72	2往	壤土	剥片	39	2.0	0.6	5.52	1.5	39	2.0	直立斧				
73	73	2往	壤土	剥片	32	1.7	0.5	3.60	1.5	32	1.7	直立斧				
74	74	2往	壤土	剥片	31	1.3	0.7	2.86	1.5	31	1.3	直立斧				
75	75	2往	壤土	剥片	20	1.5	0.2	0.64	1.5	20	1.5	直立斧				
76	76	2往	壤土	剥片	24	1.8	0.5	1.92	1.5	24	1.8	直立斧				
77	77	2往	壤土	剥片	33	1.5	0.5	1.56	1.5	33	1.5	直立斧				
78	78	2往	壤土	剥片	16	1.5	0.5	0.96	1.5	16	1.5	直立斧				
79	79	2往	壤土	剥片	15	2.4	0.5	2.52	1.5	15	2.4	直立斧				
80	80	2往	壤土	剥片	18	2.1	0.3	0.90	1.5	18	2.1	直立斧				
81	81	2往	壤土	剥片	27	1.7	0.5	1.82	1.5	27	1.7	直立斧				
82	82	2往	壤土	剥片	17	1.6	1.0	1.64	1.5	17	1.6	直立斧				
83	83	2往	壤土	剥片	32	1.8	0.9	4.04	1.5	32	1.8	直立斧				
84	84	2往	壤土	剥片	28	1.5	0.9	1.86	1.5	28	1.5	直立斧				
85	85	2往	壤土	剥片	23	1.9	0.5	2.72	1.5	23	1.9	直立斧				
86	86	2往	壤土	剥片	18	3.4	0.8	2.60	1.5	18	3.4	直立斧				
87	87	2往	壤土	剥片	27	2.0	1.1	5.36	1.5	27	2.0	直立斧				
88	88	2往	壤土	剥片	23	1.9	0.7	2.20	1.5	23	1.9	直立斧				
89	89	2往	壤土	剥片	24	1.5	0.5	2.24	1.5	24	1.5	直立斧				
90	90	2往	壤土	剥片	17	1.5	0.7	1.92	1.5	17	1.5	直立斧				
91	91	2往	壤土	剥片	20	1.8	1.5	4.16	1.5	20	1.8	直立斧				
92	92	2往	壤土	剥片	3.8	0.8	0.5	1.86	1.5	3.8	0.8	直立斧				

## 第Ⅳ章 調査成果の分析研究

番号	組成割合	地名・番号	物　　立	認　　別	分　　類	基準(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石　　材	欠損状況	備　　考	固有寸
93	93	2段	瓦上	銅片	3.5	0.6	0.5	0.96	黒曜石				
94	94	2段	瓦上	銅片	1.2	1.7	0.5	0.82	黒曜石				
95	95	2段	北西1層	銅片	6.1	1.5	0.5	5.59	蜜碧玉				
96	96	2段	北西1層	銅片	3.8	2.8	1.5	10.36	黒曜石				
97	97	2段	北西1層	銅片	3.1	1.5	0.5	1.94	黒曜石				
98	98	2段	北西1層	銅片	2.0	1.0	0.3	0.50	川端石				
99	99	2段	瓦上	銅片	1.8	2.0	0.5	1.96	セチャート				
100	100	2段	無西1層	銅片	4.3	4.4	0.8	17.82	黒曜石				
101	101	2段	北西1層	銅片	3.8	3.0	1.1	14.84	黒曜石				
102	102	2段	北西1層	銅片	3.2	2.4	0.6	4.82	黒曜石				
103	103	2段	北西1層	銅片	3.2	2.1	0.6	5.96	黒曜石				
104	104	2段	瓦上	合石片	8.8	6.6	2.8	97	黒曜石				
105	1	3段	瓦上	小形切石	1.8	1.3	0.5	1.86	黒曜石				
106	2	3段	瓦上	小形切石	2.6	1.6	0.5	1.82	黒曜石				2
107	3	3段	瓦上	小形切石	4.2	1.8	1.3	7.84	黒曜石				
108	4	3段	1～2層(壁)	小形切石	2.9	1.6	0.4	1.56	黒曜石				3
109	5	3段	瓦上	小形切石	4.4	3.0	1.9	11.82	黒曜石				
110	6	3段	瓦上	大形切石	5.7	5.2	1.2	34.44	セチャート				
111	7	3段	1～2層(壁)	銅片	2.5	1.6	1.3	5.52	黒曜石				
112	8	3段	1～2層(壁)	銅片	3.7	1.5	0.7	2.27	黒曜石				
113	9	3段	1～2層(壁)	銅片	3.9	2.5	1.7	14.88	黒曜石				
114	10	3段	1～2層(壁)	銅片	2.8	2.5	1.2	7.50	黒曜石				
115	11	3段	西1層	銅片	2.0	1.0	0.3	1.08	青石				
116	12	3段	西1層	銅片	1.5	1.1	0.4	0.62	黒曜石				
117	13	3段	瓦上	銅片	8.0	6.0	1.3	125	青石				
118	14	3段	瓦上	銅片	7.7	4.7	1.2	40.76	黒曜石				
119	15	3段	瓦上	銅片	4.6	3.5	0.9	11.34	黒曜石				
120	16	3段	瓦上	銅片	4.0	1.1	1.3	6.16	黒曜石				
121	17	3段	瓦上	銅片	3.9	1.8	1.3	5.96	黒曜石				
122	18	3段	瓦上	銅片	3.1	1.6	1.0	4.46	黒曜石				
123	19	3段	瓦上	銅片	2.9	1.6	1.3	5.62	黒曜石				
124	20	3段	瓦上	銅片	2.3	1.4	0.3	0.58	黒曜石				
125	21	3段	瓦上	銅片	1.9	2.8	0.6	3.32	黒曜石				
126	22	3段	瓦上	銅片	4.4	3.7	2.0	16.76	黒曜石				
127	23	3段	瓦上	銅片	2.3	2.3	0.5	1.56	黒曜石				
128	24	3段	瓦上	銅片	1.6	2.8	0.5	2.58	黒曜石				
129	25	3段	瓦上	銅片	2.1	0.9	0.5	0.62	黒曜石				
130	26	3段	瓦上	銅片	2.3	1.3	1.0	2.52	黒曜石				
131	27	3段	瓦上	銅片	2.3	1.3	0.3	1.14	黒曜石				
132	28	3段	瓦上	銅片	2.2	1.3	0.3	0.88	黒曜石				
133	29	3段	瓦上	銅片	2.3	1.3	0.3	0.78	黒曜石				
134	30	3段	瓦上	銅片	2.5	1.3	0.3	0.86	黒曜石				
135	31	3段	瓦上	銅片	1.9	0.8	0.3	0.44	加那利				
136	32	3段	瓦上	銅片	3.8	0.8	0.4	0.96	加那利				
137	33	3段	瓦上	銅片	3.5	2.7	0.4	6.42	加那利				
138	34	3段	瓦上	銅片	3.2	2.6	0.7	4.06	青石				
139	35	3段	瓦上	銅片	2.6	2.3	0.5	1.66	黒曜石				
140	36	3段	瓦上	銅片	1.5	1.2	0.8	1.50	川端石				
141	37	3段	「尋」	セチャート	3.3	4.1	1.5	17.00	黒曜石				
142	38	3段	瓦上	セチャート	2.7	2.7	0.8	7.42	黒曜石				
143	39	3段	瓦上	セチャート	4.4	2.5	1.5	14.16	黒曜石				
144	1	4段	瓦上	石墨	■ (1.7)	0.9	0.5	(0.92)	黒曜石	上手欠			1
145	2	4段	瓦上	石墨	■ 1.8	1.2	0.4	0.48	黒曜石	安形			2
146	3	4段	瓦上	銅片	3.7	1.8	0.8	6.50	蜜碧玉				
147	4	4段	瓦上	銅片	2.6	1.4	0.8	2.76	黒曜石				
148	5	4段	瓦上	銅片	1.8	1.3	0.4	0.78	黒曜石				
149	6	4段	瓦上	銅片	2.0	1.2	0.6	1.40	黒曜石				
150	7	4段	瓦上	銅片	1.7	1.0	0.7	0.98	黒曜石				
151	8	4段	瓦上	銅片	2.4	1.3	0.5	1.49	黒曜石				
152	9	4段	瓦上	銅片	2.5	1.5	0.5	1.02	黒曜石				
153	10	4段	瓦上	銅片	2.1	1.5	0.5	1.02	黒曜石				
154	11	4段	瓦上	銅片	2.5	1.4	0.7	1.40	黒曜石				
155	12	4段	瓦上	銅片	4.2	2.6	0.7	7.96	黒曜石				
156	1	5段	瓦上	「さび岩」	2.4	2.4	0.8	3.04	黒曜石				7
157	2	5段	瓦上	「さび岩」	2.2	1.3	0.7	2.28	黒曜石				
158	3	5段	瓦上	石墨	■ 2.2	(1.6)	0.3	(1.06)	黒曜石	片火火			1
159	4	5段	1～2層(壁)	石油系製品	2.1	1.5	0.7	1.20	黒曜石				2
160	5	5段	瓦上	石墨	2.5	1.7	1.2	1.82	黒曜石	先端火			8
161	6	5段	瓦上	小形切石	4.1	1.3	0.5	2.30	黒曜石	安形			3
162	7	5段	瓦上	小形切石	2.0	1.0	0.5	1.24	黒曜石	安形			
163	8	5段	瓦上	小形切石	2.8	1.6	0.6	2.04	黒曜石				4
164	9	5段	瓦上	小形切石	3.4	1.3	1.2	3.28	黒曜石	先端			
165	10	5段	瓦上	小形切石	1.7	1.4	0.6	1.42	黒曜石	先端			
166	11	5段	1～2層(壁)	セチャート	2.8	1.8	0.8	2.58	黒曜石				5
167	12	5段	瓦上	セチャート	2.5	1.5	0.5	1.02	黒曜石				5
168	13	5段	瓦上	セチャート	3.3	3.1	0.3	1.58	黒曜石				
169	14	5段	瓦上	セチャート	2.0	2.4	0.5	1.94	黒曜石				
170	15	5段	瓦上	セチャート	1.5	2.0	1.3	0.80	黒曜石				
171	16	5段	瓦上	セチャート	1.9	1.4	0.2	0.64	黒曜石				
172	17	5段	瓦上	セチャート	2.1	0.9	0.3	0.66	黒曜石				
173	18	5段	1～2層(壁)	打削石斧	—	(5.1)	2.8	1.3	(21.79)	真碧	下今欠		9
174	19	5段	1～2層(壁)	打削石斧	—	(6.5)	2.6	1.1	(27.82)	真碧	片火欠		10
175	20	5段	瓦上	磨石	I Ag	8.4	7.3	4.5	368	安形石	安形		11
176	21	5段	瓦上	多孔石	23.2	23.2	8.2	4000	黒曜石	安形	表面は瓦石		13
177	22	5段	瓦上	砾石	(19.4)	(15.3)	4.5	(1772)	砂碧	片火欠			12
178	23	5段	1～2層(壁)	銅片	5.0	2.7	0.8	10.70	黒曜石				
179	24	5段	1～2層(壁)	銅片	2.8	2.6	0.4	3.44	セチャート				
180	25	5段	1～2層(壁)	銅片	4.6	2.5	0.9	12.46	黒曜石				
181	26	5段	1～2層(壁)	銅片	4.2	1.5	1.0	6.04	蜜碧玉				
182	27	5段	1～2層(壁)	銅片	3.4	2.7	0.5	10.40	黒曜石				
183	28	5段	1～2層(壁)	銅片	5.9	2.9	1.2	15.88	川端石				
184	29	5段	1～2層(壁)	銅片	3.5	3.0	0.8	7.14	セチャート				

番号	地質学的分類	位置名	形	種	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石	材	久留美文化	固	度	
185	20	西上	圓片	圓片	3.0	2.5	0.9	3.86							
186	31	5位	圓片	圓片	4.0	3.8	0.9	17.82							
187	32	5位	圓片	圓片	1.8	1.7	0.4	1.12							
188	33	5位	圓片	圓片	2.0	1.8	1.0	3.16							
189	34	5位	圓片	圓片	1.9	2.5	0.5	1.96							
190	35	5位	圓片	圓片	2.5	2.1	0.7	3.02							
191	36	5位	圓片	圓片	2.1	2.2	0.5	2.32							
192	37	5位	圓片	圓片	2.8	2.0	0.6	2.36							
193	38	5位	圓片	圓片	2.8	2.0	0.7	3.10							
194	39	5位	圓片	圓片	2.4	1.5	0.7	3.08							
195	40	5位	圓片	圓片	1.9	1.5	0.4	0.67							
196	41	5位	圓片	圓片	2.4	0.9	0.3	0.22							
197	42	5位	圓片	圓片	1.9	1.0	0.6	1.06							
198	43	5位	圓片	圓片	2.7	1.2	0.5	0.48							
199	44	5位	圓片	圓片	2.1	1.7	0.2	0.52							
200	45	5位	圓片	圓片	2.9	1.5	0.2	0.52							
201	46	5位	圓片	圓片	3.0	1.0	0.5	1.05							
202	47	5位	圓片	圓片	2.5	1.6	1.1	6.65							
203	48	5位	圓片	圓片	2.1	1.2	0.7	1.96							
204	49	5位	圓片	圓片	3.1	1.4	0.9	2.52							
205	50	5位	圓片	圓片	1.5	1.7	0.3	0.84							
206	51	5位	圓片	圓片	1.8	1.4	0.3	0.60							
207	52	5位	圓片	圓片	3.0	1.2	0.6	1.30							
208	53	5位	圓片	圓片	2.2	1.4	0.5	0.82							
209	54	5位	圓片	圓片	1.5	1.1	0.3	0.34							
210	55	5位	圓片	圓片	1.1	1.0	0.1	0.16							
211	56	5位	圓片	圓片	3.8	3.2	1.0	12.26							
212	57	5位	圓片	圓片	5.0	3.4	0.9	13.96							
213	58	5位	圓片	圓片	4.7	2.6	1.6	19.74							
214	59	5位	圓片	圓片	3.2	3.3	1.1	12.18							
215	1	5位	石核	石核	2.1	2.8	1.7	6.54						27	
216	2	5位	石核	石核	3.0	1.4	0.4	1.46							
217	3	5位	石核	石核	2.3	2.5	1.2	3.45						28	
218	4	5位	石核	石核	2.3	2.1	1.5	6.64							
219	5	5位	石核	石核	2.7	1.1	0.4	0.74							
220	6	5位	石核	石核	2.4	2.5	0.4	2.66							
221	7	5位	石核	石核	4.2	1.7	0.6	1.34							
222	8	5位	石核	石核	4.0	2.8	0.8	4.32							
223	9	5位	石核	石核	2.1	1.2	0.4	0.78							
224	10	5位	石核	石核	2.1	1.1	0.3	0.62							
225	11	5位	石核	石核	2.9	2.2	0.5	3.64							
226	12	5位	小形石核	小形石核	(2.4)	4.9	0.9	(6.68)						つまみ筋灰	29
227	13	5位	圓片	打製石斧	Vb	10.0	5.0	1.7	130						月形鉢
228	14	5位	圓片	磨石	巨Aa	5.3	4.4	3.5	106						31
229	15	5位	圓片	磨石	巨B	(5.5)	6.8	4.6	(293)						山形石
230	16	5位	圓片	圓片	1.1	2.2	2.5	2.92						山形	
231	17	5位	圓片	圓片	2.1	1.7	0.4	0.66							
232	18	5位	圓片	圓片	1.5	1.4	0.2	0.52							
233	19	5位	圓片	圓片	3.0	1.7	0.7	1.88							
234	20	5位	圓片	圓片	3.4	1.9	0.8	3.36							
235	21	5位	圓片	圓片	2.3	1.4	0.7	1.38							
236	22	5位	圓片	圓片	2.3	1.4	0.7	1.90							
237	23	5位	圓片	圓片	2.1	1.3	0.6	1.36							
238	24	5位	圓片	圓片	2.4	1.0	0.3	1.06							
239	25	5位	圓片	圓片	2.4	1.0	0.3	0.44							
240	26	5位	圓片	圓片	1.5	1.6	0.5	0.82							
241	27	5位	圓片	圓片	2.1	1.5	0.5	0.70							
242	28	5位	圓片	圓片	5.1	2.5	0.9	16.52							
243	29	5位	圓片	圓片	5.4	2.0	0.7	6.38							
244	30	5位	圓片	圓片	3.0	2.6	0.5	2.36							
245	31	5位	圓片	圓片	3.4	1.2	0.5	1.34							
246	32	5位	圓片	圓片	1.9	1.2	0.3	1.34							
247	33	5位	圓片	圓片	1.8	1.3	0.5	0.96							
248	34	5位	石核	石核	5.0	3.8	1.7	18.66	ホチコト						
249	35	5位	石核	石核	1.8	1.4	0.4	0.58							
250	36	5位	石核	石核	2.3	1.5	0.4	1.20							
251	37	5位	石核	石核	1.5	1.4	0.3	0.58							
252	38	5位	石核	石核	2.1	1.1	0.7	1.22							
253	39	5位	石核	石核	3.9	3.6	0.8	4.74							
254	40	5位	石核	石核	2.6	2.3	0.9	4.68							
255	41	5位	石核	石核	3.0	2.1	0.3	3.12							
256	42	5位	石核	石核	2.7	2.9	0.3	2.14							
257	43	5位	石核	石核	4.1	2.6	1.1	11.80							
258	44	5位	圓片	圓片	6.7	5.4	0.8	38.94							
259	45	5位	圓片	圓片	4.6	3.7	0.7	14.48							
260	46	5位	圓片	圓片	2.0	1.9	0.7	1.07							
261	47	5位	圓片	圓片	2.0	1.7	0.7	0.99							
262	48	5位	圓片	圓片	12.5	7.6	3.7	425							
263	1	6位	〔石核〕	石核	3.6	3.6	1.3	22.10	チート						
264	2	6位	圓片	磨石	14.6	4.4	2.3	292							
265	3	6位	〔石核〕	石核	5.6	3.4	2.2	47.38							
266	4	6位	〔石核〕	石核	2.2	1.9	1.4	5.12							2
267	5	6位	〔石核〕	石核	2.4	1.8	1.2	5.98							
268	6	6位	圓片	石核	3.5	4.8	2.5	39.26							5
269	7	6位	圓片	石核	1.4	2.1	1.4	3.48							6
270	8	6位	圓片	石核	2.3	2.4	1.4	7.34							
271	9	6位	〔石核〕	石核	1.6	1.6	1.0	2.06							13
272	10	6位	〔石核〕	石核	3.6	1.5	0.3	1.12	達吉スタン						3
273	11	6位	〔石核〕	石核	2.5	2.0	0.5	1.28							4
274	12	6位	圓片	石核	3.4	1.8	0.7	3.40							12
275	13	6位	〔石核〕	石核	2.8	2.4	0.5	1.08							7
276	14	6位	〔石核〕	石核	2.8	1.9	0.7	3.32							8

## 第Ⅳ章 調査成果の分析研究

番号	調査地名	地質帶分類	層	性質	分類	厚さ(m)	幅(m)	奥行き(m)	石	材	欠損状況	層号	特徴	
277	15	6件	下層	小砂利層	2.8	1.3	0.7	2.86	塊礫石	塊石	無	9		
278	16	6件	覆土	小砂利層	2.2	3.3	0.7	3.95	塊礫石	塊石	無	10		
279	17	6件	上・中層	小砂利層	2.5	2.5	0.7	2.80	塊礫石	塊石	無			
280	18	6件	上層	小砂利層	2.2	2.0	0.7	2.94	塊礫石	塊石	無			
281	19	6件	覆土	小砂利層	4.0	2.1	0.7	3.54	塊礫石	塊石	無			
282	20	6件	上・中層	小砂利層	3.5	2.5	1.1	5.52	塊礫石	塊石	無			
283	21	6件	上層	小砂利層	1.4	1.2	0.4	0.82	塊礫石	塊石	無			
284	22	6件	覆土	小砂利層	2.3	1.3	0.7	2.52	塊礫石	塊石	無			
285	23	6件	覆土	小砂利層	2.9	1.4	0.5	1.22	塊礫石	塊石	無			
286	24	6件	覆土	小砂利層	1.9	1.9	0.4	1.28	塊礫石	塊石	無			
287	25	6件	上・中層	小砂利層	2.4	1.4	0.5	1.76	塊礫石	塊石	無			
288	26	6件	上・中層	小砂利層	2.5	1.5	0.7	2.42	塊礫石	塊石	無			
289	27	6件	上層	小砂利層	2.1	1.1	0.5	1.83	塊礫石	塊石	無			
290	28	6件	上層	小砂利層	2.4	1.6	0.4	1.94	塊礫石	塊石	無			
291	29	6件	上層	小砂利層	2.8	1.9	0.7	2.72	塊礫石	塊石	無			
292	30	6件	上層	小砂利層	2.9	2.2	0.5	2.35	塊礫石	塊石	無			
293	31	6件	P13覆土	小砂利層	3.0	1.5	0.9	3.22	塊礫石	塊石	無			
294	32	6件	覆土	小砂利層	3.2	1.5	0.7	2.34	塊礫石	塊石	無			
295	33	6件	覆土	小砂利層	2.1	3.3	0.9	4.06	塊礫石	塊石	無			
296	34	6件	覆土	小砂利層	3.1	2.6	1.5	4.84	塊礫石	塊石	無			
297	35	6件	覆土	小砂利層	2.5	1.8	1.0	3.06	塊礫石	塊石	無			
298	36	6件	覆土	小砂利層	2.8	1.5	0.5	1.94	塊礫石	塊石	無			
299	37	6件	覆土	小砂利層	2.8	3.2	0.4	3.22	塊礫石	塊石	無		11	
300	38	6件	覆土	小砂利層	2.8	1.3	0.8	1.90	塊礫石	塊石	無			
301	39	6件	覆土	小砂利層	2.9	1.5	0.7	2.56	塊礫石	塊石	無			
302	40	6件	覆土	小砂利層	3.8	2.8	0.9	9.02	塊礫石	塊石	無			
303	41	6件	覆土	小砂利層	2.8	1.5	0.7	2.66	塊礫石	塊石	無			
304	42	6件	覆土	小砂利層	1.5	1.5	0.4	1.22	塊礫石	塊石	無			
305	43	6件	上・中層	小砂利層	1.6	0.9	0.7	2.15	塊石	塊石	無			
306	44	6件	側ベント	大砂利層	1.8	6.7	7.2	1.25	塊石	塊石	無			
307	45	6件	覆土	大砂利層	1.8	6.4	3.4	1.6	塊石	塊石	無		15	
308	46	6件	覆土	打撲石	1.9	12.3	5.3	1.9	塊石	塊石	無		17	
309	47	6件	覆土	打撲石	1.4	1.8	4.9	2.3	(141)	頁岩	頁岩	塊石	塊石	
310	48	6件	覆土	打撲石	1.8	13.5	4.9	1.1	頁岩	頁岩	塊石	塊石	19	
311	49	6件	覆土	打撲石	1.8	10.0	4.1	1.6	頁岩	頁岩	塊石	塊石	20	
312	50	6件	上層	打撲石	1.6	(9.2)	4.2	1.2	(52)	頁岩	頁岩	塊石	塊石	21
313	51	6件	P13覆土	打撲石	1.6	(12.8)	4.8	3.0	(221)	頁岩	頁岩	塊石	塊石	22
314	52	6件	P9覆土	打撲石	0.8	9.1	2.5	1.0	26.28	頁岩	頁岩	塊石	塊石	23
315	53	6件	覆土	砾石	1.6	6.7	5.3	4.5	211	砂砾	砂砾	塊石	塊石	24
316	54	6件	上層	砾石	1.7	4.7	3.9	3.2	78	砂砾	砂砾	塊石	塊石	30
317	55	6件	P19覆土	砾石	1.6	(8.6)	7.2	4.8	(362)	安山岩	安山岩	塊石	塊石	14
318	56	6件	覆土	石筋	1.6	(18.4)	(22.3)	6.2	(326)	安山岩	安山岩	塊石	塊石	25
319	57	6件	覆土	石筋	1.5	13.6	4.3	1.80	安山岩	安山岩	塊石	塊石	26	
320	58	6件	覆土	石筋	1.5	1.5	0.9	18.75	安山岩	安山岩	塊石	塊石	27	
321	59	6件	上・中層	測定	4.5	3.9	0.9	18.75	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
322	60	6件	上層	測定	8.4	3.4	0.8	29.58	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
323	61	6件	上・中層	測定	3.0	1.9	0.7	2.66	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
324	62	6件	上・中層	測定	2.4	1.5	0.8	2.28	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
325	63	6件	上・中層	測定	2.0	2.0	0.4	1.04	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
326	64	6件	上・中層	測定	2.0	0.9	0.3	0.54	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
327	65	6件	上・中層	側片	2.2	1.4	0.5	1.46	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
328	66	6件	上・中層	側片	2.7	1.3	0.3	0.84	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
329	67	6件	上・中層	側片	3.0	2.4	0.9	4.94	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
330	68	6件	上・中層	側片	5.6	5.7	1.3	40.92	硬砂岩	硬砂岩	塊石	塊石		
331	69	6件	上・中層	側片	4.2	1.8	0.9	7.38	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
332	70	6件	上・中層	側片	3.8	4.2	0.8	12.98	硬砂岩	硬砂岩	塊石	塊石		
333	71	6件	上・中層	側片	4.0	2.6	0.7	5.70	チャート	チャート	塊石	塊石		
334	72	6件	上・中層	側片	3.5	1.6	0.7	4.58	硬砂岩	硬砂岩	塊石	塊石		
335	73	6件	上・中層	側片	6.7	2.7	0.8	15.54	硬砂岩	硬砂岩	塊石	塊石		
336	74	6件	上・中層	側片	1.8	0.9	0.9	0.54	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
337	75	6件	上・中層	側片	2.2	0.5	0.9	0.51	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
338	76	6件	上層	側片	1.4	3.5	0.6	0.55	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
339	77	6件	上層	側片	4.6	3.2	0.8	12.55	硬砂岩	硬砂岩	塊石	塊石		
340	78	6件	上層	側片	3.7	1.7	1.0	4.96	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
341	79	6件	上層	側片	2.9	2.5	0.8	8.74	硬砂岩	硬砂岩	塊石	塊石		
342	80	6件	上層	側片	2.8	2.6	0.5	2.94	チャート	チャート	塊石	塊石		
343	81	6件	上層	側片	2.0	2.1	0.3	1.06	チャート	チャート	塊石	塊石		
344	82	6件	上層	側片	2.5	0.7	0.3	0.58	チャート	チャート	塊石	塊石		
345	83	6件	上層	側片	1.9	1.4	0.3	0.74	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
346	84	6件	上層	側片	2.3	1.7	0.6	2.38	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
347	85	6件	上層	側片	1.7	1.6	0.6	1.14	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
348	86	6件	上層	側片	1.4	1.1	0.3	0.58	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
349	87	6件	上層	側片	3.1	2.0	1.3	5.46	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
350	88	6件	上層	側片	1.8	1.0	0.3	0.52	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
351	89	6件	上層	側片	1.8	1.4	0.3	1.36	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
352	90	6件	上層	側片	2.1	0.8	0.3	0.63	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
353	91	6件	P13覆土	側片	7.8	5.4	1.4	55	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
354	92	6件	P6覆土	側片	3.1	3.0	0.9	10.16	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
355	93	6件	P6覆土	側片	3.5	2.6	1.0	24.34	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
356	94	6件	P6覆土	側片	4.2	1.8	1.4	7.64	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
357	95	6件	覆土	側片	3.0	2.4	1.2	8.52	チャート	チャート	塊石	塊石		
358	96	6件	覆土	側片	3.1	1.9	0.9	4.98	砂岩	砂岩	塊石	塊石		
359	97	6件	覆土	側片	2.3	3.3	0.5	4.82	チャート	チャート	塊石	塊石		
360	98	6件	覆土	側片	4.5	2.1	1.2	12.06	砂岩	砂岩	塊石	塊石		
361	99	6件	覆土	側片	3.5	2.2	0.3	3.42	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
362	100	6件	覆土	側片	2.2	1.0	0.3	0.70	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
363	101	6件	覆土	側片	3.0	2.6	0.7	7.22	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
364	102	6件	覆土	側片	4.4	4.2	0.9	14.96	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
365	103	6件	覆土	側片	2.1	2.0	0.7	3.14	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
366	104	6件	覆土	側片	3.2	2.5	1.0	7.42	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
367	105	6件	覆土	側片	4.9	2.1	1.3	13.26	頁岩	頁岩	塊石	塊石		
368	106	6件	覆土	側片	3.2	2.5	0.4	3.76	頁岩	頁岩	塊石	塊石		

番号	出土地名	性別・年齢	種	形	幅(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石 材	久留度状況	記 考	備考
369	107	8歳	覆土	剥片	5.6	4.0	1.4	28.02	磨耗石			
370	108	8歳	覆土	剥片	5.1	4.2	1.7	34.90	磨耗石			
371	109	8歳	覆土	剥片	4.7	4.0	0.6	15.92	黄页			
372	110	8歳	覆土	剥片	3.7	3.2	0.9	9.28	川端石			
373	111	8歳	覆土	剥片	1.9	1.7	0.3	0.58	川端石			
374	112	8歳	覆土	剥片	2.4	1.5	0.4	0.92	川端石			
375	113	8歳	覆土	剥片	2.4	0.9	0.5	1.12	川端石			
376	114	8歳	覆土	剥片	1.6	1.3	0.3	0.40	川端石			
377	115	8歳	覆土	剥片	1.4	1.3	0.3	0.44	川端石			
378	116	8歳	覆土	剥片	2.1	1.6	1.0	4.22	川端石			
379	117	8歳	覆土	剥片	2.9	3.0	0.7	4.52	川端石			
380	118	8歳	覆土	剥片	2.4	1.5	0.4	1.06	川端石			
381	119	8歳	覆土	剥片	1.8	1.1	0.2	0.36	川端石			
382	120	8歳	覆土	剥片	1.9	1.2	0.3	1.76	川端石			
383	121	8歳	覆土	剥片	2.3	2.0	1.0	5.14	川端石			
384	122	8歳	覆土	剥片	2.8	1.2	0.5	1.26	川端石			
385	123	8歳	覆土	剥片	2.3	1.8	0.5	0.86	川端石			
386	124	8歳	覆土	剥片	2.7	2.5	0.7	3.96	川端石			
387	125	8歳	覆土	剥片	2.6	2.3	1.0	4.48	川端石			
388	126	8歳	覆土	剥片	2.6	2.1	0.6	2.52	川端石			
389	127	8歳	覆土	剥片	2.6	1.6	0.7	2.36	川端石			
390	128	8歳	覆土	剥片	2.2	1.7	0.5	1.24	川端石			
391	129	8歳	覆土	剥片	4.6	1.0	0.9	2.34	川端石			
392	130	8歳	覆土	剥片	1.5	1.5	0.3	0.58	川端石			
393	131	8歳	覆土	剥片	1.9	1.4	0.4	1.00	川端石			
394	132	8歳	覆土	剥片	2.1	2.0	1.3	0.64	川端石			
395	133	8歳	覆土	剥片	2.4	0.7	0.3	0.28	川端石			
396	134	8歳	覆土	剥片	2.7	1.8	0.9	3.98	川端石			
397	135	8歳	覆土	剥片	2.9	1.4	0.5	1.88	川端石			
398	136	8歳	覆土	剥片	1.7	1.9	0.3	0.40	川端石			
399	137	8歳	覆土	剥片	2.9	1.2	0.5	0.42	川端石			
400	138	8歳	覆土	剥片	1.4	1.0	0.2	0.20	川端石			
401	139	8歳	覆土	剥片	2.9	2.4	1.2	5.72	川端石			
402	140	8歳	裏ベルト	剥片	4.3	3.5	0.5	7.36	青銅			
403	141	8歳	裏ベルト	剥片	3.0	2.3	0.7	4.36	青銅			
404	142	8歳	【一】目付	磨石片	4.8	2.9	1.4	14.48	磨砂石			
405	143	8歳	【一】弓	磨石片	4.0	3.0	0.9	11.84	磨砂石			
406	144	8歳	【一】弓	磨石片	4.0	3.2	1.1	20.86	磨砂石			
407	145	8歳	Pt13覆土	磨石片	6.5	4.0	2.3	45.20	磨砂石			
408	146	8歳	【一】弓	石台石	6.0	2.7	1.1	17.54	青銅			
409	147	8歳	覆土	石台石	9.7	4.7	1.7	106	現存石			
410	1	7歳	【一】弓	砾石	5.7	4.7	1.2	41.16	青銅			
411	2	7歳	【一】弓	砾石	1.6	1.7	1.2	3.86	川端石	完形		
412	3	7歳	【一】弓	砾石	2.7	2.6	1.5	1.60	川端石	完形		
413	4	7歳	【一】弓	砾石	1.9	3.1	1.9	9.80	川端石	完形		1
414	5	7歳	【一】弓	砾石	1.5	1.8	1.1	2.48	川端石	完形		2
415	6	7歳	【一】弓	砾石	2.1	1.6	0.4	0.78	川端石	完形		12
416	7	7歳	【一】弓	砾石	2.2	1.1	0.3	0.76	川端石	完形		3
417	8	7歳	【一】弓	砾石	2.0	1.3	0.4	0.76	川端石	完形		4
418	9	7歳	【一】弓	砾石	1.8	1.3	0.5	1.10	川端石	完形		5
419	10	7歳	【一】弓	小形石器Ⅰ	1.9	1.0	0.5	1.92	川端石	李久		6
420	11	7歳	【一】弓	小形石器Ⅰ	2.0	1.8	0.8	2.92	川端石	完形		7
421	12	7歳	【一】弓	小形石器Ⅰ	3.4	1.5	0.8	2.50	川端石	完形		8
422	13	7歳	【一】弓	小形石器Ⅰ	3.8	1.9	1.0	6.02	川端石	完形		
423	14	7歳	【一】弓	小形石器Ⅰ	4.5	2.1	1.1	7.98	川端石	完形		9
424	15	7歳	【一】弓	小形石器Ⅰ	2.6	1.6	0.6	2.16	川端石	完形		
425	16	7歳	【一】弓	小形石器Ⅰ	2.8	1.4	0.6	1.76	川端石	完形		
426	17	7歳	【一】弓	小形石器Ⅰ	3.4	2.2	0.7	4.12	川端石	完形		
427	18	7歳	【一】弓	小形石器Ⅰ	2.2	1.7	1.1	3.24	川端石	完形		
428	19	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	4.0	2.3	1.9	6.76	川端石	完形		10
429	20	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.2	1.9	0.9	4.86	川端石	完形		
430	21	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.2	2.2	0.5	2.54	川端石	完形		
431	22	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.2	1.5	0.2	0.56	川端石	完形		
432	23	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.0	1.7	0.6	2.22	川端石	完形		
433	24	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.0	1.6	0.7	2.86	川端石	完形		
434	25	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.0	1.6	0.8	2.66	川端石	完形		
435	26	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.8	1.4	0.9	3.42	川端石	完形		
436	27	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.0	1.4	0.5	1.44	川端石	完形		
437	28	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	1.9	1.2	0.4	0.78	川端石	完形		
438	29	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	4.9	1.2	0.7	3.72	川端石	完形		
439	30	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.0	2.7	0.4	2.74	川端石	完形		
440	31	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.9	1.5	0.5	1.74	川端石	完形		
441	32	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	5.0	4.3	1.6	12.48	川端石	完形		
442	33	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.0	1.5	0.5	1.36	川端石	完形		
443	34	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.4	1.1	0.5	1.30	川端石	完形		
444	35	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.9	0.9	0.5	0.48	川端石	完形		
445	36	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.0	1.1	0.3	0.78	川端石	完形		
446	37	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.0	2.4	0.5	1.78	川端石	完形		
447	38	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.1	2.1	0.5	2.36	川端石	完形		
448	39	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	6.9	1.7	0.8	6.18	川端石	完形		
449	40	7歳	床十脚上	小形石器Ⅱ	3.2	2.0	0.9	5.18	川端石	完形		
450	41	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.0	1.5	0.5	2.08	川端石	完形		
451	42	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.3	2.1	0.7	3.80	川端石	完形		
452	43	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.7	3.2	1.0	5.56	川端石	完形		
453	44	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	1.8	1.9	0.7	1.96	川端石	完形		
454	45	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.7	1.9	0.7	2.54	川端石	完形		
455	46	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.3	1.4	1.5	2.10	川端石	安野		
456	47	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.2	1.4	0.4	1.26	川端石	完形		
457	48	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.0	1.5	0.5	2.05	川端石	完形		
458	49	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.2	2.0	0.9	5.18	川端石	完形		
459	50	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	3.3	1.9	0.4	4.49	川端石	完形		
460	51	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.8	1.6	0.4	1.66	川端石	完形		
461	52	7歳	【一】弓	小形石器Ⅱ	2.5	1.8	0.5	1.50	川端石	完形		

番号	試験番号	試験番号	層位	岩種	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石材	欠陥状況	備考	地質
461	52	7E	覆土	小形泥岩	3.2	2.8	0.9	4.48	珊瑚石	完形			
462	53	7E	覆土	小形泥岩	2.2	1.0	0.4	0.76	珊瑚石	完形			
463	54	7E	覆土	小形泥岩	2.8	1.8	0.8	3.10	珊瑚石	完形			
464	55	7E	覆土	小形泥岩	2.6	1.2	0.4	1.00	珊瑚石	完形			
465	56	7E	覆土	小形泥岩	2.7	2.3	0.8	2.88	珊瑚石	完形			
466	57	7E	覆土	小形泥岩	2.4	1.4	0.4	1.36	珊瑚石	完形			
467	58	7E	覆土	小形泥岩	5.0	2.9	0.9	11.00	珊瑚石	完形			
468	59	7E	覆土	小形泥岩	2.6	2.1	0.4	1.40	珊瑚石	完形			
469	60	7E	覆土	小形泥岩	2.2	2.7	0.7	3.10	珊瑚石	完形			
470	61	7E	覆土	小形泥岩	1.8	1.0	0.3	0.60	珊瑚石	完形			
471	62	7E	【砂】	大形泥岩	「8	10.2	7.4	1.7	115	頁岩	完形		13
472	63	7E	【砂】	大形泥岩	1.6	6.7	4.5	1.2	33.92	頁岩	完形	全面剥離	
473	64	7E	【砂】	大形泥岩	1.6	10.1	3.7	1.5	56	頁岩	完形		14
474	65	7E	【砂】	打裂石	「B	10.2	5.6	1.1	78	頁岩	完形		15
475	66	7E	覆土	砾石	「B	10.2	8.0	4.6	525	安山岩	完形		17
476	67	7E	覆土	砾石	「B	8.1	7.2	4.3	430	安山岩	完形		18
477	68	7E	覆土	砾石	「B」	(10.2)	7.8	3.4	(372)	安山岩	西山外		19
478	69	7E	覆土	砾石	「B」	(9.0)	7.1	5.0	(390)	頁岩	西山外		20
479	70	7E	【砂】	砾石	「B」	(9.1)	2.7	2.3	(78)	軽石	重部灰		16
480	71	7E	覆土	石灰		(11.8)	9.3	4.5	(560)	頁岩	礫片		21
481	72	7E	【砂】	石錐		4.2	3.0	0.9	11.60	頁岩	礫片		22
482	73	7E	【砂】	鈍片		4.3	2.1	1.0	8.42	チャート			
483	74	7E	【砂】	鈍片		2.5	2.1	0.6	1.96	鈍片			
484	75	7E	【砂】	鈍片		8.6	3.7	0.9	35.78	頁岩	風化致し		
485	76	7E	【砂】	鈍片		5.2	3.5	0.7	18.20	チャート			
486	77	7E	【砂】	鈍片		5.2	5.4	1.4	42.54	チャート			
487	78	7E	【砂】	鈍片		2.8	2.1	0.5	2.62	鈍片			
488	79	7E	【砂】	鈍片		1.9	0.8	0.5	0.55	鈍片			
489	80	7E	【砂】	鈍片		1.5	1.3	0.4	0.70	鈍片			
490	81	7E	【砂】	鈍片		2.5	2.1	0.7	5.46	鈍片			
491	82	7E	【砂】	鈍片		2.3	2.8	0.4	2.32	鈍片			
492	83	7E	【砂】	鈍片		3.5	2.8	0.6	4.96	鈍片			
493	84	7E	【砂】	鈍片		2.4	1.6	0.5	1.84	鈍片			
494	85	7E	【砂】	鈍片		1.5	1.0	0.2	0.42	鈍片			
495	86	7E	【砂】	鈍片		2.2	1.2	0.2	1.32	鈍片			
496	87	7E	【砂】	鈍片		2.2	2.2	0.6	2.76	鈍片			
497	88	7E	【砂】	鈍片		2.5	1.2	0.3	0.82	鈍片			
498	89	7E	【砂】	鈍片		3.0	1.2	0.4	1.38	鈍片			
499	90	7E	【砂】	鈍片		1.8	0.5	0.4	0.44	鈍片			
500	91	7E	【砂】	鈍片		3.8	1.2	0.9	3.38	鈍片			
501	92	7E	【砂】	鈍片		2.1	1.1	0.5	1.14	鈍片			
502	93	7E	【砂】	鈍片		2.0	1.4	0.5	1.32	鈍片			
503	94	7E	【砂】	鈍片		1.8	1.2	0.5	0.28	鈍片			
504	95	7E	【砂】	鈍片		2.0	2.5	0.4	1.70	鈍片			
505	96	7E	【砂】	鈍片		2.1	1.2	0.5	0.66	鈍片			
506	97	7E	【砂】	鈍片		1.4	1.2	1.2	2.14	鈍片			
507	98	7E	【砂】	鈍片		3.8	2.8	0.7	12.32	鈍片			
508	99	7E	【砂】	鈍片		3.4	1.4	1.2	3.90	鈍片			
509	100	7E	【砂】	鈍片		2.1	1.3	0.3	0.86	鈍片			
510	101	7E	【砂】	鈍片		3.6	2.0	0.7	5.10	鈍片			
511	102	7E	【砂】	鈍片		3.8	1.2	0.7	2.44	鈍片			
512	103	7E	【砂】	鈍片		1.5	1.4	0.5	0.88	鈍片			
513	104	7E	【砂】	鈍片		2.5	2.4	0.5	2.16	鈍片			
514	105	7E	【砂】	鈍片		1.3	1.3	0.2	0.50	鈍片			
515	106	7E	【砂】	鈍片		3.2	1.1	0.4	1.00	鈍片			
516	107	7E	【砂】	鈍片		1.9	0.8	0.8	0.92	鈍片			
517	108	7E	【砂】	鈍片		2.5	1.7	0.5	1.50	鈍片			
518	109	7E	【砂】	鈍片		0.7	1.2	0.5	0.34	鈍片			
519	110	7E	【砂】	鈍片		2.2	1.7	0.5	1.24	鈍片			
520	111	7E	【砂】	鈍片		3.1	3.8	1.2	1.15	鈍片			
521	112	7E	【砂】	鈍片		2.9	1.1	0.5	0.74	鈍片			
522	113	7E	【砂】	鈍片		2.4	1.6	0.4	1.08	鈍片			
523	114	7E	【砂】	鈍片		2.4	2.1	1.7	6.28	鈍片			
524	115	7E	【砂】	鈍片		2.9	2.1	0.5	1.64	鈍片			
525	116	7E	【砂】	鈍片		2.0	1.2	0.4	0.94	鈍片			
526	117	7E	【砂】	鈍片		1.3	1.2	0.3	0.48	鈍片			
527	118	7E	【砂】	鈍片		3.7	1.8	0.4	1.72	鈍片			
528	119	7E	【砂】	鈍片		3.9	1.7	0.6	3.86	鈍片			
529	120	7E	【砂】	鈍片		2.1	1.5	0.5	2.06	鈍片			
530	121	7E	【砂】	鈍片		1.6	1.3	1.7	1.20	鈍片			
531	122	7E	【砂】	鈍片		3.9	1.3	0.5	1.54	鈍片			
532	123	7E	【砂】	鈍片		2.4	1.8	1.0	2.32	鈍片			
533	124	7E	【砂】	鈍片		3.7	1.7	0.8	3.28	鈍片			
534	125	7E	【砂】	鈍片		3.2	2.4	1.0	1.54	鈍片			
535	126	7E	【砂】	鈍片		5.3	2.7	1.1	6.50	鈍片			
536	127	7E	【砂】	鈍片		2.9	1.6	1.1	6.54	鈍片			
537	128	7E	【砂】	鈍片		4.2	2.6	0.5	4.20	鈍片			
538	129	7E	【砂】	鈍片		2.2	2.2	0.8	3.46	鈍片			
539	130	7E	【砂】	鈍片		2.5	2.0	0.7	2.90	鈍片			
540	131	7E	【砂】	鈍片		1.5	1.8	0.8	1.84	鈍片			
541	132	7E	【砂】	鈍片		2.1	2.0	0.8	2.00	鈍片			
542	133	7E	【砂】	鈍片		2.0	1.7	0.8	2.46	鈍片			
543	134	7E	【砂】	鈍片		1.8	1.5	0.3	0.76	鈍片			
544	135	7E	【砂】	鈍片		2.6	2.3	1.0	2.66	鈍片			
545	136	7E	【砂】	鈍片		1.6	1.2	0.2	0.56	鈍片			
546	137	7E	【砂】	鈍片		1.7	1.4	0.2	0.50	鈍片			
547	138	7E	【砂】	鈍片		2.4	1.8	1.5	2.88	鈍片			
548	139	7E	【砂】	鈍片		1.5	1.5	0.3	1.14	鈍片			
549	140	7E	【砂】	鈍片		1.8	0.9	0.3	0.56	鈍片			
550	141	7E	【砂】	鈍片		2.2	1.7	0.4	0.32	鈍片			
551	142	7E	【砂】	鈍片		1.4	1.3	0.3	0.60	鈍片			
552	143	7E	【砂】	鈍片		1.8	1.2	0.3	0.50	鈍片			

番号	回収場所	伴走番号	地 点	器 様	分類	長さ(cm)	幅さ(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石 特	欠損状況	備考	回数
553	144	7往	瓦土	側片	2.4	1.5	0.2	0.82	黒曜石				
554	145	7往	瓦土	側片	2.1	1.5	0.3	0.92	黒曜石				
555	146	7往	瓦土	側片	2.5	1.9	0.4	1.16	黒曜石				
556	147	7往	瓦土	側片	2.7	1.5	0.3	1.04	黒曜石				
557	148	7往	瓦土	側片	1.6	1.1	0.4	0.92	黒曜石				
558	149	7往	瓦土	側片	2.8	0.7	0.7	1.68	黒曜石				
559	150	7往	瓦土	側片	2.1	1.5	0.3	0.92	黒曜石				
560	151	7往	瓦土	側片	1.5	1.4	0.2	0.46	黒曜石				
561	152	7往	瓦土	側片	2.0	1.8	0.3	1.34	黒曜石				
562	153	7往	瓦土	側片	2.3	1.5	0.5	1.34	黒曜石				
563	154	7往	瓦土	側片	2.1	1.5	0.9	0.54	黒曜石				
564	155	7往	瓦土	側片	2.6	1.7	0.9	2.36	黒曜石				
565	156	7往	瓦土	側片	1.6	1.3	0.5	1.26	黒曜石				
566	157	7往	瓦土	側片	2.6	1.4	0.5	1.74	黒曜石				
567	158	7往	瓦土	側片	2.7	1.5	1.1	4.54	黒曜石				
568	159	7往	瓦土	側片	1.3	1.2	0.7	0.86	黒曜石				
569	160	7往	瓦土	側片	2.7	2.0	0.4	2.50	黒曜石				
570	161	7往	瓦土	側片	3.2	1.1	0.6	1.80	黒曜石				
571	162	7往	瓦土	側片	1.4	1.2	0.3	0.42	黒曜石				
572	163	7往	瓦土	側片	2.2	1.5	0.5	1.20	黒曜石				
573	164	7往	瓦土	側片	2.3	2.4	1.1	4.90	黒曜石				
574	165	7往	瓦土	側片	1.6	1.9	0.3	0.82	黒曜石				
575	166	7往	瓦土	側片	1.4	1.0	0.4	0.44	黒曜石				
576	167	7往	瓦土	側片	1.6	1.4	0.5	0.68	黒曜石				
577	168	7往	瓦土	側片	2.1	1.8	0.5	1.84	黒曜石				
578	169	7往	瓦土	側片	2.4	1.7	0.7	2.70	黒曜石				
579	170	7往	瓦土	側片	2.1	1.3	0.7	0.92	黒曜石				
580	171	7往	瓦土	側片	1.5	1.2	0.5	0.58	黒曜石				
581	172	7往	瓦土	側片	1.9	2.0	0.8	1.28	黒曜石				
582	173	7往	瓦土	側片	1.1	2.4	0.5	1.04	黒曜石				
583	174	7往	瓦土	側片	2.1	1.7	0.6	1.70	黒曜石				
584	175	7往	瓦土	側片	1.6	1.0	0.7	0.96	黒曜石				
585	176	7往	瓦土	側片	2.1	1.5	0.8	2.56	黒曜石				
586	177	7往	瓦土	側片	1.9	1.6	0.4	0.80	黒曜石				
587	178	7往	瓦土	側片	1.2	0.9	0.1	0.14	黒曜石				
588	179	7往	瓦土	側片	2.0	2.0	0.6	1.50	黒曜石				
589	180	7往	瓦土	側片	1.8	1.2	0.2	0.82	黒曜石				
590	181	7往	瓦土	側片	2.5	1.3	0.3	0.84	黒曜石				
591	182	7往	瓦土	側片	1.9	0.8	0.4	0.48	黒曜石				
592	183	7往	瓦土	側片	0.9	0.4	0.2	0.06	黒曜石				
593	184	7往	瓦土	側片	0.9	1.1	0.1	0.36	黒曜石				
594	185	7往	瓦土	側片	0.8	0.7	0.2	0.14	黒曜石				
595	186	7往	瓦土	側片	3.7	3.5	0.9	9.12	チタニウム				
596	187	7往	メッシュ No10	側片	3.4	1.5	0.5	2.40	チタニウム				
597	188	7往	メッシュ No17	側片	3.2	3.5	1.0	13.88	鐵錫石				
598	189	7往	メッシュ No2	側片	3.7	2.1	0.6	3.40	川原石				
599	190	7往	メッシュ No9	側片	8.2	4.6	1.2	87	貝壳				
600	191	7往	メッシュ No27	側片	2.6	1.3	0.5	1.58	黒曜石				
601	192	7往	メッシュ No27	側片	2.3	1.0	0.5	0.88	黒曜石				
602	193	7往	メッシュ No27	側片	2.8	2.2	0.5	1.78	黒曜石				
603	194	7往	メッシュ No27	側片	2.5	1.8	0.5	1.62	黒曜石				
604	195	7往	メッシュ No27	側片	2.2	1.2	0.3	0.58	黒曜石				
605	196	7往	メッシュ No27	側片	2.4	1.2	0.5	0.92	黒曜石				
606	197	7往	メッシュ No27	側片	1.7	1.4	0.4	0.90	黒曜石				
607	198	7往	メッシュ No27	側片	1.5	1.7	0.2	0.30	黒曜石				
608	199	7往	メッシュ No31	側片	1.9	1.9	0.5	1.52	黒曜石				
609	200	7往	メッシュ No36	側片	3.4	2.4	1.2	17.88	鐵錫石				
610	201	7往	メッシュ No36	側片	2.1	1.5	0.6	1.92	川原石				
611	202	7往	メッシュ No43	側片	1.7	1.3	0.2	0.22	川原石				
612	203	7往	メッシュ No43	側片	3.8	1.9	0.7	7.26	鐵錫石				
613	204	7往	メッシュ No43	側片	3.6	2.8	1.3	15.76	鐵錫石				
614	205	7往	メッシュ No49	側片	3.1	2.1	1.4	8.00	鐵錫石				
615	206	7往	メッシュ No49	側片	2.9	2.0	1.1	6.78	鐵錫石				
616	207	7往	メッシュ No50	側片	2.1	2.2	0.6	3.14	鐵錫石				
617	208	7往	瓦土	側片	4.0	5.7	1.5	35.30	鐵錫石	被熱			
618	209	7往	1.9	磨石片	6.5	5.1	1.5	59	真砂				
619	210	7往	メッシュ No26	磨石片	4.0	3.1	0.9	14.86	鐵錫石				
620	211	7往	メッシュ No31	磨石片	3.6	3.1	1.2	13.94	鐵錫石				
621	212	7往	瓦土	磨石片	5.3	4.5	1.4	52	鐵錫石				
622	213	7往	1.8	磨石片	3.4	3.0	1.4	13.92	鐵錫石				
623	1	砂	砂	石核	4.1	3.6	3.0	20.29	川原石	尖形		1	
624	2	砂	砂	石核	2.8	2.5	1.5	1.29	川原石	尖形			
625	3	砂	砂	小刮削器 I	4.9	1.5	0.4	2.29	川原石	尖形			
626	4	砂	砂	小刮削器 II	3.9	3.0	1.4	19.96	川原石	尖形		2	
627	5	砂	砂	小刮削器 III	2.2	1.5	0.5	1.72	川原石	尖形			
628	6	砂	砂	小刮削器 IV	3.6	3.0	1.0	5.82	川原石	尖形			
629	7	砂	Pt+瓦土	理石	-	15.6	5.0	3.8	500	海綿質	尖形	3	
630	8	砂	一ノ字砂	側片	4.6	4.1	0.9	22.42	鐵錫石				
631	9	砂	砂	側片	6.9	2.2	0.8	6.68	貝壳				
632	10	砂	砂	側片	5.3	1.9	1.3	13.50	黒曜石				
633	11	砂	砂	側片	3.6	2.0	0.7	4.08	黒曜石				
634	12	砂	砂	側片	2.1	2.3	0.6	3.04	黒曜石				
635	13	砂	砂	側片	3.7	1.7	0.7	3.48	黒曜石				
636	14	砂	砂	側片	3.5	2.5	1.7	11.56	黒曜石				
637	15	砂	砂	側片	3.6	1.6	1.4	7.64	川原石				
638	16	砂	Pt+砂上	側片	1.4	4.2	2.2	12.04	鐵錫石				
639	17	砂	鐵錫石	側片	7.5	4.7	1.1	1.58	貝壳				
640	18	砂	鐵錫石	側片	1.4	2.5	0.9	0.96	川原石				
641	19	砂	砂	側片	2.7	2.5	1.3	7.20	川原石				
642	20	砂	砂	側片	2.5	1.4	0.5	1.72	黒曜石				
643	1	9往	物質燃焼ベレット室	石核	6.4	3.3	2.5	46.86	黒曜石	尖形	1		
644	2	9往	後出火ベルト室	石核	4.4	2.6	2.0	22.22	黒曜石	尖形	2		

## 第Ⅳ章 調査成果の分析研究

番号	田舎地帯	佐世保市	地名	総面積(m <sup>2</sup> )	耕地面積(m <sup>2</sup> )	平均耕地面積(ga)	石	耕	矢張地帯	田	地主	
645	3	951	原土	石井	3.1	1.9	0.6	5.94	出畠石	水形	5	
646	4	951	1期	くまびと石井	2.2	2.0	0.5	2.10	出畠石	水形	13	
647	5	951	山内	くまびと石井	1.6	1.1	0.7	1.34	出畠石	水形	14	
648	6	951	1期	石井	11 (2.0)	1.4	0.2	0.54	出畠石	片瀬・丸瀬友	3	
649	7	951	桃川面ベト東	石井	1	2.1	1.5	0.3	出畠石	水形	4	
650	8	951	1～三鶴	石井	(2.1)	1.5	0.6	0.66	出畠石	赤瀬久	15	
651	9	951	ベルト面東	石井	3.0	1.8	0.6	0.68	出畠石	水形	16	
652	10	951	1～三鶴	小畠村西	3.1	4.4	1.7	16.06	チャート	水形	6	
653	11	951	1～三鶴	小畠村西	2.6	3.6	0.8	6.10	出畠石	水形		
654	12	951	1期	小畠村西	(1.4)	1.3	0.4	0.88	出畠石	平少		
655	13	951	1期	小畠村西	2.6	2.2	0.8	2.10	出畠石	水形	7	
656	14	951	桃川面ベト東	小畠村西	3.4	1.6	0.5	3.18	出畠石	水形		
657	15	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.6	1.8	0.6	2.05	出畠石	水形		
658	16	951	桃川面ベト東	小畠村西	4.0	1.6	0.5	1.74	出畠石	水形		
659	17	951	桃川面ベト東	小畠村西	3.8	0.9	0.6	2.14	出畠石	水形		
660	18	951	原土	小畠村西	4.8	3.5	1.4	18.56	チャート	水形	8	
661	19	951	原土	小畠村西	2.2	1.6	0.6	1.94	出畠石	水形		
662	20	951	原土	小畠村西	2.1	2.6	0.7	2.88	出畠石	水形		
663	21	951	原土	小畠村西	3.2	1.4	0.6	2.34	出畠石	水形		
664	22	951	原土	小畠村西	2.7	1.8	0.2	1.48	出畠石	水形		
665	23	951	原土	小畠村西	2.6	2.6	0.6	2.34	出畠石	水形		
666	24	951	原土	小畠村西	3.2	2.0	1.5	3.32	出畠石	水形		
667	25	951	ベルト面西	小畠村西	4.8	1.4	0.6	2.62	出畠石	水形	9	
668	26	951	1～三鶴	小畠村西	2.4	1.8	0.6	1.68	出畠石	水形		
669	27	951	1期	小畠村西	3.4	3.2	0.8	8.38	チャート	水形	10	
670	28	951	桃川面ベト東	小畠村西	3.6	3.2	1.2	13.80	出畠石	水形		
671	29	951	桃川面ベト東	小畠村西	1.7	1.2	0.5	0.70	出畠石	水形		
672	30	951	桃川面ベト東	小畠村西	1.8	1.8	0.6	0.96	出畠石	平少		
673	31	951	桃川面ベト東	小畠村西	4.2	1.8	0.6	3.56	出畠石	水形		
674	32	951	桃川面ベト東	小畠村西	1.6	1.9	0.6	0.44	出畠石	水形		
675	33	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.2	2.3	1.1	4.14	出畠石	水形		
676	34	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.9	1.7	0.5	2.50	出畠石	水形		
677	35	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.9	1.1	0.5	1.32	出畠石	水形		
678	36	951	桃川面ベト東	小畠村西	3.2	1.8	1.0	4.94	出畠石	水形		
679	37	951	原土	小畠村西	3.6	1.3	0.6	2.46	出畠石	水形		
680	38	951	原土	小畠村西	3.0	1.8	1.0	4.82	出畠石	水形		
681	39	951	原土	小畠村西	2.0	1.2	0.4	0.86	出畠石	水形		
682	40	951	山内	小畠村西	2.2	2.2	1.8	2.50	出畠石	水形		
683	41	951	1～三鶴	小畠村西	2.8	1.5	0.5	1.62	出畠石	水形		
684	42	951	1～三鶴	小畠村西	1.6	2.0	0.5	1.34	出畠石	水形		
685	43	951	1秒	小畠村西	1.7	2.1	0.6	1.76	出畠石	水形		
686	44	951	1期	小畠村西	1.9	2.4	0.6	2.16	出畠石	水形		
687	45	951	桃川面ベト東	小畠村西	3.6	1.6	0.5	1.58	出畠石	水形		
688	46	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.2	1.2	0.6	0.84	出畠石	水形		
689	47	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.3	1.8	0.6	3.56	出畠石	水形	11	
690	48	951	桃川面ベト東	小畠村西	3.1	2.2	0.7	4.52	出畠石	出走		
691	49	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.2	1.5	0.9	1.54	出畠石	水形		
692	50	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.7	1.8	0.6	2.26	出畠石	水形		
693	51	951	桃川面ベト東	小畠村西	3.5	1.8	0.6	2.40	出畠石	水形		
694	52	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.1	2.1	0.5	2.22	出畠石	水形		
695	53	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.8	1.3	0.6	2.00	出畠石	水形		
696	54	951	桃川面ベト東	小畠村西	2.2	2.2	0.4	1.58	出畠石	水形		
697	55	951	原土	小畠村西	3.7	2.1	1.3	8.26	出畠石	水形		
698	56	951	原土	小畠村西	3.1	1.7	0.7	3.08	出畠石	水形		
699	57	951	原土	小畠村西	2.2	1.8	0.4	1.90	出畠石	水形		
700	58	951	原土	小畠村西	2.4	1.7	0.3	0.80	出畠石	水形		
701	59	951	山内	小畠村西	1.8	2.1	0.5	1.89	出畠石	水形		
702	60	951	山内	小畠村西	2.1	1.2	0.5	1.18	出畠石	質熱	12	
703	61	951	1期	小畠村西	2.4	1.4	0.6	1.24	出畠石	平少	13	
704	62	951	原土	大字山道	1 (19.7)	3.7	0.9	6 (26.91)	出畠石	万瀬久	14	
705	63	951	原土	大字山道	8	7.6	6.1	46.58	出畠石	水形	15	
706	64	951	1～三鶴	大字山道	11	6.5	2.6	154	出畠石	水形	20	
707	65	951	Pet城	大字山道	1 b	9.8	4.2	1.1	36.95	出畠石	水形	21
708	66	951	原土	大字山道	1 b	4.9	4.5	1.1	23.06	出畠石	水形	24
709	67	951	原土	大字山道	12 b	5.0	2.2	138	出畠石	万瀬久	22	
710	68	951	原土	大字山道	V. (8.9)	5.2	1.8	6 (62)	出畠石	万瀬久	23	
711	69	951	1期	大字山道	— (5.3)	4.1	1.7	10 (48.94)	出畠石	下牛少	25	
712	70	951	1期	大字山道	— (9.4)	8.1	1.7	1 (122)	出畠石	安形	26	
713	71	951	1～三鶴	大字山道	—	—	—	41.46	出畠石	磯片		
714	72	951	原土	慈惠院	1 (3.0)	(3.0)	0.5	6 (6.80)	慈惠院	磯片	万瀬久	
715	73	951	1～三鶴	砾石	7.3	6.7	4.5	277	砾石	水形	27	
716	74	951	1～三鶴	砾石	1 Ab	12.6	4.6	4.63	砾石	水形	28	
717	75	951	原土	砾石	—	—	—	105.29 (8.1)	砾石	砾石	29	
718	76	951	原土	砾石	—	25.6	9.0	2.8	1860	砾石	水形	30
719	77	951	原土	砾石	—	19.9	6.4	3.4	3200	砾石	砾石	31
720	78	951	1～三鶴	砾石	—	3.0	4.1	2.2	28	砾石		
721	79	951	1～三鶴	砾石	—	3.2	3.8	1.1	6.46	砾石		
722	80	951	1～三鶴	砾石	—	2.6	4.7	1.1	15.52	砾石		
723	81	951	1～三鶴	砾石	—	2.6	2.3	0.6	3.10	砾石		
724	82	951	1～三鶴	砾石	—	2.4	2.2	0.5	1.60	砾石		
725	83	951	1～三鶴	砾石	—	1.6	2.2	0.5	2.22	砾石		
726	84	951	1～三鶴	砾石	—	2.0	1.8	0.5	1.36	砾石		
727	85	951	1～三鶴	砾石	—	1.7	1.1	0.4	1.10	砾石		
728	86	951	1～三鶴	砾石	—	2.3	2.0	0.5	1.72	砾石		
729	87	951	1～三鶴	砾石	—	1.7	1.5	0.5	0.88	砾石		
730	88	951	1～三鶴	砾石	—	5.6	3.7	0.5	20.98	砾石		
731	89	951	1～三鶴	砾石	—	2.9	1.3	0.5	1.82	砾石		
732	90	951	1～三鶴	砾石	—	2.5	1.5	0.5	1.00	砾石		
733	91	951	1～三鶴	砾石	—	1.0	1.4	0.2	0.20	砾石		
734	92	951	1～三鶴	砾石	—	2.0	2.4	0.8	3.74	砾石		
735	93	951	1～三鶴	砾石	—	2.5	2.4	0.8	3.82	砾石		
736	94	951	1～三鶴	砾石	—	2.0	2.6	0.5	2.34	砾石		

番号	分類	形	器種	分類	長さ(cm)	幅さ(cm)	厚さ(cm)	石 種	欠陥状況	備考	通号
727	95	9件	1. 剣	鋸片	2.8	1.4	1.4	4.04	黒曜石		
728	96	9件	後山面ペルト型	鋸片	3.9	1.7	0.2	1.88	黒曜石		
729	97	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.7	1.8	0.6	2.24	黒曜石		
740	98	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.5	2.2	2.0	9.52	黒曜石		
741	99	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.2	1.6	0.4	1.36	黒曜石		
742	100	9件	後山面ペルト型	鋸片	3.8	1.9	1.3	3.52	黒曜石		
743	101	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.5	2.2	0.7	1.78	黒曜石		
744	102	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.6	1.2	0.6	1.00	黒曜石		
745	103	9件	後山面ペルト型	鋸片	3.9	1.5	0.6	1.76	黒曜石		
746	104	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.8	1.0	0.6	0.78	黒曜石		
747	105	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.3	1.2	0.6	2.44	黒曜石		
748	106	9件	後山面ペルト型	鋸片	3.8	1.5	0.4	1.82	黒曜石		
749	107	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.4	1.3	0.3	0.78	黒曜石		
750	108	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.7	0.7	0.6	1.28	黒曜石		
751	109	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.1	1.3	0.5	1.40	黒曜石		
752	110	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.8	2.5	0.5	2.86	黒曜石		
753	111	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.5	1.0	0.5	0.24	黒曜石		
754	112	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.8	1.5	0.7	1.18	黒曜石		
755	113	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.8	3.8	0.8	7.28	黒曜石		
756	114	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.4	1.1	0.6	0.90	黒曜石		
757	115	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.4	1.1	0.7	1.02	黒曜石		
758	116	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.8	1.7	0.6	2.52	黒曜石		
759	117	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.4	2.0	0.5	1.94	黒曜石		
760	118	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.8	1.8	0.5	2.28	黒曜石		
761	119	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.8	1.6	0.9	1.93	黒曜石		
762	120	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.4	1.2	0.5	0.52	黒曜石		
763	121	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.8	2.5	0.7	1.82	黒曜石		
764	122	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.8	1.8	0.4	1.36	黒曜石		
765	123	9件	後山面ペルト型	鋸片	3.1	1.0	0.2	1.76	黒曜石		
766	124	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.3	1.0	0.4	0.54	黒曜石		
767	125	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.8	0.7	0.5	0.24	黒曜石		
768	126	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.8	0.7	0.4	0.76	黒曜石		
769	127	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.5	1.8	0.5	2.28	黒曜石		
770	128	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.4	0.7	0.5	0.96	黒曜石		
771	129	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.5	0.9	0.4	0.82	黒曜石		
772	130	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.9	2.2	0.7	2.48	黒曜石		
773	131	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.1	0.7	0.2	0.26	黒曜石		
774	132	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.3	0.8	0.3	0.32	黒曜石		
775	133	9件	後山面ペルト型	鋸片	2.3	1.5	0.6	1.34	黒曜石		
776	134	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.2	0.7	0.2	0.14	黒曜石		
777	135	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.7	0.4	0.1	0.08	黒曜石		
778	136	9件	後山面ペルト型	鋸片	1.0	0.9	0.2	0.22	黒曜石		
779	137	9件	雨土	鋸片	2.1	1.5	0.4	1.68	馬蹄石		
780	138	9件	雨土	鋸片	4.4	4.3	0.9	16.12	砂岩		
781	139	9件	雨土	鋸片	3.3	2.3	1.4	13.30	黄页		
782	140	9件	雨土	鋸片	5.0	3.3	1.2	23.04	砂岩		
783	141	9件	雨土	鋸片	3.8	2.2	1.2	13.28	黄页		
784	142	9件	雨土	鋸片	3.8	1.4	0.9	3.52	黄页		
785	143	9件	雨土	鋸片	6.6	6.1	1.3	36.78	黄页		
786	144	9件	雨土	鋸片	2.6	2.1	0.8	3.82	鶴嘴岩		
787	145	9件	雨土	鋸片	3.5	2.5	1.2	9.86	鶴嘴岩		
788	146	9件	雨土	鋸片	3.1	1.5	0.7	2.96	鶴嘴岩		
789	147	9件	雨土	鋸片	3.4	3.5	1.0	13.04	鶴嘴岩		
790	148	9件	雨土	鋸片	4.8	3.4	1.3	21.98	鶴嘴岩		
791	149	9件	雨土	鋸片	6.5	5.1	1.5	77	頁岩		
792	150	9件	雨土	鋸片	3.8	2.1	1.2	8.70	鶴嘴岩		
793	151	9件	雨土	鋸片	2.7	1.6	0.9	4.78	鶴嘴岩		
794	152	9件	雨土	鋸片	2.8	4.2	0.6	7.20	鶴嘴岩		
795	153	9件	雨土	鋸片	1.8	1.1	0.2	0.30	黒曜石		
796	154	9件	雨土	鋸片	2.4	1.2	0.5	1.10	黒曜石		
797	155	9件	雨土	鋸片	1.5	1.8	0.6	1.54	黒曜石		
798	156	9件	雨土	鋸片	1.8	2.4	0.3	1.40	黒曜石		
799	157	9件	雨土	鋸片	3.4	2.6	0.9	9.18	黒曜石		
800	158	9件	雨土	鋸片	4.5	1.3	0.5	1.75	黒曜石		
801	159	9件	雨土	鋸片	2.2	1.6	0.5	1.96	黒曜石		
802	160	9件	雨土	鋸片	2.3	1.0	0.4	0.74	黒曜石		
803	161	9件	雨土	鋸片	1.6	1.5	0.3	0.62	卫壁岩		
804	162	9件	雨土	鋸片	1.7	1.5	0.3	1.04	卫壁岩		
805	163	9件	雨土	鋸片	2.5	1.5	0.5	1.20	出雲石		
806	164	9件	雨土	鋸片	1.9	2.2	0.5	1.60	出雲石		
807	165	9件	雨土	鋸片	2.3	1.8	0.3	1.26	黒曜石		
808	166	9件	雨土	鋸片	4.0	1.7	0.5	3.58	黒曜石		
809	167	9件	雨土	鋸片	1.7	2.6	0.7	2.64	黒曜石		
810	168	9件	雨土	鋸片	1.4	1.4	0.4	0.54	黒曜石		
811	169	9件	雨土	鋸片	2.5	1.9	0.9	5.26	黒曜石		
812	170	9件	雨土	鋸片	2.4	2.0	0.6	1.66	黒曜石		
813	171	9件	雨土	鋸片	3.2	1.7	0.5	2.06	出雲石		
814	172	9件	雨土	鋸片	2.5	1.5	0.5	1.20	鶴嘴石		
815	173	9件	雨土	鋸片	1.8	1.4	0.3	0.76	鶴嘴石		
816	174	9件	雨土	鋸片	2.1	2.0	0.2	0.96	鶴嘴石		
817	175	9件	雨土	鋸片	2.8	1.1	0.6	1.28	鶴嘴石		
818	176	9件	雨土	鋸片	2.1	1.9	0.6	2.04	鶴嘴石		
819	177	9件	雨土	鋸片	1.8	1.6	1.6	2.06	鶴嘴石		
820	178	9件	雨土	鋸片	3.0	1.1	0.5	1.46	鶴嘴石		
821	179	9件	雨土	鋸片	3.0	1.8	0.9	3.48	黒曜石		
822	180	9件	雨土	鋸片	2.0	1.4	0.6	1.92	鶴嘴石		
823	181	9件	雨土	鋸片	2.1	1.7	0.5	1.44	鶴嘴石		
824	182	9件	雨土	鋸片	1.9	1.2	0.3	0.64	鶴嘴石		
825	183	9件	雨土	鋸片	1.9	1.7	0.2	0.52	鶴嘴石		
826	184	9件	雨土	鋸片	1.8	1.5	0.3	0.54	鶴嘴石		
827	185	9件	雨土	鋸片	1.8	2.5	0.5	1.82	鶴嘴石		
828	186	9件	雨土	鋸片	1.1	2.3	0.5	1.90	鶴嘴石		

番号	西経度	北緯度	標高	西	東	分	秒	距離(m)	幅(m)	面積(ha)	石	材	欠損状況	調査者	測定者
829	167	91E	400	銅片		2.5	1.5	0.7	1.52		珊瑚石				
830	168	91E	400	銅片		1.3	1.5	0.4	0.46		珊瑚石				
831	169	91E	400	ペルト更綱	銅片	4.4	4.0	0.9	17.68		珊瑚石				
832	170	91E	400	ペルト更綱	銅片	6.9	3.2	1.4	27.52		貝殻				
833	191	91E	400	ペルト更綱	銅片	3.8	2.6	0.4	5.22		珊瑚石				
834	192	91E	400	ペルト更綱	銅片	3.7	1.9	1.2	13.96		貝殻				
835	193	91E	400	ペルト更綱	銅片	4.1	2.4	0.7	5.92		珊瑚石				
836	194	91E	400	ペルト更綱	銅片	2.2	2.1	0.4	2.40		珊瑚石				
837	195	91E	400	ペルト更綱	銅片	2.5	1.4	0.5	1.82		珊瑚石				
838	196	91E	400	ペルト更綱	銅片	1.8	2.8	0.5	2.18		珊瑚石				
839	197	91E	400	ペルト更綱	銅片	1.7	2.9	0.6	0.88		珊瑚石				
840	198	91E	400	銅片		4.2	2.9	0.7	11.10		珊瑚石				
841	199	91E	400	「」	銅石片	1.8	2.8	1.8	40.82		貝殻				
842	200	91E	400	「」	銅石片	4.0	4.3	0.8	23.28		珊瑚石				
843	201	91E	400	「」	銅石片	2.6	2.6	1.5	10.82		珊瑚石				
844	202	91E	400	「」	銅石片	4.2	4.0	1.2	26.08		珊瑚石				
845	203	91E	400	銅片		3.8	2.7	2.4	24.82		珊瑚石				
846	204	91E	400	銅片		2.5	2.2	0.5	3.80		珊瑚石				
847	205	91E	400	ペルト更綱	銅石片	4.7	4.3	1.1	26.30		珊瑚石				
848	206	91E	400	ペルト更綱	銅石片	3.7	3.2	1.1	16.74		珊瑚石				
849	207	91E	400	ペルト更綱	銅石片	4.0	4.0	1.8	27.24		珊瑚石				
850	208	91E	400	「」	銅石片	4.9	5.4	1.2	51		珊瑚石				
851	209	91E	400	銅片		4.4	3.6	1.4	37.56		貝殻				
852	210	91E	400	銅片		5.3	5.0	2.9	79		チャート	完形			
853	1	10E	400	西土	石礫	1	2.4	1.5	0.4	1.02		珊瑚石	完形		1
854	2	10E	400	西土	石礫	E	2.5	1.7	0.4	1.00		珊瑚石	完形		2
855	3	10E	400	「」	小砂岩	1.9	2.3	0.7	2.78		珊瑚石	完形			
856	4	10E	400	西土	小砂岩	3.2	2.8	0.5	2.84		珊瑚石	完形		3	
857	5	10E	400	西土	小砂岩	2.1	2.2	0.7	2.80		珊瑚石	完形		4	
858	6	10E	400	西土	小砂岩	3.8	2.3	1.3	6.09		珊瑚石	完形		5	
859	7	10E	400	西土	小砂岩	2.0	2.0	0.7	1.94		珊瑚石	完形			
860	8	10E	400	西土	小砂岩	1.8	2.0	0.9	4.54		珊瑚石	完形			
861	9	10E	400	西土	小砂岩	2.7	1.0	0.6	1.60		珊瑚石	完形			
862	10	10E	400	西土	小砂岩	2.5	1.8	0.8	2.44		珊瑚石	完形			
863	11	10E	400	西土	小砂岩	2.5	1.4	0.5	1.50		珊瑚石	完形			
864	12	10E	400	西土	小砂岩	3.0	3.0	0.9	5.50		珊瑚石	完形			
865	13	10E	400	西土	小砂岩	2.3	1.5	0.5	1.48		珊瑚石	完形			
866	14	10E	400	西土	小砂岩	2.4	1.8	0.3	0.86		珊瑚石	完形			
867	15	10E	400	西土	小砂岩	2.2	2.5	0.5	1.82		珊瑚石	完形		6	
868	16	10E	400	西土	小砂岩	2.7	1.4	0.4	1.36		珊瑚石	完形			
869	17	10E	400	西土	小砂岩	4.3	1.7	1.9	6.60		珊瑚石	完形			
870	18	10E	400	西土	小砂岩	2.5	2.0	0.5	1.22		珊瑚石	完形			
871	19	10E	400	西土	小砂岩	2.6	2.0	0.4	2.64		珊瑚石	完形			
872	20	10E	400	西土	小砂岩	2.2	1.9	0.7	2.40		珊瑚石	完形			
873	21	10E	400	西土	小砂岩	2.1	2.0	0.4	1.36		珊瑚石	完形			
874	22	10E	400	西土	小砂岩	1.8	1.8	0.5	0.52		珊瑚石	完形			
875	23	10E	400	西土	小砂岩	2.2	1.7	0.5	1.54		珊瑚石	完形			
876	24	10E	400	西土	小砂岩	1.5	1.8	0.3	0.68		珊瑚石	完形			
877	25	10E	400	「」	打張石	—	(8.0)	4.4	1.9	[36.88]		貝殻	下平欠		7
878	26	10E	400	「」	打張石	—	(8.4)	5.6	1.8	(117)		貝殻	另添欠		8
879	27	10E	400	「」	銅片	5.0	2.0	1.5	20.00		珊瑚石				
880	28	10E	400	「」	銅片	4.4	3.4	1.7	22.06		珊瑚石				
881	29	10E	400	「」	銅片	4.8	3.3	0.5	9.42		珊瑚石				
882	30	10E	400	「」	銅片	3.5	3.0	1.5	7.46		珊瑚石				
883	31	10E	400	「」	銅片	3.8	1.7	0.9	4.42		珊瑚石				
884	32	10E	400	「」	銅片	4.5	2.2	1.2	10.72		チャート				
885	33	10E	400	「」	銅片	2.3	1.9	0.7	1.72		珊瑚石				
886	34	10E	400	「」	銅片	2.6	3.5	0.9	4.90		珊瑚石				
887	35	10E	400	「」	銅片	4.6	4.2	1.2	35.06		珊瑚石				
888	36	10E	400	「」	銅片	2.7	2.0	1.0	5.86		珊瑚石				
889	37	10E	400	西土	銅片	3.5	2.2	0.5	3.50		チャート				
890	38	10E	400	西土	銅片	1.8	1.2	0.4	0.48		珊瑚石				
891	39	10E	400	西土	銅片	1.1	1.1	0.5	0.55		珊瑚石				
892	40	10E	400	西土	銅片	2.6	1.5	0.8	1.68		珊瑚石				
893	41	10E	400	西土	銅片	3.2	1.5	0.4	2.92		珊瑚石				
894	42	10E	400	西土	銅片	2.8	1.7	0.7	2.60		珊瑚石				
895	43	10E	400	西土	銅片	1.7	2.0	0.8	2.04		珊瑚石				
896	44	10E	400	西土	銅片	2.1	1.0	0.3	0.50		珊瑚石				
897	45	10E	400	西土	銅片	1.4	2.0	0.3	0.76		珊瑚石				
898	46	10E	400	西土	銅片	1.2	1.5	0.5	0.66		珊瑚石				
899	47	10E	400	西土	銅片	3.0	1.4	0.6	2.12		珊瑚石				
900	48	10E	400	西土	銅片	2.1	1.0	0.4	0.80		珊瑚石				
901	49	10E	400	西土	銅片	2.9	2.3	1.1	5.82		珊瑚石				
902	50	10E	400	西土	銅片	1.8	2.9	0.8	3.62		珊瑚石				
903	51	10E	400	西土	銅片	3.5	1.9	0.9	4.82		珊瑚石				
904	52	10E	400	西土	銅片	2.4	2.4	0.5	2.24		珊瑚石				
905	53	10E	400	西土	銅片	2.4	3.4	1.5	8.04		珊瑚石				
906	54	10E	400	西土	銅片	2.1	1.8	0.4	1.36		珊瑚石				
907	55	10E	400	西土	銅片	2.3	1.0	0.5	0.95		珊瑚石				
908	56	10E	400	西土	銅片	2.9	1.5	0.5	2.46		珊瑚石				
909	57	10E	400	西土	銅片	3.8	1.6	0.9	4.28		珊瑚石				
910	58	10E	400	西土	銅片	1.9	2.1	0.6	2.36		珊瑚石				
911	59	10E	400	西土	銅片	2.5	1.6	0.4	0.92		珊瑚石				
912	60	10E	400	西土	銅片	2.6	1.7	0.4	1.60		珊瑚石				
913	61	10E	400	西土	銅片	2.0	2.9	0.5	2.20		珊瑚石				
914	62	10E	400	西土	銅片	2.4	2.7	0.6	2.92		珊瑚石				
915	63	10E	400	西土	銅片	2.7	1.0	0.6	1.26		珊瑚石				
916	64	10E	400	西土	銅片	2.5	1.8	0.3	0.68		珊瑚石				
917	65	10E	400	西土	銅片	3.2	2.7	0.7	4.16		珊瑚石				
918	66	10E	400	西土	銅片	2.3	2.3	0.8	3.52		珊瑚石				
919	67	10E	400	西土	銅片	1.5	1.0	0.2	0.28		珊瑚石				
920	68	10E	400	西土	銅片	3.1	0.9	0.6	1.44		珊瑚石				

番号	出土地名	佐渡骨寺	西	四 種	分 類	長さ(cm)	幅さ(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石 器	欠損状況	質 感	備 考
921	69	10往	圓土	側片		1.6	1.4	1.1	3.08	馬鹿石			
922	70	10往	圓土	側片		1.7	1.2	0.2	0.36	馬鹿石			
923	71	10往	圓土	側片		1.5	1.1	0.2	0.26	馬鹿石			
924	72	10往	圓土	側片		2.3	1.7	1.0	2.54	馬鹿石			
925	73	10往	圓土	側片		2.4	1.0	0.4	0.78	馬鹿石			
926	74	10往	圓土	側片		2.2	1.6	0.6	0.94	馬鹿石			
927	75	10往	圓土	側片		2.2	1.5	0.8	1.38	馬鹿石			
928	76	10往	圓土	側片		2.2	1.5	0.5	1.32	馬鹿石			
929	77	10往	圓土	側片		1.6	1.4	0.4	0.82	馬鹿石			
930	78	10往	圓土	側片		2.0	1.7	0.8	1.64	馬鹿石			
931	79	10往	圓土	側片		2.7	0.9	0.6	1.24	馬鹿石			
932	80	10往	圓土	側片		2.1	1.2	0.2	0.38	馬鹿石			
933	81	10往	圓土	側片		2.3	0.9	0.5	0.56	馬鹿石			
934	82	10往	圓土	側片		2.0	2.0	0.6	1.82	馬鹿石			
935	83	10往	圓土	側片		1.8	1.2	0.4	0.96	馬鹿石			
936	84	10往	圓土	側片		1.7	1.2	0.4	0.84	馬鹿石			
937	85	10往	圓土	側片		2.5	1.5	0.5	0.90	馬鹿石			
938	86	10往	圓土	側片		2.0	1.3	0.8	1.26	馬鹿石			
939	87	10往	圓土	側片		2.1	1.5	0.6	1.26	馬鹿石			
940	88	10往	圓土	側片		2.0	0.9	0.2	0.22	馬鹿石			
941	89	10往	圓土	側片		2.0	1.0	0.4	0.70	馬鹿石			
942	90	10往	圓土	側片		2.5	2.3	0.9	4.78	馬鹿石			
943	91	10往	圓土	側片		3.0	1.7	0.6	2.62	馬鹿石			
944	92	10往	圓土	側片		1.8	2.2	0.3	1.70	馬鹿石			
945	93	10往	圓土	側片		2.6	1.9	0.5	0.02	馬鹿石			
946	94	1~10回	磨石片			5.3	2.6	0.8	14.16	磨砂石			
947	95	1~10回	磨石片			4.6	3.5	2.6	29.28	磨砂石			
948	1	11往	南北ペルト	石核		1.6	2.9	1.9	7.58	馬鹿石	完形		
949	2	11往	1~10回	小形石器		2.8	3.4	0.6	6.16	チャート	完形	1	
950	3	11往	中央複合	小形石器		2.4	1.7	0.3	1.26	馬鹿石	完形	2	
951	4	11往	中央複合	小形石器		2.4	1.6	0.7	2.04	馬鹿石	完形		
952	5	11往	圓土	小形石器		2.5	2.3	0.6	2.64	馬鹿石	完形		
953	6	11往	小形石器	小形石器		1.7	1.7	0.6	1.76	馬鹿石	完形		
954	7	11往	1~10回	打制石器	Tb	8.0	3.2	1.3	53	馬鹿石	完形	3	
955	8	11往	中央複合	打制石器	Vg	13.2	5.6	2.2	152	質造	完形	4	刀削削面
956	9	11往	1~10回	打制石器		3.8	1.8	0.4	3.68	質造			
957	10	11往	1~10回	打制石器		2.5	2.2	2.0	9.22	馬鹿石			
958	11	11往	1~10回	打制石器		1.5	1.7	0.8	1.72	馬鹿石			
959	12	11往	1~10回	打制石器		2.0	1.5	0.9	2.24	馬鹿石			
960	13	11往	日向	打制石器		1.8	2.0	0.7	1.26	馬鹿石			
961	14	11往	日向	打制石器		1.5	1.1	0.4	0.48	馬鹿石			
962	15	11往	Pt12	側片		3.0	2.0	0.7	3.38	馬鹿石			
963	16	11往	中央複合	側片		2.4	2.7	1.8	8.20	馬鹿石			
964	17	11往	中央複合	側片		2.4	3.1	0.5	2.46	馬鹿石			
965	18	11往	中央複合	側片		1.6	1.1	0.4	0.66	馬鹿石			
966	19	11往	圓土	側片		5.0	6.3	1.3	40.68	質造石			
967	20	11往	圓土	側片		6.0	2.8	1.3	19.02	質造石			
968	21	11往	圓土	側片		3.3	1.7	1.2	5.52	馬鹿石			
969	22	11往	圓土	側片		2.8	1.7	1.3	5.58	馬鹿石			
970	23	11往	底上	磨石片		4.3	4.5	1.0	18.90	質造石			
971	24	11往	南北ペルト	磨石片		7.7	4.2	1.0	40.76	質造石	質造		
972	1	12往	一ノ原	石核		2.6	2.8	1.9	9.18	馬鹿石	完形	1	
973	2	12往	一ノ原	くさび形石器		2.1	2.2	0.6	2.98	馬鹿石	完形	2	
974	3	12往	一ノ原	くさび形石器		2.1	1.5	0.5	1.46	馬鹿石	完形	3	
975	4	12往	一ノ原	くさび形石器		1.7	1.4	0.4	1.26	馬鹿石	完形	4	
976	5	12往	一ノ原	小形石器		2.1	1.9	0.7	3.86	馬鹿石	完形		
977	6	12往	一ノ原	小形石器		3.3	2.1	0.5	3.16	馬鹿石	完形		
978	7	12往	一ノ原	小形石器		3.7	2.5	0.6	5.86	馬鹿石	完形		
979	6	12往	一ノ原	研磨石	墨	12.5	3.3	2.0	125	ホルツフルス	完形	5	
980	9	12往	1~10回	側片		4.3	4.9	0.6	16.90	質造石			
981	10	12往	1~10回	側片		4.0	2.5	0.7	11.68	質造			
982	11	12往	1~10回	側片		3.0	3.8	0.8	9.88	質造			
983	12	12往	1~10回	側片		3.2	1.7	0.7	2.84	馬鹿石			
984	13	12往	1~10回	側片		2.2	1.8	1.4	3.44	馬鹿石			
985	14	12往	1~10回	側片		3.6	2.5	1.9	7.92	馬鹿石			
986	15	12往	1~10回	側片		3.7	1.9	0.5	2.94	馬鹿石			
987	16	12往	1~10回	側片		1.3	1.2	0.4	0.50	馬鹿石			
988	17	12往	1~10回	側片		3.2	2.0	0.5	3.44	馬鹿石			
989	18	12往	1~10回	側片		3.9	2.3	0.7	8.06	馬鹿石			
990	19	12往	1~10回	側片		1.9	2.3	0.6	1.66	馬鹿石			
991	20	12往	1~10回	側片		2.1	1.7	0.8	2.46	馬鹿石			
992	21	12往	1~10回	側片		2.5	1.8	1.4	4.64	馬鹿石			
993	22	12往	1~10回	側片		5.0	3.1	1.2	17.04	馬鹿石			
994	23	12往	1~10回	側片		2.0	1.6	1.0	2.54	馬鹿石			
995	24	12往	日向	側片		4.6	3.6	0.7	12.20	磨砂石	質造		
996	25	12往	Pt12往	側片		3.4	1.6	0.6	4.76	馬鹿石			
997	26	12往	Pt12往	側片		3.7	2.0	1.0	7.12	馬鹿石			
998	27	12往	一ノ原	磨石片		3.3	3.3	0.9	14.02	質造石			
999	1	13往	圓土	石核		2.2	1.8	0.8	9.58	馬鹿石	完形		
1000	2	13往	圓土	石核		2.5	1.1	1.2	10.54	馬鹿石	完形	11	
1001	3	13往	圓土	くさび形石器		1.8	2.3	0.5	2.54	馬鹿石	完形	12	
1002	4	13往	圓土	石核		4.3	1.9	1.0	5.48	馬鹿石	完形	13	
1003	5	13往	圓土	小形石器		3.0	1.9	0.5	2.26	馬鹿石	完形	1	
1004	6	13往	圓土	小形石器		3.7	1.2	0.5	2.02	馬鹿石	完形	2	
1005	7	13往	圓土	小形石器		2.5	2.8	0.5	3.28	馬鹿石	完形	3	
1006	8	13往	圓土	小形石器		3.2	2.1	0.4	3.04	馬鹿石	完形		
1007	9	13往	圓土	小形石器		4.2	3.6	0.7	8.36	馬鹿石	完形		
1008	10	13往	圓土	小形石器		1.9	1.7	0.5	1.42	馬鹿石	完形		
1009	11	13往	圓土	小形石器		2.1	1.4	0.5	1.24	馬鹿石	完形		
1010	12	13往	圓土	小形石器		2.4	2.2	0.6	2.26	馬鹿石	完形		
1011	13	13往	圓土	小形石器		2.2	2.3	0.8	3.36	馬鹿石	完形		
1012	14	13往	圓土	小形石器		3.9	2.4	0.8	9.42	馬鹿石	完形		

番号	地名	住居番号	構造	面積	延長(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(t)	石	材	欠損状況	備考	編合
1013	13街	1301	土	3.4	1.9	4.94			塊				4
1014	16	1307	土	1.7	2.0	4.5			塊				5
1015	17	1308	土	3.0	2.1	5.5			塊				6
1016	18	1309	土	3.2	2.1	6.7	3.80		塊				7
1017	19	1310	土	2.8	1.2	6.6	1.92		塊				
1018	20	1311	土	3.9	1.6	6.5	1.34		塊				
1019	21	1312	土	2.4	1.7	6.5	2.48		塊				
1020	22	1313	土	3.4	1.8	5.1	6.04		塊				
1021	23	1314	土	3.7	2.5	1.7	6.70		塊				
1022	24	1315	土	3.7	1.8	6.9	4.58		塊				
1023	25	1316	土	4.3	2.5	1.4	9.58		塊				
1024	26	1317	土	2.9	2.4	6.8	4.94		塊				
1025	27	1318	土	3.2	3.3	6.8	5.58		塊				8
1026	28	1319	土	2.7	1.3	6.2	0.94		塊				9
1027	29	1320	土	2.6	2.6	6.7	4.02		塊				
1028	30	1321	土	3.0	2.8	1.1	6.06		塊				
1029	31	1322	土	2.1	1.5	6.1	1.76		塊				
1030	32	1323	土	3.7	1.9	6.5	5.89		塊				
1031	33	1324	土	2.1	1.2	6.4	1.10		塊				
1032	34	1325	土	2.7	2.5	6.5	1.54		塊				
1033	35	1326	土	2.3	1.8	6.5	1.46		塊				
1034	36	1327	土	3.0	1.9	6.7	3.52		塊				
1035	37	1328	土	1.7	1.6	6.5	1.80		塊				
1036	38	1329	土	2.6	2.2	6.7	5.30		塊				
1037	39	1330	土	1.8	2.5	6.3	1.86		塊				
1038	40	1331	土	2.0	3.5	6.5	2.50		塊				
1039	41	1332	土	3.0	2.5	6.5	2.70		塊				
1040	42	1333	土	2.8	2.5	6.5	2.36		塊				
1041	43	1334	土	2.4	1.6	6.5	1.78		塊				10
1042	44	1335	土	1.9	2.1	6.5	13.36		塊				
1043	45	1336	土	2.0	1.5	6.5	1.28		塊				
1044	46	1337	土	3.2	1.5	6.7	2.42		塊				
1045	47	1338	土	2.7	1.5	6.5	1.54		塊				
1046	48	1339	土	3.1	1.2	6.5	2.46		塊				
1047	49	1340	土	3.6	1.0	6.5	0.86		塊				
1048	50	1341	土	5.5	1.8	6.9	8.84		塊				
1049	51	1342	土	3.5	1.6	6.8	5.32		塊				
1050	52	1343	土	V-	(10.0)	3.9	1.5	(74)	頁岩		河毎久	頭廻乳	14
1051	53	1344	土	1.8	10.0	3.6	2.0	86	頁岩				15
1052	54	1345	土	Vb	12.7	4.8	1.6	123	白雲				16
1053	55	1346	土	打削外	1.3	5.0	2.1	138	頁岩				17
1054	56	1347	土	Ba	10.0	5.0	1.9	88	頁岩				18
1055	57	1348	土	V-	(7.5)	5.3	1.5	(75)	頁岩				19
1056	58	1349	土	打削外	8.1	3.8	1.6	57	頁岩				20
1057	59	1350	土	Vb	10.8	4.7	1.6	102	頁岩				21
1058	60	1351	土	打削外	1.0	4.5	3.5	(19)	頁岩				22
1059	61	1352	土	V-	1.0	4.2	3.5	1.1	頁岩				23
1060	62	1353	土	Vb	1.0	5.3	1.5	(59)	頁岩				24
1061	63	1354	土	Vb	1.0	5.3	1.5	(59)	頁岩				
1062	64	1355	土	Vb	1.0	5.3	1.5	(59)	頁岩				
1063	65	1356	土	Ia	9.8	7.3	4.8	555	頁岩				26
1064	66	1357	土	Ia	(4.8)	5.8	3.5	(295)	頁岩				27
1065	67	1358	土	Ia	18.7	3.8	2.8	394	頁岩				28
1066	68	1359	Pb四矢	I	(10.4)	4.8	2.5	(256)	赤鉄	河	河		29
1067	69	1360	土	V-	4.6	3.5	1.2	19.84	頁岩				
1068	70	1361	土	V-	2.2	2.8	0.9	3.58	塊				
1069	71	1362	土	V-	6.2	1.8	1.4	16.04	塊				
1070	72	1363	土	V-	3.6	3.8	1.0	7.14	塊				
1071	73	1364	土	V-	2.8	1.7	0.8	5.26	塊				
1072	74	1365	土	V-	3.7	1.3	0.8	2.96	塊				
1073	75	1366	土	V-	2.1	2.4	0.5	2.00	塊				
1074	76	1367	土	V-	2.6	2.1	0.5	3.62	塊				
1075	77	1368	土	V-	2.6	2.1	0.5	3.54	塊				
1076	78	1369	土	V-	3.3	2.2	0.6	2.76	塊				
1077	79	1370	土	V-	2.2	2.0	1.4	6.50	塊				
1078	80	1371	土	V-	2.3	2.2	0.7	2.38	塊				
1079	81	1372	土	V-	4.3	1.9	0.9	7.20	塊				
1080	82	1373	土	V-	2.0	1.4	0.8	2.14	塊				
1081	83	1374	土	V-	3.0	1.6	1.2	2.82	塊				
1082	84	1375	土	V-	2.5	1.1	0.7	1.56	塊				
1083	85	1376	土	V-	2.0	1.5	0.4	0.88	塊				
1084	86	1377	土	V-	2.6	0.9	0.4	0.82	塊				
1085	87	1378	土	V-	2.5	1.7	0.4	1.88	塊				
1086	88	1379	土	V-	1.4	1.2	0.2	0.56	塊				
1087	89	1380	土	V-	3.9	3.0	1.6	12.56	塊				
1088	90	1381	土	V-	5.4	1.9	0.8	10.40	塊				
1089	91	1382	土	V-	3.3	1.8	1.8	11.68	塊				
1090	92	1383	土	V-	1.8	1.2	0.8	0.94	塊				
1091	93	1384	土	V-	1.8	1.3	0.5	0.70	塊				
1092	94	1385	土	V-	2.0	2.2	0.4	1.12	塊				
1093	95	1386	土	V-	1.2	2.3	0.8	1.58	塊				
1094	96	1387	土	V-	3.1	3.6	0.7	7.74	膠				
1095	97	1388	土	V-	3.2	3.9	1.3	15.14	骨チャコト				
1096	98	1389	土	V-	2.1	1.5	0.5	2.14	塊				
1097	99	1390	土	V-	3.6	3.6	0.9	5.88	塊				
1098	100	1391	土	V-	2.5	0.9	0.3	0.42	塊				
1099	101	1392	土	V-	3.4	1.4	0.4	1.02	塊				
1100	102	1393	土	V-	2.3	1.4	0.9	1.82	塊				
1101	103	1394	土	V-	2.8	2.1	0.5	5.60	塊				
1102	104	1395	土	V-	2.6	2.0	0.5	3.28	塊				
1103	105	1396	土	V-	1.9	2.8	0.8	1.59	塊				
1104	106	1397	土	V-	2.6	2.6	0.5	2.86	塊				

番号	石器種類	住居番号	層位	四角形	分類	長さ(cm)	幅さ(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石種	欠損状況	備考	図版
1105	107	13住	1～5層	刮削片		2.1	0.9	0.4	0.92	麻績石			
1106	108	13住	1～5層	刮削片		2.1	2.0	0.5	1.02	麻績石			
1107	109	13住	1～5層	刮削片		2.6	1.6	0.5	1.68	麻績石			
1108	110	13住	1～5層	刮削片		2.5	4.4	0.8	8.44	麻績石			
1109	111	13住	1～5層	刮削片		2.6	1.3	0.5	1.36	麻績石			
1110	112	13住	1～5層	刮削片		7.3	2.7	1.3	38.76	麻績石			
1111	113	13住	1～5層	刮削片		5.2	2.9	2.0	19.16	麻績石			
1112	114	13住	1～5層	刮削片		3.3	1.8	0.3	1.90	頁岩			
1113	115	13住	1～5層	刮削片		2.4	1.8	0.5	2.28	チャート			
1114	116	13住	1～5層	刮削片		2.1	2.5	1.3	6.64	原石			
1115	117	13住	1～5層	刮削片		3.0	2.4	1.1	8.34	麻績石			
1116	118	13住	1～5層	刮削片		4.9	3.0	1.3	12.44	麻績石			
1117	119	13住	1～5層	刮削片		1.8	0.9	0.5	0.62	麻績石			
1118	120	13住	1～5層	刮削片		1.8	1.4	0.5	0.98	麻績石			
1119	121	13住	1～5層	刮削片		3.5	2.0	1.3	6.44	麻績石			
1120	122	13住	1～5層	刮削片		2.8	1.3	0.4	1.02	麻績石			
1121	123	13住	1～5層	刮削片		2.9	2.1	0.9	3.96	頁岩			
1122	124	13住	1～5層	刮削片		3.9	2.0	0.8	5.38	麻績石			
1123	125	13住	1～5層	刮削片		3.9	1.8	0.3	2.06	麻績石			
1124	126	13住	1～5層	刮削片		2.1	1.5	1.6	2.72	麻績石			
1125	127	13住	1～5層	刮削片		2.2	2.7	0.8	3.90	麻績石			
1126	128	13住	1～5層	刮削片		3.0	1.4	0.7	1.38	麻績石			
1127	129	13住	1～5層	刮削片		1.7	1.4	0.4	1.26	麻績石			
1128	130	13住	1～5層	刮削片		2.7	1.5	0.5	1.18	麻績石			
1129	131	13住	1～5層	刮削片		1.6	1.1	0.4	0.50	麻績石			
1130	132	13住	1～5層	刮削片		1.3	1.0	0.1	0.16	麻績石			
1131	133	13住	1～5層	刮削片		1.2	0.9	0.6	0.82	麻績石			
1132	134	13住	1～5層	刮削片		1.7	1.6	0.2	0.44	麻績石			
1133	135	13住	1～5層	刮削片		1.8	2.0	0.3	0.94	麻績石			
1134	136	13住	1～5層	刮削片		2.2	1.9	0.7	2.22	麻績石			
1135	137	13住	1～5層	刮削片		2.2	1.6	0.3	1.18	麻績石			
1136	138	13住	1～5層	刮削片		2.7	1.6	0.6	1.86	刈谷石			
1137	139	13住	1～5層	刮削片		1.7	1.1	0.4	0.70	麻績石			
1138	140	13住	1～5層	刮削片		2.5	1.0	0.5	1.10	刈谷石			
1139	141	13住	1～5層	刮削片		2.8	1.7	0.7	2.48	刈谷石			
1140	142	13住	1～5層	刮削片		2.3	1.7	0.6	2.32	刈谷石			
1141	143	13住	1～5層	刮削片		4.2	2.5	0.9	16.46	頁岩			
1142	144	13住	1～5層	刮削片		4.4	3.3	0.3	7.19	頁岩			
1143	145	13住	1～5層	刮削片		5.8	4.5	0.9	18.86	粘板岩			
1144	146	13住	1～5層	刮削片		7.8	4.6	1.0	47.70	硬度不明			
1145	147	13住	1～5層	刮削片		2.8	2.2	1.2	45.90	硬度不明			
1146	148	13住	1～5層	刮削片		1.7	1.5	0.5	0.80	硬度不明			
1147	149	13住	1～5層	刮削片		3.0	2.3	1.4	4.52	刈谷石			
1148	150	13住	1～5層	刮削片		4.5	1.1	0.6	2.06	刈谷石			
1149	151	13住	1～5層	刮削片		3.5	1.4	0.3	1.08	刈谷石			
1150	152	13住	1～5層	刮削片		4.2	2.5	0.5	3.42	刈谷石			
1151	153	13住	1～5層	刮削片		2.6	1.8	1.2	3.22	刈谷石			
1152	154	13住	1～5層	刮削片		2.0	1.8	0.6	2.02	刈谷石			
1153	155	13住	1～5層	刮削片		3.7	2.0	0.8	1.86	刈谷石			
1154	156	13住	1～5層	刮削片		2.2	1.5	0.5	1.18	刈谷石			
1155	157	13住	1～5層	刮削片		3.3	1.5	0.6	1.56	刈谷石			
1156	158	13住	1～5層	刮削片		2.1	1.4	1.0	2.80	刈谷石			
1157	159	13住	1～5層	刮削片		1.8	1.1	0.4	0.46	硬度不明			
1158	160	13住	1～5層	刮削片		3.1	1.7	0.3	1.32	硬度不明			
1159	161	13住	1～5層	刮削片		2.5	1.5	0.4	0.86	硬度不明			
1160	162	13住	1～5層	刮削片		2.4	2.9	0.3	2.82	硬度不明			
1161	163	13住	1～5層	刮削片		2.0	2.3	0.4	1.16	硬度不明			
1162	164	13住	1～5層	刮削片		2.1	1.4	0.2	0.74	硬度不明			
1163	165	13住	1～5層	刮削片		2.3	1.8	0.3	0.56	硬度不明			
1164	166	13住	1～5層	刮削片		2.5	1.3	0.9	2.42	硬度不明			
1165	167	13住	1～5層	刮削片		4.7	3.8	0.5	13.08	頁岩			
1166	168	13住	1～5層	刮削片		3.2	3.4	1.3	14.50	硬度不明			
1167	169	13住	1～5層	刮削片		3.2	2.9	0.8	8.30	硬度不明			
1168	170	13住	1～5層	刮削片		3.8	3.8	2.6	47.26	硬度不明			
1169	171	13住	1～5層	刮削片		2.9	4.5	3.5	19.00	硬度不明			
1170	172	13住	1～5層	刮削片		4.9	3.7	1.0	18.95	硬度不明			
1171	1	1～14住	表面部	石核		2.4	5.0	2.0	25.86	刈谷石			
1172	2	1～14住	表面部	小形石器部		2.2	2.0	0.4	1.22	刈谷石	光形		
1173	3	1～14住	表面部	小形石器部		2.6	1.5	0.5	1.26	刈谷石	光形		
1174	4	1～14住	表面部	打制石斧	I	9.7	4.4	1.5	62	頁岩	光形	从側面斜照	4
1175	5	1～14住	表面部	打制石斧	I	9.9	5.2	1.1	76	頁岩	光形	左側斜照	5
1176	6	1～14住	表面部	打制石斧	II	11.8	4.3	2.2	115	頁岩	光形	光形	6
1177	7	1～14住	南西壁中段	側片		4.5	3.1	0.7	18.42	頁岩			
1178	8	1～14住	南西壁中段	側片		3.0	1.2	0.8	3.38	粘板岩			
1179	9	1～14住	南西壁中段	側片		2.7	1.2	0.5	1.90	頁岩			
1180	10	1～14住	南西壁中段	側片		7.3	4.2	1.2	27.14	粘板岩			
1181	11	1～14住	北壁	側片		4.7	3.1	1.0	16.76	硬度不明			
1182	12	1～14住	北壁	側片		3.4	5.1	1.1	36.54	硬度不明			
1183	13	1～14住	北壁	側片		2.7	1.8	0.8	3.86	硬度不明			
1184	14	1～14住	北壁	側片		2.4	4.0	0.8	8.90	硬度不明			
1185	15	1～14住	北壁	側片		2.6	2.6	1.1	5.88	硬度不明			
1186	16	1～14住	北壁	側片		1.3	0.7	0.4	0.34	硬度不明			
1187	17	1～14住	北壁	側片		2.6	2.6	0.8	5.90	硬度不明			
1188	16	1～14住	南西壁中段	磨り片		3.4	2.2	1.6	9.56	頁岩			
1189	19	1～14住	磨り片			5.9	3.8	0.7	24.02	硬度不明			
1190	20	1～14住	磨り片			4.0	2.7	2.1	18.58	硬度不明			
1191	21	1～14住	磨り片			4.1	3.5	0.7	20.18	硬度不明			
1192	22	1～14住	磨り片			5.0	3.0	1.5	25.22	硬度不明			
1193	23	1～14住	南西壁中段	磨り片		6.5	5.5	1.2	76	硬度不明			
1194	1	14住	1～5層	小形石器部		2.6	1.5	0.3	1.62	刈谷石	光形		3
1195	2	14住	1～5層	小形石器部		1.3	2.0	0.4	0.66	刈谷石	光形		2
1196	3	14住	1～5層	小形石器部		1.9	2.1	0.7	1.40	刈谷石	光形		1

## 第Ⅳ章 調査成果の分析研究

番号	測量日	日付	層位	分類	高さ(m)	幅(m)	厚さ(cm)	重さ(t)	石	欠損状況	層号	地番	
1197	4	14年	上Ⅱ層	鋼片	3.3	2.9	9.9	5.26	無端石	無	1		
1198	5	14年	上Ⅱ層	鋼片	4.5	1.5	6.9	5.92	無端石	無	2		
1199	6	14年	上Ⅱ層	鋼片	5.8	3.6	6.8	22.66	無端石	無	3		
1200	7	14年	上Ⅱ層	鋼片	1.8	1.2	0.6	0.66	無端石	無	4		
1201	8	14年	上Ⅱ層	鋼片	2.6	1.8	0.4	1.64	無端石	無	5		
1202	9	14年	上Ⅱ層	鋼片	1.8	1.5	0.3	0.98	無端石	無	6		
1203	10	14年	上Ⅱ層	鋼片	4.0	2.0	1.2	8.52	無端石	無	7		
1204	11	14年	上Ⅱ層	鋼片	2.4	1.2	0.6	1.44	無端石	無	8		
1205	12	14年	上Ⅱ層	鋼片	2.9	2.0	0.7	3.34	無端石	無	9		
1206	13	14年	上Ⅱ層	鋼片	1.8	1.3	0.6	1.10	無端石	無	10		
1207	14	14年	上Ⅱ層	鋼片	2.4	1.4	0.7	1.66	無端石	無	11		
1208	15	14年	上Ⅱ層	鋼片	1.5	1.0	0.3	0.46	無端石	無	12		
1209	16	14年	上Ⅱ層	鋼片	2.6	1.8	0.8	2.12	無端石	無	13		
1210	17	14年	上Ⅱ層	鋼片	2.5	1.9	0.7	2.04	無端石	無	14		
1211	18	14年	上Ⅱ層	鋼片	3.5	1.5	0.7	4.80	無端石	無	15		
1212	19	14年	上Ⅱ層	鋼片	2.6	1.8	0.7	3.64	無端石	無	16		
1213	20	14年	上Ⅱ層	鋼片	3.1	3.1	1.9	11.94	無端石	無	17		
1214	21	14年	上Ⅱ層	鋼片	4.7	3.3	0.9	19.84	無端石	無	18		
1215	22	14年	上Ⅱ層	鋼片	3.1	5.2	1.2	17.52	無端石	無	19		
1216	23	14年	上Ⅱ層	鋼片	4.5	4.0	1.5	32.34	火山岩	無	20		
1217	24	14年	上Ⅱ層	鋼片	2.6	1.2	0.3	0.76	無端石	無	21		
1218	25	14年	上Ⅱ層	鋼片	2.1	1.3	0.4	0.78	無端石	無	22		
1219	26	14年	上Ⅱ層	鋼片	4.2	2.7	0.7	5.48	無端石	無	23		
1220	27	14年	上Ⅱ層	鋼片	1.6	1.8	0.7	1.80	無端石	無	24		
1221	28	14年	南灰土	鋼片	5.2	2.3	1.3	20.64	新板岩	無	25		
1222	29	14年	南灰土	鋼片	3.2	1.5	0.9	3.06	無端石	無	26		
1223	30	14年	上Ⅰ層	磨石片	6.1	5.8	1.5	45.10	砂卵岩	無	27		
1224	31	14年	南土	被膜層	6.1	3.4	2.2	33.98	砂卵岩	完形	28		
1225	32	14年	南土	被膜層	21.9	4.3	3.3	659	砂卵岩	完形	29	角柱状・鈍角	
1226	1	15年	上Ⅰ層	砾石	8.1	7.8	4.2	354	安山岩	完形	30		
1227	2	15年	上Ⅰ層	砾石	2.2	2.4	0.7	3.52	無端石	無	31		
1228	3	15年	上Ⅰ層	砾石	2.2	2.7	0.7	3.52	無端石	無	32		
1229	1	15年	上Ⅰ層	石塊	1.5	2.5	0.5	11.52	無端石	完形	33		
1230	2	15年	上Ⅰ層	石塊	2.0	2.0	0.5	2.84	無端石	完形	34		
1231	3	15年	上Ⅰ層	石塊	2.6	2.3	0.7	4.00	無端石	完形	35		
1232	4	15年	上Ⅰ層	石塊	2.3	2.4	0.6	1.94	無端石	無	36		
1233	5	15年	上Ⅰ層	石塊	4.0	3.6	0.9	11.40	砂卵岩	無	37		
1234	6	15年	上Ⅰ層	石塊	1.7	1.9	0.6	1.86	無端石	無	38		
1235	7	15年	上Ⅰ層	石塊	5.1	4.6	0.9	31.28	砂卵岩	無	39		
1236	1	17年	山土直上	石塊	2.6	2.6	0.9	5.70	無端石	完形	40		
1237	2	17年	山土直上	小形方石	3.2	1.8	0.3	2.56	無端石	完形	41		
1238	3	17年	上Ⅰ層	小形方石	5.6	3.8	1.2	17.36	無端石	完形	42		
1239	4	17年	上Ⅰ層	小形方石	2.9	2.3	0.7	4.00	無端石	完形	43		
1240	5	17年	上Ⅰ層	小形方石	V-	13.6	5.8	1.9	116	頁岩	無	44	瓦砾やや水
1241	6	17年	上Ⅰ層	小形方石	1.6	8.9	3.5	12	頁岩	無	45	瓦砾	
1242	7	17年	上Ⅰ層	砾石	2.1	2.1	0.4	1.52	無端石	無	46		
1243	8	17年	上Ⅰ層	砾石	5.9	1.5	1.5	18.38	無端石	無	47		
1244	9	17年	上Ⅰ層	砾石	1.7	1.5	0.3	1.32	無端石	無	48		
1245	10	17年	上Ⅰ層	砾石	6.2	4.1	1.3	22.22	砂卵岩	無	49		
1246	1	18年	高層土	石塊	2.1	2.7	0.5	11.12	無端石	完形	50		
1247	2	18年	上Ⅰ層	石塊	1.8	1.5	0.7	1.84	無端石	完形	51		
1248	3	18年	南西帶岩層剥出	石塊	(3.5)	1.6	0.8	(13.16)	無端石	完形	52		
1249	4	18年	南土	小形方石	4.0	1.7	0.9	4.86	ナット	完形	53		
1250	5	18年	南土	小形方石	2.5	1.6	0.4	1.96	無端石	完形	54		
1251	6	18年	南土	小形方石	2.8	2.7	1.1	6.32	無端石	完形	55		
1252	7	18年	南土	小形方石	3.3	2.0	0.9	3.84	無端石	完形	56		
1253	8	18年	南土	小形方石	0.9	2.2	1.6	8.06	無端石	完形	57		
1254	9	18年	南土	石塊	2.1	2.7	0.5	11.12	無端石	完形	58		
1255	10	18年	南土	石塊	1.6	8.1	4.7	16	頁岩	完形	59		
1256	11	18年	南土	大粒方石	1.6	11.7	4.5	93	頁岩	無	60		
1257	12	18年	南土	大粒方石	1.6	8.7	3.7	79	頁岩	完形	61		
1258	13	18年	南西帶岩層剥出	砾石	8.4	7.2	4.6	400	安山岩	無	62		
1259	14	18年	上Ⅰ層	砾石	2.3	2.2	1.2	5.72	無端石	無	63		
1260	15	18年	南西帶岩層剥出	砾石	4.9	3.7	1.1	14.62	無端石	無	64		
1261	16	18年	南西帶岩層剥出	砾石	2.7	3.7	0.6	4.82	砂卵岩	無	65		
1262	17	18年	南西帶岩層剥出	砾石	5.8	2.6	1.2	11.60	砂卵岩	無	66		
1263	18	18年	南西帶岩層剥出	砾石	3.8	2.3	0.9	10.68	頁岩	無	67		
1264	19	18年	南土	砾石	2.5	1.5	0.6	2.32	無端石	無	68		
1265	20	18年	南土	砾石	2.4	1.7	0.9	3.12	無端石	無	69		
1266	21	18年	南土	砾石	4.2	4.4	0.8	16.42	頁岩	無	70		
1267	22	18年	南土	砾石	5.2	2.5	0.7	7.76	頁岩	無	71		
1268	23	18年	南土	砾石	9.8	3.4	0.7	9.22	砂卵岩	無	72		
1269	24	18年	南土	砾石	1.7	2.9	0.8	2.78	無端石	無	73		
1270	25	18年	南土	砾石	1.7	1.4	0.3	0.52	無端石	無	74		
1271	26	18年	南土	砾石	2.6	1.7	1.2	5.68	無端石	無	75		
1272	27	18年	北側斜面剥出	砾石	1.6	2.0	1.4	1.60	無端石	無	76		
1273	28	18年	北側斜面剥出	砾石	5.2	5.1	2.8	26.74	無端石	無	77		
1274	29	18年	北側斜面剥出	砾石	3.9	1.7	0.7	3.92	砂卵岩	無	78		
1275	30	18年	北側斜面剥出	砾石	7.8	1.9	2.6	79	砂卵岩	無	79		
1276	31	18年	北側斜面剥出	合石	8.7	8.2	0.9	82	砂卵岩	無	80		
1277	1	19年	南土	小形方石	3.5	2.1	1.0	4.90	無端石	完形	81		
1278	2	19年	南土	小形方石	2.7	1.8	0.4	1.52	無端石	完形	82		
1279	3	19年	南土	小形方石	2.0	2.0	0.5	2.20	無端石	完形	83		
1280	4	19年	南土	小形方石	2.6	2.2	1.3	4.06	無端石	完形	84		
1281	5	19年	南土	小形方石	2.6	1.8	0.9	3.58	無端石	完形	85		
1282	6	19年	南土	小形方石	2.7	1.6	0.5	1.76	無端石	完形	86		
1283	7	19年	南土	小形方石	2.1	2.5	0.5	2.02	無端石	完形	87		
1284	8	19年	南土	小形方石	3.3	1.5	0.5	2.30	無端石	完形	88		
1285	9	19年	南土	小形方石	2.6	2.5	1.4	2.52	無端石	完形	89		
1286	10	19年	南土	小形方石	3.9	1.7	0.7	3.80	無端石	完形	90		
1287	11	19年	南土	小形方石	2.8	1.9	0.4	1.84	無端石	完形	91		
1288	12	19年	南土	打制石	-	(5.8)	5.2	1.5	(55)	頁岩	上下矢	92	

番号	出土地名	出土番号	器種	分類	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石材	欠損状況	固 号	施合	
1280	15	19世	陶土	打削石斧	4.6	9.0	3.5	1.9	青白石	無	4		
1292	14	19世	陶土	打削石斧	3.1	(8.2)	5.4	1.6	(84)	剥落	5		
1291	15	19世	陶土	打削石斧	1.6	9.6	4.0	1.2	青白石	無	6		
1292	16	19世	陶土	打削石斧	1.6	10.5	3.8	1.3	71	剥落	7		
1293	17	19世	Pt2陶土	磨石	N	4.9	4.6	(3.9)	(102)	表面研磨	手斧	9	
1294	18	19世	陶土	磨石	I(B)	(6.6)	7.0	4.6	(254)	剥落	10		
1295	19	19世	陶土	磨石	III(Ba)	11.0	9.6	7.4	956	剥落	11		
1296	20	19世	陶土	磨石	II(Bb)	12.0	8.0	5.4	700	剥落	12		
1297	21	19世	陶土	磨石	II(Bb)	11.5	6.3	3.1	341	剥落	13		
1298	22	19世	陶土	磨石	II	10.6	5.0	2.2	198	剥落	14		
1299	23	19世	陶土	石鏡	38.2	26.7	8.5	9720	破壊石	安形	15	青白-花崗岩は鐵石 磨打長棒がある。	
1300	24	19世	陶土	磨石	I	(4.5)	4.3	1.7	(45.56)	蛇紋岩	上手斧	8	
1301	25	19世	陶土	剥片	4.7	4.8	0.6	16.30	破壊石				
1302	26	19世	陶土	剥片	4.3	3.4	1.1	13.20	破壊石				
1303	27	19世	陶土	剥片	5.5	5.1	0.7	27.76	破壊石				
1304	28	19世	陶土	剥片	5.0	4.9	1.2	25.40	破壊石				
1305	29	19世	陶土	剥片	6.4	5.4	1.3	52	破壊石				
1306	30	19世	陶土	剥片	4.1	3.1	1.3	19.26	破壊石				
1307	31	19世	陶土	剥片	6.2	6.1	1.2	42.64	破壊石				
1308	32	19世	陶土	剥片	6.7	5.1	1.4	57	チート				
1309	33	19世	陶土	剥片	2.7	2.2	1.2	2.30	破壊石				
1310	34	19世	陶土	剥片	2.7	3.2	0.7	5.24	破壊石				
1311	35	19世	陶土	剥片	2.3	2.2	1.0	5.04	破壊石				
1312	36	19世	陶土	剥片	1.7	2.1	0.5	1.10	破壊石				
1313	37	19世	陶土	剥片	3.1	1.3	0.9	2.12	破壊石				
1314	38	19世	陶土	剥片	3.0	1.0	0.3	0.98	破壊石				
1315	39	19世	陶土	剥片	2.8	1.7	0.4	1.36	破壊石				
1316	40	19世	陶土	剥片	1.1	2.1	0.6	1.94	破壊石				
1317	41	19世	陶土	剥片	2.3	2.8	0.5	2.54	破壊石				
1318	42	19世	陶土	剥片	1.8	1.2	0.3	0.56	破壊石				
1319	43	19世	陶土	剥片	3.9	2.8	0.8	7.70	破壊石				
1320	44	19世	陶土	剥片	4.6	4.7	0.7	25.98	破壊石				
1321	45	19世	陶土	磨石片	4.6	2.0	1.5	10.20	破壊石				
1322	46	19世	陶土	磨石片	4.8	3.7	1.0	27.70	破壊石				
1323	47	19世	陶土	磨石片	5.2	4.0	0.7	26.16	破壊石				
1324	48	19世	陶土	磨石片	3.7	3.5	0.8	21.86	破壊石				
1325	49	19世	陶土	磨石片	5.4	4.8	0.8	24.54	破壊石				
1326	50	19世	陶土	磨石片	8.2	7.2	1.6	85	破壊石				
1327	1	20世	陶土	石核	3.0	5.7	2.3	34.80	黒曜石	完形	1		
1328	2	20世	陶土	石核	II	2.8	1.8	0.7	1.76	黒曜石	完形	2	
1329	3	20世	陶土	石核	2.1	17	0.5	1.42	黒曜石	完形	3		
1330	4	20世	陶土	小形打削石	2.1	2.5	0.7	2.92	黒曜石	完形	6		
1331	5	20世	陶土	小形刃物	2.7	4.1	0.9	9.40	チート	完形	4		
1332	6	20世	陶土	小形刃物	3.2	1.7	0.4	2.14	黒曜石	完形			
1333	7	20世	陶土	小形刃物	1.6	2.1	1.1	4.74	黒曜石	完形			
1334	8	20世	陶土	小形刃物	(2.0)	2.1	1.1	(4.62)	黒曜石	少欠			
1335	9	20世	陶土	小形刃物	1.3	2.0	0.5	3.05 (18.86)	黒曜石	少欠	5		
1336	10	20世	陶土	小形刃物	4.0	1.9	1.3	1.40	黒曜石	少欠			
1337	11	20世	陶土	小形刃物	2.0	2.4	0.6	2.04	黒曜石	完形			
1338	12	20世	陶土	小形刃物	1.8	2.1	0.5	1.70	黒曜石	完形			
1339	13	20世	陶土	小形刃物	3.1	2.0	0.9	4.82	黒曜石	完形			
1340	14	20世	陶土	小形刃物	3.6	1.5	0.4	1.76	黒曜石	完形			
1341	15	20世	陶土	小形刃物	3.4	2.0	0.4	2.52	黒曜石	完形			
1342	16	20世	陶土	小形刃物	4.0	2.1	1.1	4.16	黒曜石	完形			
1343	17	20世	陶土	小形刃物	3.2	1.7	0.8	4.38	黒曜石	少欠			
1344	18	20世	陶土	小形刃物	2.1	2.3	0.3	1.18	黒曜石	完形			
1345	19	20世	陶土	小形刃物	2.8	2.2	1.3	6.74	黒曜石	完形			
1346	20	20世	陶土	小形刃物	2.1	1.0	0.9	3.58	黒曜石	完形			
1347	21	20世	陶土	小形刃物	4.5	1.1	0.4	1.82	黒曜石	完形			
1348	22	20世	陶土	小形刃物	4.8	1.9	0.8	4.64	黒曜石	完形			
1349	23	20世	陶土	小形刃物	3.2	1.2	0.6	1.72	黒曜石	完形			
1350	24	20世	陶土	小形刃物	2.6	(4.4)	0.9 (0.9)	10.96	黒曜石	刀頭や少欠	7		
1351	25	20世	陶土	打削石斧	I	8.6	4.0	1.1	1.96	板岩	刀頭や大欠		
1352	26	20世	陶土	打削石斧	1.5	1.5	0.3	1.26	板岩	刀頭	1		
1353	27	20世	陶土	打削石斧	V(B)	12.2	6.5	2.2	121	板岩	刀頭	2	刀頭底無
1354	28	20世	陶土	打削石斧	V(B)	9.3	8.1	1.7	94	板岩	全体的に底無	10	
1355	29	20世	陶土	打削石斧	I	(7.8)	3.2	1.5	(49.48)	板岩	下手欠	11	
1356	30	20世	陶土	打削石斧	V(B)	12.5	5.4	1.5	104	板岩	完形	12	
1357	31	20世	陶土	打削石斧	I	9.5	4.6	2.2	97	板岩	刀頭や少欠	13	
1358	32	20世	陶土	磨石	V(B)	7.7	6.6	4.5	298	安山岩	完形	15	
1359	33	20世	陶土	磨石	III(B)	(9.0)	5.0	2.8	(184)	板岩	凹み内欠	16	
1360	34	20世	陶土	磨石	III(Ba)	15.5	3.8	3.6	368	板岩	完形	17	
1361	35	20世	陶土	合石		(15.0)	(10.2)	(4.7)	(1250)	板岩	剥片	18	
1362	36	20世	陶土	磨削石斧	I	8.6	3.6	1.0	56	板岩	完形	14	
1363	37	20世	陶土	剥片	4.6	3.7	1.4	14.86	黒曜石				
1364	38	20世	陶土	剥片	8.6	5.2	1.1	40.92	黒曜石				
1365	39	20世	陶土	剥片	4.1	3.1	0.8	7.78	黒曜石				
1366	40	20世	陶土	剥片	2.0	2.5	0.5	1.00	黒曜石				
1367	41	20世	陶土	剥片	3.0	2.0	0.5	1.62	黒曜石				
1368	42	20世	陶土	剥片	2.5	2.5	1.4	5.36	黒曜石				
1369	43	20世	陶土	剥片	3.5	1.1	0.8	1.54	黒曜石				
1370	44	20世	陶土	剥片	2.5	1.7	0.4	1.36	黒曜石				
1371	45	20世	陶土	剥片	2.5	2.1	0.4	1.18	黒曜石				
1372	46	20世	陶土	剥片	2.5	1.5	0.8	2.92	黒曜石				
1373	47	20世	陶土	剥片	3.7	2.4	0.8	4.58	黒曜石				
1374	48	20世	陶土	剥片	3.7	1.4	0.7	2.20	黒曜石				
1375	49	20世	陶土	剥片	2.7	3.4	1.2	9.16	黒曜石				
1376	50	20世	陶土	剥片	1.9	1.5	0.4	0.74	黒曜石				
1377	51	20世	陶土	剥片	4.8	2.2	1.4	11.88	黒曜石				
1378	52	20世	陶土	剥片	2.6	2.5	1.2	9.44	黒曜石				
1379	53	20世	陶土	剥片	3.0	1.8	0.7	1.10	黒曜石				
1380	54	20世	陶土	剥片	0.9	0.5	0.3	0.10	黒曜石				

## 第Ⅳ章 調査成果の分析研究

番号	組成物質	住居番号	周 麻	容 積	分 割	長さ(cm)	幅さ(cm)	高さ(cm)	重量(g)	石 斧	大きさ状況	周 麻	備考
1381	55	20住	圓土	側片		2.6	1.7	0.2	0.74	圓土石			
1382	56	20住	圓土	側片		2.1	1.7	0.4	1.84	圓土石			
1383	57	20住	圓土	側片		2.0	1.4	0.4	1.00	圓土石			
1384	58	20住	圓土	側片		2.1	2.0	0.5	2.22	圓土石			
1385	59	20住	圓土	側片		2.2	1.7	0.5	1.54	圓土石			
1386	60	20住	圓土	側片		2.4	1.5	0.7	2.22	圓土石			
1387	61	20住	圓土	側片		2.3	1.8	0.5	1.90	圓土石			
1388	62	20住	圓土	側片		3.3	2.6	0.7	3.90	圓土石			
1389	63	20住	圓土	側片		2.2	1.6	0.6	2.12	圓土石			
1390	54	20住	圓土	側片		2.5	2.6	0.5	3.54	圓土石			
1391	65	20住	圓土	側片		1.8	3.2	0.8	1.15	圓土石			
1392	56	20住	圓土	側片		3.9	3.5	3.0	41.85	圓土石			
1393	67	20住	圓土	側片		5.7	3.8	0.9	50.75	圓土石			
1394	68	20住	圓土	側片		8.2	3.0	1.5	25.14	圓土石			
1395	1	21住	圓土	底石		4.3	4.6	1.8	32.10	チャート	彫形		
1396	2	21住	底土	くびき和石面		2.4	1.5	0.9	3.12	圓土石	彫形		
1397	3	21住	圓土	石塊	(2.9)	0.7	0.8	(1.06)	圓土石	心	先端尖		
1398	4	21住	圓土	小形石器		1.9	1.6	0.5	1.28	圓土石	彫形		
1399	5	21住	圓土	小形石器		3.3	1.9	0.4	2.04	圓土石	尖形		
1400	6	21住	圓土	小形石器		4.8	2.3	0.4	5.14	圓土石	彫形		
1401	7	21住	圓土	小形石器		3.3	1.5	0.6	2.14	圓土石	尖形		
1402	8	21住	圓土	小形石器		3.5	1.7	0.5	3.00	圓土石	彫形		
1403	9	21住	圓土	小形石器		3.1	1.9	0.7	3.56	チャート	彫形		
1404	10	21住	圓土	小形石器		3.8	1.2	0.4	2.08	圓土石	尖形		
1405	11	21住	圓土	小形石器		4.0	3.3	1.0	11.46	圓土石	彫形		
1406	12	21住	圓土	側片		2.3	2.3	0.9	3.02	圓土石	彫形		
1407	13	21住	圓土	側片		3.6	1.3	1.0	3.72	圓土石	彫形		
1408	14	21住	圓土	側片		3.0	1.7	0.5	2.84	圓土石	彫形		
1409	15	21住	圓土	側片		2.4	1.1	0.6	1.50	圓土石	尖形		
1410	16	21住	圓土	側片		3.6	1.8	0.8	4.42	圓土石	尖形		
1411	17	21住	圓土	側片		2.5	1.4	0.6	1.64	圓土石	彫形		
1412	18	21住	圓土	側片		3.8	1.9	0.8	3.82	圓土石	彫形		
1413	19	21住	圓土	側片		21	2.1	0.8	2.18	圓土石	尖形		
1414	20	21住	圓土	小形石器		2.5	1.4	0.5	1.06	圓土石	尖形		
1415	21	21住	圓土	小形石器		4.3	2.7	0.9	7.70	圓土石	尖形		
1416	22	21住	圓土	小形石器		2.3	2.6	0.8	1.88	圓土石	尖形		
1417	23	21住	圓土	小形石器		2.8	2.4	0.4	1.26	圓土石	尖形		
1418	24	21住	圓土	小形石器		7.1	2.6	0.8	9.72	圓土石	尖形		
1419	25	21住	圓土	小形石器		5.2	2.4	1.0	9.94	圓土石	尖形		
1420	26	21住	圓土	打裂石斧	三	(18.4)	5.3	2.0	(88)	青銅	基部欠		
1421	27	21住	圓土	側片	二	(8.4)	5.8	1.2	(57)	青銅	基部・部分欠		
1422	28	21住	圓土	打裂石斧	一	(8.2)	5.0	1.1	(47.92)	青銅	上半欠		
1423	29	21住	圓土	打裂石斧		3.9	5.4	1.5	110	青銅	尖形		
1424	30	21住	圓土	打裂石斧		1.6	1.6	1.0	2.0	青銅	尖形		
1425	31	21住	圓土	打裂石斧		2.5	1.5	1.0	2.22	青銅	尖形		
1426	32	21住	圓土	底石	三	2.5	10.4	1.0	2.22	青銅	尖形		
1427	33	21住	圓土	底石	四	9.5	9.4	5.8	660	青銅	部分的帶孔		
1428	34	21住	圓土	石錐		7.0	2.8	1.8	55	打裂石斧	尖形		
1429	35	21住	圓土	側片		3.6	2.2	1.8	14.38	圓土石	尖形		
1430	36	21住	圓土	側片		5.8	4.4	0.7	23.48	圓土石	彫形		
1431	37	21住	圓土	側片		6.0	4.9	0.7	29.84	青銅			
1432	38	21住	圓土	側片		3.3	3.2	0.7	13.14	圓土石	彫形		
1433	39	21住	圓土	側片		8.7	5.4	1.2	76	圓土石	彫形		
1434	40	21住	圓土	側片		2.9	1.6	0.8	2.92	圓土石	彫形		
1435	41	21住	圓土	側片		3.6	1.9	1.3	8.12	圓土石	彫形		
1436	42	21住	圓土	側片		2.7	2.0	1.4	6.00	圓土石	彫形		
1437	43	21住	圓土	側片		2.6	0.8	0.6	1.54	圓土石	彫形		
1438	44	21住	圓土	側片		2.1	1.4	0.5	1.32	圓土石	彫形		
1439	45	21住	圓土	側片		2.1	2.1	0.4	2.98	圓土石	彫形		
1440	46	21住	圓土	側片		2.5	1.3	0.7	2.04	圓土石	彫形		
1441	47	21住	圓土	側片		2.5	1.5	0.5	2.00	圓土石	彫形		
1442	48	21住	圓土	側片		4.1	2.7	0.8	8.42	圓土石	彫形		
1443	49	21住	圓土	側片		2.1	2.1	0.5	1.58	圓土石	彫形		
1444	50	21住	圓土	側片		1.7	1.5	0.3	0.60	圓土石	彫形		
1445	51	21住	圓土	側片		2.5	2.3	0.4	2.22	圓土石	彫形		
1446	52	21住	圓土	側片		2.7	2.3	0.8	2.80	圓土石	彫形		
1447	53	21住	圓土	側片		3.3	3.8	2.1	18.70	圓土石	彫形		
1448	54	21住	圓土	側片		2.0	1.1	0.4	1.08	圓土石	彫形		
1449	55	21住	圓土	側片		2.7	1.8	0.7	2.32	圓土石	尖形		
1450	56	21住	圓土	側片		4.0	1.1	0.9	2.58	圓土石	尖形		
1451	57	21住	圓土	側片		2.3	2.6	0.7	2.64	圓土石	尖形		
1452	58	21住	圓土	側片		2.5	1.7	0.3	1.10	圓土石	尖形		
1453	59	21住	圓土	側片		2.4	2.0	0.5	2.48	圓土石	尖形		
1454	60	21住	圓土	側片		4.5	4.2	0.7	47.46	圓土石	尖形		
1455	61	21住	圓土	側片		1.5	1.5	1.3	1.28	圓土石	尖形		
1456	62	21住	圓土	側片		4.6	4.4	1.4	16.49	圓土石	尖形		
1457	1	22住	圓土	石錐		2.7	2.8	2.0	10.82	圓土石	尖形		
1458	2	22住	圓土	石錐	三	2.1	1.3	0.6	1.16	圓土石	尖形		
1459	3	22住	圓土	石錐	四	8.2	3.7	1.7	37	チャート	尖形		
1460	4	22住	圓土	石錐	五	4.9	1.6	0.7	4.08	圓土石	尖形		
1461	5	22住	圓土	石錐	六	3.3	1.5	0.5	2.18	圓土石	尖形		
1462	6	22住	圓土	石錐	七	3.6	1.4	1.1	5.00	圓土石	尖形		
1463	7	22住	圓土	石錐	八	5.2	2.7	1.4	9.56	圓土石	尖形		
1464	8	22住	圓土	石錐	九	2.5	1.5	0.5	1.52	圓土石	尖形		
1465	9	22住	圓土	石錐	十	2.3	1.9	0.4	1.44	圓土石	尖形		
1466	10	22住	圓土	石錐	十一	3.3	2.0	1.4	5.72	圓土石	尖形		
1467	11	22住	圓土	打裂石斧	Vb	10.5	6.3	1.4	110	青銅	打裂標記		
1468	12	22住	圓土	打裂石斧	Wb	10.4	4.1	1.0	51	青銅	打裂		
1469	13	22住	圓土	打裂石斧	Zb	10.7	4.5	2.0	104	青銅	打裂		
1470	14	22住	圓土	打裂石斧	Vc	9.2	4.5	1.7	58	青銅	打裂		
1471	15	22住	圓土	圓土		11.2	3.5	1.2	46.54	青銅	打裂		
1472	16	22住	圓土	側片		18.1	2.6	1.8	95	青銅	打裂		

番号	目次番号	出土地点	形	種	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材	欠損状況	備考	出土地	
1473	17	22位	覆土	網片		3.5	1.4	1.1	5.69	麻績石				
1474	18	22位	覆土	網片		2.8	1.6	1.2	5.82	麻績石				
1475	19	22位	覆土	網片		1.8	2.0	0.4	0.96	麻績石				
1476	20	22位	覆土	網片		3.8	1.9	1.0	4.66	麻績石				
1477	21	22位	覆土	網片		1.7	1.4	0.3	1.00	麻績石				
1478	22	22位	覆土	網片		2.3	1.8	0.9	3.24	麻績石				
1479	23	22位	覆土	網片		2.7	1.8	0.9	5.18	麻績石				
1480	24	22位	覆土	網片		2.9	2.0	1.7	3.76	麻績石				
1481	25	22位	覆土	網片		4.4	2.8	1.4	15.00	麻績石				
1482	26	22位	覆土	網片		3.3	2.7	1.7	11.54	麻績石				
1483	27	22位	北端	網片石		5.0	3.8	1.6	25.16	砂岩				
1484	1	23位	覆土	小形刃器	I	3.5	2.4	0.8	5.26	麻績石	元形			
1485	2	23位	覆土	小形刃器		2.2	2.1	0.8	2.82	麻績石	元形			
1486	3	23位	覆土	小形刃器		2.1	1.8	0.8	3.12	麻績石	元形			
1487	4	23位	土内	小形刃器		4.3	3.5	1.1	15.62	チタント	元形	1		
1488	5	23位	覆土	小形刃器		2.5	2.0	0.8	3.78	麻績石	元形			
1489	6	23位	覆土	小形刃器		3.0	1.7	0.9	2.94	麻績石	元形			
1490	7	23位	覆土	小形刃器		3.1	1.7	0.8	2.68	麻績石	元形			
1491	8	23位	覆土	大形石器	I	(8.5)	4.8	1.2	(36.82)	良玉	木器丸	底に轍なし	2	
1492	9	23位	87号	大形刀器	I	9.4	5.0	2.4	128	良玉	木器丸	3		
1493	10	23位	覆土	石器		6.9	(8.1)	2.2	(137)	砂岩	木器丸	5		
1494	11	23位	覆土	石器		—	—	—	—	砂岩	木器丸	現物不明		
1495	12	23位	覆土	電離石斧	II	(13.2)	(4.1)	3.0	(175)	砂岩	上半丸	4		
1496	13	23位	覆土	網片		15.7	4.9	4.0	410	英石				
1497	14	23位	覆土	網片		6.0	4.3	1.0	26.36	砂岩				
1498	15	23位	覆土	網片		4.7	2.4	1.9	16.66	砂岩				
1499	16	23位	覆土	網片		6.0	3.9	0.9	17.94	チタント				
1500	17	23位	覆土	網片		2.2	3.2	1.0	4.58	麻績石				
1501	18	23位	覆土	網片		1.1	1.3	0.2	0.30	麻績石				
1502	19	23位	89号	網片		2.7	1.5	0.4	1.16	麻績石				
1503	20	23位	覆土	網片石		3.5	2.8	1.9	14.82	砂岩				
1504	1	24位	覆土	小形刃器		2.7	2.0	0.8	3.28	英石	毛形	1		
1505	2	24位	覆土	小形刃器		2.1	1.7	0.8	1.28	英石	毛形	2		
1506	3	24位	覆土	網片	I	(8.6)	7.2	4.4	(340)	青田石	円み外丸	3		
1507	4	24位	覆土	網片		(7.6)	6.6	5.0	(384)	青田石	円み外丸	4		
1508	5	24位	覆土	網片		1.8	2.7	0.7	2.90	麻績石				
1509	1	25位	覆土	大形刀器	I	18	10.5	5.4	18	58	青田石	毛形	1	
1510	2	25位	覆土	大形刀器	I	18	10.4	4.3	14	81	青田石	毛形	2	
1511	3	25位	覆土	打石石斧	—	(4.8)	4.2	1.1	(23.6)	青田石	下半丸			
1512	4	25位	覆土	網片		6.8	4.1	1.1	33.36	青田石				
1513	1	27位	覆土	網片		2.1	3.3	1.0	10.52	青田石				
1514	2	27位	覆土	網片		3.1	2.9	1.3	9.86	麻績石				
1515	3	27位	覆土	網片		2.8	1.7	0.6	2.34	麻績石				
1516	4	27位	覆土	網片		2.6	2.3	0.9	6.40	麻績石				
1517	5	27位	覆土	網片		2.9	1.5	0.7	2.70	麻績石				
1518	6	27位	覆土	網片		2.5	1.5	0.7	2.62	麻績石				
1519	1	28位	89号	小形刀器		1.7	2.1	0.5	1.64	麻績石	毛形	1		
1520	2	28位	覆土	網片		2.6	3.9	1.4	3.58	麻績石	毛形	2		
1521	3	28位	覆土	網片		5.6	3.6	1.9	45.59	砂岩				
1522	1	31位	89号上	網片		4.0	3.2	1.1	12.92	麻績石				
1523	2	31位	89号上	磨岩石		5.4	8.7	2.9	70	砂岩				
1524	3	31位	89号上	磨岩石		35.2	28.8	5.8	8000	砂岩	毛形			
1525	14号	28位	【網】	小形刃器		2.4	1.6	1.0	2.38	麻績石	毛形	1		
1526	20号	28位	【網】	磨岩石		3.2	1.3	1.4	4.48	砂岩				
1527	22号	28位	【網】	網片		3.4	2.8	1.6	11.48	麻績石				
1528	22号	28位	【網】	網片		2.8	2.8	1.0	4.90	麻績石				
1529	22号	28位	【網】	小形刃器		3.1	2.5	0.9	6.54	麻績石	毛形	1		
1530	22号	28位	【網】	小形刃器		4.1	1.5	0.7	4.06	麻績石	毛形	2		
1531	22号	28位	【網】	小形刃器		3.2	3.0	1.3	6.30	麻績石	毛形	3		
1532	22号	28位	【網】	網片		1.2	1.8	0.6	0.86	麻績石				
1533	27号	28位	【網】	網片	I	1.8	3.5	0.6	(15.01)	青田石	三丸			
1534	28号	28位	【網】	小形刃器		3.7	2.8	2.6	10.48	青田石	毛形	1		
1535	29号	28位	【網】	小形刃器		3.2	1.3	0.3	1.16	青田石	毛形	2		
1536	44号	28位	【網】	網片		4.5	3.7	1.0	18.08	砂岩				
1537	47号	28位	【網】	網片		3.8	3.5	0.9	14.00	麻績石				
1538	48号	28位	【網】	網片		3.7	2.7	0.7	5.86	麻績石				
1539	48号	28位	【網】	網片		2.5	2.3	0.5	2.32	麻績石				
1540	48号	28位	【網】	網片		3.7	1.5	0.7	2.96	麻績石				
1541	1	被汎樹	被汎樹	石核		2.2	2.1	1.5	6.34	麻績石	毛形			
1542	2	被汎樹	被汎樹	石核		3.2	4.5	3.2	35.70	麻績石	毛形			
1543	3	被汎樹	被汎樹	石核		2.2	2.2	1.7	7.16	麻績石	毛形			
1544	4	被汎樹	被汎樹	石核		1.4	3.5	1.2	5.38	麻績石	毛形			
1545	5	被汎樹	被汎樹	石核	II	(2.0)	1.6	0.5	(1.20)	麻績石	先端丸			
1546	6	被汎樹	被汎樹	石核	被汎樹乳頭品	2.5	1.5	0.5	1.74	麻績石	毛形			
1547	7	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	3.4	1.4	0.7	2.80	麻績石	毛形			
1548	8	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	2.0	1.5	0.5	1.54	麻績石	毛形			
1549	9	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	2.1	3.9	0.7	4.24	麻績石	毛形			
1550	10	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	2.5	2.0	0.5	2.10	麻績石	毛形			
1551	11	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	3.2	1.3	1.1	3.64	麻績石	毛形			
1552	12	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	3.0	1.7	0.5	1.92	麻績石	毛形			
1553	13	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	2.3	1.9	0.7	2.30	麻績石	毛形			
1554	14	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	3.0	2.4	1.5	2.54	麻績石	毛形			
1555	15	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	3.7	1.9	0.7	2.92	麻績石	毛形			
1556	16	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	2.5	2.1	0.8	4.58	麻績石	毛形			
1557	17	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	3.4	1.9	0.7	2.90	麻績石	毛形			
1558	18	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	1.7	1.1	0.2	0.56	麻績石	毛形			
1559	19	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	5.3	3.0	1.0	14.74	麻績石	毛形			
1560	20	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	3.9	1.5	0.8	2.48	麻績石	毛形			
1561	21	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	1.8	1.5	0.3	1.16	麻績石	毛形			
1562	22	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	2.6	1.2	0.3	1.94	麻績石	毛形			
1563	23	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	2.9	2.2	0.7	2.60	麻績石	毛形			
1564	24	被汎樹	被汎樹	石核	小形刃器	2.1	1.1	0.4	0.60	麻績石	毛形			

## 第IV章 氣象成績の分析研究

測定項目	位置番号	地 点	高 度	半 径	気温(℃)	風速(m/s)	風向(度)	露點(g)	石 灰	欠損状況	備 考	測定日
1565 25	後山田	後山田	小野川谷底	3.1	19	0.7	3.28	灰岩	無			1965.6.25
1566 26	後山田	後山田	小野川谷底	1.7	22	4.0	1.44	灰岩	無			1965.6.26
1567 27	後山田	後山田	小野川谷底	2.8	17	0.5	1.98	灰岩	無			1965.6.27
1568 28	後山田	後山田	小野川谷底	2.5	1.2	0.3	0.82	灰岩	無			1965.6.28
1569 29	後山田	後山田	小野川谷底	2.7	20	0.3	1.70	灰岩	無			1965.6.29
1570 30	後山田	後山田	大野川谷	1.6	4.1	7.3	0.6	26.48	頁岩	無		1965.6.30
1571 31	後山田	後山田	大野川谷	1.6	8.6	4.6	1.9	62	頁岩	無		1965.6.31
1572 32	後山田	後山田	大野川谷	1.6	8.4	3.4	1.4	60.44	頁岩	無	定期	1965.6.32
1573 33	後山田	後山田	大野川谷	—	(6.6)	4.3	0.9	(37.22)	頁岩	下手欠		
1574 34	後山田	後山田	大野川谷	1.	(7.9)	4.2	1.8	(77)	頁岩	下部欠		1965.6.34
1575 35	後山田	後山田	大野川谷	—	(6.6)	4.3	0.9	(37.22)	頁岩	中部欠		
1576 36	後山田	後山田	大野川谷	1.6	9.4	4.4	1.4	94	頁岩	定期	合併測站	1965.6.36
1577 37	後山田	後山田	大野川谷	1.6	11.0	5.8	2.5	(127)	頁岩	基部欠		1965.6.37
1578 38	後山田	後山田	大野川谷	1.6	8.9	4.0	1.6	(60)	頁岩	無		1965.6.38
1579 39	後山田	後山田	大野川谷	1.6	(8.7)	4.1	1.6	(77)	頁岩	基部や中段	合併測站	1965.6.39
1580 40	後山田	後山田	大野川谷	1.6	(8.0)	5.0	1.3	(69)	頁岩	無		1965.6.40
1581 41	後山田	後山田	大野川谷	1.6	(8.9)	(5.4)	2.3	(97)	頁岩	無		1965.6.41
1582 42	後山田	後山田	大野川谷	—	(11.5)	5.7	5.1	(500)	砂岩	無	定期	
1583 43	後山田	後山田	大野川谷	1.6	8.7	7.7	4.2	349	灰岩	無		1965.6.43
1584 44	後山田	後山田	大野川谷	—	2.4	1.2	0.7	1.70	珊瑚岩	無		
1585 45	後山田	後山田	大野川谷	—	2.0	1.3	0.7	1.62	珊瑚礁	無		
1586 46	後山田	後山田	大野川谷	—	4.0	3.8	1.5	18.32	頁岩	無		
1587 47	後山田	後山田	大野川谷	—	5.0	2.8	0.5	15.32	頁岩	無		
1588 48	後山田	後山田	大野川谷	—	2.8	1.7	0.9	3.64	珊瑚岩	無		
1589 49	後山田	後山田	大野川谷	—	2.5	1.2	0.4	1.48	珊瑚岩	無		
1590 50	後山田	後山田	大野川谷	—	2.4	1.5	0.6	1.24	珊瑚岩	無		
1591 51	後山田	後山田	大野川谷	—	2.7	1.0	0.3	1.19	珊瑚岩	無		
1592 52	後山田	後山田	大野川谷	—	1.8	1.1	0.3	0.78	珊瑚岩	無		
1593 53	後山田	後山田	大野川谷	—	2.1	2.0	0.3	0.86	珊瑚岩	無		
1594 54	後山田	後山田	大野川谷	—	1.7	1.5	0.3	0.68	珊瑚岩	無		
1595 55	後山田	後山田	大野川谷	—	1.8	1.0	0.3	0.54	珊瑚岩	無		
1596 56	後山田	後山田	大野川谷	—	1.6	0.4	0.2	0.72	珊瑚岩	無		
1597 57	後山田	後山田	大野川谷	—	1.5	1.3	0.3	0.63	珊瑚岩	無		
1598 58	後山田	後山田	大野川谷	—	1.3	1.6	0.2	0.22	珊瑚岩	無		
1599 59	後山田	後山田	大野川谷	—	2.0	1.5	0.4	1.16	珊瑚岩	無		
1600 60	後山田	後山田	大野川谷	—	1.7	2.1	0.4	1.36	珊瑚岩	無		
1601 61	後山田	後山田	大野川谷	—	2.7	2.2	0.7	4.26	珊瑚岩	無		
1602 62	後山田	後山田	大野川谷	—	1.6	1.2	0.6	1.20	珊瑚岩	無		
1603 63	後山田	後山田	大野川谷	—	2.0	1.6	0.5	1.26	珊瑚岩	無		
1604 64	後山田	後山田	大野川谷	—	1.5	1.5	0.7	0.90	珊瑚岩	無		
1605 65	後山田	後山田	大野川谷	—	2.8	3.2	1.1	7.66	珊瑚岩	無		
1606 66	後山田	後山田	大野川谷	—	4.0	2.1	0.8	6.02	珊瑚岩	無		
1607 67	後山田	後山田	大野川谷	—	2.1	1.1	0.9	2.22	珊瑚岩	無		
1608 68	後山田	後山田	大野川谷	—	2.6	2.0	0.9	4.80	珊瑚岩	無		
1609 69	後山田	後山田	大野川谷	—	3.2	1.5	0.8	3.40	珊瑚岩	無		
1610 70	後山田	後山田	大野川谷	—	3.1	2.6	1.0	9.74	砂岩	無		
1611 71	後山田	後山田	大野川谷	—	3.0	2.5	0.9	6.82	砂岩	無		
1612 72	後山田	後山田	大野川谷	—	2.3	1.1	0.5	1.48	砂岩	無		
1613 73	後山田	後山田	大野川谷	—	2.3	1.7	0.6	2.59	砂岩	無		
1614 74	後山田	後山田	大野川谷	—	1.5	1.7	0.3	0.55	砂岩	無		
1615 75	後山田	後山田	大野川谷	—	1.2	0.8	0.3	0.22	砂岩	無		
1616 76	後山田	後山田	大野川谷	—	1.4	0.5	0.2	0.18	珊瑚岩	無		
1617 77	後山田	後山田	大野川谷	—	1.5	1.1	0.4	0.58	珊瑚岩	無		
1618 78	後山田	後山田	大野川谷	—	8.3	4.1	1.1	48.86	頁岩	無		
1619 79	後山田	後山田	大野川谷	—	9.9	3.2	2.8	96	頁岩	無		
1620 80	後山田	後山田	大野川谷	—	3.4	3.0	0.3	2.26	頁岩	無		
1621 81	後山田	後山田	大野川谷	—	7.6	3.0	1.2	32.66	頁岩	無		
1622 82	後山田	後山田	大野川谷	—	3.5	1.7	0.7	3.54	珊瑚岩	無		
1623 83	後山田	後山田	大野川谷	—	2.5	1.4	0.5	1.44	珊瑚岩	無		
1624 84	後山田	後山田	大野川谷	—	1.4	1.2	0.4	0.58	珊瑚岩	無		
1625 85	後山田	後山田	大野川谷	—	1.3	0.9	0.4	0.26	珊瑚岩	無		
1626 86	後山田	後山田	大野川谷	—	2.8	1.2	0.3	0.86	珊瑚岩	無		
1627 87	後山田	後山田	大野川谷	—	2.5	1.5	0.5	1.76	珊瑚岩	無		
1628 88	後山田	後山田	大野川谷	—	1.8	1.6	0.6	1.23	珊瑚岩	無		
1629 89	後山田	後山田	大野川谷	—	2.6	1.2	0.5	0.82	珊瑚岩	無		
1630 90	後山田	後山田	大野川谷	—	3.3	1.3	0.7	2.16	珊瑚岩	無		
1631 91	後山田	後山田	大野川谷	—	4.8	2.8	1.5	15.38	珊瑚岩	無		
1632 92	後山田	後山田	大野川谷	—	6.0	3.4	0.9	17.62	珊瑚岩	無		
1633 93	後山田	後山田	大野川谷	—	7.8	5.2	1.6	72	頁岩	無		
1634 94	後山田	後山田	大野川谷	—	6.0	5.1	0.9	28.62	砂岩	無		
1635 95	後山田	後山田	大野川谷	—	7.5	3.4	1.6	33.90	砂岩	無		
1636 96	後山田	後山田	大野川谷	—	3.7	2.2	0.6	9.96	チャート	無		
1637 97	後山田	後山田	大野川谷	—	5.4	2.5	1.7	16.60	チャート	無		
1638 98	後山田	後山田	大野川谷	—	3.3	3.3	1.0	8.30	チャート	無		
1639 99	後山田	後山田	大野川谷	—	2.4	2.3	2.0	12.20	砂岩	無		
1640 100	後山田	後山田	大野川谷	—	2.4	1.8	0.8	2.46	チャート	無		
1641 101	後山田	後山田	大野川谷	—	2.5	2.1	0.5	3.14	砂岩	無		
1642 102	後山田	後山田	大野川谷	—	3.5	2.8	1.5	5.74	砂岩	無		
1643 103	後山田	後山田	大野川谷	—	5.3	5.1	0.7	13.94	チャート	無		
1644 104	後山田	後山田	大野川谷	—	4.5	2.5	1.5	25.04	砂岩	無		
1645 105	後山田	後山田	大野川谷	—	3.2	7.1	1.3	19.82	砂岩	無		
1646 106	後山田	後山田	大野川谷	—	5.8	2.1	1.6	26.70	砂岩	無		
1647 107	後山田	後山田	大野川谷	—	4.4	2.2	1.5	12.18	砂岩	無		
1648 108	後山田	後山田	大野川谷	—	3.5	2.0	1.5	3.74	頁岩	無		
1649 109	後山田	後山田	大野川谷	—	3.9	3.7	1.9	23.12	砂岩	無		
1650 110	後山田	後山田	大野川谷	—	3.0	2.1	0.4	3.82	頁岩	無		
1651 111	後山田	後山田	大野川谷	—	5.8	3.5	1.2	23.02	頁岩	無		
1652 112	後山田	後山田	大野川谷	—	6.3	3.0	1.4	22.84	頁岩	無		
1653 113	後山田	後山田	大野川谷	—	3.1	3.8	0.9	11.24	砂岩	無		
1654 114	後山田	後山田	大野川谷	—	3.6	2.8	0.7	7.18	砂岩	無		
1655 115	後山田	後山田	大野川谷	—	2.2	5.0	0.9	18.70	チャート	無		
1656 116	後山田	後山田	大野川谷	—	3.6	3.0	0.5	3.42	砂岩	無		

番号	説明番号	器 特	器 形	分類	長さ(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材 質	欠損状況	備考	(総合)
1657	117	縫出面	鋸片	2.6	4.6	0.7	8.82	砂岩				
1658	118	縫出面	鋸片	2.0	1.7	1.3	5.10	チート				
1659	119	縫出面	鋸片	4.3	2.2	0.9	6.88	砂岩				
1660	120	縫出面	鋸片	3.7	2.7	1.2	12.34	砂岩質				
1661	121	縫出面	鋸片	3.5	2.0	1.5	11.32	砂岩				
1662	122	縫出面	鋸片	1.9	1.4	1.1	2.82	ガラス				
1663	123	縫出面	鋸片	2.0	1.2	0.5	1.50	ガラス				
1664	124	縫出面	鋸片	2.0	1.2	0.5	1.50	ガラス				
1665	125	縫出面	鋸片	2.0	1.2	0.4	1.50	ガラス				
1666	126	縫出面	鋸片	1.8	1.6	0.4	1.00	ガラス				
1667	127	縫出面	鋸片	2.0	2.2	0.6	1.74	ガラス				
1668	128	縫出面	鋸片	2.0	1.3	0.6	1.04	ガラス				
1669	129	縫出面	鋸片	2.5	1.5	0.8	2.48	ガラス				
1670	130	縫出面	鋸片	2.9	2.6	0.8	4.34	ガラス				
1671	131	縫出面	鋸片	3.7	2.1	0.7	4.44	ガラス				
1672	132	縫出面	鋸片	3.4	1.7	0.5	2.90	ガラス				
1673	133	縫出面	鋸片	2.9	3.5	0.5	4.32	ガラス				
1674	134	縫出面	鋸片	2.5	1.4	0.3	1.02	ガラス				
1675	135	縫出面	鋸片	2.4	1.5	0.4	1.42	ガラス				
1676	136	縫出面	鋸片	1.5	1.3	0.3	0.74	ガラス				
1677	137	縫出面	鋸片	1.2	1.2	0.3	0.30	ガラス				
1678	138	縫出面	鋸片	2.6	1.1	0.7	1.54	ガラス				
1679	139	縫出面	鋸片	2.3	1.7	0.5	1.16	ガラス				
1680	140	縫出面	鋸片	2.0	1.5	0.9	2.42	ガラス				
1681	141	縫出面	鋸片	2.0	1.5	0.7	2.11	ガラス				
1682	142	縫出面	鋸片	3.4	2.6	1.2	8.82	ガラス				
1683	143	縫出面	鋸片	2.4	3.0	1.2	8.82	ガラス				
1684	144	縫出面	鋸片	2.7	1.7	0.4	1.42	ガラス				
1685	145	縫出面	鋸片	2.0	1.5	0.5	1.32	ガラス				
1686	146	縫出面	鋸片	2.7	1.3	0.5	0.96	ガラス				
1687	147	縫出面	鋸片	1.7	1.2	0.3	0.52	ガラス				
1688	148	縫出面	鋸片	2.6	1.4	0.4	1.34	ガラス				
1689	149	縫出面	鋸片	2.3	1.9	0.5	3.06	ガラス				
1690	150	縫出面	鋸片	2.9	2.0	0.7	2.74	ガラス				
1691	151	縫出面	鋸片	2.4	1.5	0.4	1.84	ガラス				
1692	152	縫出面	鋸片	4.5	1.9	0.6	5.84	貝壳				
1693	153	縫出面	鋸片	2.2	1.2	0.5	2.20	ガラス				
1694	154	縫出面	鋸片	3.9	3.1	0.8	12.78	珪藻土				
1695	155	縫出面	磨石片	—	—	—	31.08	珪藻土				
1696	156	縫出面	磨石片	4.8	3.8	1.1	18.28	珪藻土				
1697	157	縫出面	磨石片	6.6	3.3	0.7	26.26	貝壳				
1698	158	縫出面	磨石片	7.3	3.4	1.2	24.82	貝壳				
1699	159	縫出面	磨石片	3.2	2.0	1.1	5.20	珪藻土				
1700	160	縫出面	磨石片	6.8	5.2	1.3	42.62	珪藻土				
1701	161	縫出面	磨石片	5.0	4.2	0.9	26.96	貝壳				
1702	162	縫出面	磨石片	6.3	3.4	1.6	21.92	貝壳				
1703	163	縫出面	磨石片	6.8	6.3	2.9	149	珪藻土				
1704	1	トレンチ1	小形刃器	2.2	1.5	1.0	2.58	ガラス				
1705	2	トレンチ1	小形刃器	2.7	2.3	0.9	3.46	ガラス				
1706	3	トレンチ1	小形刃器	(1.5)	(1.3)	0.3	(0.52)	ガラス				
1707	4	トレンチ1	小形刃器	2.1	1.6	0.4	1.18	ガラス				
1708	5	トレンチ1	小形刃器	2.3	2.8	0.7	4.36	ガラス				
1709	6	トレンチ1	小形刃器	3.9	2.0	0.8	4.88	ガラス				
1710	7	トレンチ1	打制石斧	II-a	9.1	5.5	1.4	68	骨質			
1711	8	トレンチ1	鋸片	2.3	1.5	0.2	0.76	ガラス				
1712	9	トレンチ1	鋸片	1.9	1.1	0.6	1.05	ガラス				
1713	10	トレンチ1	鋸片	1.1	0.8	0.6	0.56	ガラス				
1714	11	トレンチ1	鋸片	1.5	0.9	0.3	0.36	ガラス				
1715	12	トレンチ1	鋸片	2.3	1.9	0.7	1.69	ガラス				
1716	13	トレンチ1	鋸片	3.2	2.6	0.7	2.44	ガラス				
1717	14	トレンチ1	鋸片	3.4	4.1	0.9	6.24	ガラス				
1718	1	トレンチ2	石器	II	1.8	2.1	0.5	0.92	ガラス			
1719	2	トレンチ2	合行	18.0	7.8	7.3	21.00	骨質				
1720	1	トレンチ3	鋸片	2.3	1.9	0.3	0.94	ガラス				
1721	2	トレンチ3	鋸片	2.5	2.3	1.1	4.10	ガラス				
1722	1	トレンチ4	小形刃器I	(2.3)	1.6	0.7	(1.24)	ガラス				
1723	1	トレンチ5	鉢	2.6	1.4	1.0	8.22	ナット				
1724	2	トレンチ5	くきび野石器	2.6	2.3	1.2	7.78	ガラス				
1725	3	トレンチ5	鋸片	9.5	3.2	1.5	66	貝壳				
1726	4	トレンチ5	鋸片	5.1	11.5	1.4	70	貝壳				
1727	5	トレンチ5	鋸片	2.2	2.0	0.7	2.90	ガラス				
1728	6	トレンチ5	鋸片	2.6	2.2	0.7	2.74	ガラス				
1729	7	トレンチ5	鋸片	2.2	2.2	0.7	2.90	ガラス				
1730	8	トレンチ5	鋸片	2.4	2.3	0.7	2.90	ガラス				
1731	9	トレンチ5	鋸片	2.0	2.3	0.4	1.98	ガラス				
1732	10	トレンチ5	鋸片	2.5	2.9	0.7	4.84	ガラス				
1733	11	トレンチ5	鋸片	2.4	2.2	0.8	1.92	ガラス				
1734	1	トレンチ7	磨石	4.3	2.4	1.5	14.46	貝壳				
1735	2	トレンチ7	くきび野石器	1.9	1.8	0.5	1.46	ガラス				
1736	3	トレンチ7	小形刃器	5.9	2.8	1.9	22.46	ガラス				
1737	4	トレンチ7	小形刃器	4.4	1.7	0.5	3.10	ガラス				
1738	5	トレンチ7	小形刃器	1.7	1.2	0.5	0.96	ガラス				
1739	6	トレンチ7	小形刃器	1.5	2.5	0.6	3.06	ガラス				
1740	7	トレンチ7	小形刃器	3.8	3.5	1.5	14.78	ガラス				
1741	8	トレンチ7	小形刃器	1.8	1.4	0.4	1.06	ガラス				
1742	9	トレンチ7	小形刃器	2.1	1.1	0.6	0.66	ガラス				
1743	10	トレンチ7	小形刃器	3.3	1.8	0.5	2.90	ガラス				
1744	11	トレンチ7	小形刃器	1.8	0.7	0.5	1.00	ガラス				
1745	12	トレンチ7	小形刃器	3.0	2.2	0.8	6.56	ガラス				
1746	13	トレンチ7	V-	(1.6)	(0.6)	2.3	(0.6)	貝壳				
1747	14	トレンチ7	V-	9.7	4.2	1.3	85	貝壳				
1748	15	トレンチ7	磨石	1.80	10.5	7.9	525	砂岩				

## 第IV章 調査結果の分析研究

番号	調査番号	住居番号	層	石種	分類	R(g)	H(m)	Tz(m)	透光率(%)	石材	欠損状況	固有名	地質
1749	18	北トレチナ	鋼片	2.5	1.7	1.3	4.95						
1750	17	北トレチナ	鋼片	3.9	1.7	0.7	3.12						
1751	18	北トレチナ	鋼片	2.7	1.7	0.3	0.56						
1752	19	北トレチナ	鋼片	4.4	1.4	0.6	2.50						
1753	20	北トレチナ	鋼片	1.4	1.1	0.2	0.28						
1754	21	北トレチナ	鋼片	3.7	2.0	1.8	10.16						
1755	22	北トレチナ	鋼片	1.5	2.0	0.9	2.40						
1756	23	北トレチナ	鋼片	1.2	1.5	0.5	0.62						
1757	24	北トレチナ	鋼片	2.2	1.9	0.6	2.36						
1758	25	北トレチナ	鋼片	2.7	2.2	0.6	3.42						
1759	26	北トレチナ	鋼片	1.1	0.8	0.3	0.16						
1760	27	北トレチナ	鋼片	1.4	1.5	0.3	0.88						
1761	28	北トレチナ	鋼片	2.3	2.1	1.2	3.52						
1762	29	北トレチナ	鋼片	2.5	1.5	0.5	1.09						
1763	30	北トレチナ	鋼片	0.8	0.6	0.2	0.10						
1764	31	北トレチナ	鋼片	1.8	1.2	0.4	0.78						
1765	32	北トレチナ	鋼片	4.9	2.5	0.6	8.92						
1766	33	北トレチナ	鋼片	1.0	0.7	0.2	0.17						
1767	34	北トレチナ	鋼片	6.1	4.9	0.5	15.24						
1768	1	複数	石墨	(3.5)	0.7	0.6	0.02						
1769	2	複数	複数	打製石斧	Ib	16.2	3.8	1.6	79	瓦岩	変形		
1770	3	複数	複数	打製石斧	Ic	16.9	5.6	1.4	124	瓦岩	変形	瓦岩砂岩	
1771	4	複数	複数	鋸片		5.5	4.2	0.6	35.30	複数			
1772	5	複数	複数	鋸片		4.7	3.3	0.9	18.02	複数			
1773	6	複数	複数	鋸片		4.9	3.1	0.9	36.64	複数			
1774	7	複数	複数	鋸片		4.0	1.7	0.7	4.78	複数			
1775	8	複数	複数	鋸片		5.3	3.7	1.6	47.50	複数			
1776	1	複数	複数	打製石斧	V-	(8.0)	4.7	1.5	(67)	瓦岩	刃部欠		
1777	2	複数	複数	打製石斧	V-	(8.4)	3.9	1.8	(68)	瓦岩	下平欠		
1778	3	複数	複数	鋸片		3.2	2.1	0.8	7.42	複数			
1779	4	複数	複数	鋸片		2.3	1.7	0.4	1.59	複数			
1780	5	複数	複数	鋸片		2.7	1.6	0.4	1.50	複数			
1781	1	AES不明	不明	鋸片		1.5	2.6	1.0	3.30	無縫石			
1782	2	B区不明	不明	小形石器Ⅱ		4.8	1.7	1.2	7.72	無縫石	変形		
1783	3	B区不明	不明	打製石斧	-	(6.7)	4.0	1.8	(79)	瓦岩	下平部欠		
1784	4	B区不明	不明	打製石斧	-	15.5	5.5	1.7	134	瓦岩	変形	氯化化らしい	
1785	5	B区不明	不明	打製石斧	-	11.0	4.3	2.0	134	瓦岩	変形	帶狀	
1786	6	B区不明	不明	砾石		(14.1)	(13.2)	7.0	(1500)	複数	平行		
1787	7	B区不明	不明	鋸片		17.1	3.2	2.9	324	瓦岩			
1788	8	B区不明	不明	鋸片		3.6	1.7	0.7	3.32	無縫石			
1789	9	B区不明	不明	鋸片		3.0	1.2	0.7	5.58	無縫石			
1790	10	B区不明	不明	鋸片		1.1	2.1	0.5	0.52	無縫石			
1791	11	B区不明	不明	鋸片		2.1	1.6	0.4	1.14	無縫石			
1792	12	B区不明	不明	鋸片		3.4	3.7	0.4	4.20	無縫石			
1793	13	B区不明	不明	鋸片		8.6	2.5	1.7	13.80	無縫石			
1794	14	B区不明	不明	鋸片		1.9	1.9	0.9	2.40	無縫石			
1795	14	B区不明	不明	鋸片		2.6	2.3	0.8	2.44	無縫石			
1796	15	B区不明	不明	鋸片		2.7	1.6	0.6	3.54	無縫石			
1797	16	B区不明	不明	春石斧		5.9	1.9	1.5	16.02	複数			
1798	1	不明	不明	鋸片		7.4	3.8	0.9	37.86	瓦岩			
1799	2	不明	不明	鋸片		3.6	2.3	1.3	12.10	チャート			
1800	3	不明	不明	鋸片		4.0	3.8	1.6	10.30	複数			
1801	4	不明	不明	鋸片		4.5	3.5	0.4	8.82	複数			
1802	5	不明	不明	鋸片		3.0	2.3	0.9	5.34	チャート			
1803	6	不明	不明	鋸片		2.6	1.6	0.5	2.44	チャート			
1804	7	不明	不明	鋸片		4.0	2.0	0.5	4.06	複数			
1805	8	不明	不明	鋸片		1.5	1.1	0.3	0.40	無縫石			
1806	9	不明	不明	鋸片		2.0	1.4	0.4	1.02	無縫石			
1807	10	不明	不明	鋸片		1.4	1.5	0.2	0.44	無縫石			
1808	11	不明	不明	磨石片		6.0	1.5	1.4	14.30	複数			
1809	12	不明	不明	合板片		5.9	2.6	1.5	21.26	複数			
1810	13	土	土	石塊		11.2	8.7	4.6	340	複数	瓦岩 小型品・亜打形形状がある		

## 第5節 熊久保遺跡出土の黒曜石産地推定

望月 明彦

### はじめに

熊久保遺跡から出土した黒曜石をエネルギー分散蛍光X線分析し、産地推定を行った。分析した試料は各住居址から出土した遺物中から抽出し、358点を分析、産地推定した。

### 1 分析法

蛍光X線分析法では、試料にX線（1次X線という）を照射すると、試料に含まれる元素ごとに違った波長（エネルギー）をもつ蛍光X線が発生する。発生した蛍光X線の波長（エネルギー）から含まれている元素の種類がわかり、それぞれの元素の蛍光X線強度から元素組成を知ることができる。この分析法の大きな特徴として試料を破壊せずに分析できことがある。試料をまったく損傷せずに測定が可能なので、考古学的に貴重な資料であっても安全に分析できることになる。測定に時間がかかることも特徴といえよう。非破壊分析であることから、試料の前処理も洗浄を必要とするだけであるので、短い時間で多くの試料を分析することができる。測定のためのコストも低いことと合わせて、遺跡から出土する膨大な黒曜石製石器の測定のためには非常に有利な分析法と考えられる。

分析に用いた装置はセイコーインスツルメンツ社製エネルギー分散蛍光X線装置SEA-2110Lで、X線管ターゲットはロジウム、検出器はSi (Li) 半導体検出器である。測定条件を次に示す。

電圧：50kV 電流：自動設定

雰囲気：真空 照射径：10mm, 3mm

測定時間：産地原石500sec, 遺跡出土試料240sec

測定した元素はアルミニウム、ケイ素、カリウ

ム、カルシウム、チタン、鉄、マンガン、ルビジウム、ストロンチウム、イットリウム、ジルコニウムである。

### 2 産地推定法

黒曜石の産地推定は、あらかじめ産地原石を測定して原石のデータベースを作っておき、このデータベースを基に行うが、ここで、筆者の産地という用語に対する考え方を述べておきたい。筆者は「産地」を「原産地」とは別の意味で用いている。原産地をその黒曜石がもともと生成した場所、という意味の印象を与える。しかし、産地推定のデータベース作成のための原石の採取場所は、かなりの確率で露頭ではなく、原石が散布しているだけの場合が多い。また、同じ群の黒曜石が複数の場所で採取可能であることが多い。黒曜石原石が最初に生成した場所から移動していることが多いからである。実際、黒曜石の最初の生成地点を特定できない場合はよくあることである。したがって、筆者は産地という用語を「露頭をも含んで現在原石が採取可能なすべての場所」として用いている。分類された黒曜石の判別群名はその群の黒曜石が採取できる代表的な地点名から命名されている。決してその地点からしか採取できないということではない。

産地原石、遺跡出土試料についての測定データから、以下のような指標を算出した。

$A = (Rb\text{強度} + Sr\text{強度} + Y\text{強度} + Zr\text{強度})$  とした時、

$$Rb\text{分率} = Rb\text{強度} \times 100/A$$

Sr

$$Sr\text{分率} = Sr\text{強度} \times 100/A$$

Zr

$$Zr\text{分率} = Zr\text{強度} \times 100/A$$

Mn

$$\text{強度} \times 100/Fe\text{強度}$$

$$\log (Fe\text{強度}/K\text{強度})$$

これらの指標には蛍光X線のエネルギー差が小さく、風化に影響されにくい元素をできる限り用いた。

### 3 判別図法

推定のための第1の方法としては上記指標のうちZr分率を除く4つの指標を用いて2つのグラフによる推定法を用いた。以下この方法を判別図法、二つのグラフを判別図と呼ぶことにする。

二つの判別図を図2と図3に示した。図中の判別群の記号は表1を参照されたい。これらの図中淡色で示した記号は産地原石のプロットを示して

いる。図2は横軸にRb分率、縦軸にMn強度×100/Fe強度をプロットしたものである。図3は横軸にSr分率、縦軸にlog(Fe強度/K強度)をプロットしてある。図2と図3とから、各エリアの判別群の分類が可能となる。

遺跡出土試料についても同様に蛍光X線分析を行い、産地原石と同様のプロットを行って比較することで産地推定を行った。図2、図3には熊久保遺跡出土の縄文の黒曜石を●で示した。判別図法は、遺跡出土黒曜石の産地推定において形状、厚み、風化の影響を受けにくく、信頼性の高い産地推定法であるといえよう。また、指標の計算は



図1 原石を採取・分析した黒曜石産地

表1 产地原石判別群 (SEIKO SEA-2110L螢光X線分析装置による)

都道府県	地図No	エリア	新判別群	旧判別群	新記号	旧記号	原石採取地 (分析数)
北海道	1	白滝	八号沢群		STHG		赤石山山頂(19)、八号沢露頭(31)、八号沢(79)、鼎羅の沢(6)、輕加林道(4)
	2	上士幌	三股群		KSMM		十三ノ沢(16)
	3	置戸	安住群		ODAZ		安住(25)、清水ノ沢(9)
	4	旭川	高砂台群		AKTS		高砂台(6)、雨翁台(5)、春光台(5)
	5	名寄	布川群		NYHK		布川(10)
	6	新川	須田群		STSD		須田(6)
	7	赤井川	曲川群		AIMK		曲川(25)、土木川(15)
	8	豊浦	豊泉群		TUTI		豊泉(16)
青森	9	木造	出来島群		KDDK		出来島海岸(34)
	10	深浦	八森山群		HUHM		八森山公園(8)、六角沢(8)、周崎浜(40)
秋田	11	男鹿	金ヶ崎群		OGKS		金ヶ崎温泉(37)、藤本海岸(98)
			脇本群		OGWM		脇本海岸(16)
山形	12	羽黒	月山群		HGGS		月山莊原(30)、朝日町田代沢(18)、鶴引町中沢(18)
			今野川群		HGIN		今野川(9)、大網川(5)
新潟	13	新津	金津群		NTKT		金津(29)
	14	新発田	板山群		SBIY		板山牧場(40)
福井	15	高源山	甘湯沢群	高原山1群	THAY	TKH1	甘湯沢(50)、桜沢(20)
			七尋沢群	高原山2群	THNH	TKH2	七尋沢(9)、自然の家(9)
長野	16	(WD)	鷹山群	和田峠1群	WDTY	WDT1	
			小深沢群	和田峠2群	WDKB	WDT2	
			土屋橋北群	和田峠3群	WDTK	WDT3	鷹山(53)、小深沢(54)、東鮮屋(36)、芙蓉ライド(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁子御領(18)
			土屋橋西群	和田峠4群	WDTN	WDT4	
			土屋橋南群	和田峠5群	WDTM	WDT5	
			芙蓉ライド群		WDHY		
			古峠群		WDHT		
			和田(WO)	男女倉1群	WOBD	OMG1	ブドウ沢(36)、ブドウ沢右岸(18)、牧ヶ沢上(33)、牧ヶ沢下(36)、高松沢(40)
			牧ヶ沢群	男女倉2群	WOMS	OMG2	
			高松沢群	男女倉3群	WOTM	OMG3	
	17	諏訪	星ヶ台群	諏ヶ峰系	SWHD	KRM	星ヶ塔第1竪区(36)、星ヶ塔第2竪区(36)、星ヶ台A(36)、星ヶ台B(11)、水月糞園(36)、水月公園(13)、星ヶ塔のりこし(36)
	18	蓼科	冷山群	蓼科系	TSTY	TTS	冷山(33)、麦草峠(36)、麦草峠東(33)、洗ノ湯(29)、美し森(4)、ハケ岳7(17)、ハケ岳9(18)、反子池(34)
			反子山群		TSHG		反子池(26)
			擂鉢山群		TSSB		擂鉢山(31)、亀甲池(8)
神奈川	19		芦ノ湯群	芦ノ湯	HNAY	ASY	芦ノ湯(34)
	20	箱根	烟宿群	烟宿	HNHJ	HTJ	烟宿(71)
	21		黒岩崎群	箱根系A群	HNKI	HKNA	黒岩崎(9)
静岡			鍛冶屋群	鍛冶屋	HNKJ	KJY	鍛冶屋(30)
	22	天城	上多賀群		HNKT	KMT	上多賀(18)
			柏峠群		AGKT	KSW	柏峠(80)
東京	23	神津島	恩恵島群	神津島1群	KZOB	KOZI	恩恵島(100)、長浜(43)、沢尻渕(8)
			砂蔵崎群	神津島2群	KZSN	KOZ2	砂蔵崎(40)、長浜(5)
			久見群		OKHM		久見バーライト中(30)、久見探掘現場(18)
鳥取	24	隱岐	荒瀬群		OKMU		荒瀬海岸(30)、加茂(19)、岸浜(35)
			岬群		OKMT		岬地区(16)
その他			NK群		NK		中ッ原1G、5G(遠跡試料)、原石臺地は本発見

佐々木繁喜氏提供試料 (まだ地図には入れていない)

青森	小泊	折腰内群	KDOK	小泊市折腰内 (8)
岩手	北上川	北上折居1群	KKO1	水沢市折居 (36)、花巻日形田ノ沢 (36)、季石小赤沢 (22)
		北上折居2群	KKO2	水沢市折居 (23)、花巻日形田ノ沢 (8)、季石小赤沢 (2)
		北上折居3群	KKO3	水沢市折居 (5)
宮城	宮崎	湯ノ食群	MZYK	宮崎町湯ノ食 (54)
色麻		根岸群	SMNG	色麻町根岸 (48)
仙台		秋保1群	SDA1	仙台市秋保土藏 (17)
		秋保2群	SDA2	仙台市秋保土藏 (35)
塙塙		塙塙群	SGSG	塙塙市塙塙漁港 (22)

非常に簡単であり、推定結果はグラフにより視覚的・直感的に把握できることから非常にわかりやすいことも大きな長所といえる。

#### 4 判別分析

第2の方法として多変量解析の1つの手法である判別分析を用いた。この方法はすでに分類された群のいづれに未知の試料が帰属するかを求める方法である。変量として上記の指標をすべて用いた。原石の群はあらかじめクラスター分析と主成分分析によって分類し、判別分析によって結果に矛盾がないかを確認した。

判別図法と判別分析との結果は非常に一致度が高いが、和田鷹山群と和田小澤群など同じエリアの中の元々類似した群の場合には異なる群に分類される場合もある。このような場合は判別分析の結果を採用している。

#### 5 産地推定結果

蛍光X線分析は表面の分析である。そのため、遺物の表面の汚れや風化により、元の黒曜石と表面の組成が異なってしまっていると正しい産地測定は不可能である。汚れの場合は洗浄等によって除去が可能な場合も多いが、経年変化による風化は試料を破壊しなければならない。本遺跡出土の試料は幸い非常に表面の状態が良好で、358試料すべての産地推定が可能であった。また、判別図法、判別分析の結果は100%一致しており、推定結果の信頼度は高いものと考えられる。

分析した358点のうち98.8%に当たる354点が諫訪星ヶ台群で、3点が和田鷹山群、1点が和田土屋橋南群であった。この傾向は近隣の縄文時代中期の遺跡の分析結果と非常に類似している。諫訪星ヶ台群は上松町の吉野遺跡では96.5%、大桑町の大野遺跡では98.3%、同町の万場遺跡でも86.8%と非常に多く用いられている。これら3遺跡とも諫訪星ヶ台群以外の産地は和田エリアのみであり、同じ長野県内の蓼科エリアの黒曜石がまったく検

出されない点も本遺跡と同様である。今のところ、この地域の縄文時代中期の黒曜石利用の特徴といつてよい、と考えられる。

表2 長野県東筑摩郡朝日村熊久保遺跡出土黒曜石産地組成

エリア	判別群	記号	試料数	%
和田(WO)	ブドウ沢	WOBD	0	0
	牧ヶ沢	WOMS	0	0
	高松沢	WOTM	0	0
	芙蓉ライト	WDHY	0	0
和田(WD)	磨山	WDTY	3	0.84
	小澤沢	WDKB	0	0
	土屋橋北	WDTK	0	0
	土屋橋西	WDTN	0	0
	土屋橋南	WDTM	1	0.28
	古峰	WDHT	0	0
	星ヶ台	SWHD	354	98.88
諫訪	冷山	TSTY	0	0
	双子山	TSHG	0	0
蓼科	擂鉢山	TSSE	0	0
	柏峰上	AGKT	0	0
天城	畠宿	HNHJ	0	0
	金治屋	HNKI	0	0
箱根	黒岩橋	HNKI	0	0
	上多賀	HNKT	0	0
芦ノ湯	芦ノ湯	HNAY	0	0
	恩賜島	KZOB	0	0
神津沢	砂敷崎	KZSN	0	0
	甘通沢	THAY	0	0
高原山	七尋沢	THNH	0	0
	金津	NTKT	0	0
新津	板山	SBYI	0	0
	連浦	HUHM	0	0
木造	出来島	KDDK	0	0
	金ヶ崎	OGKS	0	0
男鹿	船本	OGWM	0	0
	月山	HGGS	0	0
羽黒	今野川	HGIN	0	0
	折原1群	KKO1	0	0
北上川	折原2群	KKO2	0	0
	折原3群	KKO3	0	0
宮崎	海ノ倉	MZYK	0	0
	秋保1群	SDAI	0	0
仙台	秋保2群	SDA2	0	0
	桟岸	SMNG	0	0
色麻	塙戸港群	SGSG	0	0
	小泊	KKDOK	0	0
魚津	草月上野	UTHT	0	0
	二上山	TOFK	0	0
高岡	真光寺	SDSK	0	0
	金井二ツ坂	SDKH	0	0
佐渡	久見寺	OKHM	0	0
	岬地区	OKMT	0	0
雄岐	糸通	OKMU	0	0
	8号沢	STHG	0	0
白浪	黒曜の沢	STKY	0	0
	赤石山頭	STSC	0	0
赤井川	曲川	AIMK	0	0
	豊泉	TUTI	0	0
豊戸	安住	ODAZ	0	0
	十勝	TKMM	0	0
名寄	布川	NYHA	0	0
	高砂台	AKTS	0	0
旭川	春光台	AKSK	0	0
	不明產地1	NK	0	0
下呂石	合計		358	100
	不可など		0	
	総計		358	

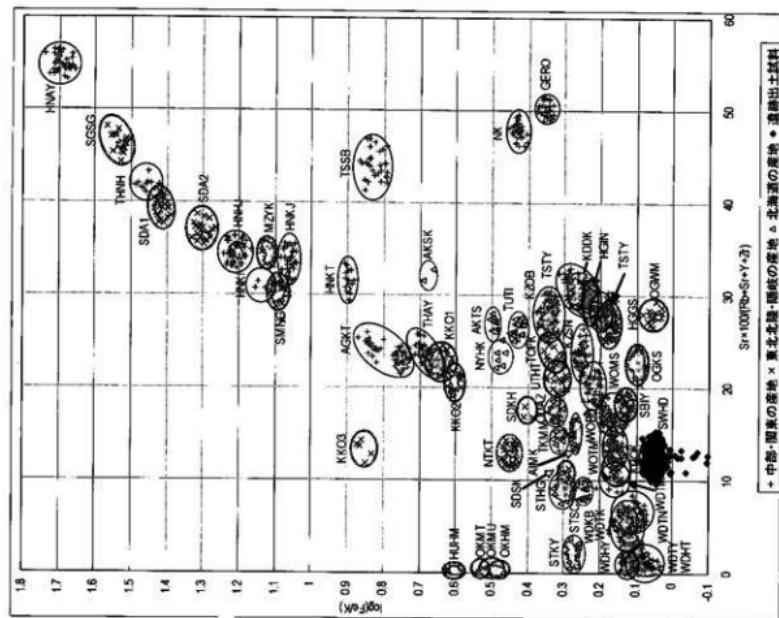


図3 黒曜石产地の判別図(2)

\* 中部・関東の産地 × 東北北陸・西岐の産地 \* 北海道の産地 \* 遠跡出土試料

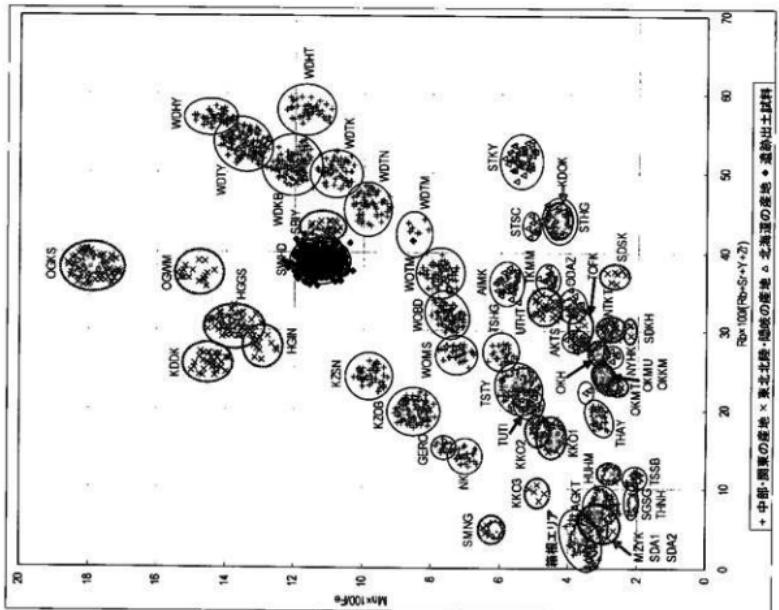


図2 黒曜石圭地の判別図(1)

卷之三

表3 須久保遺跡出土黒曜石製石器産地推定結果一覧表

## 判別図法・判別分析からの最終推定結果

## 判別図法による推定結果と判別分析による推定結果

分析番号	住居・遺物番号	確定产地	判別分析					
			第1次被検产地			第2次被検产地		
判別群	判別群	確率	判別群	判別群	確率	判別群	判別群	確率
KKB-1	2号住 96	御前塚・台群	SWHD	SWHD	4.27	1	SBY	79.56
KKB-2	97	御前塚・台群	SWHD	SWHD	0.38	1	SBY	93.38
KKB-3	31	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.45	1	SBY	108.39
KKB-4	98	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.67	1	WDTN	102.26
KKB-5	61	御前塚・台群	SWHD	SWHD	8.54	1	SBY	93.81
KKB-6	21	御前塚・台群	SWHD	SWHD	9.88	1	WDTN	74.09
KKB-7	22	御前塚・台群	SWHD	SWHD	10.32	1	WDTN	135.1
KKB-8	38	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.19	1	WDTN	118.82
KKB-9	23	御前塚・台群	SWHD	SWHD	10.44	1	SBY	45.29
KKB-10	39	御前塚・台群	SWHD	SWHD	11.15	1	SBY	81.09
KKB-11	40	御前塚・台群	SWHD	SWHD	0.99	1	SBY	90.97
KKB-12	41	御前塚・台群	SWHD	SWHD	3.41	1	SBY	107.34
KKB-13	42	御前塚・台群	SWHD	SWHD	6.31	1	SBY	83.3
KKB-14	43	御前塚・台群	SWHD	SWHD	19.78	1	SBY	112.78
KKB-15	44	御前塚・台群	SWHD	SWHD	4.15	1	SBY	90.45
KKB-16	45	御前塚・台群	SWHD	SWHD	6.85	1	WDTN	115.62
KKB-17	46	御前塚・台群	SWHD	SWHD	8.97	1	SBY	103.2
KKB-18	47	御前塚・台群	SWHD	SWHD	2.67	1	SBY	112.03
KKB-19	48	御前塚・台群	SWHD	SWHD	8.98	1	SBY	49.6
KKB-20	24	御前塚・台群	SWHD	SWHD	6.99	1	SBY	112.67
KKB-21	49	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.89	1	SBY	118.84
KKB-22	50	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.52	1	SBY	77.37
KKB-23	4	御前塚・台群	SWHD	SWHD	13.55	1	SBY	133.32
KKB-24	51	御前塚・台群	SWHD	SWHD	11.03	1	SBY	69.98
KKB-25	6	御前塚・台群	SWHD	SWHD	8.73	1	SBY	64.93
KKB-26	52	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.11	1	SBY	76.25
KKB-27	67	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.3	1	WDTN	71.36
KKB-28	68	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.94	1	SBY	82.73
KKB-29	13	御前塚・台群	SWHD	SWHD	4.82	1	SBY	102.28
KKB-30	17	御前塚・台群	SWHD	SWHD	3.26	1	SBY	82.08
KKB-31	1	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.3	1	SBY	101.16
KKB-32	69	御前塚・台群	SWHD	SWHD	2.35	1	SBY	89.68
KKB-33	27	御前塚・台群	SWHD	SWHD	11.45	1	SBY	74
KKB-34	70	御前塚・台群	SWHD	SWHD	2.67	1	SBY	83.62
KKB-35	9	御前塚・台群	SWHD	SWHD	4.66	1	SBY	108.05
KKB-36	2	御前塚・台群	SWHD	SWHD	6.96	1	SBY	94.2
KKB-37	10	御前塚・台群	SWHD	SWHD	13.84	1	SBY	102.75
KKB-38	72	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.32	1	WDTN	88.1
KKB-39	18	御前塚・台群	SWHD	SWHD	6.41	1	SBY	67.95
KKB-40	73	御前塚・台群	SWHD	SWHD	11.43	1	SBY	112.62
KKB-41	5	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.69	1	SBY	105.56
KKB-42	19	御前塚・台群	SWHD	SWHD	8.67	1	WDTN	98.73
KKB-43	20	御前塚・台群	SWHD	SWHD	1.37	1	SBY	76.09
KKB-44	75	御前塚・台群	SWHD	SWHD	9.86	1	WDTN	105.75
KKB-45	11	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.5	1	WDTN	78.49
KKB-46	12	御前塚・台群	SWHD	SWHD	8.47	1	SBY	110.57
KKB-47	26	御前塚・台群	SWHD	SWHD	1.69	1	SBY	76.19
KKB-48	14	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.54	1	SBY	63.49
KKB-49	76	御前塚・台群	SWHD	SWHD	3.28	1	SBY	98.77
KKB-50	77	御前塚・台群	SWHD	SWHD	1.72	1	SBY	102.28
KKB-51	15	御前塚・台群	SWHD	SWHD	8.55	1	WDTN	132
KKB-52	78	御前塚・台群	SWHD	SWHD	10.51	1	SBY	105.46
KKB-53	3	御前塚・台群	SWHD	SWHD	13.42	1	WDTN	110.7
KKB-54	79	御前塚・台群	SWHD	SWHD	2.81	1	SBY	98.33
KKB-55	28	御前塚・台群	SWHD	SWHD	10.01	1	WDTN	82.1
KKB-56	29	御前塚・台群	SWHD	SWHD	1.54	1	SBY	71.12
KKB-57	80	御前塚・台群	SWHD	SWHD	8.47	1	SBY	54.12
KKB-58	81	御前塚・台群	SWHD	SWHD	1.16	1	SBY	87.28
KKB-59	82	御前塚・台群	SWHD	SWHD	10.15	1	WDTN	127.21
KKB-60	53	御前塚・台群	SWHD	SWHD	1.24	1	SBY	96.45
KKB-61	84	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.06	1	SBY	63.2
KKB-62	30	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.38	1	SBY	82.61
KKB-63	85	御前塚・台群	SWHD	SWHD	8.84	1	WDTN	77.54
KKB-64	86	御前塚・台群	SWHD	SWHD	4.36	1	WDTN	81.53
KKB-65	87	御前塚・台群	SWHD	SWHD	12.66	1	WDTN	95.35
KKB-66	88	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.36	1	SBY	90.43
KKB-67	89	御前塚・台群	SWHD	SWHD	3.1	1	SBY	99.19
KKB-68	90	御前塚・台群	SWHD	SWHD	0.99	1	SBY	89.92
KKB-69	91	御前塚・台群	SWHD	SWHD	4.32	1	SBY	99.86
KKB-70	92	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.93	1	SBY	64.8
KKB-71	93	御前塚・台群	SWHD	SWHD	2.87	1	SBY	97.24
KKB-72	94	御前塚・台群	SWHD	SWHD	10.8	1	SBY	69.34
KKB-73	55	御前塚・台群	SWHD	SWHD	6.9	1	SBY	112.74
KKB-74	25	御前塚・台群	SWHD	SWHD	2.76	1	SBY	110.54
KKB-75	16	御前塚・台群	SWHD	SWHD	9.7	1	SBY	87.12
KKB-76	7	御前塚・台群	SWHD	SWHD	21.92	1	WDTN	83.94
KKB-77	8	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.56	1	WDTN	100.79
KKB-78	9号住 556	御前塚・台群	SWHD	SWHD	1.63	1	SBY	74.24
KKB-79	670	御前塚・台群	SWHD	SWHD	5.97	1	SBY	81.56
KKB-80	643	御前塚・台群	SWHD	SWHD	7.69	1	SBY	99.65
KKB-81	644	御前塚・台群	SWHD	SWHD	2.96	1	SBY	78.83

分析番号	住居・遺物番号	推定产地	判別用 判別群	判 別 分 析				
				第1候補地	第2候補地	第3候補地	第4候補地	
KKB-82	739	御前里・台野	SWHD	0.76	1	SBY	100.0%	0
KKB-83	657	御前里・台野	SWHD	10.1	1	SBY	75.6%	0
KKB-94	658	御前里・台野	SWHD	4.27	1	WDTN	120.5%	0
KKB-85	667	御前里・台野	SWHD	17.57	1	WDTN	76.4%	0
KKB-86	649	御前里・台野	SWHD	6.01	1	SBY	102.9%	0
KKB-87	671	御前里・台野	SWHD	1.12	1	WDTN	109.4%	0
KKB-88	688	御前里・台野	SWHD	12.31	1	SBY	103.4%	0
KKB-89	689	御前里・台野	SWHD	13.16	1	WDTN	118.4%	0
KKB-90	690	御前里・台野	SWHD	5.33	1	SBY	65.7%	0
KKB-91	740	御前里・台野	SWHD	2.91	1	SBY	81.0%	0
KKB-92	741	御前里・台野	SWHD	12.02	1	WDTN	86.2%	0
KKB-93	742	御前里・台野	SWHD	6.6	1	WDTN	124.6%	0
KKB-94	743	御前里・台野	SWHD	2.64	1	SBY	109.4%	0
KKB-95	691	御前里・台野	SWHD	15.76	1	SBY	134.9%	0
KKB-96	744	御前里・台野	SWHD	6.64	1	SBY	116.5%	0
KKB-97	692	御前里・台野	SWHD	3.75	1	SBY	77.7%	0
KKB-98	745	御前里・台野	SWHD	1.72	1	SBY	88.13%	0
KKB-99	683	御前里・台野	SWHD	9.84	1	SBY	116.81%	0
KKB-100	659	御前里・台野	SWHD	5.65	1	SBY	100.5%	0
KKB-101	746	御前里・台野	SWHD	10.96	1	SBY	128.14%	0
KKB-102	747	御前里・台野	SWHD	10.67	1	SBY	73.37%	0
KKB-103	748	御前里・台野	SWHD	8.18	1	SBY	84.85%	0
KKB-104	672	御前里・台野	SWHD	5.68	1	SBY	71.16%	0
KKB-105	749	御前里・台野	SWHD	7.71	1	SBY	110.4%	0
KKB-106	750	御前里・台野	SWHD	5.39	1	SBY	61.59%	0
KKB-107	751	御前里・台野	SWHD	6.98	1	SBY	114.03%	0
KKB-108	752	御前里・台野	SWHD	5.13	1	SBY	77.77%	0
KKB-109	753	御前里・台野	SWHD	8.09	1	SBY	55.02%	0
KKB-110	694	御前里・台野	SWHD	5.91	1	WDTN	104.21%	0
KKB-111	754	御前里・台野	SWHD	6.65	1	SBY	77.0%	0
KKB-112	755	御前里・台野	SWHD	6.66	1	SBY	105.75%	0
KKB-113	673	御前里・台野	SWHD	3.15	1	SBY	76.19%	0
KKB-114	756	御前里・台野	SWHD	6.11	1	WDTN	79.91%	0
KKB-115	757	御前里・台野	SWHD	6.29	1	WDTN	86.8%	0
KKB-116	674	御前里・台野	SWHD	3.15	1	WDTN	81.05%	0
KKB-117	758	御前里・台野	SWHD	8.74	1	WDTN	89.9%	0
KKB-118	675	御前里・台野	SWHD	3.07	1	WDTN	88.36%	0
KKB-119	759	御前里・台野	SWHD	8.28	1	SBY	73.47%	0
KKB-120	695	御前里・台野	SWHD	2.89	1	SBY	90.41%	0
KKB-121	760	御前里・台野	SWHD	4.87	1	SBY	102.97%	0
KKB-122	761	御前里・台野	SWHD	6.49	1	SBY	73.4%	0
KKB-123	762	御前里・台野	SWHD	7.62	1	SBY	76.12%	0
KKB-124	676	御前里・台野	SWHD	2.05	1	SBY	83.64%	0
KKB-125	763	御前里・台野	SWHD	4.16	1	SBY	80.35%	0
KKB-126	764	御前里・台野	SWHD	2.55	1	SBY	88.23%	0
KKB-127	765	御前里・台野	SWHD	2.31	1	SBY	102.1%	0
KKB-128	766	御前里・台野	SWHD	7.23	1	SBY	116.5%	0
KKB-129	767	御前里・台野	SWHD	3.1	1	SBY	102.48%	0
KKB-130	768	御前里・台野	SWHD	2.91	1	SBY	90.2%	0
KKB-131	677	御前里・台野	SWHD	3.78	1	SBY	87.23%	0
KKB-132	769	御前里・台野	SWHD	2.22	1	SBY	85.23%	0
KKB-133	770	御前里・台野	SWHD	3.59	1	SBY	98.43%	0
KKB-134	771	御前里・台野	SWHD	0.68	1	SBY	94.93%	0
KKB-135	678	御前里・台野	SWHD	14.85	1	WDTN	126.3%	0
KKB-136	772	御前里・台野	SWHD	2.57	1	SBY	114.33%	0
KKB-137	696	御前里・台野	SWHD	5.92	1	SBY	51.75%	0
KKB-138	773	御前里・台野	SWHD	4.24	1	SBY	83.97%	0
KKB-139	774	御前里・台野	SWHD	2.3	1	SBY	84.53%	0
KKB-140	775	御前里・台野	SWHD	3.04	1	SBY	92.06%	0
KKB-141	776	御前里・台野	SWHD	14.76	1	SBY	47.49%	0
KKB-142	777	御前里・台野	SWHD	2.19	1	SBY	66.51%	0
KKB-143	778	御前里・台野	SWHD	9.45	1	SBY	72.43%	0
KKB-144	654	御前里・台野	SWHD	0.46	1	SBY	84.35%	0
KKB-145	645	御前里・台野	SWHD	6.64	1	SBY	107%	0
KKB-146	685	御前里・台野	SWHD	2.58	1	SBY	74.99%	0
KKB-147	721	御前里・台野	SWHD	4.49	1	SBY	74.87%	0
KKB-148	722	御前里・台野	SWHD	20.29	1	WDTN	162.39%	0
KKB-149	723	御前里・台野	SWHD	8	1	SBY	88.03%	0
KKB-150	724	御前里・台野	SWHD	20.64	0.9999	SBY	36.35	0.0001
KKB-151	655	御前里・台野	SWHD	4.7	1	SBY	82.6%	0
KKB-152	725	御前里・台野	SWHD	14.71	1	WDTN	89.22%	0
KKB-153	686	御前里・台野	SWHD	6.54	1	SBY	73.34%	0
KKB-154	726	御前里・台野	SWHD	8.85	1	SBY	75.75%	0
KKB-155	727	御前里・台野	SWHD	2.25	1	SBY	63.23%	0
KKB-156	646	和田山山野	WDTY	3.81	1	WCKB	27.61%	0
KKB-157	653	御前里・台野	SWHD	14.83	1	SBY	119.25%	0
KKB-158	721	御前里・台野	SWHD	2.26	1	SBY	84.27%	0
KKB-159	722	御前里・台野	SWHD	11.76	1	SBY	66.31%	0
KKB-160	723	御前里・台野	SWHD	9.98	1	SBY	88.39%	0
KKB-161	650	御前里・台野	SWHD	0.94	1	SBY	81.05%	0
KKB-162	724	御前里・台野	SWHD	7.68	1	WDTN	92.23%	0
KKB-163	668	御前里・台野	SWHD	15.89	1	SBY	61.43%	0
KKB-164	725	御前里・台野	SWHD	7.85	1	SBY	111.74%	0
KKB-165	726	御前里・台野	SWHD	15.24	1	SBY	97.64%	0

分析番号	住居・遺物番号	推定墓地	判別因 判別群		判別 分類		第2候補地	
			差別群	基準	種	年	種	年
KKB-166	727	調跡Ⅰ・台葬	SWHD	0.96	I	SRTY	102.16	0
KKB-167	663	調跡Ⅱ・台葬	SWHD	3.21	I	SRTY	97.69	0
KKB-168	728	調跡Ⅲ・台葬	SWHD	4.78	I	SRTY	92.7	0
KKB-169	684	調跡Ⅳ・台葬	SWHD	7.26	I	SRTY	63.98	0
KKB-170	729	調跡Ⅴ・台葬	SWHD	10.23	I	SRTY	130.36	0
KKB-171	667	調跡Ⅵ・台葬	SWHD	1.42	I	SRTY	94.2	0
KKB-172	651	調跡Ⅶ・台葬	SWHD	5.24	I	SRTY	132.49	0
KKB-173	806	調跡Ⅷ・台葬	SWHD	7.15	I	SRTY	111.33	0
KKB-174	837	調跡Ⅸ・台葬	SWHD	8.29	I	WDTN	65.06	0
KKB-175	836	調跡Ⅹ・台葬	SWHD	11.52	I	SRTY	82.42	0
KKB-176	829	調跡Ⅺ・台葬	SWHD	2.98	I	WDTN	102.53	0
KKB-177	779	調跡Ⅻ・台葬	SWHD	14.46	I	SRTY	115.17	0
KKB-178	795	柏田塚山	WDTN	3.76	0.9999	WDTN	19.17	0.0001
KKB-179	697	調跡Ⅰ・台葬	SWHD	8.4	I	SRTY	131.08	0
KKB-180	796	調跡Ⅱ・台葬	SWHD	2.8	I	SRTY	72.54	0
KKB-181	661	調跡Ⅲ・台葬	SWHD	8.57	I	SRTY	102.69	0
KKB-182	797	調跡Ⅳ・台葬	SWHD	5.16	I	SRTY	108.1	0
KKB-183	798	調跡Ⅴ・台葬	SWHD	11.82	I	WDTN	64.28	0
KKB-184	662	調跡Ⅵ・台葬	SWHD	11.95	I	SRTY	56.28	0
KKB-185	796	調跡Ⅶ・台葬	SWHD	6.31	I	SRTY	77.3	0
KKB-186	663	調跡Ⅷ・台葬	SWHD	5.81	I	WDTN	79.45	0
KKB-187	698	調跡Ⅸ・台葬	SWHD	3.57	I	WDTN	87.55	0
KKB-188	664	調跡Ⅹ・台葬	SWHD	3.52	I	SRTY	106.41	0
KKB-189	800	調跡Ⅺ・台葬	SWHD	5.98	I	WDTN	101.22	0
KKB-190	665	調跡Ⅻ・台葬	SWHD	2.47	I	SRTY	106.23	0
KKB-191	801	調跡Ⅰ・台葬	SWHD	19.23	I	SRTY	101.58	0
KKB-192	902	調跡Ⅱ・台葬	SWHD	16.09	I	SRTY	103.09	0
KKB-193	803	調跡Ⅲ・台葬	SWHD	10.38	I	SRTY	92.47	0
KKB-194	804	調跡Ⅳ・台葬	SWHD	3.46	I	SRTY	114.28	0
KKB-195	669	調跡Ⅴ・台葬	SWHD	18.5	I	WDTN	71.45	0
KKB-196	805	調跡Ⅵ・台葬	SWHD	17.67	I	SRTY	136.59	0
KKB-197	806	調跡Ⅶ・台葬	SWHD	6.24	I	SRTY	85.47	0
KKB-198	807	調跡Ⅷ・台葬	SWHD	8.79	I	SRTY	74.08	0
KKB-199	645	調跡Ⅸ・台葬	SWHD	16.2	I	SRTY	54.49	0
KKB-200	808	調跡Ⅹ・台葬	SWHD	10.51	I	SRTY	113.38	0
KKB-201	809	調跡Ⅺ・台葬	SWHD	11.85	I	SRTY	81.69	0
KKB-202	679	調跡Ⅻ・台葬	SWHD	11.92	I	SRTY	63.2	0
KKB-203	810	調跡Ⅰ・台葬	SWHD	7.4	I	SRTY	66.38	0
KKB-204	811	調跡Ⅱ・台葬	SWHD	21.33	I	SRTY	119.53	0
KKB-205	812	調跡Ⅲ・台葬	SWHD	2.4	I	SRTY	86.67	0
KKB-206	813	調跡Ⅳ・台葬	SWHD	3.34	I	SRTY	119.74	0
KKB-207	700	調跡Ⅴ・台葬	SWHD	0.97	I	SRTY	78.71	0
KKB-208	814	調跡Ⅵ・台葬	SWHD	3.65	I	SRTY	106.2	0
KKB-209	815	調跡Ⅶ・台葬	SWHD	6.77	I	SRTY	78.05	0
KKB-210	816	調跡Ⅷ・台葬	SWHD	9.92	I	SRTY	47.99	0
KKB-211	817	調跡Ⅸ・台葬	SWHD	20.55	I	SRTY	72.83	0
KKB-212	818	調跡Ⅹ・台葬	SWHD	4.35	I	SRTY	105.97	0
KKB-213	666	調跡Ⅺ・台葬	SWHD	5.35	I	WDTN	100.25	0
KKB-214	819	調跡Ⅻ・台葬	SWHD	10.77	I	WDTN	98.28	0
KKB-215	680	調跡Ⅰ・台葬	SWHD	11.42	I	SRTY	122.22	0
KKB-216	820	調跡Ⅱ・台葬	SWHD	16.07	I	SRTY	148.14	0
KKB-217	821	調跡Ⅲ・台葬	SWHD	12.56	I	WDTN	55.81	0
KKB-218	822	調跡Ⅳ・台葬	SWHD	4.97	I	WDTN	90.98	0
KKB-219	823	調跡Ⅴ・台葬	SWHD	2.97	I	SRTY	80.4	0
KKB-220	661	調跡Ⅵ・台葬	SWHD	11.36	I	SRTY	83.49	0
KKB-221	824	調跡Ⅶ・台葬	SWHD	7.85	I	SRTY	60.29	0
KKB-222	825	調跡Ⅷ・台葬	SWHD	4.2	I	WDTN	116	0
KKB-223	826	調跡Ⅸ・台葬	SWHD	8.71	I	SRTY	88.09	0
KKB-224	827	調跡Ⅹ・台葬	SWHD	6.01	I	SRTY	98.79	0
KKB-225	828	調跡Ⅺ・台葬	SWHD	0.89	I	SRTY	99.65	0
KKB-226	829	調跡Ⅻ・台葬	SWHD	6.28	I	SRTY	94.48	0
KKB-227	830	調跡Ⅰ・台葬	SWHD	10.26	I	SRTY	93.93	0
KKB-228	682	調跡Ⅱ・台葬	SWHD	9.5	I	WDTN	106.43	0
KKB-229	701	調跡Ⅲ・台葬	SWHD	6	I	SRTY	70.45	0
KKB-230	647	調跡Ⅳ・台葬	SWHD	3.01	I	SRTY	106.15	0
KKB-231	702	調跡Ⅴ・台葬	SWHD	2.82	I	SRTY	78.21	0
KKB-232	1848	前田遺跡	WDTN	4.14	0.9943	WDTN	12.02	0.0057
KKB-233	1847	調跡Ⅰ・台葬	SWHD	19.39	I	WDTN	64.47	0
KKB-234	1850	調跡Ⅱ・台葬	SWHD	2.6	I	SRTY	96.51	0
KKB-235	1869	調跡Ⅲ・台葬	SWHD	8.17	I	SRTY	62.66	0
KKB-236	1551	調跡Ⅳ・台葬	SWHD	5.75	I	WDTN	89.88	0
KKB-237	1270	調跡Ⅴ・台葬	SWHD	9.86	I	WDTN	104.05	0
KKB-238	1271	調跡Ⅵ・台葬	SWHD	1.55	I	SRTY	80.99	0
KKB-239	1272	調跡Ⅶ・台葬	SWHD	6.03	I	SRTY	70.04	0
KKB-240	1250	調跡Ⅷ・台葬	SWHD	6.18	I	SRTY	61.99	0
KKB-241	1253	調跡Ⅸ・台葬	SWHD	5.88	I	SRTY	80.57	0
KKB-242	1253	調跡Ⅹ・台葬	SWHD	8.46	I	SRTY	106.75	0
KKB-243	1264	調跡Ⅺ・台葬	SWHD	7.57	I	SRTY	96.1	0
KKB-244	1246	調跡Ⅻ・台葬	SWHD	6.29	I	SRTY	87.9	0
KKB-245	1265	調跡Ⅰ・台葬	SWHD	7.41	I	SRTY	54.26	0
KKB-246	1284	調跡Ⅱ・台葬	SWHD	4	I	SRTY	75.65	0
KKB-247	1309	調跡Ⅲ・台葬	SWHD	2.29	I	SRTY	92.25	0
KKB-248	1310	調跡Ⅳ・台葬	SWHD	7.44	I	SRTY	65.49	0
KKB-249	1229	調跡Ⅴ・台葬	SWHD	9.06	I	WDTN	80.72	0

分析番号	住居・遺物番号	埋蔵場所	判別群	判別群別分析			
				第1候補地	第2候補地	第3候補地	
KKB-290	1311	調査区5号台	SWHD	5.03	1 SBY	102.19	0
KKB-251	1280	調査区5号台	SWHD	7.38	1 SBY	90.99	0
KKB-252	1285	調査区5号台	SWHD	7.61	1 SBY	84.49	0
KKB-253	1312	調査区5号台	SWHD	7.46	1 SBY	79.82	0
KKB-254	1277	調査区5号台	SWHD	9.25	1 SBY	115.98	0
KKB-255	1278	調査区5号台	SWHD	8.41	1 SBY	58.15	0
KKB-256	1313	調査区5号台	SWHD	12.9	1 SBY	135.33	0
KKB-257	1314	調査区5号台	SWHD	14.21	1 SBY	88.98	0
KKB-258	1281	調査区5号台	SWHD	14.18	1 SBY	134.92	0
KKB-259	1282	調査区5号台	SWHD	7.46	1 SBY	80.45	0
KKB-260	1286	調査区5号台	SWHD	2.98	1 SBY	114.19	0
KKB-261	1315	調査区5号台	SWHD	5.55	1 WDTN	117.28	0
KKB-262	1316	調査区5号台	SWHD	5.5	1 SBY	104.86	0
KKB-263	1283	和田1号掘削面	WDTN	5.43	1 WDTN	45.58	0
KKB-264	1267	調査区5号台	SWHD	11.21	1 WDTN	86.4	0
KKB-265	1317	調査区5号台	SWHD	7.86	1 SBY	79.8	0
KKB-266	1318	調査区5号台	SWHD	9.06	1 SBY	72.49	0
KKB-267	1319	調査区5号台	SWHD	20.62	1 SBY	86.3	0
KKB-268	1340	調査区5号台	SWHD	8.45	1 SBY	75.18	0
KKB-269	1350	調査区5号台	SWHD	3.43	1 SBY	109.6	0
KKB-270	1341	調査区5号台	SWHD	15.94	1 SBY	102.3	0
KKB-271	1366	調査区5号台	SWHD	8.71	1 WDTN	123.95	0
KKB-272	1332	調査区5号台	SWHD	4.54	1 SBY	56.06	0
KKB-273	1342	調査区5号台	SWHD	3.29	1 SBY	89	0
KKB-274	1343	調査区5号台	SWHD	6.62	1 WDTN	81.16	0
KKB-275	1367	調査区5号台	SWHD	16.99	1 SBY	46.41	0
KKB-276	1368	調査区5号台	SWHD	2.91	1 SBY	90.4	0
KKB-277	1369	調査区5号台	SWHD	7.89	1 SBY	99.4	0
KKB-278	1330	調査区5号台	SWHD	7.02	1 WDTN	98.89	0
KKB-279	1338	調査区5号台	SWHD	7.03	1 WDTN	107.06	0
KKB-280	1333	調査区5号台	SWHD	10.06	1 WDTN	66.49	0
KKB-281	1370	調査区5号台	SWHD	11.07	1 SBY	106.74	0
KKB-282	1344	調査区5号台	SWHD	2.99	1 SBY	101.35	0
KKB-283	1371	調査区5号台	SWHD	7.3	1 SBY	94.85	0
KKB-284	1345	調査区5号台	SWHD	2.77	1 SBY	91.26	0
KKB-285	1372	調査区5号台	SWHD	11.47	1 SBY	87.58	0
KKB-286	1373	調査区5号台	SWHD	7.13	1 SBY	92.36	0
KKB-287	1334	調査区5号台	SWHD	18.76	1 WDTN	73.43	0
KKB-288	1374	調査区5号台	SWHD	12.42	1 SBY	92.95	0
KKB-289	1375	調査区5号台	SWHD	6.34	1 WDTN	72.3	0
KKB-290	1327	調査区5号台	SWHD	10.52	1 SSBY	103.95	0
KKB-291	1376	調査区5号台	SWHD	1.07	1 SBY	84.75	0
KKB-292	1377	調査区5号台	SWHD	10.44	1 SBY	97.75	0
KKB-293	1378	調査区5号台	SWHD	3.3	1 WDTN	99.37	0
KKB-294	1379	調査区5号台	SWHD	12.13	1 SBY	54.62	0
KKB-295	1346	調査区5号台	SWHD	3.61	1 WDTN	52	0
KKB-296	1380	調査区5号台	SWHD	3.08	1 SBY	83.14	0
KKB-297	1381	調査区5号台	SWHD	5.09	1 WDTN	91.65	0
KKB-298	1382	調査区5号台	SWHD	5.03	1 SBY	78.97	0
KKB-299	1335	調査区5号台	SWHD	12.12	1 SBY	56.01	0
KKB-300	1296	調査区5号台	SWHD	5.67	1 SBY	100.32	0
KKB-301	1383	調査区5号台	SWHD	0.38	1 SBY	98.98	0
KKB-302	1384	調査区5号台	SWHD	8.34	1 WDTN	115.98	0
KKB-303	1347	調査区5号台	SWHD	6.34	1 WDTN	91.66	0
KKB-304	1348	調査区5号台	SWHD	10.5	1 SBY	116.34	0
KKB-305	1349	調査区5号台	SWHD	16.73	1 SBY	48.48	0
KKB-306	1385	調査区5号台	SWHD	7.3	1 WDTN	105.47	0
KKB-307	1386	調査区5号台	SWHD	6.08	1 WDTN	125.43	0
KKB-308	1387	調査区5号台	SWHD	17.5	1 SBY	117.82	0
KKB-309	1339	調査区5号台	SWHD	7.56	1 SBY	57.21	0
KKB-310	1388	調査区5号台	SWHD	3.14	1 SBY	98.62	0
KKB-311	1389	調査区5号台	SWHD	4.9	1 SBY	85.65	0
KKB-312	1336	調査区5号台	SWHD	1.7	1 SBY	77	0
KKB-313	1337	調査区5号台	SWHD	2.86	1 SBY	81.14	0
KKB-314	1328	調査区5号台	SWHD	2.63	1 SBY	88.72	0
KKB-315	1390	調査区5号台	SWHD	17.96	1 SBY	98.85	0
KKB-316	1434	21号作	SWHD	5.19	1 SBY	110.62	0
KKB-317	1399	調査区5号台	SWHD	8.4	1 SBY	84.66	0
KKB-318	1408	調査区5号台	SWHD	7.26	1 SBY	79.65	0
KKB-319	1410	調査区5号台	SWHD	10.45	1 WDTN	133.19	0
KKB-320	1397	調査区5号台	SWHD	11.48	1 SBY	95.03	0
KKB-321	1411	調査区5号台	SWHD	8.27	1 SBY	126	0
KKB-322	1435	調査区5号台	SWHD	6.29	1 SBY	110.56	0
KKB-323	1436	調査区5号台	SWHD	6.49	1 SBY	84.58	0
KKB-324	1412	調査区5号台	SWHD	12.31	1 SBY	133.91	0
KKB-325	1400	調査区5号台	SWHD	6.09	1 SBY	84.45	0
KKB-326	1437	調査区5号台	SWHD	2.92	1 SBY	98.84	0
KKB-327	1438	調査区5号台	SWHD	4.79	1 WDTN	92.61	0
KKB-328	1439	調査区5号台	SWHD	12.21	1 SBY	99.49	0
KKB-329	1440	調査区5号台	SWHD	12.87	1 WDTN	120.36	0
KKB-330	1413	調査区5号台	SWHD	5.84	1 WDTN	90.96	0
KKB-331	1414	調査区5号台	SWHD	6.3	1 SBY	101.01	0
KKB-332	1441	調査区5号台	SWHD	4.22	1 SBY	72.11	0
KKB-333	1442	調査区5号台	SWHD	11.32	1 SBY	149.29	0

## 第Ⅳ章 調査成果の分析研究

分析番号	住居・建物番号	確定着地	判別因 判別群					
			第1候補座地			第2候補座地		
				面積	面積	確率		面積
KKB-334	1443	調跡星ヶ台群	SWHD	20.78	1	SBTY	135.63	0
KKB-335	1444	調跡星ヶ台群	SWHD	4.03	1	SBTY	54.37	0
KKB-336	1445	調跡星ヶ台群	SWHD	10.71	1	SBTY	57.27	0
KKB-337	1446	調跡星ヶ台群	SWHD	11.97	1	WDTN	75.77	0
KKB-338	1447	調跡星ヶ台群	SWHD	3.44	1	SBTY	100.25	0
KKB-339	1448	調跡星ヶ台群	SWHD	5.85	1	SBTY	65.15	0
KKB-340	1449	調跡星ヶ台群	SWHD	2.01	1	SBTY	81.56	0
KKB-341	1450	調跡星ヶ台群	SWHD	15.72	1	SBTY	72.78	0
KKB-342	1450	調跡星ヶ台群	SWHD	4.84	1	SBTY	110.73	0
KKB-343	1451	調跡星ヶ台群	SWHD	5.31	1	SBTY	116.84	0
KKB-344	1451	調跡星ヶ台群	SWHD	4.61	1	SBTY	75.3	0
KKB-345	1396	調跡星ヶ台群	SWHD	4.35	1	SBTY	124.49	0
KKB-346	1409	調跡星ヶ台群	SWHD	9.65	1	SBTY	91.47	0
KKB-347	1452	調跡星ヶ台群	SWHD	8.24	1	SBTY	106.24	0
KKB-348	1416	調跡星ヶ台群	SWHD	21.24	1	SBTY	106.43	0
KKB-349	1417	調跡星ヶ台群	SWHD	4.39	1	SBTY	79.09	0
KKB-350	1418	調跡星ヶ台群	SWHD	11.27	1	SBTY	101.12	0
KKB-351	1419	調跡星ヶ台群	SWHD	12.47	1	SBTY	116.32	0
KKB-352	1402	調跡星ヶ台群	SWHD	4.11	1	SBTY	75.49	0
KKB-353	1403	調跡星ヶ台群	SWHD	3.64	1	WDTN	83.34	0
KKB-354	1404	調跡星ヶ台群	SWHD	28.46	1	SBTY	52.05	0
KKB-355	1453	調跡星ヶ台群	SWHD	9.27	1	SBTY	65.23	0
KKB-356	1405	調跡星ヶ台群	SWHD	6.7	1	WDTN	71.37	0
KKB-357	1406	調跡星ヶ台群	SWHD	12.85	1	SBTY	70.18	0
KKB-358	1407	調跡星ヶ台群	SWHD	3.73	1	SBTY	61.73	0

## 第6節 熊久保遺跡出土炭化材の年代と樹種

パリノ・サーヴェイ株式会社

### はじめに

熊久保遺跡は、鎮川左岸の台地上に位置する。第10次調査区では、縄文時代中期後葉を主とした住居址が31軒検出されている。このうち、18号住居址と19号住居址では、住居構築材等に由来すると考えられる炭化材が多数出土している。

今回の分析調査では、18号および19号住居址から出土した炭化材を対象として、遺構の構築時期を明らかにするために放射性炭素年代測定を行う。また、樹種同定を実施し、木材利用に関する資料を得る。なお、放射性炭素年代測定は、少量でも測定可能な加速器質量分析法（AMS法）で行う。

### 1 炭化材の放射性炭素年代測定

#### （1）試料

試料は、18号住居址から出土した炭化材5点（No.1、3、5～7）と19号住居址から出土した炭化材5点（No.1、5～10）の中から、18号住居址No.1の1点を選択した。樹種同定試料の18号住居址No.1と同じ試料を分割したものである（第85図参照）。

#### （2）方法

測定は、株式会社 加速器分析研究所（IAA）が行った。

#### （3）結果

放射性炭素年代測定結果を表1に示す。炭化材

の年代測定値は、 $4250 \pm 40$ BP（補正年代 $4260 \pm 40$ BP）であった。

#### （4）考察

18号住居址は、出土遺物等から縄文時代中期と考えられている。出土した炭化材の年代測定値は、 $4250 \pm 40$ BP（補正年代 $4260 \pm 40$ BP）であった。

縄文時代の放射性炭素年代測定は、これまでにも多くの遺跡で行われており、その結果がキーリ・武藤（1982）によりまとめられている。それによると、中部地方の縄文時代中期の年代測定値は、点数は少ないが、いずれも補正を行っていない年代で、3130BP～5240BPの値が得られている。周辺地域では、関東地方で多くの調査例があり、5340BP～2140BPの値が得られている。今回の年代値は、これまでに測定された縄文時代中期の年代測定値とも一致している。また、関東地方の年代測定値では、縄文時代中期中葉とされる試料で4700BP～4130BP、中期後半とされる試料で4280BP、加曾利EⅢ式に伴う貝で5110BP～4170BPの値が得られている。これらの測定値を参考にすれば、今回の試料は、縄文時代中期中葉から後葉の年代測定値に一致している。このことは、出土遺物などから本遺跡の住居跡が縄文時代中期後葉を主としていることとも調和的である。

表1 放射性炭素年代測定結果

遺構	試料番号	試料の質	年 代	$\delta^{13}\text{C}$	補正年代	Code No.
18号住	No.1	炭化材	$4250 \pm 40$ BP	-23.84 ± 0.71‰	$4260 \pm 40$ BP	IAAA-11286

1) 年代測定は、加速器質量分析法（AMS法）による。

2) 年代は、1950年を基点とした年数で、補正年代は  $\delta^{13}\text{C}$  の値を基に同位体補正を行った値。

3) 放射性炭素の半減期は、5568年を使用した。

## 2 炭化材の樹種

### (1) 試料

試料は、18号住居址から出土した炭化材10点（No.1～10）と、19号住居址から出土した炭化材10点（No.1～10）の合計20点である。このうち、No.2・3・5・6・8・9はそれぞれ同一固体に由来する可能性がある。（第85・91図参照）

### (2) 方法

木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の特徴を観察し、種類を同定する。

### (3) 結果

樹種同定結果を表2に示す。炭化材は、全て落葉広葉樹のクリに同定された。クリの主な解剖学的特徴を以下に記す。

- ・クリ (*Castanea crenata Sieb. et Zucc.*)

ブナ科クリ属

環孔材で、孔環部は1～4列、孔環外で急激～やや緩やかに管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は單穿孔を有し、櫟孔は交

表2 樹種同定結果

遺構	年代	試料番号	樹種
18号住	縄文時代中期中葉末	1	クリ
		2	クリ
		3	クリ
		4	クリ
		5	クリ
		6	クリ
		7	クリ
		8	クリ
		9	クリ
		10	クリ
19号住	縄文時代中期後葉Ⅱ期	1	クリ
		2	クリ
		3	クリ
		4	クリ
		5	クリ
		6	クリ
		7	クリ
		8	クリ
		9	クリ
		10	クリ

互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～15細胞高。

### (4) 考察

18号・19号住居址から出土した炭化材は、いずれも床面一面に、住居の中心から放射線状に出土

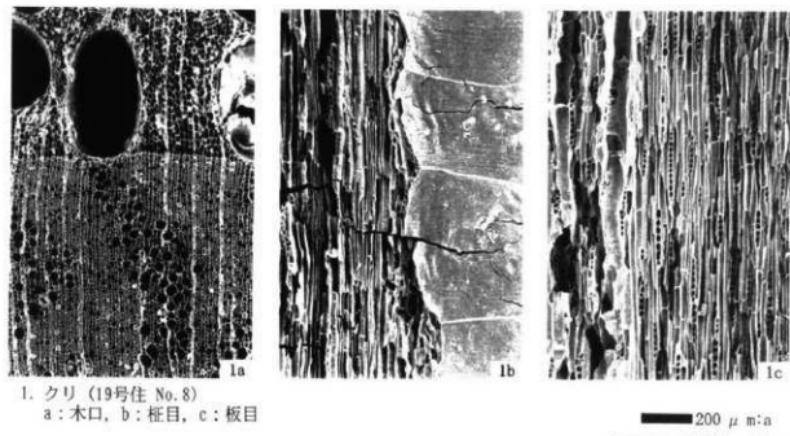


図1 炭化材（クリ）の実体・走査型電子顕微鏡写真

しているものが多い。このことから、炭化材は垂木などの住居構築材の一部が炭化・残存したと考えられる。樹種は、全て落葉広葉樹のクリであった。クリ材は、重硬で強度や耐朽性に優れた材質を有しており、住居構築材としても適材と考えられる。出土した全点がクリであることから、クリ材を選択的に利用していた可能性がある。しかし、全ての部材が残存しているわけではないこと、重厚な木材は燃え残りやすいと考えられること等を考慮すると、残存しなかった部材にクリ以外の木材が利用されていた可能性もある。

長野県内では、明科町北村遺跡、小諸市郷土遺跡、屋代遺跡群等で縄文時代の住居構築材と考えられる炭化材の樹種同定が行われている（鈴木・能城、1993；パリノ・サーヴェイ株式会社、1993；高橋、2000a,2000b）。その結果では、いずれの遺跡でもクリの多い結果が得られており、今回の結果とも一致する。また、屋代遺跡群では、縄文時代でも中期前葉および中期後葉の炭化材にクリが多い傾向が指摘されている（高橋、2000a,2000b）。これらの結果から、長野県内では縄文時代にクリの利用が多かったことが推定される。

#### 引用・参考文献

- キーリ C.T.・武藤康弘 1982 「縄文時代の年代」 加藤留平・小林達雄・藤本 強編『縄文文化の研究1 縄文人とその環境』 p.246-275. 雄山閣。
- 鈴木三男・能城修一 1993 「長野県北村遺跡出土炭化材の樹種」『(財)長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書14 中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書11-明科町内-北村遺跡 本文編・図版編』 p.167-168. 日本道路公团名古屋建設局・長野県教育委員会・(財)長野県埋蔵文化財センター。
- 高橋 敦 2000a 「炭化材の樹種」『長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書51 上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書24-更埴市内その3 - 更埴条里遺跡・屋代遺跡群(含む大境遺跡・塗河原遺跡) - 縄文時代編-本文』 p.249-253. 日本道路公团・長野県教育委員会・長野県埋蔵文化財センター。
- (2000b) 「各時代の木製品や住居構築材等の用材」『長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書54 上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書28-更埴市内その7 - 更埴条里遺跡・屋代遺跡群(含む大境遺跡・塗河原遺跡) - 総論編-』 p.228-235. 日本道路公团・長野県教育委員会・長野県埋蔵文化財センター。
- 高橋 敦・植木真吾 1994 「樹種同定からみた住居構築材の用材選択」『PARYNO』2 p.5-18. パリノ・サーヴェイ株式会社。
- 縄文時代の住居構築材については、周辺では関東地方で比較的多くの調査例があり、長野県と同様にクリの利用が多いことが指摘されている（千野、1983,1991；高橋・植木、1994）。この背景として、クリが植物食糧としても重要であることから、栽培によってクリの収量を安定させると共に、収量の落ちた老木を住居構築材などに利用した可能性が指摘されている（千野、1983）。本地域でも同様の活用が行われていた可能性があるが、現時点では詳細は不明である。
- また、松本市県町遺跡では、弥生時代の住居跡から出土した炭化材の樹種同定が行われている（松本市教育委員会、1990）。その結果ではクリが多い住居跡が見られる一方で、スギが多い住居跡やコナラ・ケヤキが多い住居跡も確認されている。この結果から、時代や住居の規模・構造・用途などにより木材利用が異なっていた可能性がある。
- 今後、さらに周辺で各時期の住居構築材について資料を蓄積し、時代や規模・構造・用途による木材利用の比較を行いたい。また、その背景となる古植生変遷についても明らかにしたい。

- 千野裕道 1983 「縄文時代のクリと集落周辺植生」『東京都埋蔵文化財センター研究論集Ⅱ』p.27-42.
- 1991 「縄文時代に二次林はあったか—遺跡出土の植物性遺物からの検討—」『東京都埋蔵文化財センター研究論集X』p.215-249.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 1993 「郷土遺跡出土炭化材の同定」『小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書第16集 郷土—長野県小諸市郷土遺跡発掘調査報告書—』p.52-57、小諸市教育委員会。
- 松本市教育委員会編 1990 『松本市文化財調査報告No.82 松本市郷町遺跡（本文編）』192p.、長野県松本県ヶ丘高等学校・松本市教育委員会。

## 第7節 熊久保遺跡における集落の構成と変遷

小口 英一郎

### 1 遺跡の景観と立地

熊久保遺跡は、鎮川が形成した左岸段丘上に立地し、標高約815m、その範囲は東西約500m、南北約100mの50000m<sup>2</sup>にも及ぶ松本盆地における縄文時代中期の大集落である。第10次調査地点は、東西に長く伸びる遺跡のはば中心からやや南よりに位置し、住居址の密集地帯といえる。

過去9回にわたって調査が行われ、今次の調査を含めると住居址百軒以上を数える。第10次調査では住居址31軒を加えることになった(表1)。なお6号住の建て替え、プランは明瞭に確認できなかったもののピットの拡張、一部焼土の存在等から中期前葉期に位置付けられる住居址を1軒想定したが、不明な点が多く土器集中部分として扱った。

住居址の重複関係が多く、一方で土坑群が少ないということが本調査地点の特色であり、過去の

調査においてもまとまった土坑群の発見には至っていない。東山山麓に立地する塩尻市俎原遺跡を典型例とする環状集落の景観を呈さないことが現時点での熊久保遺跡の特色といえよう(第4図)。

第1次調査地点では中葉・後葉期、第2・5・6・7次調査地点においては後葉期が多く、第3・4次地点では前葉・中葉がまとまっている。したがって、限定された調査範囲のなかで推測するならば、前葉・中葉期が中心部に位置し、そこから後葉期に至り爆発的に増加して周囲に拡散した状況を窺うことができる。

### 2 住居址の構成と変遷

31軒の住居址から出土した土器を、既存の型式編年を基準にして大別し、8期区分を行った(表2)。以下、各期の住居構成と変遷を概観する。

I～II期は中期前葉末から中葉初に属し、計4軒検出されている。径3～4mほどの小形住居が

表1 住居址出土遺物の時期別一覧表

住居址	遺物時期	遺物量	備考	住居址	遺物時期	遺物量	備考	
				Ⅰ号	Ⅱ号	Ⅲ号	Ⅳ号	
1号	Ⅳ	熊久保Ⅲ	少量	埋甕	17号住	Ⅶ	熊久保Ⅱ	少量
2号	Ⅱ	猪沢	多量	埋甕炉	18号住	Ⅳ	井戸尻Ⅲ～熊久保B	中量
3号	VI	熊久保I	少量		19号住	VI	熊久保I	中量
4号	II	猪沢	少量		20号住	VI	熊久保II	多量
5号	Ⅳ	熊久保Ⅲ	多量	埋甕・土偶	21号住	VI	熊久保II	中量
6号	IV～V	熊久保B	多量	人面装飾付土器	22号住	VI	熊久保II	少量
7号	VI	熊久保II	多量	埋甕	23号住	IV	梨久保B	中量
8号	VI	熊久保II	中量	埋甕・土偶	24号住	III	井戸尻I	少量
9号	IV	梨久保B古	多量		25号住	III	井戸尻I	少量
10号	V	梨久保B新	中量		26号住		不明	
11号	VI	熊久保I	多量		27号住	II	猪沢	中量
12号	Ⅳ	熊久保Ⅲ	少量		28号住	III	井戸尻I	少量
13号	VI	熊久保II	多量	石壙、土鈴	29号住	I	梨久保	少量
14号	IV	梨久保B古	中量		30号住		不明	
15号	VI	熊久保II	少量		31号住	VI	熊久保I	少量
16号	VI	熊久保I	少量					

表2 各時期における住居址一覧表

段階	時期	住居址	軒数
第Ⅰ期	梨久保	29号	1軒
第Ⅱ期	猪沢吉	2号・4号・27号	3軒
第Ⅲ期	井戸尻I	24号・25号・28号	3軒
第Ⅳ期	井戸尻Ⅱ～梨久保B古	6号古・9号・14号・18号・23号	5軒
第Ⅴ期	梨久保B新	6号新・10号	2軒
第VI期	熊久保I	3号・11号・16号・19号・31号	5軒
第VII期	熊久保II	7号・8号・13号・15号・17号・20号・21号・22号	8軒
第VIII期	熊久保III	1号・5号・12号	3軒
		合計	31軒

\*26・30号は時期不明、6号は古・新の2時期に分けた。

多く、住居形態は円形と梢円形が認められる。27号住において主柱穴は4本確認されているが、配置が不規則で明瞭なものは少ない。炉形態も小形の石囲炉を有する4・27号住と埋甕炉を持つ2号住があり、今回は検出されなかった中葉前半期における炉形態の基礎となっていく。

中葉後半のⅢ・Ⅳ期は8軒が確認され、そこでの特徴はⅢ期までは前葉とはば違いを見せなかった形態と規模が、Ⅳ期に至り石囲炉とともに大型化することにある。径6～7mほどの円形に拡大し、主柱穴も6～7本に増加して炉を取り囲むように配置される。炉形態は、9号住にみられるように扁平炉を円形に据えるもので、これ自体はⅢ期と大きな違いをみせない。

ところが、V期は炉形態も大きな変化をみせ、10・23号住で検出されているような柱状礫を長方形に配置し、大型化する。長方形石囲炉は越後地方の当該期集落<sup>(1)</sup>に多く見られるもので、まさに土器型式の変化と連動していることが指摘できる。その分布は、西山山麓では山形村淀の内遺跡西6・13号住、穂高町他谷遺跡6・19・30号住、東山山麓では松本市前田木下遺跡2号住、小池・ツツ家遺跡116・172号住、塙尻市柿沢東遺跡23号住、木曾地方ではマツバリ遺跡23号住、さらに飛騨地方では中野山越遺跡12号住において確認でき、中葉期の環状形から後葉期の掘炬燧状方形石囲炉への変化の過程で、長方形石囲炉が何らかの影響

を及ぼしたことが想定される。

V・VII期は住居址の規模がやや小ぶりとなり、3・7・13・20・21住でみられるように径4m前後の五角形へと転換する。この状況は、伊那谷においても指摘でき、飛騨・美濃地方における方形プランとの関連があるものと思われる。主柱穴も五角形のコーナーに4本配されるのが多いが、石壇を有する13号住については、6本が並列している。当該期

における中・南信地方では、6本主柱穴が広範囲に分布する中で<sup>(2)</sup>、むしろ4本主柱穴が多く存在することが熊久保遺跡を含めた松本盆地の特色になりそうである。

この規則的な住居形態を有するVI・VII期も、やがてV期に至って崩れ始め、1・5・12号住にみられるような小形の円形に変化してしまう。

住居址の軸線、つまり出入口は、埋甕や炉、石壇の配置、張り出し部等の構成要素から検討した場合、東南方向にまとまる傾向が読み取れる。ただし、I・II期の判別は難しく、またVII期に属する21号住は東方向に向いている。出入口部からは、鉢伏山(高ボッチ)、あるいは塙尻艸越からの八ヶ岳山麓を望むことができたであろう<sup>(3)</sup>。

### 3 各ブロック変遷と集団構成

今回の調査範囲では、重複関係にある住居址群が特定のまとまりを持って存在し、変遷していることが指摘できる(図1)。大きく北西にまとまるaブロック、東方に位置するbブロック、そして南に若干距離をおいてまとまるcブロックに分けて住居址の変遷を追ってみたい。

この中で、I・II期を除き各ブロックが連続的な変遷を示すことがわかるだろう。aブロックにおいては、第IV期の9・14号住に始まり、V期10号住→VI期11号住→VII期8・13号住→VII期12号住、bブロックではⅢ期25号住→IV・V期18・23号住

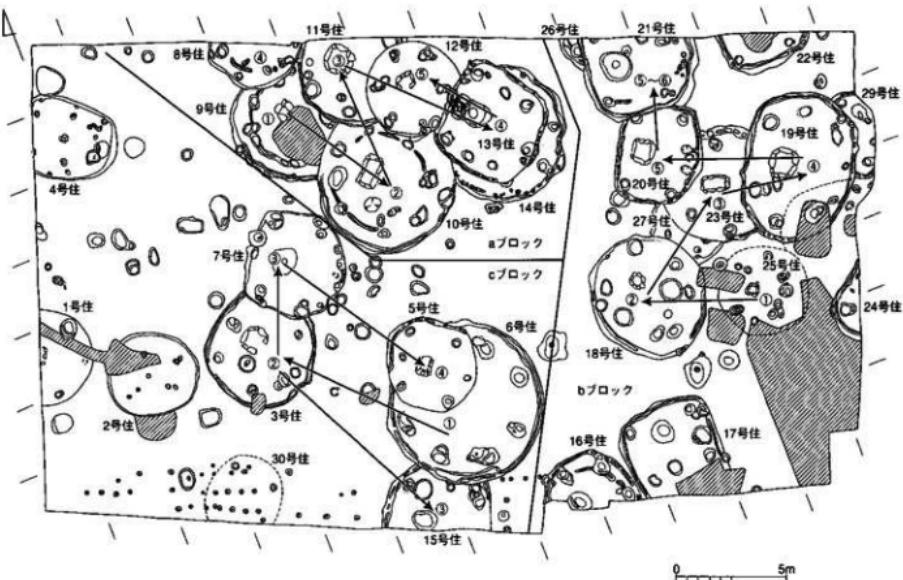


図1 熊久保遺跡住居変遷図

→第VI期19号住→第VII期20・21号住、c ブロックは第IV・V期 6号住→第VI期 3号住→第VIII期 7・15号住→第VIII期 5号住となる。興味深いことは、中葉期前半は皆無であること、後半から住居址が重複するか、もしくはやや離れた位置で連続的に構築され、最も増加する時期である第VII期に至り、各ブロックが2軒ずつに分化するということである。そして、最終段階の第VIII期では、再び1軒に戻ってしまう実態が読み取れ、これまで指摘されてきた住居址件数のピーク時期と減少時期が本遺跡でも確認できる。

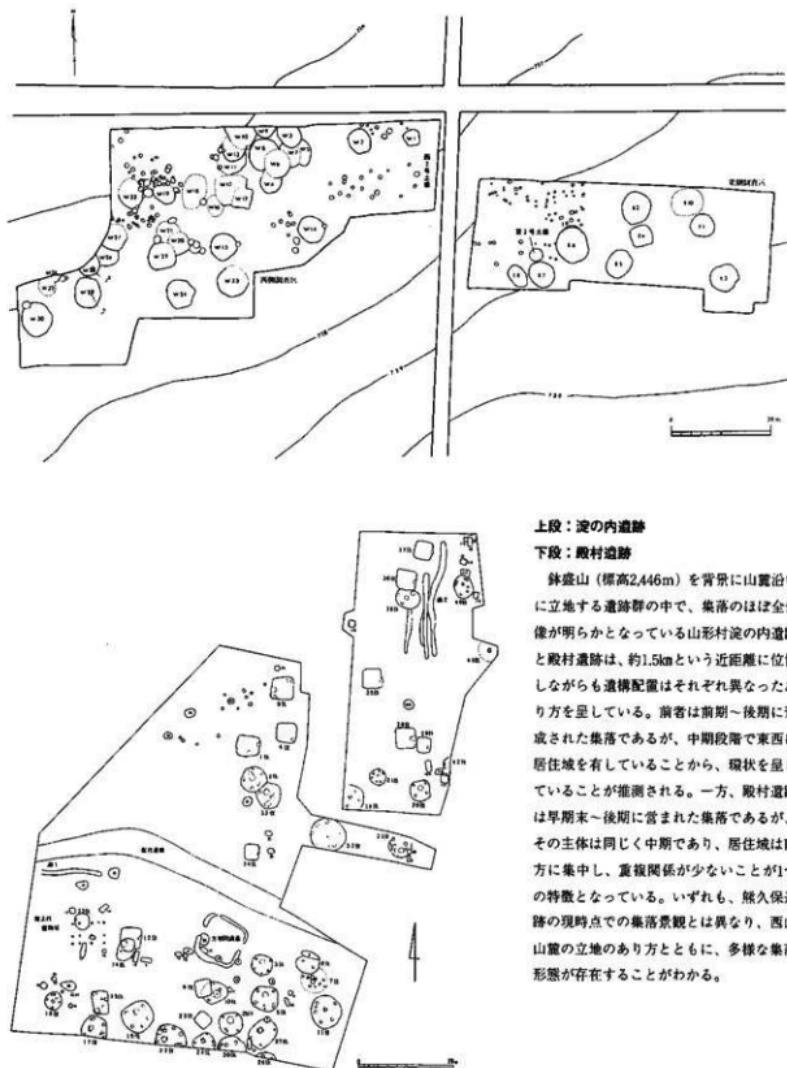
ただし、この住居址の増減を一概に人口増加と減少に置き換えることは危険である。なぜならば、各ブロックにみられる第IV・V期の住居址はそれ以降の住居址に比して、直径約6~7mという大型住居に属し、そこから大量の土器が出土しているからである。つまり、IV・V期の1軒あたりの居住人数がVI期の1軒あたりの人数と果たして同

じであるかどうかを、土器の器種組成や保有数などから検討を行う必要がある。

いずれにしても、この3ブロックが何らかの集団単位であった可能性があり、その繋がりを意識した住居構築が5~6時期（型式）にわたってなされていたことは重要であろう。

#### 4 周辺集落との関係

熊久保遺跡が所在する朝日村は鎮川が形成した扇状地上に位置し、その鎮川に向かう小河川の湧水点近くに当該期遺跡が多く確認されている。隣ムラとして鎮川を挟んだ右岸には三ヶ組遺跡、北東に芦ノ久保遺跡があり、熊久保遺跡から1~1.5kmという近距離に位置する。いずれも未調査であり詳細は不明であるが、大規模な集落と想定される。さらに鎮川の南東に併走する小曾部川右岸には、塩尻市小段遺跡（小林康男他1979・1993）が存在し、16軒の住居址と土坑群が検出されている。

図2 松本盆地西山山麓における縄文中期集落 ( $S = 1/1000$ )

とくに後期壙之内式期の住居址と土坑墓・配石墓が注目されよう。一方、北に眼を転じてみると熊久保遺跡の北東方向に、山形村淀の内遺跡（山形

村教育委員会1997・2001）、殿村遺跡（山形村教育委員会1987）、三夜塚遺跡（山形村教育委員会2002）が約1.5～2.0km間隔で西山山麓における中核

## 上段：淀の内遺跡

## 下段：殿村遺跡

鉢盛山（標高2,446m）を背景に山麓沿いに立地する遺跡群の中で、集落のほぼ全体像が明らかとなっている山形村淀の内遺跡と殿村遺跡は、約1.5kmという近距離に位置しながらも遺構配置はそれぞれ異なったあたり方を呈している。前者は前期～後期に形成された集落であるが、中期段階で東西に居住域を有していることから、環状を呈していることが推測される。一方、殿村遺跡は早期末～後期に営まれた集落であるが、その主体は同じく中期であり、居住域は南方に集中し、重複関係が少ないと一つの特徴となっている。いずれも、熊久保遺跡の現時点での集落景観とは異なり、西山山麓の立地のあり方とともに、多様な集落形態が存在することがわかる。

的集落として分布している(第3図)。淀の内遺跡は中期中葉～後葉期を最盛期とする50軒余の環状集落であり、多くの土偶とともにヒスイ製大珠3点が土坑内から出土している。また、前期前葉中越式期の住居が3軒発見されていることでも注目される。殿村遺跡では29軒の住居址が緩やかな等高線に沿って構築され、住居址がほとんど重複関係を有さない点が熊久保遺跡とは異なる。松本平でも最大規模を誇るとされている三夜塚遺跡は東西方向に長く伸びる点で熊久保遺跡と類似した景観を呈し、これまでの3次にわたる調査から23軒の住居址と土坑群等が検出されている。

これらの遺跡に共通することは、いくつかの断絶期を挟みながらも長期継続型の集落であり、い

わゆる環状集落と非環状集落に分かれること、遺物において北陸系土器やヒスイ製品が多くみられ、飛驒・北陸地方との関係が深いこと、さらにこれらの遺跡が山麓からの河川沿いに1.5～2.0kmという間隔をおいて分布し、一定の領域を保っていることなどに注意を払う必要がある。

熊久保遺跡は、独自の生活領域を保持しながら居住・生産活動を行う一方で、群集する西山山麓における遺跡群との相互補完的関係が類推されるのである。今後は、周辺遺跡との関係、さらに中信・南信地域との広域的・多角的な検討が必要となろう。

なお、松本平全域の中期遺跡分布については最後の「総括」で触れている。

## 註

- (1) たとえば、新潟県十日町市笠山遺跡、塙沢町原遺跡7・11・16・23号住で類例を見出すことができる。  
ただし、次段階において日本海側から東北南部においては複式炉へと移行するのに対して、信州では発達せず中・南信においては掘り炬雄状石匂炉へと変化する。
- (2) 長谷川豊 2000 「伊那谷に分布する绳文時代中期後葉の「円形5本主柱型竪穴住居址」について」『静岡県考古学研究』32
- (3) 朝日村古見周辺からは、現在でも塙尻峠越しに八ヶ岳山麓を眺めることができ、たとえば黒曜石の獲得ルートの1つの目標・目印になった可能性もある。
- (4) 『朝日村誌』下巻(1992)による。

## 第8節 分析研究成果のまとめ

小口 英一郎

熊久保遺跡では多量の遺物が出土したが、その特性を熊久保集落とさらに西山山麓の遺跡群の中でどのように位置付けるか整理段階で検討課題となつた。そこで、考古学的手法に加え理化学的分析を援用し、総合的な分析研究を行うこととなつた(第Ⅱ章第3節参照)。その成果をまとめることにする。

### 1 縄文土器の型式学的・理化学的分析からの地域的特性

まず、多量に出土した土器群の構成を概観すると、中期前葉末から中葉前半、中期中葉末から後葉前半、後葉期の大きく3期に分かれる(図1)。この中で、第Ⅰ期である土器群は2・27号住から良好な一括資料として得ることができ、2号住の資料を中心として、系統と編年の位置づけの分析を実施した(第Ⅳ章第1節)。その結果、当該期は諸系統が錯綜し、相互の属性が融合しつつ、独自の系統をまた維持し続ける複雑な様相を有することが明らかとなった。また、第Ⅰ群土器を肉眼観察による胎土の特徴から5群に分類し、在地の主体類型と折衷タイプ、さらに非在地類型に胎土の明らかな違いあることを指摘した(第Ⅲ章第2節)。

上記の型式学的検討を裏付けるために、肉眼による器面の整形痕、胎土の特徴などから分類した類型が、胎土分析による結果とどのような関係を示すのか分析を依頼した(第Ⅳ章第2節)。光学顕微鏡による薄片観察の結果、これらの試料は4つの由来が異なる胎土から構成され、在地の主要類型である土器群(試料No.1~4)の素地土は、遺跡の10km圏内から採取された可能性が高く、これらとは明らかに胎土の異なる土器群(試料No.7・8)は搬入の可能性を含めて今後の課題とされた。

以上の結果は、土器型式と胎土の関連性を示し、

肉眼観察による分類の妥当性と胎土分析の結果がおよそ対応関係にあることが明らかとなった。松本盆地西山山麓の一角に位置する熊久保遺跡から、関東・東信地域～東海・北陸地域の広範にわたる交流を示唆するデータが道具としての土器の属性から得られたことを意味している。

### 2 熊久保遺跡の年代的位置付け

放射性炭素年代測定は、中期中葉末に位置付けられる18号住の炭化材1点について加速器質量分析(AMS)法によって行われた(第Ⅳ章第6節)。その結果、年代測定値は $4250 \pm 40$ BP(補正年代 $4260 \pm 40$ BP)であり、他遺跡のこれまでの分析事例と照らし合わせれば妥当な結果となった。当該期における基礎データが新たに加わった点で重要なよう。

### 3 資源の利用と獲得領域

道具の組成の中で、石器群は土器とともに重要な位置を占める。調査で得られた石器群の特色について組成と石材的觀点からの検討がなされている(第Ⅳ章第4節)。このなかで、器種組成として敲石・打製石斧が多く、逆に石鏃が少ないという当該期の集落における一般的な様相を熊久保遺跡においても確認でき、さらに主体時期である中期後葉に至り、大形刃器・石匙が土器型式の画期と相俟って減少する点がまた興味深い結果となっている。安山岩・凝灰岩、さらに蛇紋岩・珪質粘板岩といった熊久保遺跡周縁では獲得できない石材について、近隣では東山山麓、遠方では日本海側、飛騨地方との交流によってもたらされた可能性が指摘された。

また今回の石器群のなかで、最も主要な石材の

1つである黒曜石について中期前葉から後葉における6軒の住居出土試料358点について産地推定を行った(第IV章第5節)。黒曜石の産地として有名な和田岬周辺域、さらに八ヶ岳山麓周辺といった、いくつかの露頭が存在することが知られている(小林1999、小林・望月2000)、その結果、中期における細別時期ごとの大きな違いはなく、諏訪星ヶ台群が98.8パーセントを占め、残りが和田鷹山群、和田土屋橋南群であることが明らかとなつた。このことは、また木曾地方における当該期遺跡の分析でも類似した結果が得られていることから(望月2001)、松本盆地南半分から木曾地域においては、諏訪盆地の湖北地域經由で塩尻峠を越えて黒曜石が流通していた可能性が高い。熊久保遺跡では、過去の調査において黒曜石原石の集積ブロックが確認されており(第II章第1節)、遠征して直接採取を行つたことも想定されよう。さらに、御馬越峠を経由した木曾地域との中継地点としての性格も今後検討課題として考える必要がある。

今回の調査では、18・19号住の2軒の焼失住居が検出された。この2軒の住居址は中期中葉末から後葉期に属し、第10次調査では当該期に属する遺構・遺物が多く得られている。その2軒の炭化材を対象として住居構築材の同定及び遺構の年代測定を実施した。樹種同定では各住居5点ずつの試料を分析し、全ての材がクリであると報告されている(第IV章第6節)。近年、三内丸山遺跡において花粉分析や炭化材の分析から、クリ林の人為的な維持・管理とクリ材の多角的利用が明らかと

なっている(辻2001)。また、県内でも善光寺平南部に位置する屋代遺跡群の縄文時代中期後葉期の住居から検出された炭化材の分析でも、全てがクリ材であるとの報告がなされている(パリノ・サーヴェイ・高橋2000)。のことから、熊久保遺跡においても食用植物として、さらにさまざまな道具の素材としてクリ材が多用されていたことが想定されるのである。

#### 4 熊久保遺跡の集落景観

熊久保遺跡の居住活動は縄文早期に始まるが、ムラの本格的な形成は中期であり、第10次調査では、ムラ中心部の南端の構造を明らかにできた。

今回の調査により中期前葉から後葉における31軒の住居跡と若干の土坑・ピット群が確認され、重複関係が多い中、居住ブロックとその変遷の検討から3つの居住集団の存在を想定した(第IV章第7節)。

ところで、細長い河岸段丘面に位置する熊久保遺跡の中心部には東西方向に窪地が存在し、それが湧水地点からの旧河道の可能性があることが指摘されてきた。窪地自体の調査が行われていないため、その性格については不明であるが、鎮川との比高差が約25mあることを考えると、水の確保という点ではあながち無理な推測ではあるまい。

この窪地の北側にも後葉期の住居址が拡張りもつことを第7次調査によって明らかにされており、窪地を中心とした集落景観が存在したかどうかが今後の課題となろう。

#### 引用・参考文献

- 小林克次 1999 「蛍光X線分析法による鷹山地区出土・採集黒曜石製石器の原産地推定分析」『鷹山遺跡群』Ⅲ 長門町教育委員会・鷹山遺跡群調査団
- 小林克次・望月明彦 2000 「蛍光X線分析法による星糞峠産黒曜石原石の分析」『鷹山遺跡群』Ⅳ 長門町教育委員会・鷹山遺跡群調査団
- 辻誠一郎 2001 「縄文の生態系と人」『日本人はるかな旅③ 海が育てた森の王国』NHK出版
- パリノ・サーヴェイ株式会社・高橋敦 『第4節 炭化材の樹種』『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書24—更科市内その3—更埴条里遺跡・屋代遺跡群』
- 望月明彦 2001 「吉野遺跡群出土黒曜石製石器の産地推定」『吉野遺跡群』

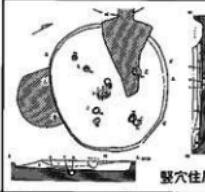
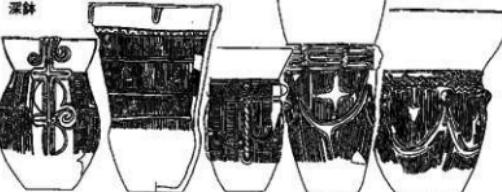
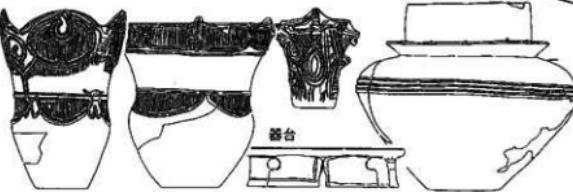
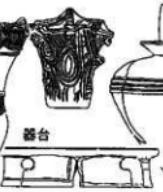
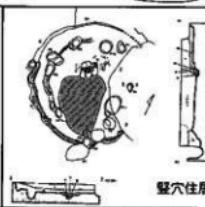
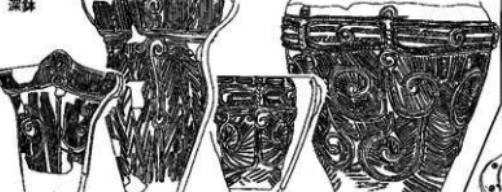
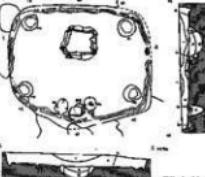
土器組成		石器組成・住居形態
中期前葉	<p>深鉢</p>  <p>浅鉢</p> 	<p>石錐 打製石斧 石錐 小形刃器</p>  <p>磨石 凹石</p>  <p>竪穴住居</p> 
中期中葉	<p>深鉢</p>  <p>有孔銅付土器</p>  <p>器台</p> 	<p>石錐 打製石斧 石錐・小形刃器 石皿</p>  <p>石錐 凹石 磨石</p>  <p>竪穴住居</p> 
中期後葉	<p>深鉢</p>  <p>釣手土器</p>  <p>浅鉢</p>  <p>土偶 土鈴</p> 	<p>石錐 大形刃器 打製石斧 磨製石斧</p>  <p>石皿</p>  <p>竪穴住居</p> 

図1 熊久保遺跡における道具の組成と変遷

## 総括

橋口昇一

熊久保遺跡も昭和37（1962）年の初調査以来約40年を経過した。その間、大小あわせて9次に及ぶ調査が行われ、今回の10次に至ってようやく正式報告書を刊行できることになった。第1次は一応その概要を報告（橋口他 1964）したが、2～9次は発掘それぞれ整理作業・報告書刊行という作業は後廻しという状態が続いている。今回そのすべてをまとめて報告したかったが、諸般の事情で不可能なため、とりあえず第10次調査に限定した報告書の刊行に踏み切った。近い将来諸条件が整えば第2～9次分もまとめて発表する機会をもつ予定である。そのため第Ⅱ章に簡単ではあるが、第1～9次調査の略報を記し、本遺跡の調査経過と概要を知る一助とした。

総括にあたり、一部第Ⅳ章第7節で景観・立地、住居址の構成と変遷と集團構成、周辺集落との関係については小口が記述しているので省略し、一部重複もあるが全体を通してのまとめを述べてみることにしたい。

今回の第10次調査は、予想通り全面から遺構が検出され、第1次と第4次（現資料館）との間に連続していることが確認された（第Ⅱ章第3図）。これで資料館西側のゲートボール場（第5次）までも連続することが判明した。更に西側に続く未調査（盛土保存）のテニスコートを挟んだ商工会館（第6次）・便所（第9次）一帯も一面に住居址が検出されており、かつ引続き県道部分も古く道路拡張工事の折に多数の遺物出土という事実もあり、更に県道をこえ一番西側に当る公民館東側（第2次）まで連続していることは間違いないことがほぼ確実となった。未調査のテニスコート部分もあるが、本遺跡が段丘崖に沿って東西約400m以上に及ぶことになる。

一方、遺跡のあるこの第2段丘面北側は、幅約100～150mあり、比高差約10mの第1段丘面となる。第3次調査ではほほ段丘面中央付近まで住居址の広がりをとらえたが、たまたま個人住宅建設が第2段丘崖に近い部分で予定され、第7次調査を行ったところ、5軒の中期住居址が検出された。わずかな範囲だが遺跡の南北幅がほぼ推定可能となり、400m×100～150m以上、約4～6万m<sup>2</sup>の大遺跡であることが判明した。だが、10次に及ぶ調査を実施しながら、各次調査が計画的でなく、十分関連づけられなかった点は責任者として残念であり反省もしている。

次に10次調査の成果に入る前に、この10次調査地点の原地形に触れておきたい。耕作によってほほ平坦とみられていた地表面であったが、古老によれば東側段丘崖に沿う道（3～5m）は、かつては耕作者が通う程度の農道であり、その北側には高さ・幅約1m強の土堤状の盛土があったという。それが「猪土堤」のような段丘崖に沿って長く続いていたかどうかは明瞭でないが、現造成時に現地形にみる平坦な畠地となったという。ちなみにこの部分に当る10次調査南側の段丘崖寄りには、径・深さともに10m前後の小ビットが遠に平行して、1～4列ほど検出されている（第Ⅱ章第4図）。消失した土堤状盛土とこのビット列の関係は不明だが、一応記載しておきたい。

更に次は遺構面のある原地形のあり方も付記しておきたい。一般的に基盤であるローム層は、平坦か段丘崖に向かって北から南へ多少傾斜していると予想していたが、第Ⅳ章第5図にみる如く調査区内ではローム層が南側で高く、北側が低くななる。また調査区東北側は更に1m以上も深くなっている。10次調査の広くない調査区内の所見だが、

遺跡全体の当地の微地形は相当複雑で、遺跡の中に浅い凹地や小川程度の流れがあった可能性も考慮してよいだろう。というのはこの微地形が集落構成などに何らかの関連をもっているのではと推測されるからである。今後、機会があればその点を想定した調査も必要であろう。

次に住居址・土坑などについては第Ⅲ章第2節3項にまとめてあるので再記しないが、1、2私見を述べておきたい。

熊久保遺跡は所謂長期継続型遺跡の典型であるが、10次にわたる調査にも拘らず集落構成の全体像を想定する結果がでなかった。その原因は7・8次を除いて他は調査範囲が狭いうえに段丘崖に沿って細長い区域に限定されるという点にある。そんな中で「初頭一中葉期が中心部に……、後葉期に爆発的に増加して周辺へ拡散した」とする小口の考察は肯定できる(第Ⅳ章第7節)。こうした環状集落を形成しない遺跡は後述するようにならない。しかし、遺跡全面の広さからみれば、まだ環状集落でないと断定はできない。1～9次調査分も含め今後検討課題であろう。

住居址についても、そのプラン、炉址の形態、柱穴の配置などの、「住居址の構成と変遷」「各ブロック変遷と集団構成」にまとめられている。住居址やその属性については10次調査のみの30軒程度であり、1～9次調査例數十軒などを検討活用する期間がなかったので十分とはいえないが、周辺遺跡例も多く時に問題となる点もないだろう。そのためここでは小口が触れていない造構やそのあり方について記しておきたい。

まず第一は、13号住居址に伴う珍らしい形態の石壇(祭壇状遺構)である。住居址内の石壇は、形態のいかんを問わず県下の縄文中期中～後葉遺跡から発見されている。

一般的には住居址中央部の炉址の奥壁付近に、単に大きめの平石が置かれたり、石棒片、土偶、釣手土器など特殊な土器が出土する場合があ

り、その在り方はバラエティーに富んでいる(神村 1993)。その中でも本遺跡の13号住居址例は類例の少ない形態で注目してよいであろう。

まず13号住居址はそのプランが他と多少趣を異にする隅丸方形であり、加えて主柱穴が南北に對面する周壁に沿って3本ずつ対象的に並ぶ点であろう。当然、他の住居とは違った上屋構造を想定せねばならない。更に注目すべきは、祭壇状遺構の在り方である。一般的に石壇は、住居中央ラインに沿って、埋甕(入口)一炉址(中央)一祭壇(奥壁)と並び、その間隔はある程度保たれている。ところが本址の場合は、炉址と石壇が連続した状態にある。中心より奥壁よりにある炉石の大半が抜かれた炉址(120cm×110cm)の奥に、ほぼ炉址と幅を同じくする100cm×65cmの板状石をたてた長方形の石囲いがあり、その内部には人頭大前後の平板石が5～6枚置かれ、その空隙には細かな自然礫が敷き詰められている。この方形石囲いの下部は最深部で約80cmのピットとなっていた。しかしピット内からは何も出土しない。ただ炉址の中に大型土器片(第67図1)が出土したこと、方形石囲い上部にわずか焼土と微細な骨片らしいものがあった点が注意された。

こうした炉址と石壇がくっついた例はあまり類例はなく、やや古く神村が集成した県南部の20数例の中でも近似する茅野市与助尾根17号住居址があるのみである(神村 1993)。ここで最近までの新資料を集成する余裕はないが、何か中期後葉から始まる敷石住居址との関連なども今後の課題として指摘しておきたい。

住居址に関する所見で最後に次の点に触れておきたい。それは2・6・7号住居址でみられた覆土や床面直上に多數の河原石が出土した事実である。この中でも6号住居址では、人頭大から拳大の礫が約300ヶ散在していた。ちなみに2・7号住居址でも200ヶ以上を数えた。あたかも礫群の“吹上バターン”とも表現できる。礫の大半はすぐ

下を流れる鎮川から運び上げられたものという。中期だけではないが、こうした住居内に大量に遺棄された蝶群の報告例もあるが、これを単に廃棄場として片付けてよいかと疑問も生じたので付記しておきたい。

土坑については、今回の調査区域が住居範囲だったためが多くなく、特記すべき点もないのを省略したい。

次に遺物について概観しよう。まず土器については詳細な考察があるので特に追加すべき点はなかろう。ただ「熊久保式」の提唱には賛否両論があり、今後の展開が楽しみであり、本書がその焦点となるだろうとの自信はもっている。昭和40(1965)年、長野県考古学会が主催した「縄文中期の諸問題」のシンポジウム（藤森他 1965）で、県下の縄文中期土器編年が所謂「井戸尻編年」で律せられることが多いのに対し、筆者は中期後葉の「曾利式」について、諏訪湖盆や伊那谷、わけても松本平では別種の土器が多く、一律に県下中期縄文土器編年を井戸尻編年のみで解釈するのは如何なものかと発言したことがある。この根底には平出遺跡にはじまり熊久保遺跡第1次調査の経験があり、曾利式では該当しない新型式一仲間うちでの「唐草文土器」が符丁程度に使われていた。これが後日、森嶋稔によって「熊久保式」として発表され（森嶋 1979）たが、町史という限定された中での発言だったため、学界で認知されるまでには至らなかった<sup>(1)</sup>。しかし、この“唐草文土器”を巡ってはその後活発な議論が展開し今日に至っている（島田 2001、綿田 2002、三上他 2002、田中 2002、北沢 2003）。こうした歴史を振り返ると、粧を新たに「熊久保式」が再提唱されるのは、何か不思議な縁を感じずにはおれない。提唱者小口（英）も述べているように、まだ新型式としては、各種属性検討にも課題をかかえている。多くの厳しい御叱正と御指導をおねがいし、中期縄文土器編年研究の進展に寄与すればと思っている。

石器についても上条の詳細な報告があるので、屋上屋を架す必要もなかろう。とかく土器に較べて軽く扱われるくらいのある石器だが、10次調査のみでなく、第1～9次調査を統合した考察や今回取り上げられなかった近隣諸遺跡まで言及した新たなレポートを期待したい。

次に遺物の中で多少問題のある例をいくつか取上げてみよう。

第5・6号住居址検出面（覆土）土層出土の赤色塗彩文様ある浅鉢片（口絵4、第135図50）はわずか一片であるが、該期としては県内初の例品である。残念なことに地元小学校高学年生の発掘体験時に出土したため、出土状態は不明確である。しかし、第5・6号住の覆土中であることは間違いない。縄文前期諸磯式の浅鉢などに類例が多少知られており、中期では有孔鈎付土器や浅鉢などに全面か、一部朱彩した例はあるが、本例のような浅鉢の表面と内面に曲線文様が描かれている例は県内にはない。一片のみだが貴重な出土品といえよう。

本例のような縄文中期の赤色塗彩土器を大量に出土した遺跡としては、銚子市栗島台遺跡（銚子市教委 2000）が著名である。漆塗土器657点、うち絵画的文様あるもの111点と驚異的出土量である。器形も浅鉢を主体としている。この中には本例とやや類似したものはあるが酷似例はない。この他では高崎市情報団地Ⅱ遺跡の土坑内出土の内面に幾何学的文様ある赤・黒二色の漆塗浅鉢はやや本例と似る。また栃木県那須郡那須町曲畠遺跡では、袋状土坑より完形に復元された浅鉢や破片、群馬県新田郡新田町下田遺跡では、多量の彩色土器が出土し、大半が浅鉢で、有孔鈎付土器もあるという（角田他 2000）。多分今後類例は増加するであろう。また同じ6号住居址の有孔鈎付土器（第23図21）は、表面の一部に黒色の塗彩があるか否か意見が分かれている。その有無は別として、この土器は凸帯のみで他に文様はないが、その均勢のとれた器形は類例が少ない。鈎手土器、両耳

土器、有孔鋸付土器など、一集落から1～2ヶ程度しか出土しない祭祀関連土器は、ほとんど大小を問わず器形・文様に独自性があって、一般的な土器のように酷似した例は少ない。その背後に縄文人の何らかの意識を感じざるを得ない。本遺跡でも赤色塗彩土器と共伴しているらしい事実も注目してよいだろう。今後両者の分析を考えている。

次に「第二の道具」の一つ、土偶について述べてみたい。本遺跡では10次にわたる発掘調査にもかかわらず、20ヶ前後の出土例しかない。ちなみに、本遺跡のある北アルプス西山麓の代表的中期遺跡の土偶出土数をあげてみる。

山形村淀の内(16)・洞(2)・殿村(5)・三夜塚(7)(ただし盗掘や表採品を加えると50点以上あろう)、波田村麻神(10)・葦原(48)・梓川村荒海渡(4)、三郷村南松原(2)・東小倉(15)、穂高町他谷(11)と他遺跡を加えても約200点である。これに対し対面する鉢伏山麓では、小林康男の研究(小林 2000)によれば、同期は42ヶ所、総数345点に及び、その後の調査で400点を優にこえており、西山山麓の約2倍となっている。この結果は、調査遺跡数の多寡にもよるが、傾向としては東山山麓の卓越は間違いない。また西山山麓では多量に土偶を保有する遺跡と少数保有のそれがはっきり区分できる。この点は東山山麓で土偶の在り方を追究した小林論文とはほぼ同じで目新しいことはない。小林が近々松本平一帯を対象とした中期土偶を取り上げるというので期待したい。

実は該期でもう1つのテーマに「硬玉=ヒスイ」がある。近年わずか3km離れた隣の山形村淀内遺跡で、土坡中から大形の硬石大珠が出土し話題となったが(和田 2001)、本遺跡からは出土していない。その最大の理由は10次にわたる調査がほとんど住居地域で、墓塚などの部分に及んでいない点があげられる。硬玉保有遺跡のあり方もまた該期研究の一テーマであろう。

最後に松本平における縄文中期遺跡のあり方を考えてみたい。

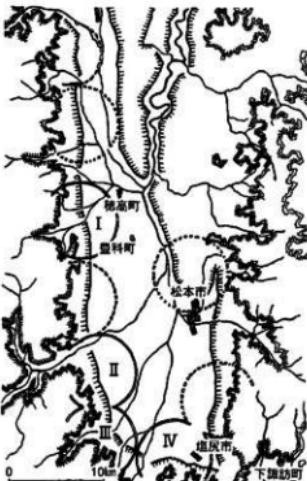


図1 松本平における縄文中期遺跡の中心分布想定(橋口他1964による)

約40年前の第1次調査概報で、筆者は上述のテーマで小文を記した。その結論は再述するが、松本平では縄文中期の大遺跡が半径4kmの円圈を接して分布するという推論であった(図1)。後日領域論の一例に加えられたが、批判や反論はあまりなかった。それも今から考えれば当然で、資料自体の少なさや分析方法の安易さなど問題外といえるからである。例えば、昭和37(1962)年当時、松本平で正式な発掘調査が行われたのは、塩尻市平出遺跡(大場他 1900)と熊久保遺跡しかなく、他は踏査による結果や採集遺物の多寡による想定だったのである。

40年を経た現在、大小の発掘調査例は100件に及びその内容も充実してきた。紙数の関係でここでは詳細は述べられず、別稿にゆずるが、図2にみると如く多数の遺跡が松本平を取り囲む山麓・台地・扇状地など全面に及んで分布することがわかってきた<sup>(2)</sup>。特に旧稟ではほとんど触れることができなかつた鉢伏山麓から松本市南部一帯の東山は、調査例がむしろ北アルプス山麓の西山地

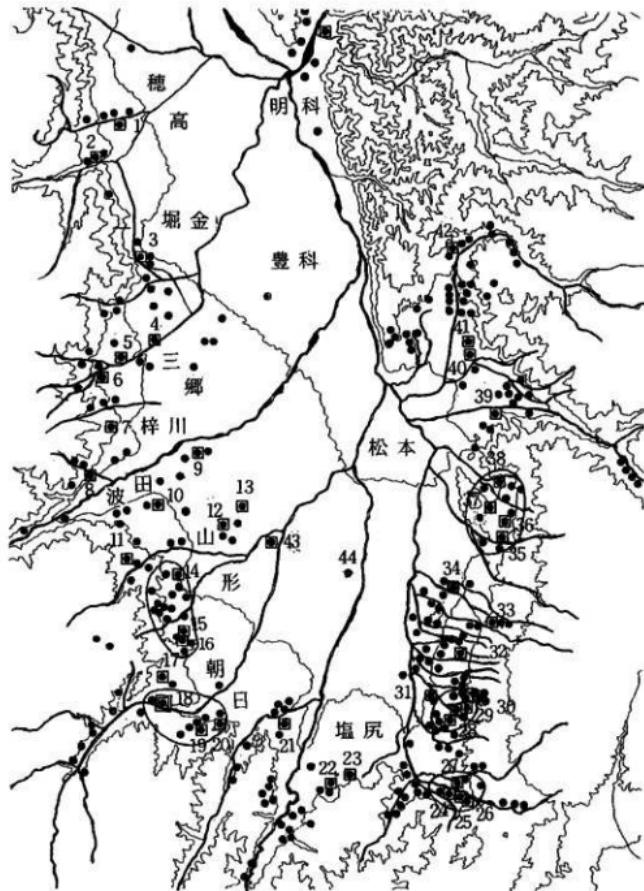


図2 松本平南半における縄文中期遺跡の分布 (■印…拠点・準拠点集落)

1 他谷 2 離山 3 そり表 4 東小倉 5 南松原 6 長者飯敷 7 仁王門 8 荒海波 9 草原 10 神  
11 下中原 12 三度坂 13 ト峯 14 岩町 15 近ノ内 16 洞 17 壱ノ久保 18 壱ノ久保 19 大日 20 三ヶ組  
21 今段 22 底尾中央 23 田出 24 鶴町 25 鶴ノ宮 26 鶴屋 27 物沢東 28 山ノ神 29 中原 30 鹿原  
31 上戸 32 小丸山 33 鹤原 34 小池 一ノ家 35 南中島 36 山影 37 坪ノ内 38 弥生前 39 林山腰  
40 大村塙田 41 大村立石 42 塙幸 43 川西岡田 44 牛の川

帶より増し、その実態が明確になってきた。西山地帯も各町村での調査例が数件程度ではあるが実施されたので、ほぼ全域における分布が理解できる状況となった。

まずここで松本平の地形を概観しておく。南北に長い松本平は、東側が塙尻市域の鉢伏山塊とそれに続く山地が松本市域に及ぶが、そこから大町

市までの筑摩山地などは恰好な山麓・台地を形成する地域が少なく、大河の流入などもまだ少なくて扇状地よりも崖鋸状地形が多い。ために大町市までの東側には縄文遺跡が極端に少なくなり、縄文中期として取り上げる遺跡も少ない（一部、明科町の犀川沿岸の峡谷地帯や大町市東側の山地にあるが）。そのため東側の縄文中期遺跡の大半は松本平南半に集中する。一方、西側は塙尻市域から大町市まで、北アルプスやその前山から流れでる大小の河川が形成した各種の扇状地が広大な山麓地形や平坦な台地面を連ね、南から北するに従って稀薄化

するものの遺跡分布が認められる。主要な遺跡を第2図でみると、松本平が八ヶ岳西南麓から連続する縄文中期遺跡分布圏の北端を占める地域であることが理解できよう。

こうした分布状況をみると、書って中期の拠点的遺跡が半径4kmの円圈に接すると仮定した筆者であるが、その領域論については新しい提言をし

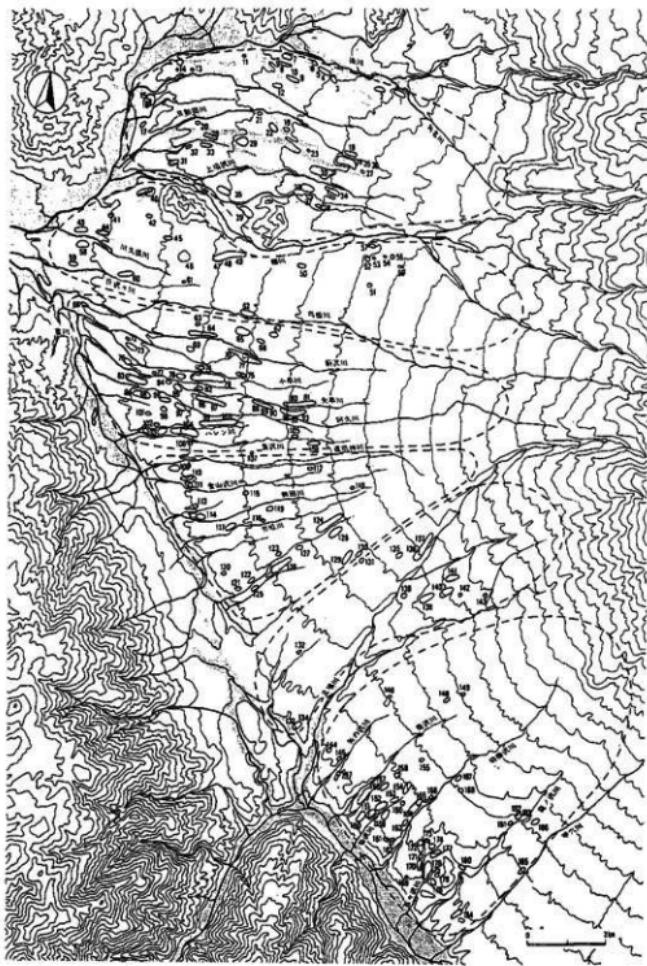


図3 ハケ岳西南麓の集団領域（勤使河原1992による）

なければいけないだろう。そこに入る前に他地域の縄文中期遺跡の分布からみた領域論を2例あげてみよう。

長野県内で「領域」を最もよく分析究明したのは勤使河原彰であろう。八ヶ岳西南麓一帯を対象とし個々の遺跡の分析から、この山麓一帯に展開

する縄文中期集落の動態を、豊富な調査成果を駆使して実に克明に解明している（勤使河原 1992）。小文字に関係する部分のみを要約してみよう。図3に見る如く、八ヶ岳西南麓は多数の大小河川が必ず谷を刻み、その間に緩斜面や平坦面が広がる長峰状の台地が何本も並列している。この間の標高800m～1200mに遺跡が分布する。勤使河原はこれらの遺跡を3つに分類してその性格を論じている。

その1が「長期継続型」、2つめが「二遺跡継続型」、3番目が「多数遺跡継続型」である。1は「1つの遺跡で中期前葉から末葉まで、土器型式で10型式前後にわ

たる長期継続遺跡」、2は「比較的長期に継続する二つの遺跡の間で集落が引き継がれるもの」、3が「比較的短期に継続する三つ以上の遺跡の間で引き継がれるもの」と分類している。大遺跡や中小遺跡といった遺跡のあり方よりも、集落の継続性を重視している点が新視点といえる。この3分

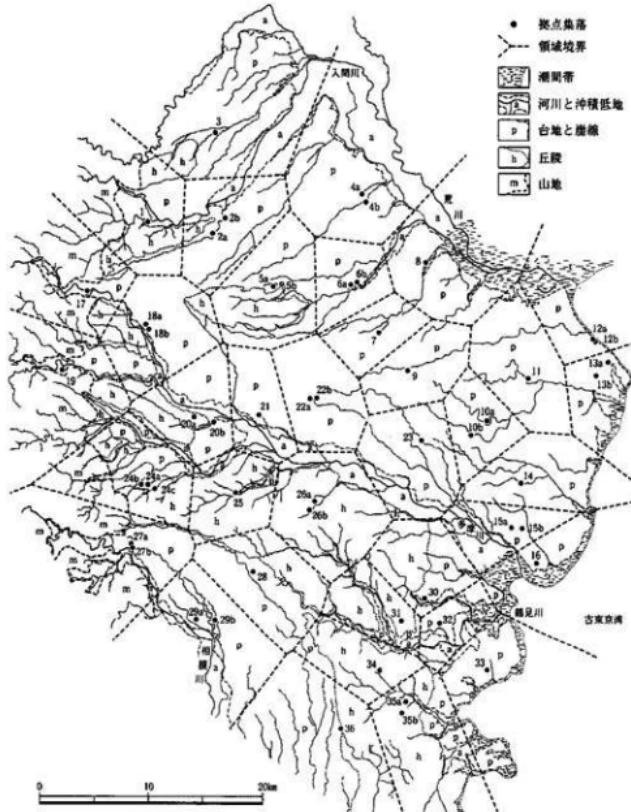


図4 縄文時代中期における拠点集落の分布と領域モデル（遺跡名省略、谷口2003による）

類した中期集落は「基本的には大小河川によって細長い長峰状に分割された尾根を一つの単位として生活が営まれ、集落の移動もその尾根のなかでおこなわれていた」とし、更に「その同一尾根に集落が複数併存する場合には、確実に2kmの間隔をおいて分散して配置されることが、曾利Ⅱ式期を除くすべての時期で、ほとんど例外なく認められる」と結論している。更に勅使河原はこの「生活領域」をいくつかまとめたものを大きく「集団領域」として特定し、より縄文中期集落の実態を明確に示している。

二例目は、都市周辺の開発によつて多数の、そして詳細な調査が実施された関東地方西南部一帯を対象とした谷口康浩の研究である。

この地でも縄文中期遺跡の多さは他を圧していく八ヶ岳西南麓と同様の傾向をもつ。谷口は「長期継続的で大規模な環状集落に地域全体の住居跡の70~80%が集中している実態を踏まえ、「拠点集落」の概念を整理し、36ヶ所53遺跡を特定し…その分布状態の分析から、拠点集落の分布パターンおよび領域を明らかにした」と述べ、6

項目を提示した。要約すれば、拠点集落は平均8.40km毎に分布し、領域面積は平均54.15km<sup>2</sup>、半径4.2kmである。この領域はティーセン多角形から求められ、六角形が最も多く各領域はほぼ正三角形と同じで、縄文中期の拠点集落の分布は六角形ラチスの領域モデルとまとめている。非常に精緻な資料分析を行って図4のような領域図を作っている。また、拠点集落には一定の傾向があり大河川の本流に直接面した場所になく、それらから分岐した小規模な支流のやや奥まった場所が多く、一支流に一ヶ所の拠点集落が位置する場合が多い

という。加えてその拠点集落が一ヶ所でなく二ヶ所ある場合も、相互間の距離には長短あるが、5～10kmに集中し、6.40～7.80kmが最も多くなっている。それらを「最近隣分析」しても同じ傾向を示すことを実証している（谷口 2003）。

勅使河原・谷口両論とも単なる領域論だけではなく、それを基盤とした社会構造にまで迫る優れた所論で、得る所が多い。小文では「領域」に限定しているのでそれ以外は論ずる余裕がない点を断っておく。

所で二つの事例を比較してみると、原資料となる遺跡の数や大小、包括する諸属性もほぼ類似している。ただ違っているのは空間的なあり方、即ち舞台となる地形上の相違であろう。関東地方西南部は大小河川によって細かく開析されたほぼ共通するような低平な台地上に遺跡が分布するのに対し、八ヶ岳西南麓は、広大な緩斜面を幾筋もの必縫谷が並列しその間の台地面の一定標高上に横に帯状に遺跡が分布する。両者とも河川による領域区分は同じだが、領域自体の設定には異なる部分が明瞭に存在する。

では小文が対象とする地域、松本平はどうかといえば、上記2地域とはまた違った地形を舞台としている。大きくくれば、「盆地」内における遺跡分布を問題としている。ただ資料操作上で河川が大きく影響している点は、当然であるが共通している。三者の遺跡分布図を比較すれば一目瞭然であろう。しかし、最も重要な基本資料が松本平の場合には少なすぎ、上記2地域のような細かな空時的分析が不可能な点が残念である。ためにここでは簡単な記述にとどめ、近い将来の研究に期したい。

上記のような不備な点もあるが、松本平における縄文中期遺跡の分布図をみると、盆地をとり囲むようなその分布は、関東西南部や八ヶ岳西南麓とまた違った景観である。このうち、勅使河原・谷口のいう「拠点集落」と「準拠点集落」の範疇に入る遺跡は●印で示した。しかし「環状集落」

は台地全面を発掘した塩尻市祖原遺跡のみで、他は部分発掘から推定される例ばかりである。そのためここでは「環状集落」という名称は棚上げし、大・中・小程度の見方で処理しておく。これも発掘調査の成果を主としているが、今までの踏査などで明らかに遺物散布地といった小遺跡でなく、未発掘ながら大乃至は中遺跡と見做さられ例もある点をあらかじめ断っておく。

分布図をみてまず考えられることは、大遺跡＝拠点的集落が書かれて筆者が想定した半径4kmの円圏に接するという見解が明らかに不適当であった点があげられよう。例えば、塩尻市平出（23）と朝日村熊久保（18）は直線距離にして約7km、平出と祖原（30）は約5km、熊久保と山形村淀ノ内（15）は約4kmなど、長短があり一定の距離で正円形の分布図にはならない。その点八ヶ岳西南麓の拠点的集落間が約2kmという在り方とは異なり、また関東西南部の平均8.40kmとも距りがある。ということは縄文中期遺跡の領域は、やや大きな地域毎に、それぞれの自然環境によって差異があり、当然ともいえるが一概に同一視できないといえよう。

また、これに関連して次の事実も加えておきたい。それは拠点的集落＝大遺跡が1ヶ所で単独に存在する例が少く、大半は1～2km以内に準拠点的集落＝中遺跡が1～2ヶ所隣接することである。その好例を3つほど挙げてみよう。

塩尻市祖原遺跡は150軒の住居址を検出した典型的な環状集落であるが、南北の谷を挟んで未発掘であるが中原（29）・山の神（28）という拠点的か準拠点的集落遺跡が1kmに満たない間隔で並んでいる。また同市剣ノ宮遺跡（25）は同一台地上に峯畑（26）・焼町（24）・青木幡という準拠点的集落と、谷を挟んで一部環状集落を示した柿沢東遺跡（27）が約2km範囲に群をなして分布している。一方、松本市域では中山丘陵の山麓台地にはもっと密集するように、約1kmにも満たない距離で山影（36）・南中島（35）・坪ノ内（37）遺跡な

どの拠点乃至は準拠点集落が並ぶ。鎮川流域では発掘調査された本遺跡と一段上の段丘上の芦ノ久保遺跡(17)、川を挟んだ東に未発掘ではあるが準拠点的集落の氏神・大日(19)・三ヶ組(20)の3遺跡がそれぞれ約1kmの間隔で分布している。

松本平南半域は拠点乃至準拠点集落が1ヶ所だけというより上述のように1~4ヶ所前後まとまって、単位領域を形成することが多いようである。この点では八ヶ岳西南麓での勤使河原のいう「二遺跡継続型」や「多数遺跡継続型」などに相当するかも知れない。しかし、本地域では八ヶ岳西南麓や関東西南部ほど精密な発掘調査が全域に及んでおらず、資料操作も自から限定され十分とはいひ難い。わけても「縄文中期」と一括しての対象であり、少なくとも前・中・後葉の3期区分程度の各遺跡の変遷が分析対象とならなければ万全とはいえない。現在その資料を収集中であるの

で後日あらためて発表する予定である。なかでも谷口のいう「最近隣分布」はまだ理解不十分だが、松本平での検討にぜひ取入れたい方法論である。

熊久保遺跡の10次に及ぶ発掘調査は、松本平南部の拠点的集落の存在を確定した。ほぼ現在の行政区画たる朝日村全域—鎮川を中心とした段丘・山麓やその背後に広がる山地一帯を「生活領域」とした三ヶ組・氏神・大日・芦ノ久保各遺跡などを包括した拠点的集落として熊久保遺跡が位置しており、北に連続して続く西山山麓の諸遺跡群、また遠く対面する東山遺跡群も包括した一大縄文中期文化—わけても土偶を多数保有する中期後葉の「唐草文土器」を表徴とする独自の縄文文化が発展したことが今後より解明されることを期待したい。

## 註

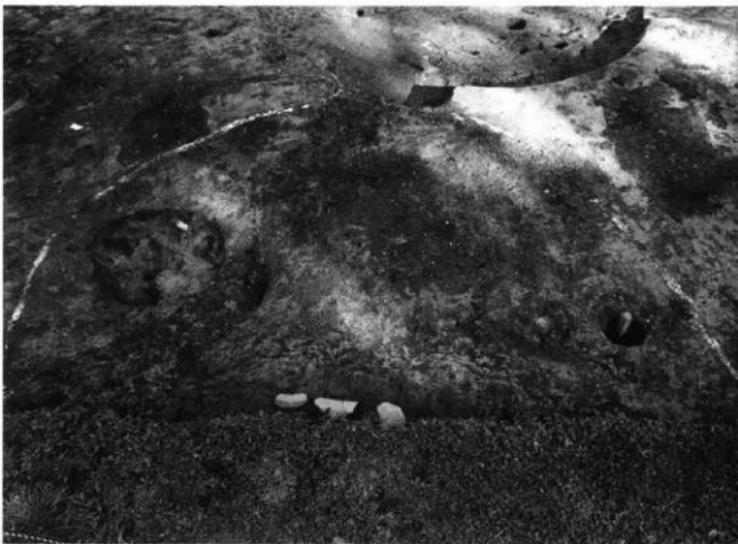
- (1) 「熊久保式」の設定については、森嶋と筆者の間で話し合ったが、筆者の時期尚早論が受け入れられず、森嶋による発表となった経緯がある。森嶋との県全域にわたる中期土器編年構想は2人の多忙さによって実現できなかったままとなつた。
- (2) この分布図は全ての遺跡を含んでいない。  
主要な遺跡—発掘調査や表面採集・踏査などによって大方の賛同を得た遺跡を中心に作成したことを行っておく。

## 引用・参考文献

- 青沼博之 1989 「第一章原始・古代」『朝日村誌』  
青沼博之・百瀬忠幸 1987 「殿村遺跡」山形村教育委員会  
大久保知己ほか 1981 「松本市内田雨堀遺跡」松本市教育委員会  
大久保知己・青沼博之ほか 1995 「葦原遺跡II」波田町教育委員会  
大久保知己・神沢昌二郎・倉科明正 1980 「長野県東筑摩郡波田町葦原遺跡緊急発掘調査報告書」波田町教育委員会  
大場磐雄ほか 1955 「平出—長野県宗賀村古代集落遺跡の総合的研究」朝日新聞社 (平出遺跡については最近まで小規模な確認調査が10数回実施されている)  
小口英一郎 1998 「唐草文系土器」の再検討『信濃50-7』  
神村透 1978 「結節縄文をつけた一群の土器」『信濃50-7』  
1993 「下伊那製石柱(?)石壇1~4」『伊那』6・8・9・11月号  
1999 「私の姓は唐草文、名は無し」『長野県考古学会誌』90  
北沢武志 2003 「2002年度秋季大会『伊那谷の縄文中期後葉における東西文化交流』報告」『信濃考古』171  
小松 横 1966 「長野県東筑摩郡波田町葦原遺跡第一次、第二次調査概報」『信濃』18-4  
島田哲男 2001 「唐草文系土器をもつた人々の文化」『信濃考古』166号

## 緒　　話

- 新谷和孝 1992 「第7・10・38号住居地に見られる祭壇状施設について」『松本市大村塚田遺跡』松本市教育委員会
- 新谷和孝ほか 1991 『松本市南中島遺跡』松本市教育委員会
- 角田真也・神戸聖語 2000 「高崎情報団地II遺跡出土の彩色土器について」『考古学ジャーナル1月号』
- 高桑俊雄ほか 1991 『松本市生妻遺跡』松本市教育委員会
- 1992 『松本市大村塚田遺跡』松本市教育委員会
- 竹内靖長ほか 1991 『松本市弥生前遺跡』松本市教育委員会
- 竹原 学 2000 「三間沢川下流域の原始・古代・中世」『松本市史研究』10
- 竹原 学ほか 1997 『小池遺跡II・一つ家遺跡』松本市教育委員会
- 田中清文 2002 『伊那谷の入組文土器様式—唐草文土器・入組文土器—その違い』
- 谷口康治 2003 「縄文時代中期における拠点集落の分布と領域モデル」『考古学研究』49-4
- 銚子市教育委員会 2000 『栗島台遺跡』
- 勅使河原彰 1992 「縄文時代の社会構成—八ヶ岳西南麓の縄文時代中期遺跡群の分析から—」『考古学雑誌』78-1・2
- 中島豊晴ほか 1978 『長野県南安曇郡梓川村荒海渡遺跡発掘調査報告書』梓川村教育委員会
- 1980 『松本市笠賀牛の川遺跡』松本市教育委員会
- 樋口昇一・横山正・小松慶 1964 「長野県東筑摩郡朝日村熊久保遺跡調査概報(1)(2)」『信濃』16-4・7
- 樋口昇一・長崎治・和田和哉 1997 「淀の内遺跡」山形村教育委員会
- 樋口昇一・山田瑞穂 1980 「三郷村誌—原始」三郷村誌編集会
- 平林 彰 1996 「縄文人のくらし」『松本市史』第2巻歴史編I
- 藤沢宗平 1953 「松本平における居住地域の変遷拡大について—長野県東筑摩郡笠賀村における考古学遺物の出土を中心として」『信濃』5・11・12
- 藤沢宗平ほか 1971 「洞遺跡」『長野県考古学会調査報告書10』山形村教育委員会
- 1972 「長野県東筑摩郡波田村麻神遺跡」波田村教育委員会
- 1972 「雁山遺跡」穗高町教育委員会
- 1973 「長野県東筑摩郡波田村麻神遺跡 第2次」波田村教育委員会
- 藤森栄一ほか 1965 「シンポジューム中期縄文文化の諸問題」『長野県考古学会誌』3
- 三村竜一ほか 1992 『松本市塙辛遺跡I』松本市教育委員会
- 三上徹也ほか 2002 シンポジューム「伊那谷の縄文中期後業における東西文化交流」資料集
- 百瀬新治 1991 「原始・古代」『堀金村誌上巻』堀金村教育委員会
- 森嶋 稔 1979 「縄文時代」『信州新町史』
- 山田瑞穂 1994 「原始時代」『梓川村誌』
- 1995 「東小倉遺跡」三郷村教育委員会
- 1997 「東小倉遺跡—県道側溝の立会調査」三郷村教育委員会 梓川村教育委員会
- 1999 「三郷村埋蔵文化財」(資料集)三郷村教育委員会
- 鵜田弘実 2002 「唐草文系土器文化を探る」参加記『信濃考古』167
- 和田和哉 2001 「淀の内遺跡IV」山形村教育委員会
- 2002 「三夜塚遺跡III」山形村教育委員会



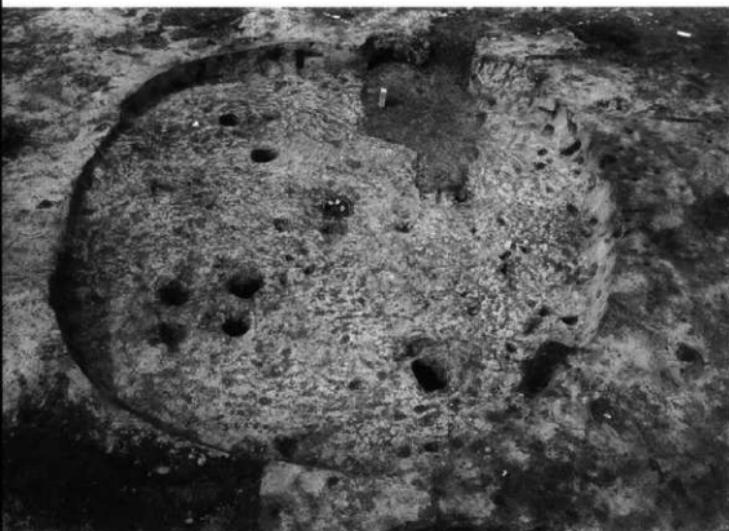
1号住居址全景(西より)



同 炉址



同 埋甕



2号住居址全景(東より)



同 遺物出土状況



3号住居址全景(東より)



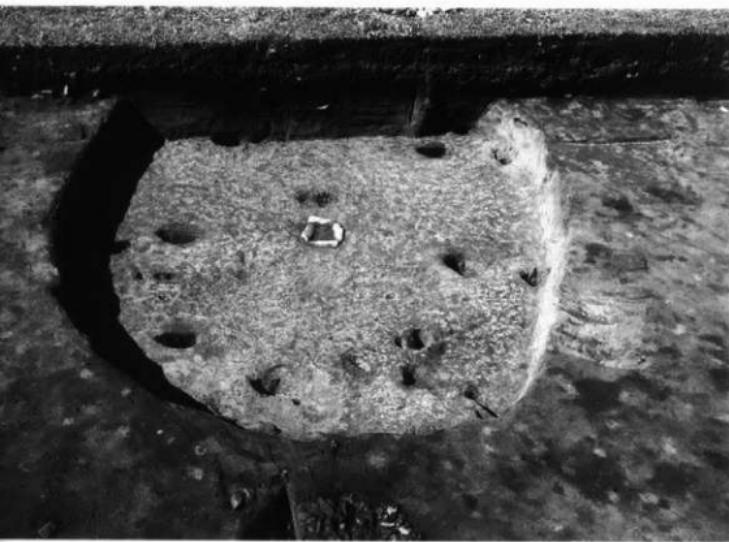
同 遺物出土状況



左 同 炉址

右 同 遺物出土状況(拡大)





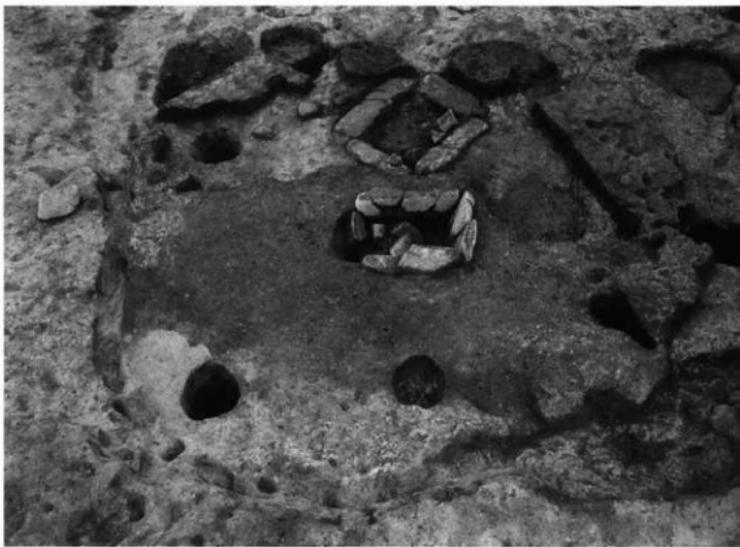
4号住居址全景(東より)



同 遺物出土状況



同 炉址



5号住居址全景(西より)



同 炉址



同 埋甕



6号住居址全景(南より)



同 遺物出土状況



左 同 炉址  
右 同 遺物出土状況(拡大)



7号住居址全景(南東より)



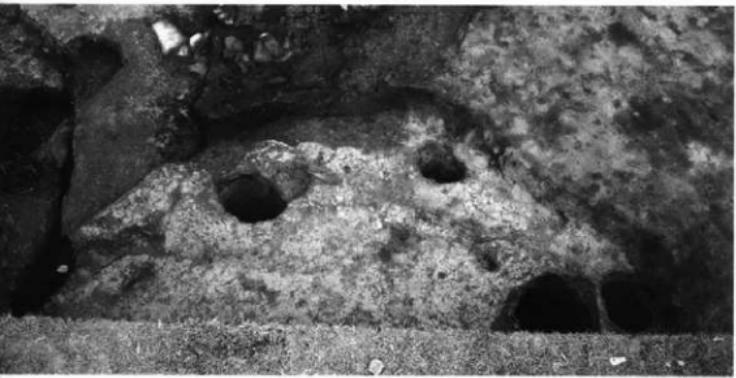
同 遺物出土状況



同 埋甕



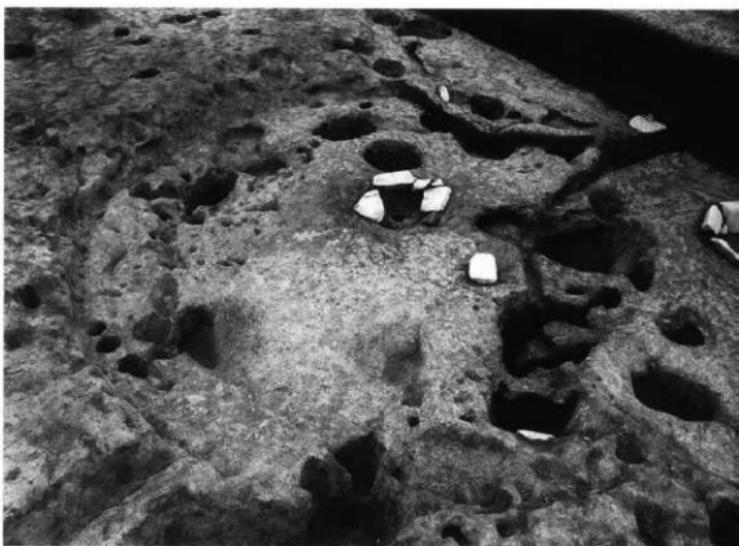
8号住居址全景(南より)



同 全景(北より)



同 埋甕



9号住居址全景(東より)



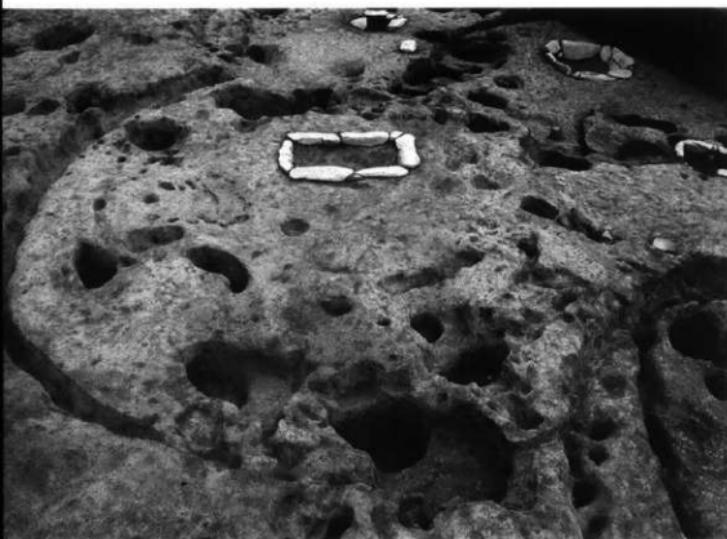
同 遺物出土状況



左 同 炉址

右 遺物出土状況(部分)





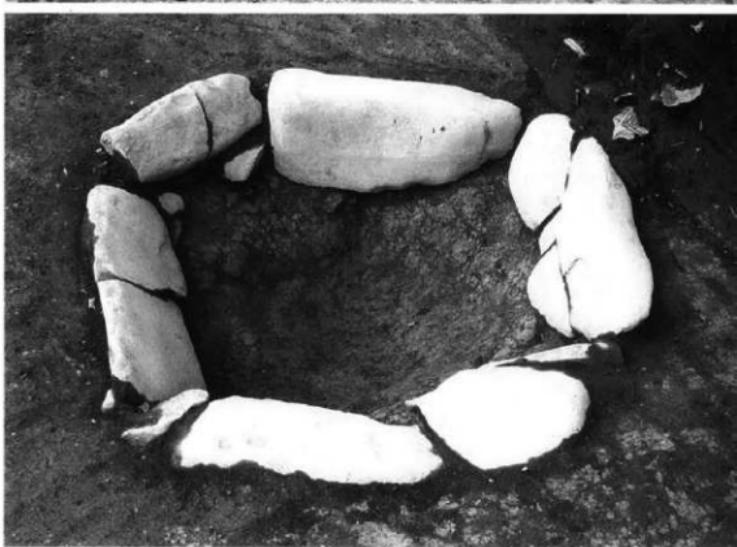
10号住居址全景(南東より)



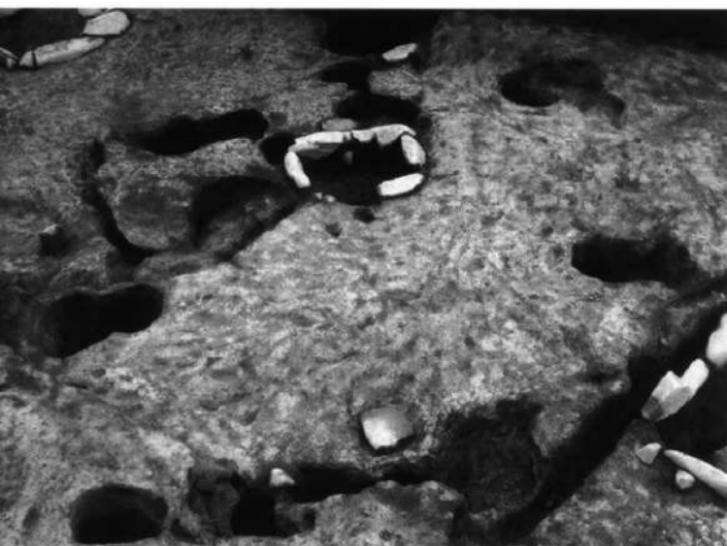
同 炉址



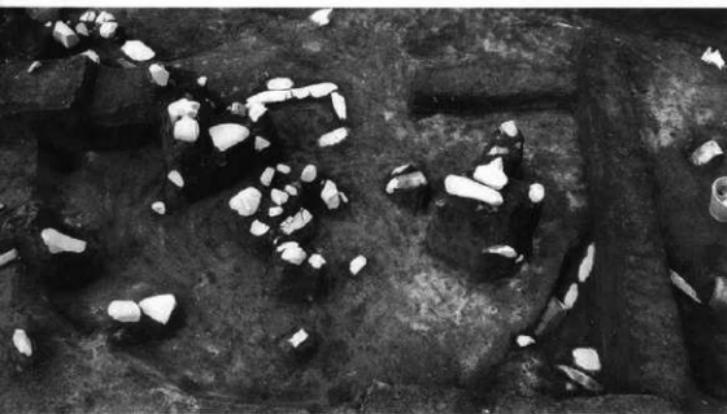
11号住居址全景(南東より)



同 炉址



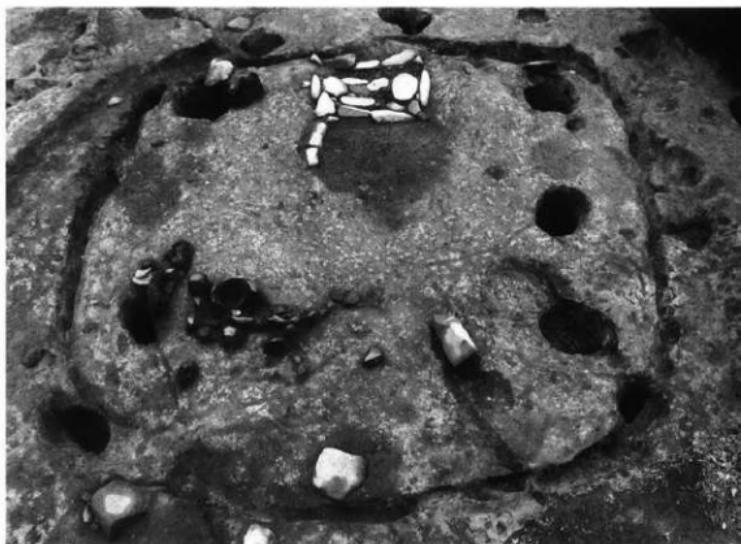
12号住居址全景(南東より)



同 遺物出土状況



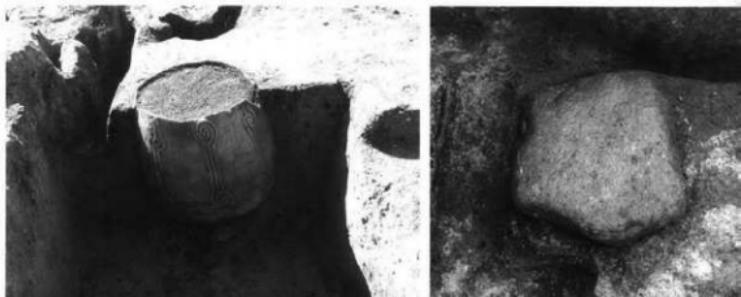
同 球莢



13号住居址全景(南東より)



同 石壇

左 同 埋甕  
右 同 蓋石



15号住居址全景(南より)



16号住居址(北より)



同 炉址



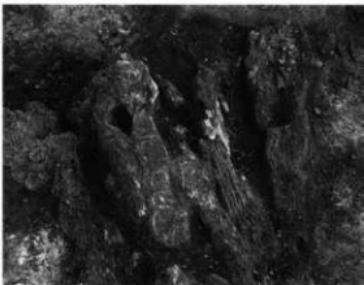
18号住居址全景(東より)



同 炭化材・遺物出土状況  
(北より)



左 同 炉址  
右 同 炭化材(部分)

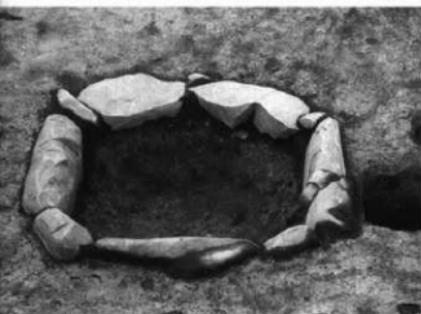




19号住居址全貌(東より)



同 炭化材・遺物出土状況  
(西より)



左 同 炉址  
右 同 埋甕



20号住居址全景(南東より)



同 遺物出土状況



同 埋甕



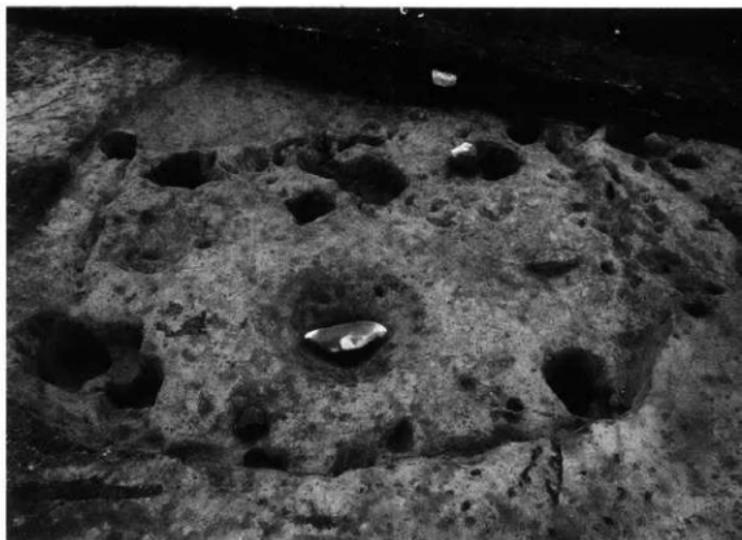
21号住居址全景(東より)



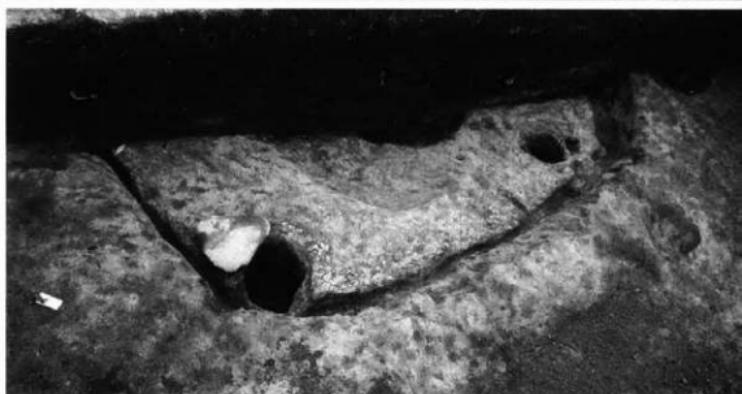
同 遺物出土状況(部分)



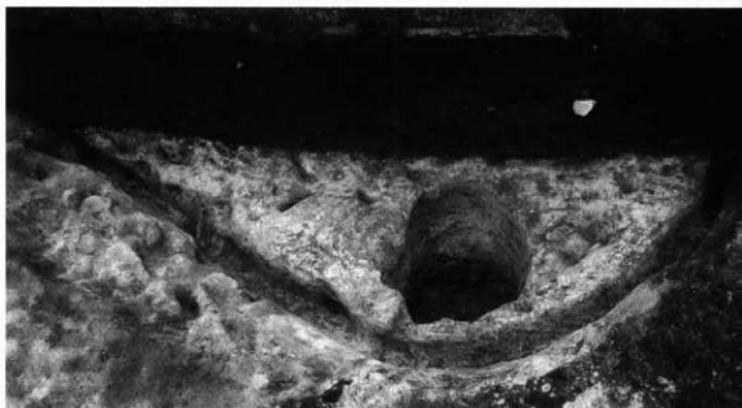
同 埋甕



17号住居址全景(北より)



22号住居址全景(南より)



24号住居址全景(西より)



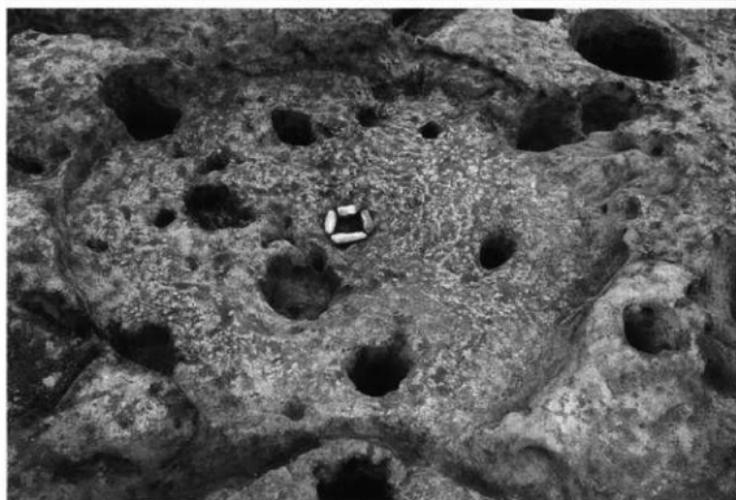
23号住居址全景(南東より)



同 全景(東より)



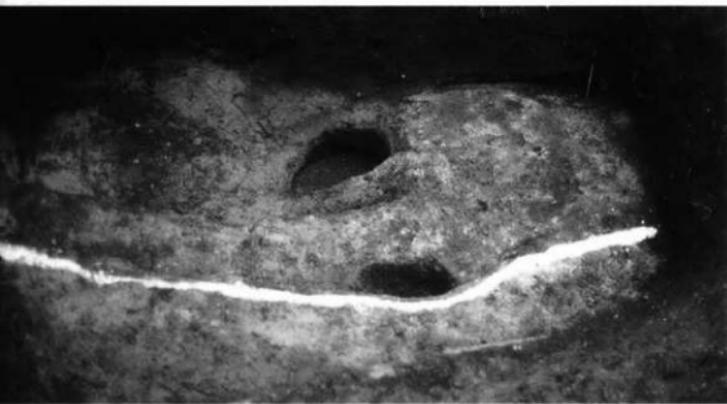
25号住居址全景(南より)

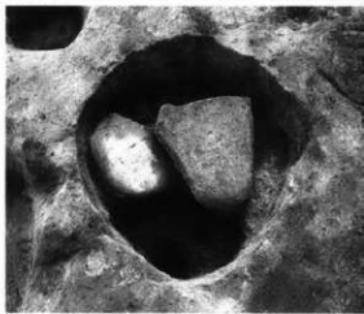
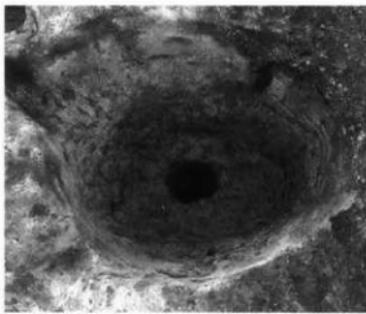
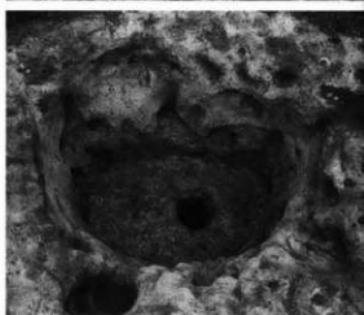
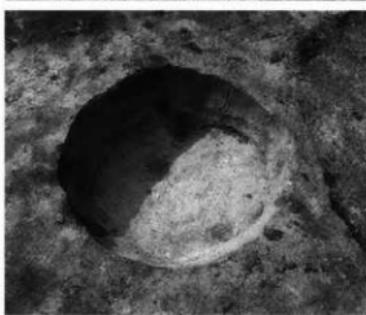
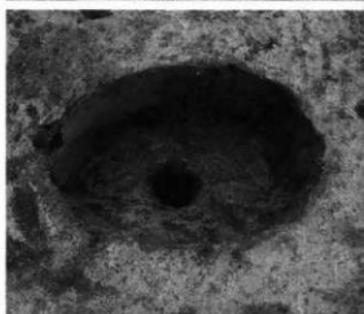
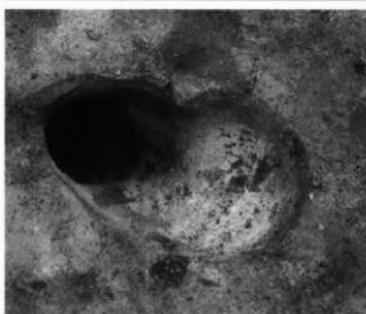


27号住居址全景(東より)



28号住居址全景(西より)





1  
1号住居址出土土器  
(S = 1/4)



1



1

1 ~ 5  
2号住居址出土土器  
(S = 1/4)



2



3



4



5

1 ~ 2

5号住居址出土土器  
(S = 1/4)



1

2

3

5号住居址出土土偶  
(S = 1/2)



3

1 ~ 3

6号住居址出土土器  
(S = 1/4)



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

4 ~ 10  
6号住居址出土土器  
(S = 1/4)

11 · 12

6号住居址出土土器  
 (11. S = 1/4)  
 (12. S = 1/3)



11



12

1 ~ 3

7号住居址出土土器  
 (S = 1/4)



2



1

3



4



5



6



1



2



3

4 ~ 6  
7号住居址出土土器  
(S=1/4)

1 ~ 3  
8号住居址出土土器  
\* 土偶  
(1·2 S=1/4)  
(3 S=1/2)

1 ~ 8

9号住居址出土土器  
(S=1/4)

1



2



3



4



5



6



7



8



9 ~ 12  
9号住居址出土土器  
(S = 1/4)

9



10



11

12

13~18

9号住居址

出土土器

(S=1/4)



13



15



16



14



17



18



19~25  
9号住居址出土土器  
(S=1/4)

1・2

11号住居址  
出土土器  
(S=1/4)



1

2

左1

12号住居址  
出土土器  
右1~3  
13号住居址  
出土土器  
(S=1/4)



1

1



2



3



4



4  
13号住居址出土土器  
(S = 1/4)



1



2

1 · 2  
14号住居址出土土器  
(S = 1/4)



1



2

1 · 2  
18号住居址出土土器  
(S = 1/4)

1 ~ 6

20号住居址  
出土土器  
(S=1/4)



1



2



3



4



5



6

1 ~ 5  
21号住居址出土土器



1



2



3



5



4

1

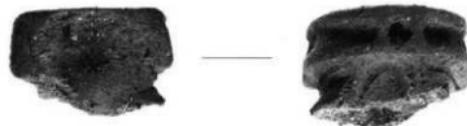
22号住居址出土土器  
(S = 1/4)



1

1

検出面出土土偶頭部  
(S = 1/1)



1

1 (左)

9号住居址出土土製品  
(S = 1/1.5)

1・2

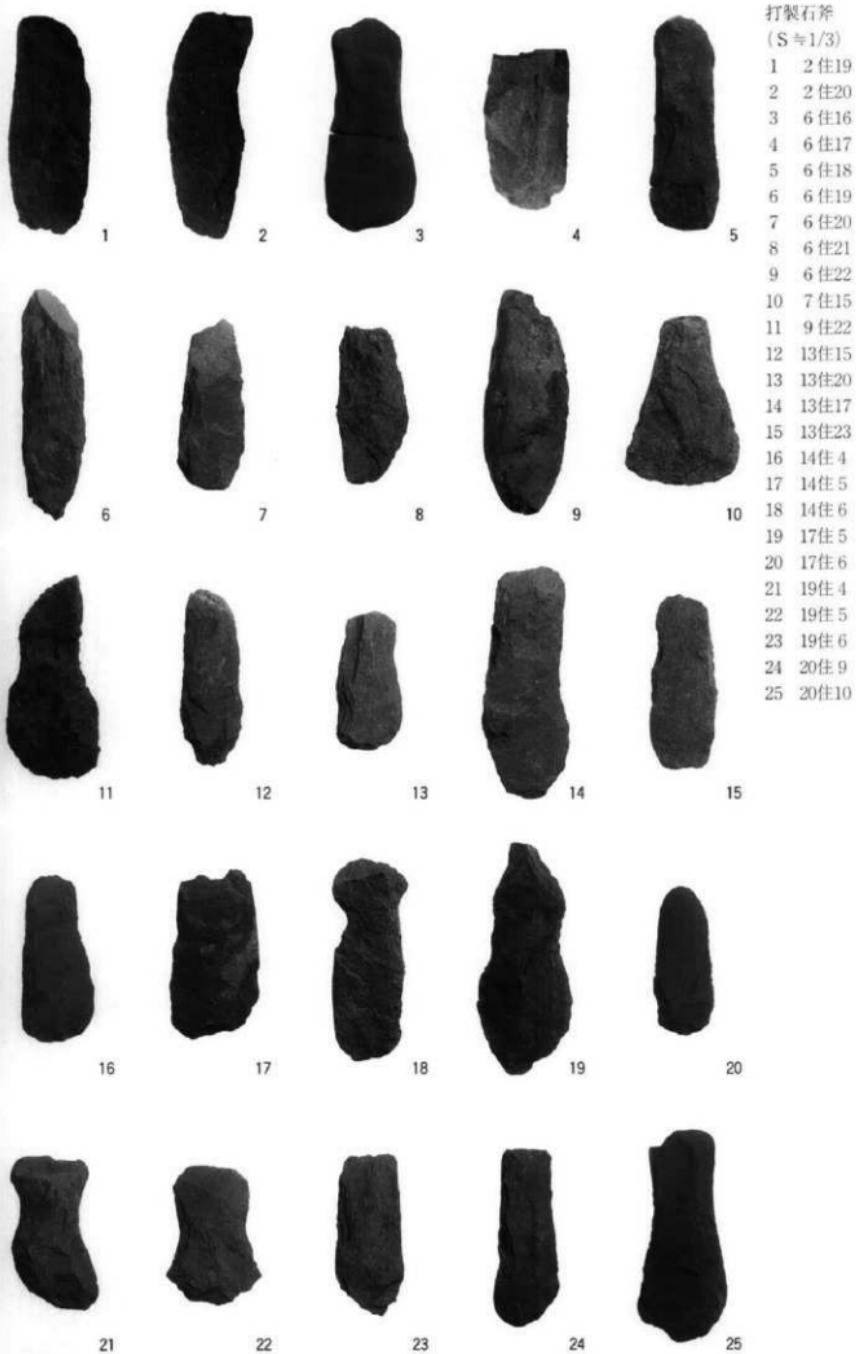
検出面出土土鉢  
(S = 1/1)



1

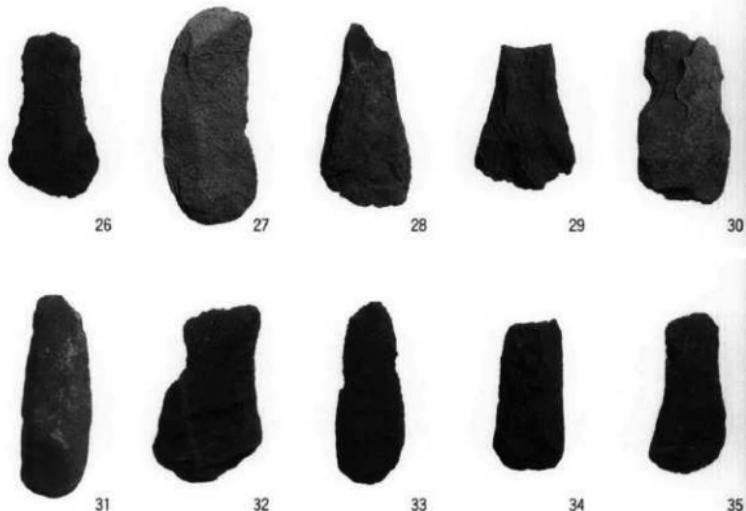
1

2

打製石斧  
(S ≈ 1/3)

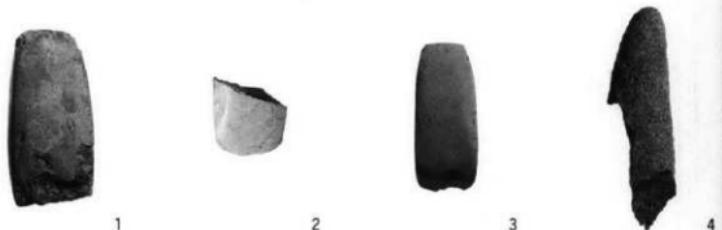
## 打製石斧

- (S ≈ 1/3)
- 26 20住11  
27 20住12  
28 21住9  
29 21住10  
30 21住12  
31 21住13  
32 22住5  
33 22住6  
34 22住7  
35 22住8



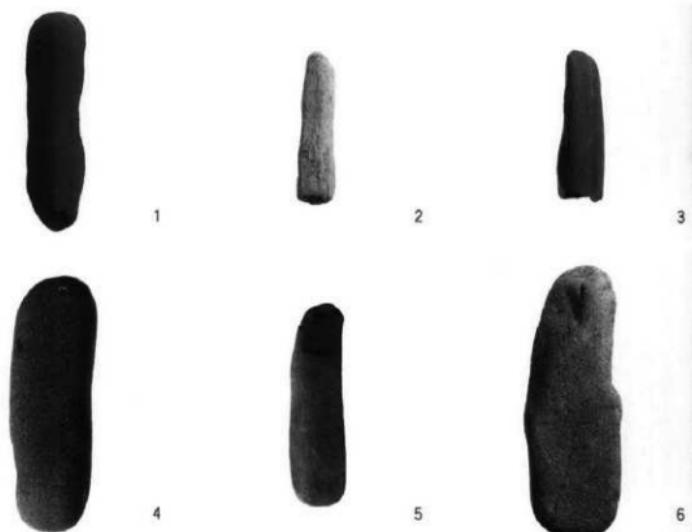
## 磨製石斧

- (S ≈ 1/4)
- 1 13住25  
2 19住8  
3 20住14  
4 23住4



## 叩石

- (S ≈ 1/3)
- 1 2住22  
2 5·6住  
檢出面  
3 7住16  
4 8住3  
5 12住5  
6 13住28



敲石
(S = 1/3)
1 5住11
2 6住23
3 6住31
4 6住32
5 7住17
6 7住18
7 7住19
8 7住20
9 9住27
10 9住28
11 13住26
12 13住27
13 15住1
14 18住8
15 19住10
16 19住11
17 19住12
18 19住13
19 20住15
20 20住16



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20

## 敲石

( $S \approx 1/3$ )  
 21 20住17  
 22 21住16  
 23 2住21  
 24 24住3  
 25 24住4



21



22



23



24



25

## 石匙

( $S \approx 1/3$ )  
 1 9住18  
 2 9住19  
 3 18住4  
 4 23住2



1



2



3



4

## 石锤

( $S \approx 1/3$ )  
 1 6住14  
 2 7住22  
 3 21住14  
 4 23住5



1



2



3



4

## 磨石

( $S \approx 1/3$ )  
 1 檢出面  
 2 6住24  
 3 19住9  
 4 21住15



1



2



3



4